

2019 栄光への軌跡

2019 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



一般入試

東北大学、横浜国立大学、岩手大学、山形大学、
宮城教育大学、国際教養大学、宮城大学

東北大学 文学部 人文社会学科に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
桜丘中出身

友人や先生という心強い味方と一緒に 受験という団体戦を戦い抜きましょう！

■入試直前まで放課後は
友人達と勉強していました

「受験は団体戦である」

賛否両論のあるこの言葉ですが、私は賛成派です。というか、「団体戦」だったからこそ合格を手にしたと言っても過言ではないでしょう。そこで、私の受験がどのような「団体戦」であったのか振り返ってみようと思います。

公立高校受験に失敗し本校に入学した私は、大学入試では絶対に第一志望に合格しようと躍起になり、怒濤の勢いで勉強していましたが、それも長くは続かず、放課後は友人たちと GP ホールで勉強することにしました。ずっと勉強していた訳ではなく、時にはたわいもない話をして笑い合ったりしてましたが、特進生の性なのでしょうか、やるときはちゃんとやるのです。時に分からないことを教え合ったり、テストの点数を競い合ったりして、互いに切磋琢磨しました。結局、途中でメンバーが変わりはしたものの、入試直前期までこのスタイルの勉強法は続けていました。

■分かるまで先生に質問し
数学が得意になりました

また私はよく先生のもとへ質問をしに行っていました。先生方がお忙しいなか、真剣かつ丁寧に質問対応や添削をいただいたおかげで、私は問いに対する理解を深め、自分でも納得のいく答案が書けるようになりました。特に、数学が苦手だった 2 年生の頃、私は、当時授業を担当されていた先生のもとへ授業ごとに質問に行き、腑に落ちるまでとことん教えていただきました。その結果、苦手だった数学も 3 年生の頃には得意になり、「数学のできる文系」として優位に立つことができました。

以上のように私の受験には多くの人々が関わっていました。そういった意味での「団体戦」です。私が結局言いたいことは、「一人になるな」ということです。一人になったら、辛い時に話を聞いてくれたり、間違った考えを修正してくれたりする友人や先生達はどうすることもできません。周りは敵ではなく味方なのです。最後の最後、試験場で戦うのは他ならぬあなた自身ですが、そのプロセスにおいては、誰かと一緒に戦って下さい。

後輩の皆さんが各々の第一志望大学に合格できることを祈っております。

東北大学 法学部に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
六郷中出身

最後の最後で合否を分けるのは 周りを圧倒する位の強い気持ちです

■周囲の意識の高さを実感し 受験勉強に本気になりました

中学 3 年次のオープンキャンパスがきっかけで仙台育英に進学しました。学習環境が充実していることが一つの要因だったと思います。しかし、私は、進学が決まってから入学までの間一切勉強しなかったため、入学後のテストでは中学校では取ってこなかった順位になってしまいました。周囲の意識の高さに圧倒され、そこで初めて私は本気で大学に行きたいと思いました。

ところがその当時の実力は第一志望の東北大学とは程遠いものでした。このままでは決して合格はできないと思い、とりあえず英語を固めることにしました。CD 付録の教材を使い、音読やシャドーイングを繰り返し行い、英作文は時間を割きたくなかったので、通学中に自転車に乗りながら頭の中で組み立てるというようなことを行っていくうちに英語が得意科目となりました。それでも他の科目はあまり伸ばすことができず、そのままセンター直前を迎えました。

東北大学の法学部はセンターと二次の比率が 1：2 でしたが、後期のことも考えるとセンターも取らなければいけない状況でした。私はセンターが苦手だったので、直前期は英語を除く全教科の過去問をひたすら解いて対策を行いました。そして結果は、1 ヶ月前のプレから 90 点位点数を伸ばすことができました。センターは直前の追い込みが重要だと思います。

また、二次についてですが、これもセンター同様過去問をひたすら解きまくりました。仙台育英は昔の赤本も多くあるので多くの年数分を解くことができます。

■解ける問題を確実に解けば 合格は見えてきます

そして本番当日、1 日目は英語と国語でそれなりに手応えはありました。2 日目は数学。東北大学の文系は数学で大きく差がつくと言われていたので、一番重点を置いていました。しかし、毎年よく出ている一番対策していた微積分とベクトルがどちらも出ず、ほとんど見かけなかった問題が出題されるという事態が起きてしまいました。

それでも結果、合格することができました。受験にはさまざまなハプニングが起こり混乱することもあります、それは皆同じです。自分が出来る問題を確実に解くことが出来れば合格は見えてきます。そして最後に合否を分けるのは精神力だと思います。これまで勉強してきた自分を信じ、周りを圧倒する位の強い気持ちで頑張ってください。

横浜国立大学 経営学部に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
五橋中出身

友人と高め合いながら、高い目標を持って 努力し続けることが大事です

■友人とは良いライバルとして
お互いに切磋琢磨していました

第一志望の学校に受かるためには、膨大な努力が必要である。ここに 2 つの教訓を記したいと思う。

1 つ目、自身の目標とするところを隠さず語ることでできる友人をつくること。少なくとも同じ学年で優秀だった人は、自分のことを明確に友人と語り合い、競争していました。友人に負けたくないという気持ちは私も持っていて、それによって頑張ることができたと思っています。できれば後輩にもそのようにしていただきたいです。

2 つ目、第一志望の目標は高く持つ必要があるということです。この受験生活で学んだのは、志望を低くしてしまうと、自分の学力も応じて下がるということです。国公立大学志望であれば、まずセンターをこなさなければならず、志望を簡単に下げてしまいたくならないと思います。でも第一志望を貫いて努力することには、必ず価値があります。私もこれでよかったと思っています。みなさん、頑張ってください。

岩手大学 教育学部 学校教員養成課程 理数教育コースに
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
増田中出身

受験は一人では成功できないので 先生方を信頼し困ったら相談しましょう

■センター試験まで苦手科目を 克服できませんでした

私は高校受験で挫折を経験し、仙台育英に入学しました。それからの勉強と志望大学の選択について書きたいと思っています。

1 年生の頃は毎日学校が終わる 8 時 30 分まで残り、勉強をしていました。その頃は大学入試のことはあまり考えず、得意科目を作ろうと思いずっと数学の問題演習をしていました。時間的にも余裕があったので分からない問題は友達と相談して解決していました。

それから一つ学年が上がり 2 年生になった時、志望大学について真剣に考え始めました。数学の教師になりたいという夢があったため、最初は宮城教育大学を、そこから模試の成績が良くなり、夏には東京学芸大学を志望していました。そして、明白な目標ができたこの夏から勉強する科目が変わり始めたと思います。それまで勉強時間の大部分を数学が占めていましたが、国立大を受験すると決めたので英語や理科にも目を向け始めました。

それから 3 年生になり、センター試験対策として 5 科目全てを意識するようになりました。ですが、センター試験本番までの約 10 ヶ月で苦手科目克服はできませんでした。その科目は国語です。10 ヶ月と聞いて長いと感じるか短いと感じるか、それは人それぞれだと思いますが、この時期の私にとってはとても短く感じました。この体験から、私は皆さんに苦手科目の対策は苦手だと気づいた時に始めることをオススメします。

■担任の先生の助言で志望大を 変更し無事合格できました

また、私が一番伝えたいのはセンター試験後の受験大学決定についてです。私が岩手大学を受験すると決めたのはセンター試験後です。まず言いたい事は、担任の先生の話をしっかり聞くということです。時には相談しても良いと思います。私はセンター試験の自己採点をするまで東京学芸大学に出願するつもりでした。しかし、その結果はボーダーまであと 120 点と決して合格できるような点数ではありませんでした。そんな状況でも出願しようとしていた私を止めてくれたのは担任の先生でした。止めるだけでなく受験科目を考慮して新たな受験大学と一緒に考えてくれました。皆さんにもう一つ伝えることがあります。先生方を信頼してください。困った時はしっかり頼ってください。受験は一人では成功できないと思います。友達、両親、先生方と挑むことで成功できるものです。日々の努力は無駄にはなりません。苦手科目の早めの対策を心掛け頑張ってください。

岩手大学 教育学部 学校教員養成課程に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
南中山中出身

不安や焦りを感じたら一旦手を止めて 身体と心をリフレッシュしましょう

■無意識に周りを気にしていた
自分に気付きました

私自身の受験勉強をふりかえると、1・2 年生の頃の勉強と比べて大きな変化がないように感じられます。勉強量が大幅に増える事もなく、予備校にも通わなかった為、学習環境が大きく変わらなかったからです。

3 年間を通して、私は放課後に仲の良い友人達と勉強していました。気の合う友達になら、解けない問題を教え合うのも、問題を出し合うのも苦になりません。そういう環境で勉強できたからこそ、3 年間継続して勉強することができ、受験勉強にも容易に対応し、成果を上げられたのだと思います。

私が勉強する上で最も重視していた事が、「無理をしないこと」です。言い換えるなら「自分のペースで進むこと」でしょうか。

この事に気づいたのは高 3 の夏ごろでした。私の周囲には私以上に勉強ができる人が沢山いました。定期考査の前は彼らに負けじと勉強しましたが、結局彼らには敵わず、ふてくされて帰宅していた時に、「何で志望大学が違うのに対抗しようとしているんだ？」と気づいて、改めて受験勉強の意義を確認し、自分は自分の勉強をしよう、と決意しました。

■無理をしないと決めてから
受験勉強が捗りました

それからは、自分の生活リズムに合わせて勉強量や時間を調整し、自分の負担にならない勉強を徹底して続けました。

そのおかげで受験勉強は楽しかったし、無理をしなくなったことで大きく体調を崩してもすぐに処置をして早く回復することもでき、以前より効率が上がったように思います。

受験勉強の最中は、不安や焦りでどうしようもないように感じられることもあります。身体や精神を病んでは持てる力を発揮することもままなりません。そんな時は一旦手を止めて、周囲の友人と談笑したり、全く関係ない別の事を考えてみたりと、無理をしないで休んで欲しいと思います。少しでも毎日進んでいれば、合格は手の届く所にいつの間にかあるものです。

頑張ってください。

岩手大学 教育学部 学校教員養成課程に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
折立中出身

大学受験に本気で取り組むことで 成功を手にし大きく成長できます

■模試の分析と活用により 効率よく学習できました

私は在学中、陸上競技短距離部に所属しており、部活漬けの毎日でした。部活を引退するインターハイ後まで勉強はテスト期間にする程度で毎日コツコツ勉強することはありませんでした。インターハイが終わり、受験勉強を始めましたが他の人から出遅れている分効率よく勉強する必要がありました。そこで活用したのが過去に受けた模試でした。模試の結果から自分に足りない部分は何か、今一番何を勉強すれば良いのかということを分析していました。

私が受験勉強の中で大事にしていたことは地固めです。センター試験は基本の積み重ねであり、いかに基本をしっかり定着出来るかの勝負です。私は学校から配られた副教材の基本問題をひたすら解いて、模試で出来なかった部分は何度も繰り返し勉強しました。また、勉強していた中で英語には特に苦勞しました。英語は毎日やらないとすぐ出来なくなり、結果が出にくい教科だと思います。私も結果が出るようになったのが 12 月で、今では焦らず地固めをしていたからこそ結果が出てきたのだと感じています。

■仲間との会話や先生方からの 励ましが力になりました

もう一つ私が大事にしていたのが、仲間の存在です。私は同じように国公立大学を目指すクラスメイトと共に毎日学校に 8 時半まで残って勉強していました。勉強に身が入らない時や勉強についてなど様々なことを話すのが私の支えでした。また廊下などですれ違う同じ陸上部の仲間や先生方にも多くの励ましの言葉を頂き、力となりました。多くの仲間の存在があったおかげで私は目標としていた国公立大学に合格することが出来ました。

最後に、大学受験の成功の鍵はいかに本気で取り組めるかだと思います。私は良い要因が重なり運良く大学に合格出来ただけでしたが、受験勉強をしていた時に多くを犠牲にして本気になって勉強したからこそその結果だと考えています。後輩の皆さんには大学受験は自分を大きく成長できる機会だと思って、本気で取り組んで志望大学合格を勝ち取ってもらいたいです。

山形大学 理学部 理学科に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
聖ウルスラ中出身

先生の言葉を信じて努力をかさねた結果、 本番で確かな手応えを感じることができました

■苦手な物理は基礎を固め 徐々に好きになりました

私が受験を通して学んだことは、二次試験まで妥協することなく勉強をやり通すことの重要性です。私は苦手としていた物理を 1 年間かけて得意科目とし、合格を勝ち取ることができました。その過程を私の受験のエピソードを挙げながら述べていきたいと思います。

私は高校 3 年生になってから本格的に勉強を始めました。毎日勉強をするという習慣がなかった私がモチベーションを保つために行った勉強法は 1 週間単位で計画を立てることでした。その際に、日曜日はその週に取り組んだことを振り返る、復習日としていました。苦手としていた物理は学校の授業をベースに、教科書とセミナーのみを使って勉強しました。基本を理解することで、現象の本質を見抜く力がつき、徐々に物理が好きになっていきました。

11 月までは上記の勉強法で学習を行い、センター直前期の 12 月からは、センターの過去問を解き、間違えた問題は教科書で確認するというやり方で勉強を進めました。その際には、本番で時間切れにならないよう、実際の試験時間を設けて取り組みました。最終的には、模試で A 判定を取るくらいに学力を上げることができました。

■最後まで何が起こるかわかりません 本番まで全力を尽くしてください

そして迎えたセンター試験、私は大失敗をし、志望大学のセンターリサーチの結果は E 判定と絶望的でした。二次試験の科目は物理のみで配点が低く、二次逆転をするには高得点を取ることが絶対条件でした。そのとき、私の支えとなったのは、私の物理の先生がよくおっしゃっていたある言葉です。「この講習を二次の直前まで受けた生徒は合格する」。私はこの一言を信じ、志望を変えずに逆転を狙いました。

それから試験日まで、学校の講習、志望大学の赤本、そして教科書を活用して物理に明け暮れました。その時の勉強法は、記述力の問われる二次の対策として、自分の答案を先生に添削していただくということが主でした。

そして迎えた本番、解いていて確かな手ごたえを感じました。結果は無事合格。センターの悔しさをバネに、最後まで諦めずに続けた努力が実を結んだ瞬間でした。

この経験から受験は最後まで、何が起こるか分らないと、身にしみて感じました。

受験生の皆さんは、模試やセンターの結果ばかりに囚われず、本番まで全力を尽くしてください。

山形大学 工学部 機械システム工学科に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
みどり台中出身

模試の好結果で慢心することなく 更なる高みを目指しましょう

■模試の偏差値が下がり

自分の甘さを痛感しました

私が大学受験というものを意識し始めたのは、2 年生の秋です。それまでは、team 若獅子に所属していて、勉強よりもよさこいや友達との遊びを優先していました。勉強をテスト前に少しやる程度であまりしていませんでした。よさこいを卒業し、いよいよ大学受験について考えないとと思い、毎日 1 時間ずつ勉強し始めました。自然と勉強する習慣がついていきました。

3 年生になり、毎月のように模試があることを知り、次の模試までにはこの分野を終わらせようと計画を立てていきました。夏までにやった模試は、志望学科で 1 位をキープすることができ模試の結果が帰ってくる度にこの程度の勉強で 1 位になれるのかと慢心して夏休みを迎えました。夏休み中は、あまり本気で勉強せずダラダラと過ごしてしまいました。夏休み明け最初の模試がやってきました。いつも通り解いて結果が帰ってくるのを楽しみにしていました。しかし、結果は 3 位かつ全国偏差値も相当下がっていました。当時は、マークミスや計算ミスだとかという言い訳を自分に言い聞かせてました。秋になるにつれて模試の結果が下がり始めてやっと気付きました。それは、他の受験生のレベルが上がってきているということでした。その事にやっと気付いた時にはセンター試験まであと 3 ヶ月。これはまずいなど今までの勉強の仕方を変えました。

■常に更なる高みを目指すという

勉強をすることが重要です

以前は勉強時間を決めてやっていましたが、時間では無く質を重視しようという方針にしました。できる分野は軽く、できない分野は完璧に理解し出来るよう勉強しました。すると少しずつ結果が良くなっていきました。最後の模試では今までよりも 1 番高い点数をとることが出来ました。冬休み中はセンター試験の過去問を 10 年分解いて、解けるという自信をつけました。センター試験では 1 番得意な英語でひどい点数を取ってしまいました。その結果、志望大学を下げる形となり気分が下がりました。気分を上げるために私大をうけ、合格しモチベーションを回復させていきました。二次試験では、ほとんど解くことができ、合格することができました。

この経験から、受験において一番の敵は慢心だと思います。模試の結果がいいからといって勉強をサボるのではなく、常に更なる高みを目指すという勉強をすることが重要だと思います。また、私が合格できた理由として一番大きいのはセンター試験後の気持ちの切り替えが上手くできたという点にあると思います。気持ちの切り替えられる人が合格できると私は思います。この私の経験が参考になればいいと思います。みなさんが志望大学に合格出来ることを応援しています !!

宮城教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 国語コースに
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
富岡中出身

受験勉強は自分に足りないものを 知ることができる有意義な機会です

■前期と異なる大学でも 迷わず進学を決めました

ここでは私が受験生活を送る中で大切だと感じたことを二点に分けて話していきたいと思います。

まず一点目は常に試行錯誤して欲しいということです。受験勉強の中で常道とされる勉強法や学校などで教わったこと、出された課題をこなすだけの受動的な勉強は、やりがいの無い単調な日々を生み出しかねません。ここで勧めたいのは受けた模試を十分に活用することです。模試は個々人の得意な箇所と弱点を知ることができる貴重な機会です。自分の弱点は何なのか、そのためにどんな勉強が必要なのかを考えることで自ずとやるべきことが見えてくるはずです。自分の弱点と対策についての分析を具体化することがその人にとって最良の努力へ繋がると感じます。

二点目は進路決定に際して綿密に情報収集をするべきだということです。大学進学は個人だけの問題ではありません。入学希望者のためのさまざまな支援を利用して遠方の大学に進学する手段も多くあります。想像だけで自身の可能性を狭めることがないよう、自分の学びたいことと、そのための環境が整う大学、通う際に必要な費用まで調べた上で家族と相談を重ねて欲しいです。私は前期と後期で異なる大学を志望しましたが、両校について納得できる志望理由を固めていたおかげで後期試験で合格を頂いた大学に迷いなく入学を決めることができました。

■面接では練習を通して 自分の癖を把握しましょう

後期試験で使った面接について言えば、先生方に協力を得て、本番を想定した練習を何度も行い自分の癖を把握しておくことです。私の場合、話す内容が浮かんでも上手く言葉にできないことが多かったため、簡潔に話すことを意識しました。また、大学側は面接の場で、受験者が、問われた質問にスムーズに答えることよりも大学側が求めるような人材か、その人の内面、対応力を見ています。機械的に答えるのではなく、自分の持つ感覚を大切にしてください。

受験勉強の時間は苦しいものであるばかりではなく、自分の弱さと向き合い足りないものに気づくことができる有意義な期間でもあると思います。新 3 年生の皆さんが目標を明確化し最良の努力を考え続けることで充実した受験生活を送ることを願っています。

国際教養大学 国際教養学部
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
仙台 中田中出身

入試前は合格の瞬間や大学生活を想像し ポジティブになるよう心がけていました

■夜遅くまで勉強していた
友人の姿に励まされました

私が国際教養大学の受験を決意したのは 1 年の冬でした。すべての講義が英語で行われることや 1 年間の留学が必須であることに魅力を感じ、この大学なら自分のやりたいことができると感じたからです。

合格に向けて日々の自習では、必ず授業の予習復習演習をして分からないところはその日のうちに解決するようにしていました。私は長時間集中して勉強することが苦手だったので、電車の中では古文単語や一問一答をして、朝はオークルーム、放課後はオークルームか図書室で席を決め自分が一番集中できる環境で短時間でも濃い自習をするように心がけていました。また、勉強した内容をメモしておくことで自信を持つようにしていました。

3 年生になりセンター試験の過去問を解き始めても復習は手を抜かず知識を増やすよう工夫していましたが、授業でも問題を解くので復習が追いつかなくなってしまうたり、苦手分野にかかる時間が増えたことで得意科目の英語がなかなか伸びず、ほとんどの模試が E 判定で毎日どうしたらいいか悩んでいました。もっと 1, 2 年の時に勉強しておけばよかったと後悔したり志望を下げようか迷ったこともありましたが、一度基礎を見直したり友達に相談したことで気持ちが楽になり、夜遅くまで勉強している友達の姿を見て私も頑張れたと思います。

■ A 日程と B 日程の間は
精神面での戦いでした

センター試験の自己採点はボーダーには届かず E 判定でしたが 3 回受験のチャンスがある大学だったので志望を変えずに挑みました。2 次試験対策は 2 年生の頃から先生に添削をお願いし、小論文の書き方に慣れるところから始めました。特に英語の小論文は論理的に自分の意見を書くことが必要とされるので、解答を分析し型を覚えたり表現の幅を広げられるように専用のノートを作るなどして対策しました。

しかし A 日程の結果は不合格。試験後に全く手ごたえがなかったので落ちているだろうと思っていましたが、ショックは大きかったです。結果発表から B 日程までは 1 週間しかなかったので気持ちを切り替えるべきでしたが、ショックを引きずって、この 1 週間は勉強面よりも精神面での戦いだったと思います。毎日不安を消すように合格の瞬間や大学生活をイメージすることでポジティブに考えられるようにしていました。B 日程では A 日程とは違い緊張することなく今までやってきたことを出し切れたと感じていました。合格発表で自分の番号を見つけたときは本当に驚きましたが嬉しかったです。あきらめず最後まで「国際教養大学に入りたい」と思い、戦い続けて良かったと思います。

宮城大学 看護学群 看護学類に
一般入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
長町中出身

先生方や家族、友人などへの 感謝を忘れずに受験に臨みましょう

■メリハリをつけた生活で 勉強と部活動を両立しました

高校受験で失敗した経験によって大学受験は絶対に成功させるという思いで高校生活を送ってきました。その思いから 1 年生の頃から休日であっても毎日必ず勉強する、授業で覚えなくてはならないことはその日のうちに覚えるという習慣にしてきました。英単語や英熟語は通学時間を使って暗記しました。苦手教科の克服は長期休暇を使ってその教科を集中して勉強し、参考書なども有効活用してきました。そして、1 年生、2 年生ではよさこいチームに所属し、部活と勉強の両立をしてきました。よさこいをするときには一生懸命に練習をし、家に帰ってからは集中して勉強をするというメリハリをつけた充実した生活を送ることができました。

二次試験前は小論文対策では先生に毎回添削してもらい文章の書き方を教えていただきました。そして面接練習では頻度の高い質問から掘り下げた質問までたくさんのパターンで練習してくださいました。入試の本番では小論文では、グラフ、文章などたくさんの情報に対応し、わかりやすい文章で書くことができました。面接でも掘り下げた難しい質問にも答えることができました。入試対策では自分一人でやるのではなく、先生に頼り相談することが大事です。

■二次試験での逆転を信じ 最後まで諦めませんでした

2 年生の後半から 3 年生の秋ぐらいまで成績が上がらないという時期が続きました。すごく辛い時期ではありましたが、絶対に成績が伸びる時期が来ると信じて努力し続けてきました。そして、3 年生の冬頃に成績が一気に伸びていきました。その調子でセンター試験に臨みました。しかし、思うような結果にはなりません。センターリサーチでは宮城大学は D 判定で二次試験で逆転することは最初は難しいと考えていました。その時、先生方、親からたくさんの励ましの言葉をもらい、最後まで諦めずに頑張ろうと思いました。諦めずに頑張れば必ずいつか努力が実る日が来ます。

最後に受験勉強では自分の周りに先生方、親、一緒に頑張っている友人がいます。周りにいる人を大切にし、感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。

2019 栄光への軌跡

2019 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



指定校推薦

立教大学、中央大学、法政大学、東京理科大学、学習院大学、
同志社大学、立命館大学、東北学院大学、東北工業大学、
東北文化学園大学、宮城学院女子大学、尚絅学院大学、
石巻専修大学、仙台大学…

立教大学 コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
宮城教育大学附属中出身

高校生活を楽しみながらも早いうちから 推薦入試を意識するのが合格の秘訣です

■ 1 年次から資格取得など 推薦入試の準備をしました

私は高校に入学した当初から、指定校推薦を利用しての大学受験を視野に入れて日々生活をしてきました。指定校推薦の受験資格を取るためには様々な条件を満たし、校内選考を通る必要があります。その条件を満たすため、学習面においては、1 年生の頃から定期テスト前はできるだけ高い評価がもらえるよう、一生懸命勉強したり、時間に余裕があるうちに英検などの資格を取得したりと早い段階から準備を進めてきました。そのおかげで受験できる大学の幅も広がり、より自分に見合った大学選びを行うことが出来ました。また、生活面においては無遅刻無欠席を自分自身の最低限の課題とし、3 年間継続してきました。学校の模範となるような生活を送ることが重要です。

そして何より一番大切なのは、3 年次の 6 月に行われる校内模試です。この校内模試の成績が校内選考が通るか通らないかを決定付ける大きな役割を果たしています。校内模試の重要性は 1 年生の頃から、先生や先輩方から何度も教えられてきました。そのため、できるだけ良い成績を修めるために、校内模試の過去問や、センター試験の過去問をできるだけ何度も解き直し、問題に慣れるよう勉強しました。その結果、目標を上回る成績を収めることができ、第一志望合格に繋がりました。

指定校推薦での大学合格を目指す方は、まだ早いとは思わずに、できるだけ早い段階から継続して努力することにより合格は近づいてきます。部活動や行事など、高校生活を楽しみながらも、自分の将来のために頑張ってください。

立教大学 G L A P 学部 G L A P 学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

資格取得を通して言語力の向上に 励んだことが合格につながりました

■英検に向け勉強したことを 学習に生かすのが大事です

私は高校 1 年次の後半に外国語コースに編入しました。外国語コースは英語の授業が多く、残りの 2 年間で、しっかりと英語力を身につけることができましたと思います。また、クラスに各国からの留学生がいて、多様な文化を肌で感じることができました。それと共に、自分自身の言語力を活用し、言葉のサポートをすることもあり、コミュニケーション力を向上させることができました。

大学進学については高校 2 年次から考え始めました。その時は、日本の大学をあまり知らず、とりあえず校内の指定校枠のある大学から考えました。そして、大学の情報収集をしながら、指定校や入試に向けて基本的な資格にとりあえず挑戦し、取得しました。その後は、自分をアピールするため、さらに高いレベルの検定への勉強を始め、何度も挑戦し、取得しました。最初に受けたのは実用英語技能検定 2 級でした。英検 2 級については高校 2 年までの基礎を固めてから挑戦することが大事と感じました。それを取得したあとに、英検準 1 級に向けての準備を始めました。ですが、英検 2 級と準 1 級の難易度の差を把握せず、いい加減に受けてしまい、落ちました。そして、第 3 回目の英検に申し込んで、しっかり準備してから受けようと決めました。最初の頃は勉強の方法が分からず焦っていましたが、だんだん知ってる単語も多くなってきて、勉強を順調に進めることができ、準 1 級に合格することができました。準 1 級については、最初は知らない単語が多く、問題を解くのが難しいので自信を失ってしまうかもしれませんが、問題をやればやるほど進歩が見えてくるので、あきらめずにがんばれば、受かると思います。また、経験や反省などをまとめることも大事だと感じました。そして、日本語能力試験 N2 も受け、さらに自分の言語力を向上させました。

■有意義な高校生活を 送ることができました

高校 3 年次の 6 月に志望大学を決め、それに向けて準備をしました。ですが出願の 2 ヶ月前までは、計画を立てずに時間だけが流れてしまい、受験直前の 1 ヶ月前に勉強し始めましたが落ちてしまいました。自分が落ちた原因がすぐく明らかだったので、早速次への準備にとりかかりました。指定校推薦への切りかえを順調に進められた理由は、やはり普段の勉強や各種検定への挑戦のおかげだと思いました。

高校 3 年間では、前もって大学を調べたり、検定を受けたり、オープンキャンパスに参加したりすることがとても大切だと思いました。仙台育英での 2 年間は充実していて、有意義な高校生活を送ることができよかったです。自分自身の経験を用いて、後輩たちを励ませたらいいと思います。

中央大学 商学部 商業・貿易学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
宮城野中出身

仙台育英の勉強に最適な環境を 十分に活用して合格を目指しましょう

■周りとの差が開くことへの 焦りがやる気になりました

私はもともと一般入試で大学受験するつもりでいましたが、3年生の春頃になってから指定校推薦で受験することを決めました。指定校推薦の校内選考では校内模試の結果が大きく関わってきます。私は校内模試の過去問を沢山解いて、その結果良い順位をとることができました。また、これまでの継続的な学習も良い結果に繋がったと思います。私は陸上競技部に所属していたのですが、周りの人達より勉強する時間が限られていたので、部活動が終わった後はオークルームなどを利用して閉門まで自習し、時間を有効に使うようにしていました。また、手帳などを活用して今日勉強することなどを計画していました。やるべきことが明確化され、やってきたことの記録にもなるので、おすすめします。クラスには部活動に所属していない人が多かったので、どんどん周りとの差が開いてしまうのではないかと焦っていましたが、その焦りの気持ちのおかげでもっと勉強しようという気になり、成績を伸ばすことができました。私は勉強する際、模試を活用するようにしていました。模試の復習もそうですが、模試の結果から自分の弱点を分析していました。これによって、より効率的に点数を上げることができました。

■部活動や海外研修などが 良い思い出になりました

指定校推薦では高校生活の中で何をやってきたかが問われます。ですから、部活動や海外研修、資格取得やボランティアなど様々な活動に積極的にチャレンジすることが、自己推薦文や面接などでの良いアピールポイントになると思います。実際に、私も部活動や海外研修に参加したことで自己アピールの内容が深まったので、やっておいて良かったと思いました。また、これらの経験は私の高校生活を充実させてくれた良い思い出にもなりました。仙台育英には、立派な自習室や親身に向き合ってくれる先生方など、勉強するのに最適な環境が整っています。この環境を十分に活用して、志望大学合格に向けて頑張ってください。

法政大学 キャリアデザイン学部 キャリアデザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
仙台第二中出身

励まし合い笑い合える仲間がいることは 高校生活においてとても大切です

■期間を決めて目標を定め やる気を維持しました

高校 3 年間の生活を通して、私は志望大学の合格を勝ち取るためには、目標を必ず決めて何事にもチャレンジすることと、素晴らしい仲間を作ることの 2 つが大切だと思いました。

私は積み重ねが大切な教科である、数学と英語が特に苦手でした。数学は仕組みを理解するまでに時間がかかるタイプであったし、英語は単語を覚えて活用することが上手に出来ませんでした。だから、まず 1 年間定期考査で 75 点以上を取ることを目標に朝必ず 1 時間数学を勉強し、夜には英語の授業の復習を欠かさず行うことにしました。その努力はすぐに結果を伴って定期テストに表れ、自信とやる気を私に与えてくれました。学校の定期テストは、外部模試とは違って指定された範囲を努力して覚えることが基本であったため、費やした時間の分だけ点数は伸びていきました。努力が結果として表れると苦手だった勉強も苦しさを感じることは少なくなり、1 年と決めていた期限をもう 1 年高校 2 年生の間も続けてみようと思うことができました。このときに、ポイントになったのは遠い目標を持つことよりも 1 日の目標とノルマを決め、その日に何を頑張ればいいのかを明確にした点、1 年間と期限を決めたことでやる気を維持させた点だと感じました。そのため、私は目標を決めて勉強、そして学校行事にチャレンジするべきだと思いました。

■高校生活を楽しむ気持ちを 忘れず笑顔で頑張りました

そして私が勉強の他にもう 1 つ大切だと思ったことが素晴らしい仲間を持つことです。私は高校生活の間に多くの友達や、先輩、先生に助けて頂きました。検定試験も大好きな友達に誘われて苦手なことだけど頑張ってみようと思ってチャレンジすることができました。だから、辛いときや苦しいとき励ましあえる、そして最高に笑い合うことができる仲間を持つこと、先生や先輩からのアドバイスを真摯に受け止めるように心がけることは自分自身にとって大きくプラスになることだと思います。

最後になりますが、仙台育英ではコースごとや学年ごとで様々な行事があります。勉強を頑張ることを頭の片隅に置いて、人生 1 度きりの高校生活を Enjoy する気持ちを忘れず、毎日笑顔で楽しく目標に向かって頑張ってください。

法政大学 デザイン工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
七北田中出身

基本的な質問も丁寧に教えて下さるので 先生方に遠慮なく質問しましょう

■ TTT チャレンジを通して 志望大を絞り込みました

私は仙台育英の実績と指定校推薦枠の数を見て入学を決めました。なので私は入学当初から指定校推薦を狙っていくつもりで高校生活に臨みました。その上で意識したことは内申書を良くすることです。なので、欠席をなるべくしないことや課題の提出などには漏れなく取り組みました。さらに定期考査の時は 3 週間前から手をつけ始め、余裕をもって試験に挑めるように努力しました。その際に、危ない教科に対しては放課後などに教科担当の先生を独り占めにしてテストの重要ところや解法などを気が済むまで聞いていました。仙台育英の先生方はどんなに基本的な質問をしても嫌な顔一つもせずに真摯に教えてくれるので遠慮なく聞くことができました。このようにしてテスト対策は行っていました。また普段の勉強については、得意な教科は予習、苦手な教科は復習をメインに講義の動画を見ながら行っていました。休日は、本当に勉強したくないと思ったらしないで、自分がしたいことを思う存分してました。それ以外の日はうまく勉強と遊びを両立させながらメリハリのある生活を心がけました。

次に大学の選び方です。私はおもにオープンキャンパスや仙台で行われる関東の有名大学の説明会などを元にして決めました。さらに高 1～高 2 の HR で行う TTT チャレンジで自分が行きたい学部、学科やそこからつながる職業についてしっかり調べることができたので周りの人たちよりも早い段階で大学をしばれました。みなさんも大学を選ぶ際は、大学に入ることだけでなく入った後のことも考えたら決めやすくなると思います。

■ オープンキャンパスには 3 校は参加し比較しましょう

最後に指定校推薦を狙う上でやっておくべきことのまとめです。まずは 1 年生の時からしっかり内申点と資格をしっかりとっておくことをおすすめします。たとえ行きたい大学が決まっていなくても取っておいて損は絶対にしません。またオープンキャンパスにも参加しとくと勉強の意欲が上がります。2 年生になったら文理が決まるので、自分の行きたい学部の目星がついてきます。その上で指定校推薦枠を見て、もし自分が行きたい学部が入っている大学があったらさらにオープンキャンパスに必ず参加し、自分がやりたいことと一致してるかを実際に目で見て確かめるべきです。2 年生では少なくとも 3 つは参加しているんな大学を比較するのがおすすめです。このように 1～2 年生でしっかり大学に関する知識を蓄えておくことで 3 年生の時に大学が決めやすく、尚且つ指定校推薦の選考に使われる自己推薦文にも活用することができます。指定校推薦は自分たちが想像しているよりも苦労しますが、学校から課せられる課題などを 1 つひとつクリアしていけば大丈夫なので頑張ってください。

東京理科大学 工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
成田中出身

中々結果が出なくても諦めずに 勉強すれば成績は上がります！

■自習で補いきれない範囲を 放課後講習でカバーしました

高校 1 年生のとき、始めは第一志望の高校に受からなかったショックがとても大きく、勉強をあまりしていませんでした。最低限、授業態度と宿題には気をつけていましたが、自主勉強はほとんどしていませんでした。そのため成績も右肩下がりでした。そんな生活が約半年間続いた頃、徐々に焦りを感じ始め、ようやく少しずつ勉強するようになりました。そして私は、2つのことに気がつきました。

1 つ目は、仙台育英には、勉強したいと思う生徒をサポートする環境が十分に整っているということです。例として挙げると、まず自習スペースが充実しているという点です。宮城野校舎では、放課後の空き教室、GP2 階、GP3 階、オークルーム、ミーティングルームなどで勉強することができます。それぞれ雰囲気が違うので、その日その時の自分に合った場所で勉強することができ、非常に便利でした。次に、放課後の課外講習の存在です。私は、数学、英語、理科などの様々な講習に参加していました。基礎から応用まで、自習では補いきれない範囲を幅広く、もう一度授業で教えてもらったので、自身の学力向上に大きく繋がったと感じています。

2 つ目は、勉強をすればするほど、確実に成績が上がるということです。私は毎日、きちんと勉強を続けたら、本当に成績が上がりました。しかし、すぐに結果は出ません。半年以上粘り、ようやく少し点数が上がります。今は伸びなくても、そこで諦めずに続けることが大切なのだと知りました。

■受験が不安になっても常に ポジティブでいましょう！

私が指定校推薦を考え始めたのは、高校 3 年生になってからのことでした。それまでは一般受験で国立大学を目指していました。きっかけとなったのは、物理の教科担当の、戸田先生の一言でした。「君は志望大学決まっているの？」当時私は志望大学を変えてばかりで、しっかりとした目標がなく、はいと答えられませんでした。そんな私に先生が勧めてくださったのが、東京理科大学の指定校推薦でした。しかし指定校推薦は、簡単にもらえるものではありません。枠を貰うには、高校 3 年間の評定、学力、生活態度が深く関係してきます。私は幸い、理系科目の点数が上がってきていたこと、生徒会執行部やよさこい団体『team 若獅子』で活動していたこと、3 年生の初めにハワイからホームステイを受け入れたことなどが、推薦を貰う上で役立ちました。もしこれを読んでいる後輩がいたら、現時点で推薦を考えていても考えていなくても、部活やイベント、行事にぜひ積極的に取り組んでみてください。良い経験になるし、いつか役に立つ時が来ると思います。

最後に、受験を控え、不安な気持ちであろう後輩の皆さん、ネガティブにならないでください。自分の周りに何人も、ネガティブになり病んでしまう人がいました。すると、勉強も思うように手がつかなくなります。だから常に、ポジティブでいるように心がけてください。問題を間違えても落ち込まずに、新たに知識を得たと喜んでください。または、友人や先生に相談してみてください。きっと全員励ましてくれると思います。

自分に負けないで、頑張れ！

東京理科大学 理工学部 先端化学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
中国出身

面接本番で練習と同じ問題を 聞かれて幸運でした

■担任の先生から志望理由書等
多くのご指導を頂きました

毎回の試験に対して真剣に対応して、最後まで油断できないと思いました。

私は、入学当初は一般受験を考えていました。しかし、後から指定校推薦という制度を知り、調べてみると自分の興味のある大学からも推薦枠がきていたので、指定校推薦に挑戦しました。

指定校推薦とは、高校 3 年間の中間と期末テストの成績の評定平均、校内模試、または課外活動などの評価が大きく関係しています。そのため、毎回のテスト前一生懸命復習し、苦手科目はもっと努力しました。また校外のボランティアなどの活動も参加しました。その結果、東京理科大学の平均評定値をいただくことができ、指定校推薦において重要な校内模試で上位になりました。その努力の成果が実を結び、推薦枠もいただくことができました。

早めに志望と目標を決めて、迷った時に先生に聞きました。

推薦が始まってから今の合格まで、担任の先生が何回も私の志望理由書を検査し、意見を出してくださいました。また面接の練習もたくさんサポートしていただきました。専門に関する先生と面接練習の時、色々な問題を聞かれて、大変でしたが、面接本番の時に同じ問題を聞かれて本当に嬉しく感じました。

最後に、受験するにあたって支えて下さった方々、本当にありがとうございました。後輩の皆さん、それぞれの目標を達成出来るように頑張ってください。

東京理科大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
仙台第二中出身

受験を通して人とのつながりが いかに大切かを実感しました

■積極性をモットーに掲げ

3 年間で大きく成長しました

私が東京理科大学を志望した理由は、父が同じ大学を卒業していたことにより、以前から興味があったからです。また、東京理科大学のオープンキャンパスに参加した際に、学生の方々が自主的に、積極的に活動していたことが印象深く、研究内容も自分が興味を持っていることだったため、ぜひ東京理科大学に入りたいと思いました。

指定校推薦を得るために努力したことは勉強です。私は数学が苦手だったため、まずは 6 月の校内模試までに、数学の教科書を全て解き直しました。また、受験資格として英検 2 級を取得しました。

勉強以外には、夏休みに地域貢献としてボランティア活動に参加しました。そのことによって、様々な年代の人に対して臨機応変に対応する柔軟性を身につけることができました。経営には人脈やコミュニケーション能力が重要となってくるため、この体験は私にとってとても良い経験となりました。

高校生活では、色んな人と関わり、自分から積極的に活動することをモットーに生活しました。そのことによって、多くの経験をし、精神的にも成長することができました。将来さらに多くの人と関わる上で、これらの経験を生かしていきたいと思います。

■仙台育英生ならばぜひ

推薦受験をお勧めします

受験に合格することができた一番の要因は家族や友達、先生にたくさん助けてもらったことだと思います。将来の夢を決めるときは、たくさん大人の意見や仕事内容を教えてもらいました。また、受験の面接練習は 1 人ではできないため、特に多くの人に手伝ってもらいました。休み時間や昼休みには友達と面接練習をし合い、放課後は先生に何度も面接練習をしていただきました。家でも家族や知り合いに何時間も練習につき合ってもらいました。そのため受験当日も沢山の人の励ましてもらって、自信を持って面接に挑むことができました。

この受験によって人と人とのつながりが、どれだけ大切で、自分を助けることになるかを身をもって知ることができました。

後輩のみなさんには、仙台育英に入ったからにはぜひ推薦入試を利用することを視野に入れてほしいと思います。一般入試にはない指定校推薦ならではの良い経験や考え方を持つことができると思います。

東京都市大学 工学部 機械工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
福岡中出身

校内模試の教科ではない理科や社会も 進学後を見据えしっかり勉強しましょう

■早く合格して入学後に備え
勉強したいと考えました

大学進学は高校入学前から決めていました。理系に進むことも入学前から決めていて、高校ではどの分野に進むかを考えていました。

推薦入試を目指していた理由は、早めに大学を決めて、残った半年近くを大学で使う教科の予習、復習に使おうと考えていたからです。

指定校推薦を狙うのであれば、校内模試と評定が大事です。文系なら国語と英語、理系なら数学と英語の校内模試の結果で判断されます。評定を取らなければいけないのは、校内模試の結果が良くても、大学からの条件もあり、大学を選ぶのにも評定が必要になってくるからです。つまり、1, 2 年のうちは、校内模試で必要とされる教科を重点的にやり、良い評定を取っておくことが大事だと私は思いました。それプラスで大学に入ってから必要になる社会や理科なども、少しずつやっていた方が後々楽になると思います。

東京都市大学 知識工学部 自然科学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
東向陽台中出身

高校生だからできる事を 何か一つでも挑戦しましょう

■サッカー部での実績を入試に 活かせないかと考えました

私は指定校推薦で東京都市大学知識工学部自然科学科に合格することができました。もともと自然科学や生態系分野を学びたいと思っていて、勉学に力を入れている大学を探していました。

まず、私が指定校推薦を利用しようと考えた理由として、高校の 3 年間サッカー部に所属していたことが大きくあります。サッカー部は県外からも選手が集まる大きな部でした。そのためトップチームにあがるために放課後の練習後に筋トレをしたり、少しでも多く食事をとるといった努力をしてきました。そのサッカーに費やした時間と残した成績を大学進学に最大限活かすことができる形が指定校推薦でした。ですが部活動だけ頑張っていればいいということではないと思います。私は部活動の公認欠席は何度もありましたが学校に遅刻したことや休んだことは一度もありませんでした。また、どれだけ部活動が忙しくても定期テストには全力で取り組みました。そのため、指定校推薦を獲得するには普段の高校生活をしっかりおくる必要があると思います。

さらに、指定校推薦を狙う人であれば生徒会や学校行事の実行委員に参加するのも評価につながると思います。進学を考えるなら積極的に考えてみてください。

■幅広く物事に触れることで 自ずと道は拓けます

そして、もし推薦で合格しても、勉強をおろそかにするべきではないと思います。私の場合、合格発表の 2 週間後に合格者ガイダンスがありました。そこでは、理系科目の他に英語に力を入れて勉強することと、自分の興味のある分野を探究しておくことが重要だと感じました。指定校推薦で合格し、時間にゆとりのある人はこのような点に気をつけてみると良いと思います。

また将来の目標や何をしたいか決まっていない人も多いと思いますが、今好きな物や興味のある分野を深く触れてみたり、幅広く物事に触れることで、自ずと自分の道が拓けてくると思います。若さは最大の武器とよく言われますが高校 3 年間にしかできないことを何か 1 つ挑戦してみてはどうでしょうか。

東洋大学 国際学部 国際地域学科国際地域専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
上杉山中出身

ここでしかできない貴重な経験ができた 仙台育英での 3 年間は一生の財産です

■合格を聞き安堵した瞬間は
今も鮮明に覚えています

第一志望である東洋大学に指定校推薦という形で合格でき、心から嬉しく思っています。しかし、合格に至るまでに多くの努力と困難がありました。

指定校推薦はまず、校内で大学の限られた枠を勝ち取らなくてはなりません。そのために重要なのは校内模試、定期考査の成績、生活態度、様々な資格です。特に校内模試は最も重要だと 1 年生の頃から先生に言われていたため、早いうちから対策し始めました。私は現代文が苦手だったため、毎日センター入試や校内模試の過去問を繰り返し解きました。それにもかかわらず、校内模試は思うように結果が残せず悔いが残りました。しかし、これまでの学習成績や資格、ボランティア活動に参加したことを生かしたかったため、指定校推薦を受けたいという気持ちは変わらず、先生や親と相談し、受けることに決めました。無事、校内での内定を頂くことができ、担任の先生から連絡を受けたときに安堵した瞬間は今でも鮮明に覚えています。その後大学での試験である面接を受け、合格することができました。

■学びたいことで溢れている
第一志望に合格し嬉しいです

私が指定校推薦で内定を頂くことができたのは、日頃の学習、定期考査対策、資格の取得があったからだと考えます。定期考査は全教科 90 点以上という目標を立てて毎回対策に励みました。努力が実を結び全教科平均評定 5.0 という成績を修めることができ、私の強みとなりました。資格は推薦条件として多くの大学が英検 2 級以上を定めているので取得しておくべきです。

私は外国語コースでの 3 年間を通し、様々な経験をするにより、人間として成長できたと思います。語学研修で訪れたハワイや留学生と共に生活できたこと、仙台育英でしかできない貴重な経験は一生の財産です。そして私の学びたいことで溢れている東洋大学に合格でき、先生、支えてくれた仲間、両親に感謝しかありません。仙台育英の代表として恥じぬよう、これからも日々努力し続けたいと思います。

東洋大学 国際観光学部 国際観光学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
桃生中出身

仙台育英だからこそできた貴重な経験を 生かして大学ではさらに成長していきます

■ グランドスタッフに必要な 素養を身に付けたいです

東洋大学国際観光学部国際観光学科では、観光学を学び、2 年次からは 5 つのコースに分かれ、各分野の専門的知識を学ぶことができます。また、座学だけではなく海外でのインターンシップや語学研修、グローバル企業での実務研修があります。私は将来グランドスタッフになりたいという目標を持っているため、自分に必要な能力や多国籍な環境で働く力を養うことができると思い、東洋大学へ進学することを決めました。

私は剣道部に所属していました。技術面や精神面を鍛えるだけではなく、副部長としてチームを引っ張り、周りを見て臨機応変に対応する力を養うことができました。また、2 年次にはサイパンで剣道の交流をしました。他国の人々と日本の伝統的なスポーツを通じて交流することで、自国の文化を発信し共有する楽しさを学びました。部活動での遠征が多かったけれど、勉強と両立できるよう毎日の学習は欠かしませんでした。

■ 第二外国語を学んで 世界が広がりました

外国語コースでは特に英語に力を入れて学習する他にも第二外国語を学ぶ機会があり、私はスペイン語を選択していました。第二外国語を学ぶことで自分自身の世界も広がりました。そのため、私は大学でもスペイン語の学習を続けたいと考えています。

また、1 年次のハワイ研修では英語力の向上と共にハワイの自然や文化を体験できました。茶道や華道の日本伝統文化の授業では、礼儀作法や感謝をする心、相手をもてなす心を学ぶことができました。

高校 3 年間は、勉強に部活動に、とても充実した学校生活でした。仙台育英に入ったからこそできた経験がたくさんありました。この 3 年間の経験を生かし、大学ではさらに成長し、目標に向かって自分の力を最大限発揮できるよう頑張りたいと思います。

日本大学 国際関係学部 国際教養学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
山形 酒田第三中出身

高校 3 年間で充実した時間であるほど 進路の幅も広がっていきます

■予復習に力を入れクラスで 高順位を維持しました

私が日本大学の指定校推薦を得るために努力したことが 2 つあります。

1 つ目は、学習面です。私は、毎日の授業に真面目に取り組み、予習・復習に力を入れました。テスト期間には、自主学習の時間を 1 日 4 時間以上を目安に勉強しました。成果はしっかりと表れ、3 年間の定期テストでクラス順位 5 位以内を維持することができました。

2 つ目は部活動です。3 年間女子サッカー部に所属し、ケガや問題で苦しい時期がありました。ですが、それらを体験したおかげで、自分自身の成長に繋がり、良い経験になりました。

■得意な英語を活かすことが できる学部を選びました

私が志望した国際関係学部は全国の多くの大学にあります。そこで日本大学を選んだのには、留学制度や 2 ケ国語選択など魅力的だと思ったからです。

私にとって高校とは、基礎の土台をしっかりと固め、心身共に成長する場だと思っています。大学に進学する人も就職する人も、高校 3 年間はとても濃く充実したものになると思います。この 3 年間でどう過ごすかによって進学先の幅にも関わってきます。将来の夢や目標がない人は、ある程度方向性を考えておくの良いと思います。私自身も将来の夢など全く決まってませんでした。ですが私は英語が得意だということを武器にしていこうと思い、学部を決めました。

1・2 年生の皆さん、今しっかり何事にも取り組んでいれば、大丈夫だと思います。頑張ってください。

日本大学 工学部 建築学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
仙台 中田中出身

色々な事に興味や関心を持つことで 進路選択の幅が広がります

■ 1 年次の文理選択では 最後まで悩みました

私が大学を決めたきっかけを少し述べようと思います。大学を決めたのは、2 年生のとき、仙台育英に来てる指定校推薦の一覧を見ていたときでした。そこにあった大学のオープンキャンパスに行って、私にもここでなら学べると思ったのがきっかけです。しかし、この大学を選ぶには、1 年生の時に文系か理系のどちらにするかで大きな分岐点になりました。私は、文系の道に進んでも理系であってもどちらにも興味があったので、最後まで悩みながら理系を選択しました。

■ 授業や定期テストへの姿勢が 高評価につながります

次に、指定校推薦を貰うためには少しでも校内模試で良い結果にしようと勉強はしておいた方が良かったと思います。勉強をしておくことは、基本的なことなので知っていることですが、基本的なことを行っている人が校内模試で良い結果になります。校内模試で良ければ貰えるのではなく、定期テストや授業が悪いと評定が足りなくて断念する結果になります。結局は、日々の生活が大事であったと思います。

最後に、私は 1 年生の時からオープンキャンパスに行き、大学の事を調べていました。その結果、色んなことに興味を持ち、学びたい大学を選ぶことができました。私は、色んなことに興味を持つ事で選択肢を増やせました。私が、こうであったからといって同じような事をする必要はありません。ですが、大学を選ぶのに悩んでいるのなら、色んなことに興味を持つ事で大学を探すのも良いと思います。

駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
稲井中出身

壁に当たった時は遠慮せずに 先生方を頼り相談してみましょう

■進んで沢山の先生方に 相談しご指導頂きました

私は、広い世界に出て、勉学に励みたいと考え、仙台育英に入学しました。仙台育英で学ぶなかで、英語について専門性を深め、東日本大震災をキッカケに興味をもった情報についても学びたいと考えました。その結果、駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科を第一志望大学に決定しました。

ここを、受験するにあたって、一般方式で受験するか、指定校推薦にするか悩んでいました。しかし、私は、外部の模試で安定して点数をとれず、不安なまま受験をするよりはと考え、指定校推薦に決めました。

定期考査を頑張ることと、生活態度を乱さぬようにすることはもとより、3 年次にある推薦に必要な第 1 回校内模試に向け、国語科の先生に自主的にプリントをもらいマンツーマンで指導してもらったり、往復の通学時間を使って勉強したりしました。

また、推薦枠をもらう前も、もらった後も志願理由書や面接など自ら進んでたくさんの先生に相談をして、指導していただきました。そのおかげで合格することができたのだと実感しています。

■仙台育英に入学し心から 良かったと思っています

私ひとりでは、無理でした。合格することができたのは、友達や家族そして特に、担任をはじめとする沢山の先生方の力添えあってです。

だから、私は、アドバイスしたいことがあります。それは、先生方を良い意味で使うことです。私自身、入学時に、ある先生から「仙台育英にはエキスパートが揃っている。うまく使いなさい」と言われました。その通りだと思います。どれほど忙しくても、担任や学年のスタッフでなくても、先生方は手を差し伸べてくれるので、壁にぶち当たった時は、遠慮せずに頼るべきです。

私は、仙台育英に来て心から良かったと思っています。

夢に向かって頑張ってください。

学習院大学 文学部 英語英米文化学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
仙台第二中出身

色々な事を経験できる仙台育英の環境で 自分がやりたいことを見つけましょう！

■海外研修での貴重な経験が 学部選択にも繋がりました

私は 1 年生の頃から指定校推薦を視野に入れつつ、模擬試験での成績が上がるように勉強してきました。初めから英語に興味があったので、文系教科の中でも英語を中心に勉強しました。特別進学コースは模試をたくさん受けるので、模試の結果から自分の弱点ポイントや成績の推移が分かるので、模試を重ねていくうちに安定した点数を出すことができました。模試を受け、センター型の問題になれていたのも、指定校推薦で重要な校内模試でも良い結果を出すことができました。また、指定校推薦は評定も大事になるので、1 回 1 回の定期考査も大切に勉強しました。特に苦手教科で点数を落とさないよう、分からない所は友達や先生に聞き、常に上位をキープできるようにしました。東大選抜クラスのみならず意識が高く自習スペースの環境も整っているので、私の勉強の力となりました。日々の積み重ねが、校内模試や定期考査での良い結果につながったと思います。

また、私は英語に興味があったので 1 年生の時にハワイ研修と 2 年生の時に NY 研修に参加しました。ホームステイや英語劇など日本ではできない経験がたくさんでき、さらに英語を学びたいと思う貴重な経験となり大学の学部を決める 1 つの理由にもなりました。高校 1 年生の頃はスカイプを通して NY の高校生と週に 1 回会話をしました。コミュニケーション力がただけではなく、アメリカの学生の生活の様子を知ることができました。指定校推薦で合格するには資格を取ることも必要だと思います。私は英検を取得しましたが、ここで終わりではなく、さらに他の試験や上のレベルにも挑戦したいと思います。自分の好きな分野・興味のある事において、たくさん挑戦し学んでいくことが大切だと思います。

■部活動や課外活動を通して 地域の方々と交流しました

私は茶道部として活動し、また校外でチアリーダーとしても活動してきました。茶道部では育英祭・オープンキャンパスや、国際ロータリークラブの方々へのお点前などをしました。チアではホームゲームで応援するだけでなく、仙台を代表する有名なイベントから地域のお祭りなど様々な場所で活動し、地域の方々と交流することができました。皆さんと近い距離で一緒にイベントを通し仙台を盛り上げられるよう地域貢献しました。

仙台育英で自分がやりたい事を見つけ、様々な事を経験できる環境で高校生活を送ることができ、志望大学に合格し嬉しく思います。皆さんも自分の学びたい事を見つけ、日々努力を積み重ねていけば良い結果につながると思います。最後まで諦めず、充実した高校生活を送れるよう応援しています。

獨協大学 外国語学部 英語学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
沖野中出身

オープンキャンパスへの参加に加え 検定資格取得と諦めないことが大切です

■「語学の獨協」で英語力を 磨きたいと考えました

私は獨協大学外国語学部英語学科に合格することが出来ました。私は第一志望の公立高校に合格することが出来ず、「逆転の仙台育英」という言葉を信じて本校へ入学しました。入学当初から国公立大学への進学を目標として勉強に取り組んできました。高校生活の折り返し地点を過ぎた 2 年生の冬頃、自分の進路について悩んだことがありました。そこで私は、自分が何をしたいのか原点へ戻って考えました。考えた末、私は幼い頃から学んできた自分の武器の一つでもある英語の高度な運用能力を身につけ、近年著しく進行するグローバル社会について学びたいという結論に至りました。私はすぐにこの条件を満たす大学を探し始めました。その条件を満たしたのが、「語学の獨協」とも呼ばれる獨協大学でした。外国語教育が充実し、英語学科の専門コースのうちにグローバル社会コースがあり、実際にオープンキャンパスに参加し、模擬授業や校内の雰囲気を感じ、この大学を第一志望にすることを決めました。幸運なことに自分が志望する英語学科の指定校推薦の枠が 1 枠あることを知り、指定校推薦を目指すことを決めました。

■英語関連の検定試験を 精力的に受験しました

指定校推薦を目指す上で大切なのは 3 年間の内申や生活態度、そして「校内模試」の成績です。私は、1 年生の時から指定校推薦を使う場合も想定し、しっかり対策をして定期考査に取り組んできました。3 年生になってからは、推薦に関わる第 1 回校内模試に向けて猛勉強しました。推薦を頂くには、この模試で文系は国語と英語の 2 科目で 100 位以内にいることが望ましいということだったので、私は 30 位以内という目標を立て、何度も過去問やセンター型の問題をときました。その甲斐もあり、目標よりも良い成績を残すことが出来ました。また、生徒会執行部に所属していたことも大きな強みになりました。当然のことですが、大学の指定する出願条件を満たすことも重要です。私は、在学中に英検や TOEIC・GTEC-CBT などの様々な英語外部試験を受験しました。そのおかげで条件の英語外部試験の指定スコアを上回ることが出来ました。提出する志望理由書は何度も何度も書き直し、内容をまとめたことによって面接では堂々と話すことが出来ました。

私がこうして合格することが出来たのは、面接や自己推薦書等の指導をしてくださった先生方、話を聞いてくれた友人や家族など色々な人のサポートのおかげだと思っています。後輩のみなさんへのアドバイスは、気になる大学のオープンキャンパスに行ってみること・様々な検定や資格にチャレンジすること・諦めないことの 3 つです。仙台育英で過ごした 3 年間は充実したものでした。みなさんも充実した高校生活を過ごし、自分に自信をもって、それぞれの進路達成に向け頑張ってください。応援しています。

獨協大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
石越中出身

進路は早いうちから決定し 明確な目標を立てましょう

■大学では英語力を磨きながら 公務員を目指していきます

私が大学進学をめざしたのは地元で公務員として社会貢献をするための勉強をしたかったからです。また、私の得意な英語を伸ばしたかったことも大学進学を目指していた理由です。私は検定取得や生徒活動、ボランティア、国際交流に力を入れてきたので、それらを生かしたいと考え推薦入試を希望しました。指定校推薦をずっと考えていたので評定を出来るだけ高くするよう努力しました。授業のノートをきちんと写したり、提出物の期限を守って提出する事は当たり前ですが私は大切に考えていたので慎重に行いました。定期考査対策では早めに始め分らないところは友人や先生に聞くなどして対策しました。資格取得面では英語検定に何度もチャレンジしました。英語検定だけではなく N 検や情報処理関係の資格も取得し周りとの差をつけるように努力しました。小論文対策は小論文の授業の冊子を何度も読み過去問を解き先生に添削して頂きました。

■志望大が決まらず周りを 心配させてしまいました

私が獨協大学を受験したのは、法律のカリキュラムが充実している事、語学に力を入れているという事を魅力に感じたからです。私は受験する大学をなかなか決められず両親や先生を心配させてしまいました。夏休みギリギリに志望大学を決め、自己推薦文を書く事も遅く先生に迷惑をかけてしまいましたが、獨協大学の校内推薦を受験し指定校受験する事が出来ました。そして、合格する事が出来ました。合格できたのは担任の先生や面接・小論文の対策をしてくれた先生のおかげなので非常に感謝しています。私は早いうちから志望大学を決めず目標達成するための努力をせずに後悔したのでこれからの人には早いうちに目標を決定し実現するように努力した方がいいと思います。

成城大学 文芸学部 国文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
蛇田中出身

高校生活でのあらゆる経験や実績は そのまま自分の価値になります

■留学生の姿を見て国文学の 奥深さに興味を持ちました

私が大学進学を目指した理由は、自分の得意な分野で社会に役立つ人材になるために、大学で専門的なことを学び、将来に生かしたいと思ったからです。また、仙台育英に進学しようと決めたのも、充実した指定校制度があったからでもあります。

私は外国語コースに所属し、日本伝統文化、第二外国語の学習、ハワイ研修など、自国の文化を学ぶと同時に、グローバルな環境で勉強を励んできました。クラスメイトである勤勉な留学生から日本に対する関心や日本語、国語の授業を学ぶ難しさを教わり、日本人の知らない国文学の奥深さに興味を抱いたことがきっかけとなり、国文学科を志望しました。

私は当初、合格した大学とは異なる大学を指定校推薦を使って受験しようと考えていましたが、その大学からの推薦依頼はありませんでした。その際は、非常に焦り、振り出しに戻ったような気がしました。ですが、最後まで諦めることなく、さらに目標を高く持ち、レベルを下げず上を目指しました。今では自分に合った大学に巡り会えたと思っています。

試験内容は書類と面接でした。面接練習は苦ではなく、自分のことを良く知れる良い機会で、回数を重ねるほど大学でやりたいことなどを明確に自覚することができました。

■何でも積極的に挑むことが 成長につながります

受験を通して大切なことは、日々の努力だと改めて実感しました。評定を下げないように 3 週間程前からテスト対策を始めたり、何を学んだかだけでなく、どう学んだかに重点をおきました。また、部活動、海外研修、資格取得、ボランティア、室長など、積極的にこなし、自らチャンスを掴み成長することを目標に学校生活を送ってきたことが、受験の成功に繋がりました。そして、周りの人の支えを強く実感できました。大学生活を通して、恩返しできるように頑張りたいと思います。

これから受験する皆さんは、どんな状況でも最後まで諦めることなく、努力を惜しまず、自分に自信と目標を持つと良いと思います。高校での経験や実績が自分の価値となります。何事にも早めに取り組むことが肝心です。余裕を持って様々なことに挑戦し、時間を大切に使い、志望の大学に合格できるよう頑張ってください。応援しています。

日本女子大学 文学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
南光台中出身

推薦入試を受験するにあたっては 出願のシステムを確認しましょう

■志望大の推薦枠があれば
ぜひ挑戦してみてください

私は指定校推薦を利用して、日本女子大学への入学を決めました。私が指定校推薦を利用した理由は、部活動の引退が 10 月と他の部活よりも長く、それから受験対策するのでは時間が足りないと考えたからです。大学での受験こそ 11 月末でしたが、9 月中旬には日本女子大学の指定校推薦枠を頂けることが決定していたので、最後まで部活動に集中することが出来ました。もし、行きたい大学の指定校推薦枠が仙台育英にあるのならば、それにぜひ挑戦して欲しいと思います。

しかし、指定校推薦は決して楽ではありません。語学資格や評定平均値の条件がある大学がほとんどです。指定校推薦を利用しようとするのなら、行きたい大学が課している条件を早い段階で意識する必要があります。校内選考では、3 年生の 6 月中旬に行われる校内模試の成績が重視されるので、勉強も他の人より早く始めるべきだと思います。

今回私は指定校推薦について書きましたが、指定校推薦でも他の入試方法でも、やはり、早くから受験準備をするにこしたことは無いと思います。これから受験を控える皆さんが後悔することがないように、早め早めの対策を心がけましょう。

明治学院大学 文学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
愛宕中出身

推薦入試を考えていない人も 1 年次から できる限りのことをしましょう

■推薦入試を受けられるように 高評定をキープしました

私は高校 3 年になるまで、ちゃんとした志望大学は決まっておらず、指定校推薦入試を利用するつもりもありませんでした。しかし、入学してからずっと地道に勉学に励んできました。それは中学生の時に 1 年生の時からしっかり勉強してこなかったことを後悔していたからです。提出物は必ず出し、定期テストも評定を落とさないように最大限努力しました。テスト前や模試の前は学校の自習スペースを利用して勉強しました。推薦を利用するという手段を残せるように評定をキープしてきました。そういった努力が実って、今回合格という結果を残せたのだと思います。

さらに、資格取得や外部活動はできるだけ行っておくと思います。私は英検を毎年受け、英語力の向上を意識していました。英検の勉強でついた語彙力や読解力、リスニング力は受験勉強をするにあたってとても役に立ちました。さらに海外留学に挑戦したことも英語力の向上に繋がったと思います。英語系の学部に行くことを初めから考えていたわけではないですが、英語を勉強することに興味があったのでずっと続けてきました。自分の興味のあることには積極的に挑戦していくことが将来に繋がっていくと思います。

たとえ推薦を視野に入れてなかったとしても、入学時からできる限りのことをしていくことで、選択肢が増えてくると思います。また、指定校推薦を受ける際には志望理由書の作成が必須です。自分がどうしてこの大学、この学部に入りたいのかを明確にしておくことをお勧めします。

最後に、私の経験がこれから大学入試を控えてみなさんに少しでも役に立てば幸いです。大学合格までは長い道のりに感じますが、後悔の無い高校生活になるように日々勉強を頑張ってください。みなさんの健闘を祈っています。

明治学院大学 法学部 消費情報環境法学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
高崎中出身

周りに惑わされることなく一直線に 目標達成に励むのが合格へのカギです

■校内模試対策は過去問の 分析に力を入れました

私が指定校推薦を頂くにあたって一番意識したことは 6 月に行われる校内模試です。先輩方に「指定校推薦が欲しいのなら必ず対策しておかないとだめだよ」と何度も言われていたので入念に準備しました。過去 3 年分の問題を解きなおし出題傾向を掴むことで、得意な国語で高得点をとることができ、苦手な数学でも高い順位をとることができました。英語に関しては、一般入試でも利用できることから、3 年生の夏までに英検 2 級を取得できるよう計画的に勉強しました。

希望としている大学を含めていくつかの大学のオープンキャンパスに行くことも大学選びには、欠かせないと思います。実際に大学の説明を聞き、比較することで、自分の進路も明確になると思うからです。指定校推薦のために書く自己推薦書を書く際にも、オープンキャンパスに行ったことで得た情報はとても役に立ちました。私が推薦書を書くときに、一番苦労したことは自分の長所を挙げることでした。この部分を書く際に両親や友人に相談し、何とか書き上げることができました。何かにつまずいたときに助けてくれる友人の存在はとても大きく、感謝しかありません。

■行事への積極的な参加で 学校生活がより充実しました

私は、2 年連続で体育祭実行委員を務めました。生徒主体という目標を掲げ、皆が楽しめるように運営に尽力しました。また私は水泳部に所属していました。勉強が大変でついていくことができるかどうか心配でしたが、部活のない日は学習スペースを利用し、わからないことは先生方に質問したり、周りの友人と一緒に勉強し理解を深めました。そのおかげで部活と勉強の両立を 3 年間続けることができ、さらに普段の生活でもメリハリをつけて過ごすことが出来るようになりました。勉強だけでなく学校行事にも積極的に参加したことで充実した学校生活を送ることができました。

3 年間を通して周りに惑わされず、自分の決めた目標に一直線で向かっていくことが、合格へのカギになると私は思います。

玉川大学 経営学部 国際経営学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

高校での日本語や英語の学習を通して 諦めずに努力する大切さを学びました

■中国の企業でも活躍できる スキルを習得したいです

玉川大学の経営学部国際経営学科グローバルビジネスコースでは私が学びたい分野を学べるだけでなく、世界を見据えたビジネス活動を学ぶことに重点を置いており、授業が多角的に展開されていることから中国で経営している会社にも通用する知識を身につけられると思いました。そこで身につけた知識は企業で働く上での実践力になると考えます。また、日本語だけでなく、英語との両言語を通じて世界基準の経営学を学ぶ Dual Language Program も実施されており、世界で活躍できるところに魅力を感じました。少人数制の授業もあり、講義形式の授業より質問ができるので、他の学生との話し合いも活発に行えることから、より深く学べると考えています。

■積極的に友人と関わり 日本語が上達しました

私は日本に 3 年半留学しています。私が高校生活において、特に努力したのは語学学習です。日本に来たばかりの頃は日本語での授業にとっても苦労しました。しかし、こつこつと地道に基礎から学び、積極的にクラスの友人とかかわることで、今では留学してきたときよりも日本語が上達したと思います。それに伴い、英語の学習にも力を入れ、TOEIC では日本に来る前よりもスコアを上げることができました。また、第二外国語の授業では、スペイン語を選択し、様々な言語取得に向けて努力してきました。言葉を学ぶことは簡単ではありませんが、高校時代の語学学習を通して、最後まで諦めずに努力することの大切さを学びました。現在はさらに語学力を高めるために日本語能力試験や TOEIC などの各種検定の勉強に取り組んでいます。

以下の事項は注意が必要です。

1. 留学生については、日本語 N2 の資格を取ってなければなりません。
 2. 英検や TOEIC は、必ず準 2 級以上の資格を取るべきです。
 3. 指定校推薦の準備をする前に、必ず先に先生と話し合わなければなりません。わからないことは必ず先生に聞いてください。
 4. 自己推薦文を真剣に準備してください。大切です。
- 皆さん、頑張りましょう！

玉川大学 リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

部活動で多くの大会やイベントに参加し 仲間と協力する大切さを実感しました

■国際関係と日本社会の両方を 深く学んでいきたいです

私は玉川大学へ進学しました。玉川大学のリベラルアーツ学部は複数の学問分野を学び幅広い知識と視野を養うことができます。また、少人数制クラスがあり、教員と学生の距離が近く、相談、討論しやすい環境だと考えます。基礎知識を蓄えてから、2 年次は「国際関係」に進みたいと考えています。国際貿易、国際協力を学びながら、日本文化研究も学び、国際社会と日本社会への認識を同時に深めたいと考えます。また、玉川大学には体験学習があり、海外で学ぶ機会も多くあります。

私の家族は中国で、日本との貿易の会社を営んでいます。小さい頃から家族の影響を受けて、「日本は一体どんな国なのだろう」と日本に興味を抱いていました。それからは日本語の勉強に励み、日本への留学を決意しました。自分の経験から中国と比べると、日本のサービスは高いレベルであると感じました。自分もこのように、サービスを通しての日中関係を促進したいと考えています。

私は指定校推薦を受けました。最初は、第 1 回の校内模試の順位が重要です。試験の前は、毎日過去のテストを解き直し勉強しました。それから、評定値も大切です。3 年の平均評定値は志望大学の基準をクリアしました。一番大切なことは自己推薦書です。志望大学の志望理由と自己アピールなどを書きます。また、私は日本語入力試験と英検 2 級を取得しました。そのためには休日に試験の対策問題を何度も勉強しました。

■日本語を積極的に話すことで スキルを上達させました

また、私は高校では勉強以外に書道部に所属し、先輩方に助けてもらいながら、毎日練習を重ね、短い時間でみんなに追いつけるように努力しました。書道部では留学生主任を務め、毎日日本語を積極的に話すことで日本語力を上達させました。また、様々な大会にも参加し、宮城県高校生選抜書展の審査員特別賞や全国書道展の銀賞、川開書道展の金賞などを受賞することができました。部活動を通して多くの貴重な経験をし、書道を始めたことで、以前よりも集中できるようになりました。また、仲間と協力することの大切さを身をもって感じました。

後輩のみなさんは、授業中は真面目に先生の話聞き、ノートをきちんと書くことで、授業を深く理解するように努力しましょう。

私の高校 3 年間は、色々なことに挑戦し、成長することができました。

玉川大学 観光学部 観光学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
広瀬中出身

大学生活を通して未来像を明確にし 目標に向かって勉学に励んでいきます

■推薦枠を得るには評定の 目標を高く設定しましょう

私は抽象的ですが観光系の仕事に就きたいと思い、指定校推薦での大学進学を目指しました。大学合格に向けて特に取り組んだことは 3 年間良い評定を維持することです。外国語コースでは、指定校推薦を利用する生徒が多いですが、評定が悪ければ志望大学の基準を満たすことができません。オール 5 を目標にする位で定期考査に向けて勉強しました。

また、資格は 1, 2 年生のうちにたくさん取っておくべきです。資格を取ったという事実だけでなく自分の強みや試験を受けるときの自信になります。私は卒業近くになって英検よりも TOEIC を何回も受ければ良かったと思います。それは英検は級が限られているが TOEIC は自分の英語力を点数で細かく出すことが出来るからです。

指定校推薦では学校生活を模範的に送ることが重要です。まずは、学校生活からしっかりと自覚を持たなければなりません。身だしなみや挨拶をしっかりするべきです。

■不安が無くなるまで 面接練習しましょう

また、私は高校生活はほぼ部活動ばかりをしていて、受験シーズン近くは不安になったけれど絶対アピールになると思います。何か一つに集中して取り組むことが大切です。定期考査では、赤シートを使って勉強する方法をずっとしていました。定期考査は勉強すればするほど点数が取れるから一生懸命勉学に励むべきです。また、3 年生の大事な模試のために 1 年次から校内模試に取り組むべきです。100 位以内に入っても気を抜かず、上へ上へ目指せると良いと思います。

大学入試の対策としては、多くの先生方と面接の練習を何度もして、自信を持って試験に臨めたことは良かったと思います。少しでも不安があったら、その不安が伝わってしまうと思います。また、面接では挨拶が一番大切だと思うので、第一印象を良くするために元気に笑顔で挨拶をして目を見て話すのが大切です。自分のことを過剰にアピールして貴学に入りたいという思いを簡潔に話せると良いと思います。

私は、夢はそんなに決められるものではないと思います。今はとても抽象的な目標しか持っていないけれど、大学生活を通して自分の夢を見つけて、その目標に向かって勉学に励みたいです。

東京経済大学 現代法学部 現代法学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
山形 鶴岡第三中出身

面接練習は複数の先生や友達同士など 多くこなすほど自信が深まります

■先輩からの話を参考に 進学先を決めました

私の 1 つ上の先輩が東京経済大学の指定校推薦で入学していて東京経済大学について多くの情報を教えてもらうことができました。私はオープンキャンパスにも参加しましたし、東京経済大学に入りたかったのでネットや先輩などからどういう大学なのか設備や卒業後の進路はどうしていくのかなど詳しく調べ色々な情報を取り入れることができました。

大学に進学したいと思っていたので、毎日休まず学校に通い出席日数を減らさないよう健康に気をつけ日々勉強に励み努力を積んできました。

東京経済大学は、東京都の国分寺市という場所にあり、国分寺駅というところから徒歩 15 分なのでとても通いやすく都心へも簡単に行けます。東京経済大学は設備が充実しているので、この大学なら就職活動や勉強に集中できると思い選ぶきっかけとなりました。

■普段の授業態度も 先生方は見ています

東京経済大学の指定校推薦の試験内容は、面接のみでした。私は指定校推薦で東京経済大学を受験すると決まってから受験日まで 1 ヶ月近く時間があつたので部活と並行しながら色々な先生方と面接練習をしてきました。面接練習も最初の頃は全く受け答えができず、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし授業と授業の合間に友達と練習をしたり、家に帰ってから自分で練習したりで、努力を重ね自信を深めていきました。受験当日はひどく緊張し、少しミスをしてしまいましたが、無事合格することができました。

私自身経験しましたが、面接練習の時間は多ければ多い方がいいと思います。また、色々な先生にお願いしましょう。色々な面接に対応できる力をつけておかないと、本番の時にとてもあせると思います。

高校 3 年間を振り返ってみると長いようで短く感じる 3 年間でした。特に 3 年生の 1 年間はあっという間でした。日々の授業から先生方には見られているので、テストだけを頑張るのではなく、授業からしっかり取り組むことが大事だと思います。

東京経済大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
富沢中出身

推薦枠を頂けなくても後悔しないよう 授業や考査等に全力で取り組みました

■夢の実現までを逆算して考え 志望大がすぐに決まりました

私は志望大学を決める際、将来の夢を叶えるために何をすべきかを逆算して考えました。大学で学ばなければならないこと、自分が今すべきことなどが自然に見えてくるので、スムーズに志望大学を決めることができました。自分が今からやるべきことを考えた時に、自分が志望する学部の勉強をすることが必要だと思いました。指定校推薦を利用すれば、一般入試の人よりも自分の学びたいことに費やせると考え、指定校推薦を利用しようと考えました。指定校の枠は大学数で見るととても多いですが、一つ一つの大学として見ると、どうしても 1 人か 2 人のところが殆どとなってしまいます。自分の行きたい大学に行くためには、この少ない枠を勝ち取らなければなりません。そのためにも、日頃の授業、家での学習、定期考査などに全力で取り組みました。もし、枠がもらえなかったとしても、やるべきことをやっていたら後悔しないだろうと思ったからです。自分は受験資格を得ることができ、頑張った良かったと思ったし、努力の大切さを改めて感じました。

■友達と楽しく過ごせる日々は 限りがありとても貴重です

人によって進学する理由は様々だと思いますが、私は将来の夢を叶えるために進学することを決めました。ですから、合格した今も専門分野の学習をしています。大学に入ってから勉強するから、と言う人もいますが、大学で勉強してつまずくよりも、今のうちにつまずいて疑問を解決させておいた方がよりスムーズに進めることができると考えたため、基本からコツコツ勉強しています。

3 年生になってから後悔したことが一つあります。それは、友達との関わり方です。皆の進学先が決まってくると、様々な地域に進学することがわかり、とても哀しい気持ちになりました。皆と過ごす日々は当たり前ではないということを皆さんには認識してほしいです。

東京経済大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
宇都宮 星が丘中出身

指定校推薦を目指すならば資格取得や 行事などにも積極的に取り組みましょう

■自分のやりたいことを考えたりしておく、
やるべきことがわかると思います

私は指定校推薦での大学進学を決めました。私は、日々の定期考査の点数は落とさないことだけは頑張っていました。1 年目から努力し、ほぼ高得点をおさめました。その結果もあり、指定校推薦枠をいただくことができました。これからまだまだ進学を決める目指す後輩の皆さんは、資格を取ること、色々なボランティア活動に参加すること、定期考査の点数を落とさないこと、これが指定校推薦を取るためには必要なことだと思います。これからの日々の時間をムダにせず勉学に励んでほしいと思います。

大学進学をどのように考えてくるかによって、3 年間で力を入れてくることは変わるし、違うものに力を入れるとこの先の就職まで影響します。自分のやりたいことを大雑把にでも考えたりしておく、やるべきことがわかると思います。1 年目から進学のシステムを知っておくことが頑張れるコツかなと私は思います。

大東文化大学 外国語学部 英語学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
みどり台中出身

憧れの教授のご指導を受けるという夢を 諦めきれず何度も挑戦しました

■大東文化大学の川本教授の 元でサッカーをしたい

私は将来、体育教師になりたいという目標があったので、大学進学を決めました。私は小学校の頃からサッカーに打ち込んできました。高校では女子サッカー部に所属しました。高校 2 年生まで試合のメンバーに選ばれない一方で、周りの選手が出場している姿を見て、不安で心が折れそうでした。その頃、男子サッカー部の顧問であり、私の体育の授業の担当でもある先生と出会い、考え方や行動が変わりました。そして、この先生のような体育教師を目指すきっかけになりました。

大東文化大学は、サッカーでは関東大学サッカーリーグ戦の 1 部に所属し、強豪な大学の 1 つであるので、全国から集まる同じ夢や目標を持った仲間とともに競い合い、コミュニケーション力や自分自身のサッカーの競技力を高められると確信しました。また、女子サッカー部の監督であり、スポーツ科学科の教授でもある川本先生のもとで、サッカーだけでなく、大学の授業の学びも深められることが決め手でした。そして、何よりも勉強と部活動の両方ともできる環境が整っています。

■大学でも学問とサッカーの 両立に努力していきます

受験方法はスポーツ科学科の自己推薦で受験しましたが、年々とスポーツ科学科を受験する生徒が増え始めているため、倍率が高く結果は不合格となってしまいました。次に受験する際に、同じ学科の後 2 回ある入試を受けようかすごく悩みました。やはり、大東文化大学の川本先生のもとで、サッカーをしたいという思いが強かったので、確実に合格できる指定校推薦で受験することに決めました。学科は最初に考えていた学科とは変わってしまいましたが、大学入学後は色々なことにチャレンジし、他学部、他学科開放科目履修制度も利用し、勉強とサッカーの両立は大変だと思いますが、日々努力し続けます。

高校生活では、部活と勉強の両立を心がけてきました。効率良く取り組むことで両立してきました。部活動で限られた勉強時間の中で、先生が授業で発言した大事なポイントや、テストに出すと言われた場合はきちんとノートを取ることや、電車やバスなどの移動時間は教科書を読むなどの工夫をし、少しでもテストで得点が取れるようにしてきました。その結果、高い成績を取ることができました。

帝京大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

留学生は資格の取得を含めて 日本語の勉強が最も大切です

■経済について幅広く 学べる所に惹かれました

私が経済学科を志望する理由は父が会社を経営しているので、子供の時から経済について強い興味を持っていたからです。帝京大学の経済学部は経済に関連した様々な科目があり、自分が興味を持っている分野から経済学を学び少しずつ関心を広げられることと、幅広い分野を学ぶことができるからです。経済学科では講義だけでなく、現代英語やライフデザイン演習、スポーツビジネス概論などの実践力を高めるプログラムがあるところにも魅力を感じました。

■日本での暮らしについて TV ドラマを参考にしました

留学生にとって一番大切なことは上手に日本語を勉強することです。学校の試験では、先生が教えるテスト範囲をよく復習しましょう。英検や日本語能力試験などの資格も必要です。私が日本に来たばかりのときは知らないことがたくさんありました。毎日日本のドラマを見ました。ドラマは日本語の勉強になるだけでなく、どのように日本で生活しているか、どのように日本の友人と付き合うかを知ることができます。また、休みの日も日本語を上達させるため、自分で日本語を初級から勉強し直しました。

推薦入試では大学の面接も大切です。事前に質問内容を準備し、面接前に必ず先生に相談して練習するようにしましょう。面接の前日は、しっかり睡眠をとって、良い精神状態でいなければなりません。できるだけ緊張しないで、面接時は面接官を見てください。

みなさんが希望する大学に合格することを願っています。

国士舘大学 21 世紀アジア学部 21 世紀アジア学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
埼玉 吉川中央中出身

部活動で学べる多くのことは 受験においても応用できます

■勉強は友達に教えることで
さらに理解が深まります

高校入学時から、大学進学というものを考えており、そこでどのような形で進学するかを考えたときに、幅広い大学が選択できる指定校推薦を利用しようと思いました。指定校推薦は、学校からの推薦を受けるため、日々の生活や学業の成績などが関係してくるので、一日一日を大切に過ごす意識を持ってきました。勉強面に関しては、部活動との両立のしやすいコースとなっているので、他人に教えてアウトプットなどと理解を深めていくという工夫もしていき 3 年間継続して良い評定を取ることができました。

■野球部のマネージャーを経て
自主性が身に付きました

そして私は、硬式野球部に所属しており、その中でマネージャーを務めておりました。選手とは違った視点で硬式野球部の運営に携わってチームを作ってきました。チームの特徴として指導者に指示されて動くのではなく、自分たちで考えて動くという自主性を重んじていたので、すぐに答えを聞くのではなく一度自分達で考えて答えを探していくという考え方を自然に身に付けることができたと思っています。この能力を身に付けたことで、硬式野球部の活動はもちろんのこと勉強面においても応用ができ、効率良く学習することができたと思っています。また、多くの大人とも関わったので、基本的なコミュニケーション能力も身に付いたと思っています。

このようなことから、私は硬式野球部の活動を通して自らで考えていくという自主性を身に付けられたと思っています。その中で、野球ノートを毎日書いていたこともあり、指定校推薦の時に必要な自己推薦書の練習ができたと思っています。したがって、大学進学を考えているのであれば、早めに対策をとって意識を持って生活することが大事だと思っています。

拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
利府中出身

推薦の校内審査は成績が大事なので 最後まで気を抜かず頑張りましょう

■入学時からの積み重ねにより 推薦基準をクリアできました

私が拓殖大学に指定校推薦で合格するまで気をつけていたことや心がけていたことは主に成績の維持と欠席日数を増やさないことです。拓殖大学の国際ビジネス学科の推薦基準は評定平均 3.9 以上、欠席日数が 10 日以内である、英検準 2 級以上か TOEIC の受験経験があることの 3 つでした。私が基準を知ったのは 3 年生の夏頃で、今まで英検などの資格試験を受けてこなかったため、急いで英検を受けようと思ったのですが次の試験日が大学に送る書類の提出締め切り日に間に合わなかったため、夏にあった TOEIC を何とか受け基準の一つを達成することが出来ました。他の二つの基準は 1, 2 年生の頃にいかに真面目に取り組んできたかがカギになると思います。幸い、私はどちらも少し余裕のあるくらいの日数、評定だったので、1, 2 年生の頃のこつこつとした積み重ねが 3 年生になってから実を結んだので、やっていて良かったと思います。

■志望大を決めるのが遅く 慌ただしく受験を迎えました

私が大学受験を経験し思ったことは、早いうちから準備をすることです。私は 3 年生のオープンキャンパスで進路を決めましたが、2 年生の頃にはどの大学へ行きたいのかなどを決めておく和我のように忙しい受験生活にならなくてすむと思います。指定校推薦での第一関門は校内審査です。自分の他にその大学へ行きたいと思っている場合、選ばれるのはより成績の良い人です。なので、少しでも選ばれる確率を上げるために最後まで気を抜かないようにしないといけません。しかし、その大変な日々を乗り越えることが大切です。仙台育英はたくさんの大学からの指定校推薦がありますので、ぜひ挑戦してみたいと思います。

拓殖大学 政経学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
東京 稲城第二中出身

高校生活をきちんと送りながら 将来やりたいことを考えましょう

■学問に集中できる環境が 整っている点に惹かれました

私の一つ上の先輩が拓殖大学の指定校推薦で入学していて拓殖大学について多くの情報を教えてもらうことができました。私はオープンキャンパスには参加していませんが、拓殖大学に入りたかったのでネットや先輩などからどう
いう大学なのか設備や卒業後の進路はどうしていくのかなど詳しく調べ色々な情報を取り入れることができました。

私は大学に進学したいと思っていたので、毎日休まず学校に通い出席日数を減らさないよう健康に気をつけ日々勉
学に励み努力を積んできました。

拓殖大学は、東京都の文京区という場所にあり、茗荷谷駅というところから徒歩 3 分なのでとても通いやすい都心
に近いので移動はとても便利です。拓殖大学は設備が充実しているので、この大学なら就職活動や勉強にも集中でき
ると思い選ぶきっかけになりました。

■面接は練習を重ねることで 確実に上達します

拓殖大学の指定校推薦の試験内容は、面接と英語の筆記試験でした。私は推薦で決まってから試験日まであまり時
間がなかったので英語の勉強や面接練習をしました。特に私は面接が苦手だったので、色々な先生に練習をしていた
できました。最初は全く思い浮かばず質問に対して答えられない事も多くありましたが、日々練習を積み重ねること
で少しずつではありますが受け答えができるようになっていきました。面接は練習を重ねることで上達していくこと
が分かったので面接の練習はたくさんしたほうがいいと思います。

大学の入学試験も大事ですが、それ以前に高校での実績や成績、模擬試験もとても重要だと思います。模擬試験の
成績で自分の行きたい大学に進めるチャンスなので模擬試験はとても大事だと思います。

自分の行きたい大学に行くためには、高校生活をしっかりとし、将来何をしたいのかを考え自分に合った大学を選
んだ方が自分のためだと思うので、日々の生活に気をつけ行きたい大学に進学できるようにすればいいと思います。

立正大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
宮床中出身

志望大のサークルやゼミを調べるのは 受験勉強のモチベーションになります

■一日一日を大切に
高校生活を送りましょう

私は高校入学時から指定校推薦を利用して大学に進学しようと考えていました。

仙台育英は歴代の先輩方の努力により数多くの大学から指定校推薦をいただいております。自分の志望する大学の枠を取るために私は3つのことを意識して3年間の高校生活を過ごしてきました。

1つ目は平均評定を上げることです。大学から提示されている平均評定を越えなければ推薦を受けることが不可能になってしまうので定期考査や授業態度などを意識して全教科を予習と復習などを繰り返し高い評定を取れるように努力しました。

2つ目は課外活動を取り込んだことです。勉強以外でも自分をアピールすることができるので自己推薦書などを書くときに良い内容になると思うので校外での活動にも積極的に取り込むことをおすすめします。

3つ目は志望する大学を深く調べることです。自分の学びたいことやサークル活動やゼミナールなど自分の志望する大学を調べるのは勉強のモチベーションになるので、なるべく早い段階から進路について調べると良いと思います。

高校3年間は思っているより早く過ぎて行くので1日1日を大切に自分の進路を達成できるように努力していきましょう。

学習院女子大学 国際文化交流学部 日本文化学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
門脇中出身

しっかり勉強しながら時間をかけて 自分と向き合い進路を決めましょう

■ 普段の評定や模試の成績を
入学時から意識していました

私は 3 年生の夏まで志望する大学を決められずにいました。周囲が次々に志望大学を決めていく中、取り残される恐怖を感じました。最終的に学習院女子大学を志望することに決めたのは、指定校推薦応募の 1 ヶ月前でした。

先生方から、私の性格や得意教科、希望をもとにした素晴らしい助言をいただき、また積極的なオープンキャンパスへの参加により各大学の特色を理解する機会を自ら持ったことで自分の進む道を見つけることが出来ました。

私は高校入学当初から指定校推薦での進学を考えていたため、良い評定を取ることに、校内模試で出来るだけ上位に入ることを目標にしてきました。入学時から意識していれば自信を持って推薦に応募できるのではないのでしょうか。

もしも私と同じように自分の向かう道に迷い、どのような大学を選べばよいか分からなくても、自分のやりたいことが見つかった時に選択肢を狭めたり諦めたりすることがないよう、期末テストや校内模試、各種資格の取得のための勉強を怠らないで欲しいと思います。せっかくのチャンスを自分の努力不足で捨ててしまったら後悔してもしきれません。

■ 合格が早ければ入学前に
知識を蓄えることができます

推薦入試の良い点は合格が早く決まるので、大学の勉強を先取り出来ることです。自分の目標にあった大学を見つけ、入学前に沢山その知識を付けておきましょう。きっと自分の自信に繋がるはずです。また、大学に行ってから是一般入試で合格した方と同じ土俵で勉強することになります。推薦で決まってからも継続して高校での勉強をして欲しいと思います。

まずはとにかく勉強すること。志望大学を決めるのはその後でいいかもしれません。慌てて決めるのではなく、自分とじっくり向き合い道を探しましょう。後悔のないように、進路達成に向けて頑張ってください。

共立女子大学 家政学部 被服学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
福島 中村第一中出身

進路選択は自分に素直になって考え 悔いの無いように努力しましょう

■検定受験は今の自分が分かり 改善点が見つかります

私は、指定校推薦枠で共立女子大学家政学部被服学科に合格しました。進路を確定させたのは 3 年生のときですが、大学合格に向けて私が留意してきたことを書きたいと思います。

まず第一に、良い成績を残すよう心がけました。私が IB を受講していたので、模試で良い結果を残すことが重要でした。特に校内模試は指定校推薦枠をいただけるか否かに大きく関わってくるので非常に重要です。そして第二に、出席日数です。遅刻せずに毎日登校し、欠席することがないよう体調管理をすることは大事です。指定校推薦枠をいただくには出席日数の条件を満たすことが求められることもあるので、なるべく欠席しないようにしました。そして第三に資格の取得です。大学受験はまだ先だから大丈夫と思うかもしれませんが、危機感を持った方がいいと思います。検定を受けて自分の技量を知り、至らないところを改善して更に上を目指すことは大事です。進路が決まっても、出願条件に未取得の資格があったとき、受験対策に加えて資格取得の勉強までしなければいけない事態に追い込まれます。大学受験と何かを併行して行うことは精神的にも辛いので、早めに大学受験に向けての対策に取り組みましょう。

■志望大を選ぶときは自分の 意志を大事にしましょう

以上が、私からみなさんに贈るアドバイス 3 つです。ありきたりな事柄ばかりでしたが、この 3 つは心に留めていただきたいと思います。

最後に進学先を選ぶときに気をつけていただきたいことを挙げます。それは、自分の意志を大切にすることです。有名予備校の人気講師として知られる林先生は、「やりたくないことで結果を出す人もいる」とテレビ番組で述べていました。進学にあたり、「やりたいこと」を大事にする人もいれば、「できること」を大事にする人もいます。どちらを大事にするにしても、自分の意志に素直になってみてください。大学での生活はきっと人生の大きな部分を占めることになりますので、悔いのないように精一杯努力してください。

工学院大学 先進工学部 生命化学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
ウガンダ出身

面接対策として毎日 5 ～ 6 時間ほど 集中して日本語を勉強しました

■小さい頃から医療系分野への 憧れを抱いていました

私は、2 年生になってから、大学について考え始めました。留学生として日本人と違い、日本の大学に入るためもっと頑張らないといけません。

小さい頃から、医療のコースを目指していたので大学に入学したら医療学部で学びたいと思いました。医療のコースを大学で学ぶことを心がけながらしっかり勉強しました。高校の 1 年生のときも勉強しました。1 年の後半のときクラスが文系と理系に分かれることを聞いて、私は医療従事者の夢を叶えるために、理系を選択しました。

理系のクラスに入り、理系の科目を一生懸命勉強しました。大学に入学するため、テストの点数も必要だったので、毎日自習をしっかりとしました。テストの日じゃないときにもしっかりと勉強したり、先生方にも質問を聞いたりしました。

■字数が多かった小論文を 諦めずにしっかり書きました

2 年生の後半に、いろいろな大学から 3, 4 つぐらいを選択しました。そして、大学について調べて、オープンキャンパスに参加しました。指定校推薦を受けるため、1,600 字の小論文も書く必要がありましたのであきらめずにしっかり書いて、先生方に文章のまとめを直してもらいました。

大学の書類を全てしっかり書いて、大学まで送りました。それに、面接もあったので私は日本語をもっとうまくしゃべれるように多くの練習をしました。毎日 5 時間あるいは 6 時間くらい日本語の練習しました。

大学の受験は特に大学の書類を書くことと面接やる人も面接の練習することと小論文を書くことと大学の書類をしっかりとチェックすることと締め切り日を守ることが大事です。

工学院大学 先進工学部 応用物理学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
広瀬中出身

やりたい事や好きな事が学べる大学を 選ぶ方が受験勉強がはかどります

■宇宙物理学や天文学を 大学で学ぶのが夢でした

私は指定校推薦で工学院大学先進工学部応用物理学科に合格することができました。

幼いころから宇宙や星に興味があり、宇宙物理学や天文学を学ぶことが出来る大学を探していました。

私が指定校推薦を利用しようと決断したきっかけとして、宇宙に関係する学部・学科のある大学に入学したいとし
か大学進学について考えていなかった私に学校生活の評価をふまえて担任の先生が親身になって私に合った大学の候
補を考えてくれたことや、高校 3 年間ハンドボール部に所属し、文武両道を心かかげていたという部分が大きくありま
す。私は他の人たちが勉強時間として充てていた時間を部活動に費やしてきました。その部活動に費やした時間や残
した成績を大学の進学に大きく活かすことのできるという点も指定校推薦を選択した理由の一つです。ですが、部活
動をしていたから指定校推薦がとれるということではなく、毎日の学校生活も大事だと思います。私は高校 3 年間で
学校に遅刻したことや、欠席したことは一度もありませんでした。

また、部活動の大会等で忙しくても定期テストには真面目に取り組みました。さらに、AO 入試や推薦入試を考え
ている人であれば、生徒会や室長、学校行事の実行委員に参加するのも大切だと思います。大学進学を考えている方
は積極的に参加するように心がけてみてください。

■推薦合格後も入学に備え しっかり勉強しましょう

指定校推薦は一般入試を受ける人たちよりも先に合格ができることで、大学への準備期間が多くあるのもメリット
の一つです。ですが、勉強をおろそかにするのではなく、大学からの入学前課題や入学後すぐのクラス分けのテスト
で一般の生徒との差がひらかないように、学習し続けることが大切です。

最後に、大学選びについてですが、私が大切だと思うことは自分のやりたい事、好きな事が学べる大学を選ぶこと
です。自分が学びたい事や好きな事なら勉強も楽しく行えて、理解も深まると思います。なのでまずは自分の好きな
ことからいくつかに絞り、その中から、オープンキャンパスやホームページ等を自分で調べ、大学の雰囲気や校舎、
研究室、部活動など、比較し第一志望を選択すると良いと思います。

あとは、進路や大学を早めに考え、充実した高校生活を送るということです。頑張ってください。

実践女子大学 人間社会学部 人間社会学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
五城中出身

小さくても何か目標を立てて行動すれば 物事をやり遂げた自信になります

■部活動との両立に悩み

それでも諦めませんでした

私は 3 年間多くの時間を陸上の部活動に費やしてきました。練習で疲れてしまい勉強せずに寝てしまったり、考査と総体の日程が被ってしまい考査を受けられないことや十分な勉強時間の確保ができずにいたこともありました。その中でも、提出物は考査が始まる前に提出し、日々の授業ノートを綺麗にまとめることは怠ることなくやっていました。シーズン中は考査前でも練習があったり、公認欠席が増えたりするため授業や休み時間など学校での時間の使い方が重要になると感じました。両立が難しくなり壁にぶつかることも増え、何事にも身が入らなくなったこともありましたが、あの時諦めていたら受験を成功させることはできなかったと思います。上手くいかなかったり諦めそうになったりした時には、目の前の本当に小さなものでも、何か目標を立てて行動してみることがとても大切だと感じました。すぐに結果が出ず報われないこともあるかもしれませんが、何かを乗り越えたという経験は受験をする上でとても役に立つと思います。

■入学後に夢を見つけることが

できる環境を探しました

私は進学に対して明確な目標がなく、ただ漠然と大学に進学したいということしか考えていませんでした。社会系の学部に興味はあったものの、深めたい学問や将来就きたい職業も決まっていなかったため大学に入ってから将来の夢を決められる環境を探しました。できる限りオープンキャンパスに行き、学校ごとの特色をまとめ、どこが自分に適しているか考えました。3 年生になって志望大学を決めたため時間がなく、もう少し早くから準備しておけば良かったと後悔することもありました。小論文の添削や面接練習は先生方にお願ひし数をこなすと良いと思います。面接練習をしたことで考えを整理することができ、大学で何を学ぶのか、どうしていきたいのか自分の中で確認することができました。小論文は試験の 1 ヶ月前から始めましたがつまづくことも多く、試験の有無に関わらず校内模試の勉強と合わせてやっておくことが大切だと感じました。

3 年間はあっという間なので一日一日を大切に、後悔のないように進路実現を目指して頑張ってください。

創価大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
八乙女中出身

今の自分に必要なことをしっかり考え 計画を立てて根気強く勉強しましょう

■校外で外国人の先生と交流し 苦手の英語を克服できました

私は高校 1 年生の夏、この大学に進学したいと思うようになりました。きっかけはオープンキャンパスでした。学生が自分のやりたいことに専念でき、教授方も学生第一に接してくれる環境が自分の将来の夢に一番近い道だと思ったからです。

次に、私が指定校推薦で大学入試を受けるためにした努力についてです。この大学に進学を決めたときから、私はオークルームで最後まで勉強をするようになりました。また、高校 2 年生からの 1 年間、生徒会執行部に所属し、様々な状況に臨機応変に対応する力を身に付けることができました。高校が休校の日には、母が務めるインターナショナルスクールに行ってネイティブの先生方の授業のお手伝いをしました。自分が苦手としていた英語の克服につながりました。初めは続かなかった会話も今では続けられるようになり、英検 2 級に合格できました。

■センター試験の過去問を 校内模試対策に活用しました

指定校を受けるために、毎日の授業や提出物や定期テストの結果は勿論ですが、最も重要なのは 6 月頃に行われる校内模試です。文系は英語と国語で判定されるので、その 2 教科を重点的に勉強しました。模試はセンター試験に似た形式で出題されると知ったのでセンター試験の過去問を使って勉強しました。私は英語が特に苦手だったので、ネクステージを使って勉強しました。

受験期は本当に辛くなることがたくさんありましたが、家族や友人、先生方などの周囲の人の支えを改めて強く実感でき、人間として大きく成長できる時期だと思っています。毎日一日一日、周りの人に感謝する気持ちを忘れずに、今の自分に必要なことが何なのかをしっかりと考え、計画を立てて根気強く勉強に取り組んでみてください。皆さんの目標が達成できることを願っています。そして、たくさんの楽しい思い出を高校生活で作ってください。

大正大学 仏教学部 仏教学科仏教学コースに
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
台原中出身

目の前のことに地道に取り組めば いつか必ず花は開きます

■総合仏教の大学で仏教を 深く学びたいと志望しました

私がこの大学に志望したのは 2 つ理由があります。一つは小さい頃から仏像に興味を持ち、それがだんだん進行へと変化したことです。もう一つはその大学のオープンキャンパスに行ったことです。私は高校に入学した時から仏教を学びたいと思い、仏教系高校を探していましたが、一つ問題がありました。それは宗派でした。宗派が違えばそこにある蔵書や資料なども違ってきます。様々な大学の情報を調べ、最終的にここなら十分に学べそうだった大学が大正大学でした。なぜなら、その大学は天台宗、真言宗、豊山派と智山派、浄土宗の四宗派合同で創立された言わば総合仏教の大学です。

夏休みを利用して、私はその大学のオープンキャンパスに向かいました。そこで発見したのは、教員の中には現役のお坊さんがいること、大学内で仏教行事が行われること、仏画制作や仏像修復を体験できることなど仏教に興味を持つ私は、ぜひ入学したいという決心を固めました。幸運と言えば良いのでしょうか、指定校推薦に 1 枠あることを教室の一覧表にて発見し、先生にそれを受けたいという旨を伝えました。結果は内定でした。

■先生に癖を修正して頂いた おかげで面接に成功しました

それから 1 ヶ月間自己推薦書を下書きから清書まで 4 枚以上添削を繰り返しました。重要な書類は一字一句間違えることは許されません。気が遠くなるこの作業を乗り越え学校の承認を受けてやっと面接の練習です。この大学の指定校は面接一発勝負です。しかし、ここで 2 つ問題が発生しました。1 つは過去に前例がなく参考になる資料が無いこと、もう 1 つは自分自身に面接の経験がないことです。しかし私は決意を固めました。自分の望みを叶えるため、そして自分が前例となるために。担任の先生と自己推薦書を元に大学に送る質問資料を作成し、面接の実演練習に臨む、入退室の段取りを確認し、面接官役の先生からの質問に答えていく。私は思いを伝えるのに長文になってしまう癖があり、練習でも盛大に出してしまった苦い思い出があります。先生からのアドバイスは「理由を簡潔にまとめ、後から質問に次々と答えていくこと」。先に長く喋ってしまうと面接時間を超過してしまい、質問の受け答えもスムーズさを欠いてしまうからです。この点を改善して再び練習すると見違える程に円滑に自分の思いを満足に熱意を伝える事が出来るようになったのです。これにより面接への迷いが消えた私は 11 月の推薦入試に臨みました。本番は終始和やかで緊張無く自らの思いをぶつけることが出来、結果は見事合格でした。

指定校推薦を受ける後輩に伝えたいです。この方式の入試は基本的な能力と知識にその学部に関する専門知識、私が出た場所では仏教の知識をプラスアルファで身につければ合格する確率は高くなります。そして礼儀正しくあること。それがあれば必ず突破できます。目の前のことを地道に取り組み続ければ、花は開くのです。

東京富士大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

部活動や学校行事に取り組み 努力がいかに必要かを実感しました

■大学では企業訪問などにより
「活きた経営」を学びたいです

私は無事に大学に合格することができ、とても嬉しいです。現在は春からの新しい生活に向けて、大学の入学準備と入学前の実力テストの勉強をしています。

私が東京富士大学を志望しました。理由は経営の仕方を専門的に学びたいと思ったからです。現代の会社の経営は多くの問題に直面しており、踏み込んだ経営指導が求められていると考えます。経営学を体制的に学ぶ中で、さまざまな視点からの理論に触れ、経営学の奥深さを知りながら、実践でどのように応用できるかを探究していきたいです。貴学の近隣には優良企業が多く、地元企業の経営学を直接学ぶことで企業経営の「今」を知ることができます。企業訪問することで、教科書だけでは分からない「活きた経営」を学びたいと強く感じました。

■書道部の活動や学校行事など
貴重な経験ができました

私は書道部に所属しています。書道部には合宿があり、部員と一緒に書道の練習をするだけでなく、書道部の先輩も来て、私たちに書道の指導をしてくれます。そのおかげもあって、大正大学全国書道展では銀賞を受賞することができました。また、文化祭やスポーツ大会などの学校行事では、クラスメイトと力を合わせて様々なことに挑戦してきました。その中で「団結して取り組むことの大切さ」や「あきらめないで努力することの必要性」を実感しました。

高校では定期考査の成績と評定はとても重要です。平日に日本語と英語を一生懸命勉強することが必要です。また、日本語能力試験 N2 も取得すると良いと思います。そして、大学を受験するときは自己推薦書と面接練習はとても重要です。面接練習は自分で準備した質問を毎日練習します。先生と一緒に練習もしましょう。私は大学に通い始めたから一生懸命に頑張ります。後輩のみなさんが自分の理想の大学に合格できるよう応援しています。

神奈川大学 外国語学部 英語英文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
沖縄 那覇中出身

英検の受験は資格取得だけではなく 高校英語の復習にもなり一石二鳥です

■学習面では小さな疑問でも
その都度解決していました

私が志望大学合格に向けて特に力を入れた事は、検定の取得です。元々外国語を学べる学部に興味があったので英検の対策を行いました。その対策をすることで高校英語の復習にもなり、一石二鳥だったなと今では感じています。私個人としては二次試験でのスピーキングの対策がよい経験になりました。また、一定の級を取得してないと出願できないような推薦入試もあるので、推薦入試の利用を考えている方は早いうちから検定の取得にチャレンジすることをおすすめします。

日々の学校生活の中では、AJ(特別選抜)クラスで学んだことも、合格につながったと思います。英進進学コース自体、皆が自分の進路ややりたいことに向かって頑張っているコースですが、AJ クラスは特に進学に対して強い熱意を持った人の集まりなので日々進学高い意識を持って勉強することが出来ました。私自身少し成績が下がってしまった時期もあり悩んだこともたくさんありました。ですがその時期から周りの友人や先生方に積極的にわからないことは聞きに行くよう心掛けました。自分が今どのレベルなのか理解し、小さな疑問でも浮かんたらその都度解決していくようにし、勉強面は乗り切りました。

■オープンキャンパスでは
たくさん質問しましょう

大学選びに関しては早ければ早い程良いと思います。私自身、2年生の後半から3年生の前半に進路が定まり、割とバタバタして余裕が無かったので、1年生のうちから興味のある大学について調べる事をおすすめします。また、その大学のパンフレットやホームページをじっくり見て何個も気になる点を見つけ必ずオープンキャンパスに行ってたくさん質問したり学校の雰囲気をチェックし、特に何回も行けない県外の場合は「あれやっとならば！」と後悔しないようにして下さい。

最後に、何か自分の進路や進学に関して困ったことがあったり、悩みがある時は周りの先生方に相談したり、アドバイスをもらって下さい。英進進学コースの先生方は本当に優しく親身に考えてくださいます。

皆さん、志望大学合格に向けてムリせず今自分が出来ることから始めて頑張って下さい！

関東学院大学 法学部 法学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
長野 浅間中出身

その場の雰囲気流されることなく 常に将来を考えて行動しましょう

■皆で厳しい練習を乗り越えた 3 年間は一生の宝物です

私が中学 3 年生の時、仙台育英の野球部が甲子園で準優勝を成し遂げた時テレビの前で見えていました。点を取られてもすぐ追いつく気迫のこもったプレーに憧れました。私もここで野球がやりたいと強く思い、仙台育英に入学し、硬式野球部に入部しました。私たちの学年は 50 人の大所帯でした。当時の監督からも「50 人は歴代初だ」とおっしゃっていました。私はその一員となり、このメンバーで甲子園で優勝したいと強く思いました。入部してすぐに 1 年生練習というものがあり、毎日厳しい練習を乗り越えてきました。私の周りが辛い表情をしていたとしても、顔には出さず、みんなを鼓舞してきました。みんなで乗り越えた日々は一生忘れることのない宝物になりました。

■甲子園出場が決まった時は 努力が報われた気がしました

高校 2 年生の時、たくさんの事を乗り越え、甲子園出場が決まった瞬間は、今までやってきたことが報われたような気がしました。学校生活でも授業中、誰一人寝ることなく、授業に強く向き合う姿勢も当たり前のことかもしれませんが、真摯に向き合うことができました。その結果、指定校推薦という形で志願することができました。高校生活では、やり残したこと、悔しかったこと、後悔したことがたくさんあります。その時の感情に流され、後々、あれやっとならば良かったな、これやっとならばと思うことがたくさんありました。後悔をなくすのは無理でも少なくすることはできると私は思います。その場に流されずに、これからのことを考えて行動していくことが成功に近づくと思います。

関東学院大学 法学部 地域創生学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
いわき 平第三中出身

AO 入試不合格を機に進路を考え直し 本当になりたい職業が分かりました

■地方公務員を目指す環境が 整っている大学を選びました

私が指定校推薦で関東学院大学法学部地域創生学科を選んだ理由は、他大学の AO 入試に落ちてしまったことがきっかけです。1 度目の受験を失敗したことにより、自分が将来やりたいこと、どのような職に就きたいかなどの様々なことをもう一度考え直すことができました。私は、サッカー部に所属していて、サッカーに集中していたので、将来についてや大学について考えるのを後回しにしていました。急いで決めた大学受験に失敗して、私が本当にやりたいことは地方公務員になり、地域に何かしらの形で貢献することだと確認することができました。仙台育英はたくさんの指定校推薦の枠があるので、私になりたい地方公務員の資格を取得でき、大学独自の取り組みとして、法学部として法を学びながら、実際に市の市長さんや地方公務員である方々からリアルな地域の課題や対策について学べる、地域創生特論があったので関東学院大学を選びました。

■時間を決めて集中的に学習し 部活動と両立できました

大学選びの際に重要な事は、良い成績を取り、普段の生活をしっかりとすることが大事だと思います。私の性格上、時間がありすぎるとだらけて、逆に何もしなくなってしまうです。サッカー部に所属していたので、学校でしっかり授業を受けて、部活動をして家に帰り、寝るまでの残り少ない時間でテスト勉強を集中して行うように 1 年生の時から心がけていました。長い時間だらだら勉強するよりは、30 分集中して、10 分休憩するなど短期集中が個人的にお勧めです。部活動をやっている人は、部活動の成績や資格が受験に重要になってきます。勉強中だけでなく、部活動で良い成績をおさめることでより受かる確率が高くなるので努力した方が良いと思います。私は部活動で準優勝や東北大会、全国大会に出ることだけではなく、勉強も少しの時間を有効活用して良い成績を取ることができました。学校生活も、友達と楽しく有意義な 3 年間を送ることができました。

関東学院大学 人間共生学部 共生デザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
神奈川 塚越中出身

指定校推薦での入学は仙台育英の名前を 背負うことであると意識しましょう

■何事も最後までやり切る事が
今後の人生に繋がります

私は、指定校で大学に合格をしました。

指定校をとるために、遅刻や欠席をしないことを、第一に考えて行動を 3 年間過ごしてきました。次に大事なことであり意識していた事は、提出物をしっかりと出すことです。出せる物をしっかりと出さずに、むだに成績を落とすようなもったいないことは、絶対に良くないことだと思います。

あいさつや、身だしなみをしっかりと整えておき、周りの方からの印象を良くすることも大事なことです。そういった事は、大学進学以外の世の中にでた後も大切で、役立つ事です。

部活動を 3 年間、全力で最後までやりきることでアピールにもなるし、自信がわいてくると思います。何事も途中で投げださずにやり切ることは、これも世の中で社会に出た後に役立つと思いました。

指定校推薦は、仙台育英の名前を背負っていることを忘れずに過ごすことが必要なことだと思います。

自分の夢に向かってひたすら頑張ることが大事だと思います。

洗足学園音楽大学 音楽学部 音楽学科弦楽器コースに
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
仙台第二中出身

長い人生を有意義に送るために 自分自身で志望大を選びましょう

■無駄なことは一つもないと 考え 3 年間で過ごしました

私はこの仙台育英に入学してすぐの頃から、将来就きたい職業や音楽大学に入学することを決めていました。最終的に大学を決定するまでには時間がかかりましたが、様々な大学の講習やオープンキャンパスにたくさん参加し、自分に最も合う大学を選択しました。

指定校推薦を頂くためには校内模試の順位が重要になります。特に私は校内模試が苦手で、1・2 年生の時の成績は思わしくない結果でした。そのため、早い内から校内模試の過去問題を繰り返し解きました。本番前は放課後に図書館へ行き、集中して取り組みました。また、取得している資格やこれまでの活動なども推薦の評価の対象になります。私は英検や漢検、外部のオーケストラでの活動などに精力的に取り組み、生かすことができました。

推薦を頂いてからは、実技の勉強を中心にしながら学校の勉強も継続して行うことを意識しました。無駄なことは一つもないと考え、欠席をしないことや定期考査の点を落とさないことに努めました。受験にあたって仙台育英の先生に大学への志望理由書の添削や面接練習等をしてくださりました。おかげで問題無く試験を受けることができ、落ち着いて演奏に取り組みました。

■複数のオープンキャンパスに 参加し比較検討しましょう

指定校推薦は楽だと思われがちですが、周りより早く準備に取り掛かる必要があります。しかし、その分入学までに十分な時間をつくることができ、自分のしたい勉強にじっくり取り組めたり、大学の準備をしっかり行うことで幸先の良いスタートを切ることができます。後輩の皆さん、大いに活用してください。また、早い準備の一つとしてオープンキャンパスは必ず参加するべきです。自分に合う大学を選ぶには比較する対象が必要です。足を運んでみて自分が感じたことはとても大切な判断材料になります。Classi のポートフォリオ機能はその記録に最適なのでは是非活用してください。

実技系の大学に進むにあたって周りの反対の声もありましたが、仙台育英の先生が最後までサポートしてくださったおかげで音楽大学に進むという夢を実現することができました。自分のために入る大学なのだから、自分の学びたいことを学ぶべきだと私は思います。後輩の皆さんはどんなことが学びたいですか？ 今のその正直な気持ちを持ち続け、長い人生のたった 4 年間で有意義にするために、また自分がやりがいを感じられる仕事をできるように、自分自身で大学を選択してください。応援しています。

城西大学 経済学部 経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

限界を自分で制限せずに挑戦すれば 可能性が広がることを学びました

■留学生や外人の先生と接し 英語力も向上しました

私は自分の視野を広げるためにも海外で学ぶことも重要だと考え、日本への留学を決意しました。日本の経済はアジアで最も発展しており、教育水準も非常に高いと考えたため、留学先に日本を選びました。私は来日して 2 年半になりますが、日本の生活や文化がとても好きになりました。来日当初は、留学生クラスで日本語の授業を半年間受け、日本語の基礎と通常クラスで学習するための準備をしました。授業はまだ難しいことが多いですが、毎回試験の際にはしっかりと復習し、苦手な教科を克服できるように一生懸命取り組んでいます。その中で、「最後まで諦めないことの大切さ」を学びました。また、学校には留学生や外国人の先生方が多くいるので、その人たちと交流することで英語力の向上にもつながっていると感じています。今後も日本語力と英語力の向上に努めていきたいと思っています。また、様々な学校行事にも積極的に参加しています。日本での高校生活は、新しい人との出会いや新しい物事に触れる機会が多く、コミュニケーション能力や自立心を養うことができました。限界を自分で制限せずに、何事にも挑戦してみることが自分の可能性を広げてくれるのだと思っています。

■大学でも多くの人たちと 積極的に交流したい

現代社会は、急速にグローバル化が進展しており、問題も多岐にわたると予想できることから、それらを解決する力を大学のうちに身につけたいと考えました。城西大学の経済学部は「今日の経済・経営が直面する複雑な諸問題の解決に貢献できる人材の育成」を目標に掲げており、豊富な実務経験を積まれた先生方が実学教育をしてくださる点にとても興味を持ちました。経済の現場と理論をバランスよく学ぶことで、卒業後に即戦力として働けるスキルを身につけられると確信しました。

入学後は、1 年次に日本経済入門やライフデザイン演習などを受講し、経済学の基礎をしっかりと身につけたいと考えています。また、日本語能力試験や簿記検定試験などの各種検定試験にも挑戦し、幅広く教養を高めていきたいです。それから、インターンシップ制度を利用して、日本の企業で実習することで、身をもって社会現場の今を知り、実際に現場で働く際の様々なスキルを養いたいと考えています。私は日本に留学しに来たことで、色々な国の人と出会い、多くの異文化に触れることができました。大学に入ってから、多くの人と交流ができるように、サークル活動やボランティア活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

文教大学 国際学部 国際理解学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

英語科の先生方に丁寧に教えていただき 英語に興味を持つことができました

■英語科の先生方との出会いが 教師を目指すきっかけでした

文教大学の国際理解学科では、EIC の授業で英語の 4 技能を総合的に学習することができ、言語科目も充実しているところに魅力を感じました。また私は子どもの時から日本に興味があり、日本語を勉強してきたので、言語について強い興味を持っています。そのため、大学では英語と日本語だけではなく、様々な言語を勉強してみたいです。それから共通教養科目の中に、心理学や人間関係論、国際理解学科にはボランティア実地練習という文教大学ならではの特色ある授業があり、私もこの大学で勉強したいという思いが強くなりました。

この大学の国際学部を志望した理由は私が英語に興味を持っており、それは英語の先生方のおかげでした。私は小学生の時から英語を勉強していますが、勉強し始めたことは成績も悪く、英語の授業についていけませんでした。しかし、そのあとに教えていただいた先生方のおかげで英語に興味を持つようになりました。その先生方は、とても厳しかったですが、根気強く私にわかりやすく教えてくださいました。このような先生方に会い、私も先生になりたいと考えるようになりました。そのため、文教大学の国際学科への進学を志望しました。

■他の留学生との交流を通して 視野が大きく広がりました

私は指定校推薦の受験資格を得るために毎日勉強しましたが、心配もしていました。私は日本に留学したばかりの時は、日本語での授業は本当に大変でした。毎日家へ帰ってから勉強し、やっと少しずつ授業が分かるようになりました。クラスでの授業の他にも実用英語技能検定の勉強にも取り組み、2 級に合格することができました。2 級を取得することは簡単ではありませんでしたが、目標を持って取り組むことの大切さを身をもって感じ、これからも自分の目標を実現できるように努力したいと思います。また書道部に所属し、厳しい練習や合宿にも仲間と協力しながら取り組んできました、私は部活動を通して、忍耐力を養い、諦めずに続けることの意味を学びました。また外国語コースでは日本伝統文化の授業があり、その中で茶道と華道について学びました。茶道も華道も初めて体験するので、初めは何もわかりませんでしたが、先生方のおかげでできるようになりました。クラスでは日本人の友達も親切にしてくれ、日本語がわからないときはサポートをしてくれたり、日本の習慣も教えてくれました。私の所属クラスには、留学生が多く在籍しているので、日々の生活の中で国際交流をすることができ、自分の視野を大きく広げることができました。

以上の理由から文教大学国際学部国際理解学科への進学を志望しました。後輩のみなさんもどの大学に入りたいのかをよく考えてください。これまで積み重ねてきた英語の知識を更に伸ばし、特に英語のスピーキングに力を入れ、コミュニケーション能力を高められるよう頑張ります！

東京国際大学 言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

自己推薦書は自分で資料を準備して 早めに取り掛かり添削してもらいましょう

■多彩な留学プログラムに 惹かれ志望大を決めました

東京国際大学を選んだ理由は高い評価を得ており、国際色豊かな整った環境の中で学べると感じたからです。また世界の 22 の大学と国際交流協定を結び、多彩な留学プログラムがあることも魅力の一つです。コミュニケーション学部では、少人数制を取り入れており、学生同士だけではなく、先生方とも距離が近いので、より深く学べると考えたからです。

指定校推薦では、自己推薦書は非常に大切だと思います。早めに先生に添削してもらったほうがいいです。先生は忙しいので、自分で大学の資料を準備する必要があると思います。

■国際社会に不可欠な英語を しっかり勉強しましょう

留学生にとって、一番大切なのは日本語の勉強です。私は高校 2 年次に、中国から日本へ来ました。留学当初は言葉の壁に苦労しました。そのため、もっと日本語を上達させたいと思い、日本語の歌や映画を通して日本語を学び、日本人の友達とたくさん会話するように努めました。また、校内模試の成績や出席率も重要で、指定校推薦の基準です。

私たちは自分で勉強し、資格を取得することも必要です。留学生としては、日本語能力検定 N2 も取得しなければなりません。また、英語の資格を要求する大学が増えていると思います。今、英語は世界の共通語としての役割も担い、国際社会で活躍するためには必要不可欠な言語であると考えます。なので英語の勉強を重視した方がいいと思います。

定期考査は 3 週間前から準備しておいたほうがいいと思います。ノートとプリントを整理することは復習に役立ちます。集中して授業を聞き、寝ないことが大切です。ノートをしっかりまとめて提出し、課題を完成させましょう。

志望大学合格への道は難しいですが、あきらめずにがんばれば、困難を克服できますので、私はみなさんのことを応援しています。

聖学院大学 政治経済学部 政治経済学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
山下中出身

やりたいことに思い切って挑戦し 悔いのない高校生活を送りましょう

■何もしないより行動した結果 後悔する方が良いと思います

私は将来市町村職員になり、人々のために働きたいという夢を持っており、そのためには大学であらゆる学問の知識など学んでいくことで、夢に近づくことができると考え、大学進学を目指しました。私は最終的に指定校推薦で大学に合格することが出来ましたが、第一志望だった大学には自分自身の努力が足りず落ちてしまいました。不合格と知ったときは落ち込みましたが、すぐに頭を切り換え、同じ失敗を繰り返さないように努力していき無事大学に合格することができました。すぐに頭を切り換えることは簡単に出来るわけではないので、自分のペースでしていけば良いと思います。アドバイスをするのなら、受験の不安などを 1 人で抱え込まずに、誰かに話したり相談することが大切になってくると思います。何も行動しないで後悔するより、何か行動して後悔する方が私は良いと思っています。最初から合格するはずがないだとのマイナスな気持ちでは絶対合格することはありません。受験する前は、合格できないを考えるのではなく、絶対この大学に合格してやるなどの強い思いを持ち、その思いをちゃんと入試にぶつけられるように日々努力していくことが大切だと私は思っています。

■副部長を務め仲間の大切さに 気づくことができました

私は人前で話をするのが苦手でしたが、部活で副部長を務めることになり、人前で話すことが多くなり、前よりは人前で話すのは苦ではなくなりました。今まで副部長などの職に就いたことがなく、副部長になってからの部活はとても新鮮でした。副部長を経験したことで私は互いを信頼できる仲間がいる大切さや、自ら一步踏み出さないと見られない景色や世界があるなどに気付くことができました。高校で学んだことや部活で学んだことは、これから始まる自分の人生の土台になると私は思っています。なので、自分自身に嘘をつかずに、己のやりたいことなどにチャレンジしていき、後悔が残らない生活をしていくことが大切だと、高校での生活や大学受験を経験して私は思いました。

城西国際大学 看護学部 看護学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
松島中出身

指定校推薦では評定の維持に加え 部活動をやり遂げることが大切です

■部活動を続けたことを入試に
生かそうと考えました

私は、指定校推薦で城西国際大学に合格しました。AO 入試の願書を提出する時期と指定校推薦入試の時期がほぼ同時だったので、どちらで受験すべきかとても悩んだのですが、私の大学の AO 入試の倍率が高いことや、1 年生の時からできるだけ赤点や評定 2 や 3 を取らないようにしていたこと、部活動を 3 年間やり遂げたこともあり、指定校推薦で受験してみようと決めました。

私のところの大学は面接だけだったので、過去の面接の内容などを元にいろいろな先生に面接練習をしてもらいました。指定校推薦で大切なことは、テストで人よりできるだけ良い点を取ることや部活動をしている人は 3 年間やり遂げることだと考えています。また、自分が行きたいと考えている大学のオープンキャンパスに沢山行ったり、自分が「この大学に行きたいんです」というアピールをすることも大切だと思います。

東京歯科大学 歯学部 歯学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
広瀬中出身

「自信が無いなら人一倍の努力が必要」 という先生の一言で意識が変わりました

■自分に合う勉強法を見つけ 成績が飛躍的に伸びました

私は 1 年時の成績では、どこの大学にも進学できない様な学力しかありませんでした。当時は、将来就きたい職業も定まらないまま一日を何もせず過ごしていました。そのため模試での成績は 150 位くらいと下から数えたほうが早かったのです。しかし、ある先生から頂いた言葉が私を変えました。「あなたが人より劣っていると思うのなら、その人よりも倍努力しなさい。自分の能力が他人より劣っているのなら、人一倍の努力で補うしかないのだから。」その日から、机に向かう時間が増えました。しかし、ただがむしゃらに勉強しただけでは成績はあがりませんでした。なので、先生方に勉強法を尋ね、実践し、自分に合った勉強法を見つけるのに時間を掛けました。そうして確立した勉強法の中には、効率が悪いと友人に言われるものもありましたが、自分には自分のやり方がと割り切って勉強したのです。その甲斐あって、模試では 10 位以内に入れるようにまでなりました。2 年生までに、自分に合った学習法を見つけられれば、学力の飛躍につながると思います。次に、勉強と遊びのメリハリをつけることが大切です。テストが終わるたびに何日も遊びつづけ成績が落ちてしまう、燃え尽き症候群の様な状態になってしまうケースもあるので、息抜きの日を決め、その日を全力で楽しみ、次の日からコツコツ勉強するなど自分に合った息抜きの仕方をすれば、モチベーションが保てると思います。

■学校行事の役員経験が 面接にプラスになりました

最後に、指定校推薦を考えている大学の中には、面接のある大学があると思います。私は、面接対策として、学校行事に役員として率先して参加しました。その中で、様々な人との交流や学校行事をやり遂げた経験は、自分の中で確かな自信となり、面接に挑むことができました。面接で予想していなかった質問をされても、大勢の人と会話した経験から臨機応変に対応することができ、大学合格をすることにつながったのだと思います。勉強だけではない、様々な経験が皆さんの夢を叶える礎になると思います。なので、これから受験する皆さんも、色々な事に挑戦し、自信を持って頑張ってください。

東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
利府西中出身

決して無駄にはならないので 色々なことにチャレンジしましょう

■学校行事に積極的に参加し
多くのことを経験しました

私は指定校推薦で東京情報大学に合格しました。面接はあまり難しく考える必要はありません。基本的に聞かれる内容は志望理由書から出されることが多いです。大学によって違いはありますが、私は学校の特色と校外研修のことを聞かれました。確実に出る訳ではないのですが、学校のことや活動は思い出した方がいいと思います。面接練習は無理にたくさんする必要は無いです。私がこれまでしてきたことは、1 年生の時は生徒会に所属し、合唱コンクールの副実行委員長になりました。2 年生の時は全校制作のグループでムービー作りをしました。私は高校生活で多くのことを経験して良かったと思っています。やったことは無駄にはならないので是非いろいろなことに挑戦してください。

神田外語大学 外国語学部 イベロアメリカ言語学科スペイン語専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
田尻中出身

留学などネイティブとの交流により 価値観が変わり視野が広がりました

■授業で学んだスペイン語を 更に深く学んでいきたい

私は中学の時にスペイン語に興味を持ち、高校・大学でスペイン語を勉強すると決意し、高校の第二外国語の授業ではスペイン語を取りました。授業はとても楽しく、スペイン語をさらに深めて勉強したいと思い、大学でもスペイン語学科を希望しました。そして、1 年次に行った 3 カ月のカナダ留学では同じ留学生だったメキシコ人などのスペイン語圏の人に積極的に会話をしたりするなど英語と共にネイティブのスペイン語を学び交流したことで、言語だけでなく、文化や国別の価値観などの分野についても詳しく勉強したいと強く思うようになりました。これらをより深く勉強できる大学はここだとオープンキャンパスに参加して確信することができ、神田外語大学にしました。

高校生活でしておくべきことはたくさんあります。まず、オープンキャンパスに参加することです。実際にキャンパスを見ることによって、大学の資料だけでは分からない雰囲気を知ることができます。また、たくさんの大学に行き、比較することで自分の本当にしたいことが分かると思います。2 つ目は、留学や海外研修などの異文化交流をして自分を成長させてくれることをすることです。他国の文化に触れることで、自分の考え方や価値観を変えることができ、視野も広げることができます。3 つ目は、資格を取ったり、スピーチコンテストに参加することです。英語以外の言語を大学で専攻する場合には、英検だけでなく専攻したい言語の検定を取ることも自分のアピールポイントになります。スピーチコンテストに参加することも同様に自分がどれだけできるかの証明になります。

■面接は日本語以外の 質問にも備えましょう

次に入試についてですが、神田外語大学の推薦入試では英語リスニング、小論文、面接があります。リスニングはマークシートで英検 3 級から 2 級程度の問題で、小論文は、今年は「スペイン語圏について興味のあること」でした。従って、小論文を書くためには、スペイン語圏について色んな分野について詳しく語れるようにしたり、自分がこの大学で学びたいと思っていることも書けるといいと思います。面接は日本語での面接でしたが、今までの先輩方の面接の内容を見ると、スペイン語での質問などもある場合があるので、スペイン語の自己 PR も用意しておくことが良いと思います。面接の質問は、ほとんど志望理由書からの質問だったので難しい質問はありませんでした。しかし、何を聞かれるか分からないので、十分な準備と心構えをして取り組むことが重要だと思います。

神田外語大学は、課題だけでなく、入学前にテストや 1 週間程度の講習があるので、そのためにも合格したからと気を抜かず、毎日しっかり勉強し、大学で周りの人達に差をつけられないようにすることが重要だと思います。皆さんも最後まで気を緩めず頑張ってください。

千葉工業大学 工学部 機械工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
東華中出身

指定校推薦を受験するにあたっては 受験対策に加え体調管理が大切です

■緊急時に役立つロボットの
製作に携わりたいです

私は、母の実家の方で起こった福島原子力発電所の事故の話を祖母から聞き、自分が普段から好きだったロボットや機械と合わせ、災害時などの緊急時に役立つロボットを作りたいと考えるようになりました。これを機に工業大学に進学したいと考えました。今の自分の実力で行ける大学を探し、千葉工業大学に指定校推薦で受験することが一番良いと考え、そのまま行動に移し合格しました。

私が指定校推薦入試を選んだ理由は、仙台育英が指定校推薦に力を入れていたからです。指定校推薦は偏差値と欠席日数、授業態度などが大事です。問題は面接までの練習と体調管理だと思います。

千葉商科大学 商経学部 商学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
韓国出身

日本語での日常生活は大変でしたが 成長できた楽しい高校生活でした

■部活動は強い責任感を持って 引退まで頑張りました

私は高校 2 年の時に仙台育英に編入し、日本での生活を始めました。新しい環境での生活は少し厳しいと思う時もありましたが、周りの人たちが色々とおかげでこうして大学合格まで果たすことができたと思います。

初めて日本で授業を受けた時、私はすでに日本語能力試験 N1 を取得した状態でしたが、教科書を読むことだけでも精一杯でした。それを克服するために、私は放課後教科書の読みと感の読み書きを練習し授業に問題のないようにしました。日本人と一緒にクラスになってからは、より努力して授業に臨みました。

部活には憧れがあったので編入してすぐに入部しました。普段からキャラクターなどの絵を描くことに興味があった私はアニメ・イラスト部に入りました。最初は友達の勧めで入部したのですが、当時唯一の 2 年生であったと共に部会に参加する度に責任感が増していき、最後の引退の時が来るまで頑張ることができたと思います。

■ TOEIC は受験機会が多く 挑戦しやすい資格です

英語の資格に関しては TOEIC を受験することにしました。ある程度文法の知識とリスニングができるなら普通くらいの点数を取ることは難しくないと思っていたこととテストがよくあるという点から英検より効率が良いと考えました。英語の資格は持っている方が良いと思うので、次はより高い点数を目指して勉強していきたいです。

日本で過ごした 2 年間は短いとも感じましたが、とても楽しい生活を送ることができたと思います。日本語を日常の中で使うことは少し厳しかったのですが、成長できてとても嬉しいです。

千葉商科大学 サービス創造学部 サービス創造学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
東和中出身

大学でも小さな目標を着実にクリアし 自信をつけていきたい

■部活動の仲間との友情は かけがえのないものです

私は、高校時代に一つの目標を定めました。それは、「文武両道」です。部活動では、硬式野球部に所属し、目標達成のために、日々の練習を真剣に行い、一日一日を大切に充実した日々を送ることができたと思います。高校生活の中で、目標を決め努力し続けることによって、どんなに大変なことがあっても、高い意識で取り組んで行くことが出来たと思います。そして、多くの仲間と助け合い、厳しい練習に耐え抜いて行くことにより、3年間で友情というかけがえのないものを作ることが出来ました。今後の人生の中でも、このような素晴らしい体験をすることは出来ないと私は思います。高校野球という3年間しか体験できないものをこの高校ですることができ本当に良かったと思います。大学では、今まで以上にレベルの違いに苦しむと思いますが、諦めることなく何か小さな目標を作りクリアしていくことにより自分に自信が付いていくことと思います。

■学生の基本は勉強ということを 忘れてはいけません

勉強面では、高校1年生の時からテスト前だけではなく、授業の前から予習などを行い、授業以外でも勉強することを心がけて常に生活してきました。学生の基本は勉強ということを忘れてはいけません。中学生とは違い、より社会に近く自ら勉強する環境が整っています。大学進学に向けてこの3年間がとても大切になってくるので、色々な遊びたい気持ちは人それぞれあると思いますが、そこで自分をセーブできた人が良い結果を残している人だと思います。

大学では、スポーツメーカーに就職するという夢を叶えるために、コミュニケーション能力はもちろんのこと、大切な社会の知識を極めていきたいと思っています。

千葉商科大学 人間社会学部 人間社会学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
福島湯本第一中出身

部活動では日々の些細な出来事からも 何かを学ぶことができると思いました

■スポーツメーカーへの 就職を目指しています

大学進学を決めた理由は大学でやりたいことが見つかったからです。私は大学で今まで続けてきた野球を続けながらスポーツメーカーへの就職に必要なことを学びたいと思いました。そのため大学に進学をするために普段の生活を送っていました。学校では、進学に有利になるように何か検定を取ろうと考え、学校設定科目の漢字検定で 3 級を取るため勉強していました。無事 3 級に合格することが出来ました。また部活動では、甲子園を一つの目標とし、日々の練習に取り組んできました。その結果、甲子園に出場することが出来たとともに、人としての振る舞いや上下関係、世渡り術を学ぶことが出来ました。毎日のほんの些細な出来事から学ぶことが出来、そういったことからでも学ぶことはあるんだよというのを学べました。

■高校生活で学んだことの 全てが将来役に立ちます

私が、指定校推薦を選んだのは理由があります。それは、私自身の評定が高くまた評定以外の部分にも自信があったからです。評定を高く保つためには授業をしっかり聞くことはもちろん、提出物の期限を守れることを意識してやっていました。社会では期限を守れることに厳しく 1 分でも遅れてしまうと無効になってしまいます。社会に出てそんなことがないように今のうちからやっていました。私にとって高校生活とは、社会に出るための準備を本格的にするところだと思います。普段の生活や部活動から学べるものがたくさんあり、その全てが社会に出た時に役に立つので高校生活はとても大切なものだと思います。後輩の皆さんには、無駄な時間を過ごしてほしくないです。私自身は、振り返ると無駄に過ごしてしまった部分もあると思っているので、そんなことがないように毎日の生活を送って自分の進みたい進路にしっかりと進めるようにしてほしいと思います。

中央学院大学 商学部商学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
住吉中出身

校内模試対策はもちろん大切ですが それまでの学習がとても重要です

■取得できた資格を生かせる 大学を探しました

卒業後のことを視野に入れてパソコンのスキルと資格取得のできる 情報科学コースに入学しましたが、情報処理検定の 1 級に落ちてしまったので、考えを変えて MOS のパワーポイントの資格を取るのに卒業までには確実に取得するように意欲的に勉強しました。結果、MOS のパワーポイントの資格を取得することができました。この資格を大学で生かしつつ自分に合った大学生活を送れるところを模索していたら中央学院大学が自分に合うということと、自分自身を成長させる大学で、なおかつ、情報関連の勉強ができることからこの大学に決めました。そのために自分はまず、欠席しないことと評定を 4.0 以上を維持するのに勉強をがんばりました。家は石巻だったので通学には 1 時間半ほどかかりました。この通学の時間を有効活用しました。そして、校内模試の勉強も大切でしたが、それ以前に知識を蓄えておくことも大事だと改めて実感できました。指定校推薦を目指す人は、自分に甘えることなく高校生活を過ごすことが大事だと思います。

秀明大学 学校教師学部 中等教員養成課程国語専修コースに
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
宮城野中出身

普段の授業をしっかり受けていれば 定期テスト対策は復習で済みます

■仙台育英には大学合格の
チャンスが沢山あります

私がこの学校で生活して気付いたことがあります。入学前、本来希望していた高校への進学が叶わず、そこで挫折を感じ無気力になってしまう人がいます。しかし、それは非常に勿体ないことです。仙台育英で 3 年間やるべきことをやれば、それ以上のレベルの大学に行ける可能性が十二分にあるからです。偏差値の高さだけで「それ以上」と述べたのではなく、自分がやりたいこと、興味のあることを学べる大学として見たときの評価のことです。

私は指定校推薦でしたが、勉強面で頑張ったことは正直一つだけです。それは、定期考査で点を取り評定をキープすることです。テストは習ったところから出るので、授業さえしっかり受けていれば、テスト勉強は復習をするだけで済むからです。しかし、高い評定を取るためには苦手な教科でも高い点数を取る必要があります。私は得意な教科の勉強を控えめにし、苦手な教科の勉強に重点を置くようにしていました。また、私は部活動を辞めてしまったので、代わりにあることに参加しました。それはボランティアです。ボランティアは社交性を育みコミュニケーション力を発展させてくれますし、自己アピールにも繋がります。本当に良い点しか見当たらないので、挑戦することをオススメします。挑戦することが自分を磨き、前を向いて生きるタイプの人間に変えさせてくれます。

言いたいことはシンプルです。前を向いて、当たり前のことを当たり前にやってほしいです。これが精一杯のアドバイスです。

上武大学 ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
山形 東根第一中出身

色々なことに興味を持って多くを学び 自分の未来像を明確にしましょう

■将来は指導者の立場で

スポーツに携わりたい

私は将来、保健体育の教員になりたいと思っています。私自身スポーツをすることが好きでたくさんのスポーツに触れてきた経験があります。今まではプレイヤーとしてスポーツに熱中してきましたが、私は指導者という教える立場になって、たくさんの選手と今までとは違う視点でスポーツに携わりたいと思いました。その時から将来の夢を叶えるため大学進学という進路に決めました。

私が上武大学を知ったきっかけは、資料で探し、オープンキャンパスに参加したことからでありました。もちろんスポーツは盛んであるし、教育者・指導者の育成、スポーツに貢献できる人材を育てるといった目標などに興味とこちらの大学に進学したいという意志が強くなりました。また、仙台育英には上武大学の指定校枠があったので、指定校推薦で進みたいと思いました。

■学問と部活動への熱量は

同レベルであるべきです

私は、入学時から硬式野球部として学問と部活動に対する熱量は同じでないといけないと思っていましたし、監督である先生にもそういった意識を持って、学校生徒の見本になるようにと言われてきました。テストでは常に 100 点を目指し、家庭での学習時間も自分で管理して取り組んできました。もちろん日々の私生活も授業態度や板書だけでなく、授業での姿勢や先生方に教えて楽しいと思ってもらえるように、クラス全員で取り組んできました。そして部活動も仙台育英という大きな歴史を持つ名門の名を背負うという覚悟を持って努力してきました。自分のために戦うのではなく、支えてくださるたくさんの方々のために頑張ってきたことが結果につながっていたのではないかと思います。

最後に私が後輩に伝えたいことは何もかもしっかりしろなんて言いません。自分がどうなりたいか明確にすれば道は開けてきます。真面目に努力すればいい方向に向かいます。不真面目ならそれなりしかならず、自分を苦しめます。自分のために思うならば、後悔しないでください。日々の積み重ねが大きく大切になるので、たくさんの事に興味を持って、知って、未来を明確にしてください。私も将来の夢に向かって努力し続けます。

金沢工業大学 工学部 航空システム工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
東華中出身

普段の生活で興味・関心を持った事物も 進路選びのきっかけになります

■紙飛行機やトンボの翅への 興味が進路につながりました

私がこの大学、学部に進むことを決めた理由は二つあり、一つ目は、幼稚園の頃から紙飛行機を飛ばすことが好きで、TTT チャレンジで航空工学について調べたところ、飛ぶ仕組みを知ってもっと色々なことを知りたいと思ったからです。二つ目は生物部で発表のために飛ぶ昆虫について調べたところ、トンボの翅の断面は凹凸で空気抵抗を小さくする効果があることに驚き、また金沢工業大学の岡本教授が研究されていたことを知り、なぜ空気抵抗が小さくなるのかを知りたかったからです。そしてこのように学びたい学問や入りたい大学を見つけるためにも、普段の勉強以外の活動で楽しいこと、面白いことの中から、自分が将来仕事にしたいことを探し、それにつながる学問を見つけるのがいいのではないかと思います。

■生物部と TTT チャレンジの 活動を受験で活かしました

次に指定校推薦合格のために行ったことは、校内模試対策で過去 3 年分の問題を複数回解いたことです。これは傾向をつかむことを目指して行いました。また合格した要因として、生物部・TTT チャレンジでの活動や学校を休む日が少なかったことの二つが挙げられると思います。生物部・TTT チャレンジでの活動内容は、志望理由書や面接での話のネタとして仕え、自分が高校 3 年間でどのように過ごしてきたのかをアピールすることが出来ました。学校の欠席日数は基準を超えると指定校推薦にエントリー出来なくなってしまいます。そして欠席日数が少なければ、この人ならその大学に行っても大丈夫そうだと思ってもらえるかもしれません。これから指定校推薦を受ける事を考えていてもいなくてもこの二つは気を付けた方がいいのではないかと思います。

同志社大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
桜丘中出身

目先の結果に囚われず目標を明確にして 物事に取り組むことが大切です

■法律を学びながらサッカーを 続けられる大学を選びました

高校進学の際、私が仙台育英に入学し特別進学コースに在籍して勉学に励みながら小・中と続けてきたサッカーに 3 年間打ちこむことを決めました。そして関東・関西圏にも多くの指定校推薦枠を持つ本学園で文武両道の姿勢を貫き、大学進学の際には自分が本当に学びたい学問に集中して取り組むことができ、かつサッカー人生の集大成として 4 年間高いレベルでサッカーを続けられる大学への指定校推薦での進学を志しました。

そして高校 3 年時、進学先の大学を決定するにあたって私は同志社大学の法学部法律学科に進学し、4 年間法律に関して深く学んでいくとともに体育会サッカー部で活動することで大学での 4 年間、高校よりもさらに厳しい環境で努力し続け、成長したいと考えました。

私が指定校推薦枠を勝ちとるために高校での 3 年間意識し続けたことは、たとえ苦しくても文武両道の姿勢を絶対曲げずに勉学についても部活動についても努力を継続することでした。勉強面では定期考査や模試等で常に高得点を取れるように、日頃の授業態度や提出物に気を配りつつ予習復習に取り組みました。特に私は部活動に所属していたため他の人よりも時間が制限されていたので、部活が終わってから自分で設定した一定時間を費やしたり、朝早く登校することで作った授業が始まるまでの時間を有効活用して勉強しました。こうした姿勢が学力の向上であったり高い評定平均の維持につながったと思います。部活動面では、特別進学コースに在籍しているために日々の練習に少し遅れて参加することが多かった中、自主練で足りない所を補ったりフィジカルトレーニングにも力を入れました。関東地方への遠征やドイツへの遠征を通して様々な経験をし大学でサッカーを続けることへのモチベーションとなりました。上手い出来ないことも多々ありましたが、先を見据えて努力し続けることの意義を改めて学ぶことができました。また、私は英語が得意なので、英検などの資格試験にも挑戦したりラジオ英会話などを使った英語学習に日々取り組んで居ます。指定校推薦の選考条件となる 6 月の校内模試においても英語力があることは大きな武器になるので、英語の学習には是非積極的に取り組んでほしいです。

■逃げずに耐えてきたからこそ 第一志望に合格できました

私が後輩のみなさんに伝えたいことは、目先の結果や誘惑にとらわれずに自分の目標を日々明確に意識して物事に取り組んでほしいということです。私自身、高校 3 年間の中で何度も努力し続けることを止めて逃げ出したいと思うこともありました。しかし、そこで踏んばって耐えてきたからこそ目標としていた大学に合格し、本当にやりたいことを大学でも続けられる選択肢を持つことができました。なのでみなさんにはできるだけ早めに進学へのビジョンを持ち、それに向かって勉学であったり部活動に毎日励んでほしいです。みなさんの健闘を心からお祈りしています。

同志社大学 法学部 政治学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
八木山中出身

結果が中々表れなくても勉強する努力を 続けていれば必ず結果はついてきます

■入学後に危機感を感じてから 自学自習に懸命に励みました

私は特別進学コースに入学後、自分の勉強の出来なさに絶望しました。このままではダメだと感じ、勉強に挑みました。私は放課後は必ず教室や図書館、GP ホールなどの校内の自習室を活用し、3 年間自学自習に励みました。また定期テストや模試等で高得点を持続して取るために教科書や参考書を熟読し自分なりにまとめたり、問題集や過去の模試の問題をひたすら解きました。また、わからない部分は友達や先生に質問し苦手克服に努めました。そのおかげで評定を高く維持することができ、模試でも高得点を出せることも多くなりました。

■いかに積極的に勉強したかが 志望大合格には大事です

次に指定校推薦では校内選考を勝ちとらなければなりません。選考には日々の授業態度や定期テストの結果はもちろんですが、6 月に実施される校内模試の結果が最も重視されます。文系は英語と国語で判断されるため私はこの 2 科目を重点的に勉強しました。ひたすら校内模試の過去問とセンターの問題を解き、隙間時間を使い英単語の暗記を行いました。また自己推薦文も評価の対象になります。自分がその大学に行き、何をして何を学びたいのかという明確な志望動機が必要です。なので指定校推薦を受けるなら、しっかり自分のやりたい事や将来像を決めること、そして今自分に必要な事やしなければならぬことをしっかり考え、勉強してください。

最後に、指定校推薦に限らず、大学入試で成功するためには日々の努力が大切だと感じています。高校 3 年間どれだけ積極的な態度で勉強に臨んできたか、そこが大事だと思います。日々努力していれば必ず結果はついてきます。ですが、私も結果が出ずに落ち込み、不安になり勉強のやる気が出ないこともありました。しかし一喜一憂せず、間違えた問題を見直し、勉強すること、つまり、勉強する努力をすることが大事なのです。皆さんが第一志望に合格できることを心から祈っています。

同志社大学 商学部 商学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
山形 山形第六中出身

常に「自ら考えて行動する（考動）」を 意識して高校生活を過ごしました

■剣道部では全国大会出場を 果たし勉強と両立できました

私が同志社大学商学部商学科への進学を志望した理由は、公認会計士になるという将来の夢を実現するためです。同志社大学商学部では公認会計士になるための講座が充実しており、恵まれた環境で学ぶことができます。

私が選んだ指定校推薦という方法は、学校がその人物の普段の学校生活や成績を評価し、「その人物は、その大学を受験する資格がある人物か」を判断します。例えば評定や授業態度、部活動での成績などが評価されます。私は剣道部に所属しており、授業が終わったらすぐに部活動をする校舎に移動するという多忙な生活をしていました。部活動をする時間も、勉強をする時間もまわりより少ない時間でした。そのような中、私が３年間で意識したことは「自ら考えて行動する（考動）」ということでした。勉強でも部活動でも必ず自分の頭でなぜこれをやるのかということを整理して取り組みました。その結果、部活動では目標だった全国大会へ出場することができました。勉強でも評定を上げることができ、大学進学という目標も達成できました。

■寮生活で自立心が芽生え 成長を実感しています

また、私は３年間寮で生活していました。初めて親元から離れて暮らしたため、不安になったり、だらけてしまいそうな時もありました。しかし自分を律して毎日コツコツ勉強しました。寮生活を通して自立心が芽生え、成長したと思います。

私は高校生活で多くのことに挑戦して欲しいと思います。もちろん勉強することも大切ですが、部活動や生徒会、様々なボランティア活動にも挑戦してみてください。様々な人々と交流することで今までの自分よりも広い視野で物事を見れるようになると思います。

立命館大学 経済学部 経済学科国際専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
南吉成中出身

指定校推薦では 1, 2 年次の積み重ねが 大きく影響することを意識しましょう

■苦手科目は早めに対策すると 一から復習でき効果的です

私は仙台育英に入学してすぐに仙台育英では一般受験の他に、指定校推薦を利用して大学進学をする選択肢もあると知り指定校推薦を使いたいと思うようになりました。したがって私は、指定校推薦を利用するにあたって必要な評定を下げないために、定期考査で高得点を取ることを 3 年間心がけていました。その対策は、苦手な科目は最低でも定期考査の 1 ヶ月前から対策をする時間を増やすことです。私は 1 年生の頃から物理と化学が苦手で、普段の復習と同じ時間配分で対策をすると、標準時間は完璧でも発展問題を解く時間がなく、余裕を持って試験に臨めなかったことがありました。しかし、早めに苦手科目の対策に割く時間を増やすと、教科書の細かい説明も読むことができ、基礎から発展した内容まで根本から復習することができるために忘れにくい上に、「自分は計画的に復習を始めた」という自信から気持ちにも余裕が生まれるので、一夜漬けの勉強よりおすすめします。

■検定は高い級を目指すと テスト対策にもなります

また、もう一つ心がけていたことは、提出物を期限の日までに提出し、予習や復習の習慣を身に付けるなど、授業に臨む上で当たり前のことを確実にこなすことです。なぜなら、提出物も評定の評価として大きく関わりますし、予習や復習の習慣が身に付いていると、定期考査は勿論のこと、指定校推薦の重要な選考基準にもなる校内模試で高得点を取る大きな力になります。1, 2 年生の時は、予習や復習を怠り、定期考査もギリギリで切り抜ける人も多いと思いますが、指定校推薦では、1, 2 年生の時にやってきた事が良くも悪くも大きく影響するので、今のうちに予習と復習をする習慣を身に付けてほしいです。

また、指定校推薦を利用するにあたって検定の取得に力を入れた方が良いと思います。検定を持っていると、他のライバルと差がつけられて、何より定期テストや模試の勉強に大いに役立つので、出来るだけ高い級の取得を目指してほしいです。

部活などで忙しいと思いますが、自分の進路の実現に向けて頑張ってください。

立命館大学 理工学部 物理科学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
郡山中出身

得意教科があれば大きな自信になり モチベーションを上げることができます

■部活動を言い訳にせず 必死で勉強しました

私は元々、国公立の大学を一般入試で受験するつもりでした。しかし、自分の第一志望学科である物理科学科の大学の指定校推薦枠があることを教わり、私は指定校推薦という道を選びました。

この3年間、仙台育英ではとても充実した学校生活を送ることができました。特に学校での日々を充実させたのは、部活動と勉強の両立です。私がいた特別進学コースでは宮城野校舎から多賀城校舎まで移動して部活動をしに行く人はあまりいませんでした。そんな中、私はハンドボール部へ入部し、仲間たちと切磋琢磨して部活動に励み、同時に、部活動に入っていることを言い訳にしまわれないよう必死に勉強しました。特に必死に努力したことは、得意教科を伸ばしつつ、苦手教科から目を背けずに克服を目指すことでした。自分にとって一つでも得意教科があることは、とても大きな自信になります。私は英語が好きで、模試・校内順位で1位をとったことがあります。そのような、一度でも起こした栄光の経験を糧に、勉強に対するモチベーションを上げ、苦手であった専門物理を必死に繰り返し演習し、苦手意識を徐々に解消していくことができました。

■仙台育英では過ごしやすい 環境で進路達成に励めます

仙台育英は、勉強合宿の開催や GTEC 受験、さまざまな大学との提携など、生徒の進路達成に対し非常に力を入れていて、また、気さくな先生方、食堂や購買の方々がたくさんいて、とても生活のしやすい環境です。私は、そんな先生方、学校の仲間たち、そして家族に支えられ、1年生からしてきた努力も実り、無事大学に合格することができました。自分を支えてくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。後輩たちには、自分は周りに支えられているということを忘れずに勉強に励み、時にははじめて遊んだりしつつも、穏便に、楽しい学校生活を送り、進路実現に向けて頑張ってもらいたいです。

立命館大学 情報理工学部 情報理工学科に
提携校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
秋田 御所野学院中出身

思い切って挑戦できそうなチャンスを見逃さないよう常に意識していきましょう

■高大連携プログラムに諦めず 修了できて自信になりました

私は立命館大学情報理工学部合格しました。なぜ情報理工学部を志望したかという、これからの社会で必要となるものを作り出し、人々の役に立てるやりがいのある職業に強い憧れを抱き、そのためにはプログラミング能力が必要不可欠だと情報理工学部を志しました。しかし私は、プログラミングに興味があったもののサッカー部と日頃の勉強の両立が忙しく、プログラミングに関する知識がほとんどなく自信がありませんでした。ですが提携校推薦で情報理工学部があると知り、プログラミングの知識を得る事が出来るいい機会だと思い、結果に関係なくチャレンジしてみようと考えました。実際には、4 回の講義とそれを踏まえたレポート作成、1 泊 2 日でキャンパスで学習を行うスクーリングを経て、様々なプログラミングの知識に触れることが出来ました。そして最後に到達度確認テストがありましたが、無事に修了証をもらう事が出来ました。私の周りには情報理工学部に興味があるけど、知識に自信がなく、諦めた人が何人かいました。しかし私は諦めずにやり遂げることで自分に自信が持てるようになり、最終的に大学で専門的なことを本気で学びたいと思えるようになりました。結果としても自分の志望の学部に進学出来て良かったと思います。だからこそ興味があるものには積極的にチャレンジすることとそのようなチャンスを見逃さないように意識して生活することが大切だと思います。

■高校ではサッカーと大学合格という 目標を達成できました

学習面では、とにかく早く意識することが大切だと思います。私は秋田県の中学校から仙台育英に進学しました。理由は指定校や提携校といった幅広い進路があることとサッカーの強豪校であることでした。そのため入学前から二つの明確な目標を掲げました。1 つ目は自分の学びたいと思う大学に進学する事、2 つ目は 3 年間サッカー部の厳しい環境でやり遂げる事でした。これらの目標を入学前や早い段階で意識することで、「自分が今何をすべきか」を考え、実行することが出来ました。例えば、校内模試の過去問をいち早く手に入れることや、平均評定を落とさないことなど手遅れにならないことが大切だと思います。また、部活動でも挫折や苦労も多かったのですが、それ以上に 3 年間やり遂げる充実感や大切さを学ぶことが出来ました。目標を早くから掲げて意識して生活する高校 3 年間は非常に有意義なものになると思います。

立命館大学 生命科学部 生物工学科に
提携校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
東仙台中出身

高大連携プログラムで大学の講義に触れ 将来の方向性が明確になりました

■ 友達の受験に対する意識が
高いことに焦りを感じました

私は、この仙台育英に入学した際、早々に大学進学の見込み調査書を受け取り、驚いたことを覚えています。当時は、早すぎやしないか、と思いました。しかし、いざ周りの友達を見ていると、明確な目標を持って入学してきていることに焦りを感じました。そこで、自分の将来の目標ができるきっかけになるだろうと思い、1年生の時に「サイエンス・コ・ラボ」を受けました。生物の分野に元々興味がありましたが、より興味を広めたものとなり、大学でも学びたいと思うようになりました。自分が少しでも興味のある分野には積極的に行動した方が良いと、このことから感じました。

■ 「サイエンス・コ・ラボ」が
志望大決定のきっかけでした

また、この「サイエンス・コ・ラボ」をきっかけに、担任の先生から立命館大学の高大連携プログラムを勧められました。迷いましたが、私が学びたいと考えていた生物工学系の学部・学科があったので、受けることにしました。この高大連携プログラムは他の指定校推薦と違い、大学から送られてくるビデオ授業を受け、レポートを提出したり、夏頃には実際に大学に行き講義やテストを受けたりと特殊です。少し手間がかかってしまうように思ってしまうかもしれませんが、生で大学の授業や講義を受けられたり、自分が将来進みたい方向が見えてくる良いきっかけになると思います。テストについてですが、私は数学や英語は大丈夫でしたが、生物と化学は難しかったのでよく勉強した方が良いと思います。その他、分からない点があったら高大連携プログラムの担当の先生に聞きましょう。何でも答えてくれるはずです。

大学進学の内定をもらったら、内申書も大学にも送られるので、成績が下がらないよう定期テストで点を取れるよう勉強しました。日々の生活態度にも気を付けましょう。頑張ってくださいね。

立命館大学 生命科学部 生命情報学科に
提携校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
広瀬中出身

自己アピールできる素材を増やすために 色々なことにチャレンジしましょう！

■講義を受講するための準備が 定期テスト対策になりました

私が提携校推薦を考え始めたのは高校 3 年の時の最初の三者面談でした。私の推薦に対する勉強は他の推薦者とは異なっていて、まず 5 月～7 月の中で立命館大学生命科学部の中の 4 つの学科についての講義を受けました。立命館大学からは各講義に対して教授から出されたテーマにそったレポートの提出を要求されました。なので私は講義を十分に理解するために理科教科の教科書の読み込みを再度行い、講義の前に大学から提示されるレジュメの内容を理解してから講義に臨むようにしていました。この際に、理科教科の教科書を再度読み込んだことで定期テストへの対策や模試などへの対策になっていたのではないかと考えています。

■自己推薦書に書ける内容が 少なくともとも苦労しました

4 回の講義が終わった後の 8 月に私はスクーリングと称した立命館大学の見学をしました。私はこのスクーリングで学校の特徴や、学生の雰囲気、研究室の様子などを視察し、この大学へ行きたいという思いが固まりました。私はこのスクーリングで魅力を感じた部分や自分のやりたい研究についてなどの内容で自己推薦書を書きました。自己推薦書を書いていて、私は自分について書けることが意外と少なかったことに気がつきました。私は高校 3 年生になってから指定校推薦を目指したので、高 1 高 2 の時にやったことが有志の「よさこい」位しかめばしいものが無く自己推薦書にとっても苦労しました。なのでこれから指定校推薦にする予定の後輩たちには自己アピールできる素材を自分の中に見つけたり、積極的に探していくことを勧めたいです（学校行事の実行委員や外部ボランティア etc...）。自分の功績があるほど推薦に直接的に有利になるので、色々なことにチャレンジしてほしいです。

関西大学 外国語学部 外国語学科 英語専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
タイ出身

留学生が日本の高校で学べることは 計り知れないほど多いと思います

■日本語だけではなく英語や
韓国語も勉強しました

私は 17 年間タイで生活し、高校 2 年次からは日本に留学しています。留学する前は日本語の文法、漢字はできませんでしたが、日本人との会話ならば少しはできると思っていました。しかし、留学生クラスに入ってみると他の留学生よりレベルが低かったのです。私は毎日、必ず 2 時間、日本語を勉強し、3 ヶ月後、N3 を受けました。早く日本人と同じクラスに入れるように日本語以外も勉強しました。

その結果、3 ヶ月経って日本人クラスに行くことができましたが、日本人のクラスと留学生のクラスは全然違いました。留学生のクラスのように先生は説明をゆっくりしてくれませんか、知らない単語や漢字もたくさんあり、難しいことばかりでした。その上、外国語コースに入った私は英語以外の第二外国語または数学を選択しなければなりませんでしたが。私は韓国語を選択しましたが、母国語と英語や日本語以外の言語の基礎は全くなく、他の学生はもうすでに 1 年以上勉強して進んでいたのも、とても不安でした。しかし、韓国語の先生や友達の手助けもあり、みんなに追いつくことができました。また試験では全科目、満足のいく点数を取ることができ、日本語検定 N1、TOPIK I も合格することができました。その他にも英語も大学受験に必要だと知り、英検 2 級や TOEFL、IBT、IELTS も受験しました。私は、毎日勉強だけしていた訳ではなく、他の学生と同じように部活もしていました。軽音部とインターアクトに所属して色々なイベントに参加、活動しました。

■努力は無駄にならないので
自分を信じて頑張らしましょう

高校生活の中で 3 年生の時が一番大変だったと思います。それは校内模試第 1 回目と夏の期末試験、また私は留学生なので日本語検定、留学能力試験もありました。さらにその時期に 24 時間テレビのイベントを手伝いに行く予定も重なりました。私は校内模試に 3 ヶ月前から毎日過去問を勉強して間違ったところはちゃんと見直し理解してきました。夏の期末試験の勉強や日本語検定の勉強も短期間ですが頑張って休まず続けました。

大学受験は、もちろん勉強する事、諦めずに努力することが大切ですが、その他にもプレッシャーに耐える精神力も大事だと思いました。大学の内定がもらえるまでは、本当に毎日不安で仕方ありませんでした。しかし、先生や友達、そしてタイの家族から支えてもらい諦めずにここまでやっておられました。

特に留学生が語学学校ではなく、日本の高校の中で日本語や新しい言語を学ぶのは、本当に大変です。でも、得られるものは比べられる事ができないくらい多いと思います。諦めずに自分を信じて、頑張って努力したことは、全て無駄にはならないので結果だけを考えずに自分を信じて頑張ってください。

関西学院大学 法学部 法律学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
東華中出身

何事も早め早めに取り組み 余裕を持って高校生活を送りましょう

■豊富な経験は自己成長に加え 推薦入試にも役立ちます

指定校推薦を受けるにあたって、私が思ったやっておいて良かったことに加えて、やっておくべきだったことも述べたいと思います。

まずは、校外や校内問わず、なんらかの自主的な活動です。私は、高校 1 年生の時にハワイ研修、高校 2 年生の時にニューヨーク研修に参加しました。文化も言語も違う人々と一緒に過ごし、様々な価値観のあり方を学ぶことができてとても良い機会でした。私は、海外研修でしたが、ボランティアや生徒会、委員会など自分で身をもって何か一つ体験しておくことは人間として成長できる上に推薦文を書いたり、面接を行う上でとても役に立ってくると思うので、行っておくことをおすすめします。

また、評定の事を考えた上で学校生活を過ごすことも大切だと感じました。と言っても、学校を欠席せず、提出物をしっかり忘れず出して、定期テストに真剣に取り組めばそこまで悪い評定を取ることは無いと思います。全て当たり前前のことばかりですが、評定が少しでも足りなくなれば受けることさえできないので、少しでも考えながら生活すると良いと思います。これらが主にしておいて良かったと感じたことです。

■資格が足りず出願を 断念した大学もありました

しておけば良かったと感じることは、高校 2 年生、できれば高校 1 年生の内から指定校推薦についても視野を広げておき、対策しておくことです。具体的に言うと、一つは校内模試に向けて勉強です。推薦枠を勝ち取る上で最も大事な要素であるので、早くから意識的に対策するだけでも、自分の行きたいと思う大学に行けるかどうか大きく変わると思います。もう一つは、資格についての点です。大学によっては英検や GTEC のスコアなど出願するために必要な場合があります。指定校推薦を意識するなら、出来る限り資格を取っておくことをおすすめします。私は、絞った大学の内の一つが自分の持たない資格が必要であることを後から知り、出願できなくなった苦い経験もあります。どんなものでも取っておいて損はありません。

何事においても、早め早めに取り組むと後々楽になることが多いと思います。心に余裕を持って有意義な 3 年間で過ごしてください。

関西学院大学 理工学部 人間システム工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
宮城教育大学附属中出身

進路に迷ったらオープンキャンパスや オープンラボに積極的に参加しましょう

■担任の先生と面談を重ね
進路を絞り込みました

私は、入学した時から指定校推薦入試を視野に入れていたので、授業を真面目に聞く、定期考査の勉強をする、提出期限を守るなど、「当たり前のことを当たり前やる」を心がけていました。また、部活や学校行事の委員会に積極的に参加し、活動していました。加えて、志望学部に関わる経験、資格の取得などがあると、校内選考の際にも、面接の際にも自分の強みになると思います。校内模試に関しては、文系は国語と英語、理系は数学と英語の成績で判断されるので、指定校を考えている人は計画的に勉強したほうが良いと思います。

私は、大学で何を学びたいのか、将来何になりたいのかを一つに絞ることが出来ず、担任の先生に何度も面談して頂き、志望大学を決めることができました。また、たくさんの先生方に自己推薦書の添削をして頂き、繰り返し面接の練習をしていただいた事で、自信を持って受験に臨むことができました。

自分の進路に迷ったときは、ぜひオープンキャンパスやオープンラボに積極的に参加してみてください。資料では分からない大学の雰囲気やイメージを感じ取ることができ、受験勉強のモチベーションアップにつながると思います。

今、高校生活を振り返ると支えてくれた家族、サポートして下さったたくさんの先生方、受験を応援してくれた先輩や友達に感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりますが、後輩の皆さん、限られた時間を有効に活用し、充実した高校生活を送って下さい。

龍谷大学 文学部 日本語日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
南小泉中出身

合格に必要なものは学力だけではなく 様々な取り組みも評価されます

■部活動では貴重な経験ができ
自分自身の知見が広がります

私が指定校推薦という方法をとって受験に臨もうと決めたのは 3 年生の春の事でした。私はもともと私立一般志望であったし、指定校推薦という制度を先生と友人から紹介されるまでよく知らなかったため、1・2 年次ではこれといって対策をしていませんでした。かといって当時の私が精一杯私立対策に励んでいたかということ、そうではありません。では、何をしていたのでしょうか。

私は特別進学コースで部活動に没頭していました。私は文芸部と生物部に入部し、生物部では部長を務め、加えて生徒会にも所属していました。クラスには運動部に所属している友人もいます。もし、あなたが指定校推薦を希望しているのであれば「大学合格に必要なものは学力だけではない」と、伝えられると思います。指定校推薦の校内選考で重視されるのはもちろん学力ですが、その他に部活動などの取り組みも評価対象になります。私の場合は、結果的に部活動などの取り組みが指定校推薦に活かされたのですが、指定校推薦を動機に部活動や生徒会に所属するのも一つかもしれません。また、指定校推薦ということを抜きにしても、仙台育英は部活動の兼部が可能であり、生徒会の間口も広いため、意欲的に取り組むことを勧めます。勉強をするだけでは得ることのできない、ありきたりな表現かもしれませんが「かけがえのない経験」を得ることができます。机の上に広がっている景色がすべてではありません。世界は拡大します。知見は広いに越したことはないのです。

■推薦入試は学力ありきで
あることを忘れずに！

ここまで持論を述べてきたわけですが、一つ、釘をさしておかなければならないことがあります。私とて勉強はしていました。勘違いしてはいけないのは、学力あつての推薦であり、大学進学なのです。最低限の学力というものは保持してなくてはなりません。注意しましょう。

後輩諸君の健闘を祈ります。

龍谷大学 文学部 英語英米文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
逢隈中出身

推薦合格後は時間にゆとりができるので 進学後に備え更に勉強に励みましょう

■志望大を受験した先輩に 助言をいただきました

私が指定校推薦で合格するために努力したことは、勉強と部活の両立です。部活によりますが、私が所属していた書道部では、思ったよりハードで勉強時間を確保するのが大変でした。ですが、指定校推薦では評定を重視される大学も多いので、期末考査や提出物など、普段の行いにも目を向けながら生活することを心がけました。

校内模試も重要視される条件の 1 つです。コースによって模試への取り組み方は違うので、先輩方や先生にどのように取り組めばいいのかアドバイスをもらおうと思います。私の場合は、一般受験をした先輩にアドバイスをもらいました。

資格取得はしておいた方が強みになることや選択の幅が広がると思います。1 年次から資格取得に向けて勉強して、何度も挑戦するといいい経験になると思います。また、資格取得は校外案内もあるので、様々な資格を取得できるように取り組みました。

■一般受験をした姉の影響で きちんと勉強していました

私は大学合格が決まってからも、もっと勉強するようになりました。部活も引退したので、家にいる時間が多くなったので、その時間を使って勉強しています。指定校推薦にかかわらず推薦入試者は一般受験者との学力に差が出てくるので、できるだけ周りの学力に追いつくように勉強したほうが、より大学生活が充実すると思います。

私には一般受験をした姉がいるので、その影響を受け勉強をしていたことがあったので、周りの人の影響力はとても大きいです。従って、自分が合格したからといって、その喜びにあまり友達を巻き込まない方が自分のためであり、友達のためにもなると思います。勉強は進学するにあたって、専門学校でも大学でも大事なことなので、自分のためになると思います。

龍谷大学 経済学部
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
上杉山中出身

高校生活で身につけた様々な力をもとに 大学では問題解決能力を磨きたいです

■生徒会活動や行事を通して 視野が広がりました

私は、高校生活で様々なことを経験しました。入学当初から推薦入試を考えていたため、自分自身を磨くことができる活動に積極的に取り組みました。1つ目は、生徒会活動です。自分の力を発揮したいという思いもあり、入部しました。オープンキャンパスの運営や、地域の奉仕活動、育英祭の運営、入試補佐などを経験しました。そこで私は、人と人との繋がり大切さを学びました。様々な人と交流することによって、かたよった考え方ではなく広い視野で物事を考えられるようになりました。生徒会執行部以外にも、様々な学生行事の実行委員を務めました。全体をまとめる経験が多くあり、自分だけでは無く、相手の視点に立って考えることの大切さも学びました。このような経験から私は、様々な人の考え方を知り交流するということに興味を持つようになりました。高校2年生の時には英語の課外講習であるベルリッツ英語講習に参加し、日本語ではなく英語で自分の意見を述べる力をつけました。英語を話すことが好きだった私にとって、とても楽しく学ぶことができ良い将来への経験になったと考えています。

■世界情勢についての知識を 増やす努力を続けています

大学生活で私は、新しい自分を見つけ将来への良い学びを習得したいと考えています。私は将来、メディア系の職業に就きたいと思っているため、様々な考え方を知り、物事を考えていく力をつけたいと具体的には考えてみます。そこで、自分の慣れない関西で新しいスタートをきり、自分自身と向き合い高めることを決意しました。

そのために私は、大学入学までの残された時間の中で、世界各国や日本の様々な情勢について知識を深めました。入学試験では、小論文があったため、広い知識を持ち、応用できる力が必要でした。そこで私は、ニュースや新聞を読み、その問題について自分自身の意見を持つということを心がけるようにしました。また、なじみのない問題や分からないことは、政治経済の先生に質問し理解を深められるように努力しました。その結果、以前よりも世界の動きや日本の動きについての知識が増え、より一層経済学について興味を持ちました。私たちが今、抱えている経済問題に対し、問題意識を持って解決できる力を大学生活で身につけたいと思います。そして、高校3年間で学んだ様々な力を応用したいです。

東北公益文科大学 公益学部 公益学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

苦しい思いをしても諦めてしまわずに 次のステージでの活躍を目指しましょう

■面接前にはその大学独自の 特色を調べておきましょう

東北公益文科大学では他の大学にない公益という勉強をすることになります。聞いて何の勉強をするか分かる人はとても少ないのではないかと思います。だから、まず自分自身が志望している大学はどのようなことをするのかを調べる必要があります、それに加えて、他の大学にはないものを見つける必要があります。だから面接の前だったり大学の進学を決めるときは、それを理解していかないとけません。

スポーツをやっていたら、監督やコーチにここがいいんじゃないかと勧められたりして、そこに決めるという人が多いと思います。だからといって、何の準備もせずにやっていってはいけないと思います。スポーツの特待生で入っても、スポーツ推薦でも、大学に入学したら一般受験の人と一緒にになります。だから、入学前の準備や試験の対策は必ずやるようにしてあって、スポーツも学業も充実させていくことが出来るようになっていった方がいいと思います。

■勧められたからではなく 自分の意志で進学しましょう

オープンキャンパスだったり、練習会だったりたくさん行ってみて、今の自分自身の実力をどんどん確かめてみた方がいいと思います。一人一人合う大学は違うし、合っている大学に行かないと悔いが残ると思います。その中で大学を決め、人生の岐路だと思わないといけません。だから後悔しないような選択を出来るように、行けと言われたから行くじゃなくて、ここに行きたいと思えるような大学に行った方がいいと思います。

高校生活、悔しいこともたくさんありました。苦しい思いをして、結果が出ないということもあります。そこで諦めずに次のステージで絶対に活躍するんだという気持ちを持って何事にも臨み、結果が出た時にはもっと高みを目指してやっていて、夢を叶えていきたいなと思います。

いわき明星大学 薬学部 薬学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
矢本第二中出身

入試で有利になることが多い英検など 検定はできるだけ多く取得しましょう

■オープンキャンパスに参加し 特色や雰囲気を比較しました

私は受験大学を絞り込むのにかなり時間がかかりました。2 年生の後半ぐらいからオープンキャンパスに参加するようになりました。オープンキャンパスでは積極的に模擬講義などを体験し、先輩方や先生方から色々な話を聞きました。それぞれの大学のオープンキャンパスに参加して、大学それぞれの特色や雰囲気などの違いを比べて、自分が最も入学したいのはどこかと考えて受験大学を決めました。

私の後悔としてはもう少し早くオープンキャンパスに参加して、余裕を持って色々なことを決めたかったということと、英検、漢検、数検などの検定を取得していれば良かったという後悔があります。受験の時に検定を取得していればかなり有利になりますし、特に英検を取得していると大学によっては試験が免除になる場合があります。

このことから、これから受験をする人はできるだけ早くオープンキャンパスに参加して、先輩方や先生方から話を聞いてみるといいと思いますし、検定もできるだけ多く取得することをおすすめします。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
みどり台中出身

自己推薦文を書く時に志望動機を 掘り下げると面接にも役立ちます

■遅刻を一度もすることなく 生活態度も気をつけました

私が大学進学について考え始めたのは高校 2 年生の夏くらいでした。2 年生の文理選択で理系を選んだ私は、ただ漠然と大学も理系の学部に進学しようと決めている中途半端な状態でした。私は 2 年生の夏休みに友人と東北学院大学工学部のオープンキャンパスに参加し、そこで環境建設工学科の存在を知りました。

指定校推薦を考え始めたのは 3 年生の春からです。指定校推薦は学部学科によって推薦枠が決まっており、出願に最も大事なものは 6 月に行われる校内模試です。この模試で高い順位を取れなければ、他の人に枠を取られてしまいます。なので、私は指定校推薦を目標と定めた春頃から 6 月の校内模試に照準を合わせて勉強をしていきました。指定校推薦を貰うためには、生活態度や出席日数、評定なども気をつけて過ごさなくてはなりません。遅刻は一度もせずに、授業に取り組み、1, 2 年生と皆勤賞を続けました。

■合格後も油断することなく 勉強の習慣を続けましょう

指定校推薦には自己推薦文も必要となり、1,500 字程度書くことになります。自己推薦文を書くことになったら、もう一度なぜその大学に行きたいのか深く掘り下げて考えてみることを勧めます。その時考えた事が面接を受ける際の強みになります。

3 年生になると、センター試験に近づくにつれて受験ムードが増していきます。模試や講習の日々が続いて嫌気がさすこともあります。ですが、卒業までの日数を数えると時が経つのが早く感じられます。推薦で合格が決まると余裕が生じてきて油断しがちになってしまいますが、大学生活で苦労しない為にも勉強の習慣は継続して行っていかなければなりません。高校生活を充実させるべく、日々の生活も無駄にすることなく規則はきちんと守り楽しい高校生活を送って下さい。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
高砂中出身

先の見通しを大まかに立てておく 自信を持って進路を決定できます

■将来のために多くを視野に入れ
進路を考えました

なぜ進路で悩んでいるのか、明るい将来のためにここで良い判断をしたいと思っていることと思います。私もまだ自分の判断が良かったのかは分かりませんが、これからの大学生活を送ってみて分かるのだと思います。しかし、現段階では将来への見通しを大まかに持つことはできています。先の事のある程度理解していると行動にも自信がついてくると思います。なので、後輩にはそのような考えを進路決定に取り入れて頂きたいです。先の見通しを立てることができれば状況に応じて良い判断ができると思います。また、良い判断を求めるのも大事ですが、後悔しない選択をしてください。

私は部活動の推薦で高校に入学しました。大学でも部活の道を歩もうと思っていましたが、高校 1 年生の時から 2 つの将来を考え始めていました。予測と備えをすることは人生において重要です。明かりを見失わないように今のうちから多くの光を見出してください！

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
岩沼中出身

何を目標に毎日勉強しているのか 時々立ち止まって確認してみましょう

■得意教科に関する資格や

検定は大きな強みになります

私が仙台育英に入学した際に、自分の心の中でひとつだけ決め事をしました。それは、将来を見据えて大学に進学することです。具体的には、自分がどんなことをしたいのかを明確にし、それに向けてどう努力するのかを理解することです。

私は前々から情報分野に興味があり、将来は情報系の仕事に就きたいと考えていました。それに合わせて大学も決めようと考えていました。その頃はまだ、一般入試か、推薦入試かは決めていませんでした。しかし、推薦を取ろうと思ったとき、困らないように、数検を受けました。自分は数学が好きなので、空き時間を使っての勉強もスムーズに行うことができたし、授業の復習にもなりました。文系理系関係なく、自分の好きな教科があるなら、それに関連する検定は受けておくべきだと思います。実際、推薦文を書く際に、自分の得意教科と共に検定を持っていることは大きなアピールとなります。

志望大学を東北学院大学に決めてから、担任との面談が何度もありました。私が推薦を選んだ理由は、その面談で先生にすすめられたのがきっかけでした。最初は、ただチャレンジしてみようと思っていただけだったので、推薦での合格までの道のりがまったく見えませんでした。しかし、推薦を取る人に重要となる校内模試が近づくにつれて実感が湧いて来る感じでした。校内模試は、推薦を取る人からしたら、一つ目の本試験のようなものです。私は理系なので、英語と数学のみをひたすら勉強しました。結果は目標の順位より高めの成績を取ることができました。

その後は、提出する書類の作成がかなり大変でした。特に 1,800 字の作文は、時間をかけて作り、何度も先生に直されました。

■資格・検定は 2 年次までに

取得しておきましょう

推薦入試の可否は、11 月には決まってしまう。一般入試の人と比べたらとても早い。ですが、その分、推薦入試の人は、前もって準備することが必要だと私は思います。検定の勉強は 3 年生になったらやる時間は、ほとんどないでしょう。3 年生の 5 月、6 月には定期テストと校内模試があるからです。

今でも覚えている 1 年の頃の先生の言葉があります。それは、「なんとなく学校生活を過ごしていると高校 3 年間はあっという間に終わってしまいます。目標を持って生活していきなさい」。この言葉のとおり目標をもつことは大事です。日々自分が何に向かって勉強しているか、少し立ち止まって確認するのは、推薦入試において大切なことだと、私は身にしみて思いました。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
柳生中出身

いかに周りの人や環境に恵まれているか 進路と向き合って改めて気づきました

■周りの人達に背中を押され 推薦入試に挑戦しました

進路を考え始めた時に、第一に浮かんだのは高校入試でのつまずきでした。まだ過去にとらわれていた自分が居たことを悔しく感じ、一般入試という形でリベンジしたいと考えました。それが、私にとって妥協の無い挑戦だと思っていたからです。指定校推薦での出願も考えましたが、指定校推薦を目指す友人は入学当初から進路実現に向けて努力していた人ばかりで、高3になって進路を決めている自分が指定校推薦に出願することに引け目を感じました。そのような気持ちがあり、私が指定校推薦の出願を決めたのは6月の末で期日間近の選択になりました。きっかけは、進路希望調査後に担任の先生に東北学院大学を薦めて頂いたことです。大変悩みましたが、家族や先生方、友人が私の背中を大きく押してくれました。校内選考の際に大きく関わる校内模試は既に終了しており、大きな決断だったと思います。しかし、一般入試の勉強を始めていたので、予想以上に校内順位は伸び無事校内選考を通ることができました。

■時間をかけ深く悩むほど 目指すべき道は拓けます

校内選考を通過し大学に合格できたのは、毎回の定期考査で平均評定を意識し対策していたことや、校内活動や検定に積極的に挑戦していたことが一因であると思います。定期考査では、努力している友人が近くにいたことで私も頑張れました。また検定では、販売士検定3級とニュース検定2級を取得し、見聞が広がったと思います。

高校卒業後の進路を決めることは、人生の大きな岐路の一つであると私は考えます。進路と本気で向き合うことは、決して簡単なことではなく憂鬱な気分させるものですが、その過程で人間関係はもちろん、学習・生活環境に恵まれていることに改めて気づかされます。大なり小なり失敗や挫折はしましたが周囲の人々が支えてくれたことで、最後まで妥協しない進路選択が出来たと思います。大切なのは、悩んだ時間や質だけ、目指すべき相応の道が拓けると信じてつづけることです。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
高崎中出身

特別選抜クラスで日々切磋琢磨しながら 高いモチベーションを維持できました

■空き時間を活用して勉強を アルバイトと両立しました

大学進学を目標に高校生活 3 年間、AJ クラスに所属していました。このクラスには、難関私立大学や国公立大学への進学を目標にしている人が多くいたため、勉学への意識も常に高く持ち続けることが出来ましたし、自分の将来について考える機会も多く、とても良い刺激になりました。私は将来、FP になりたいと考えており、その夢を実現させるためには、専門的な知識を身に付ける必要があったので大学へ進学し身に付けようと考えました。

高校時代は、アルバイトをしていたため勉学との両立を心がけました。放課後や休日に勉強するための時間を十分に確保出来ない日が多かったため、休み時間や朝の SHR 前などの空き時間に予習復習を行うなどし、授業についていけるように、また、テストで良い成績を残せるよう努めました。そして、長期休暇期間の講習にも積極的に参加しました。また、高校時代に英検やエクセル、ワードの資格を取得したため、大学受験の際、自分の強みになりました。1 年次からでも取れる資格はたくさんあると思うので、心や時間に余裕のある 1 ～ 2 年次に資格を取得することをおすすめします。

■小論文練習は将来大学での 論文作成に役立つはずです

私は、指定校推薦だったため試験は 10 分程度の個人面接と小論文でした。人と話すのは得意な方だったのですが、小論文を書くのがとても苦手だったため先生に教えてもらいながら練習しました。その先生のおかげもあり、試験当日も、きちんと書ききることが出来ました。教えていただいたポイントやコツも多くの小論文を書くことで定着させることが出来たと思います。進学先でも論文を書く機会は多くあると思うので高校時代に身に付けておくの良いのではないのでしょうか。

受験生の皆さんが 1 人でも多く志望大学に合格できることを願っています。頑張ってください。

東北工業大学 工学部 情報通信工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
七ヶ浜中出身

クラスメイトのレベルの高さに 刺激を受け受験勉強に励みました

■指定校推薦枠が多いことを
知り受験を決意しました

大学入試について最初に考え始めたのは入学してから 4 ヶ月位経った頃、私は初めて味わった受験の衝撃がまだ残っていました。第一志望の高校に行けない、合格判定は B と十分なものではありませんでしたが、死に物狂いで勉強したし何より自分がそこに行きたいと強く願っていながらそこへ行くことが出来ない。その現実を受け入れられず常にぼんやりとしながら目標を持たずに、ただ高校生になる流れに流されて行くだけでした。

仙台育英に入学し学力テストを受け文理選択も無い中でなんとなく授業を受ける毎日。そんな中、私は廊下でその年の大学合格者の一覧表を目にしました。そこに載っていた推薦枠の多さに驚きました。そこから私は指定校推薦を目指して行くことになります。まず私は、自分のクラスに於ける学力の順位を知ることになりました。

学力テストの結果は 8 位程でしたが、私の学力は中学生時代から何も変化していないということに気がきました。同時に今のクラスで私よりずっと勉強の上手な人達に追いつくことを目標に、授業に取り組むよう気を付けるようになりました。2 年生になった時、私はジャンプクラスである 5 組に入ることができました。おかげで周囲のクラスメイトも私よりずっと勉強の上手な人達と一緒になれて環境が大きく変化しました。1 年生の時以上により明確に自分の学力の低さを知ることが出来たことが高校に入って何よりも驚きでもあり嬉しかったことでもありました。

指定校推薦を取るための条件は、私の場合 3 年間の評定平均値が 4.0 以上でした。指定校推薦が多く大学へ入学しやすい仙台育英に来れたことは第一志望だった高校へ行くより良かったと思います。

東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
名取第二中出身

両親への感謝の気持ちを支えに 諦めずに頑張って勉強しました

■父が働く姿を見てきて 同じ道を選びました

私は東北工業大学都市マネジメント学科に指定校推薦で合格しました。大学の志望先を考え始めたのは、高校に入学してから半月経ったときです。その時は大学の先生に来ていただき、大学に関連することを紹介してもらい、進学セミナーで東北工業大学の存在を知りました。私の父は土木関係の仕事で、幼い頃から見てきて興味を持っていたということもあり、東北工業大学に入りたいと考えました。入試は指定校推薦と AO 入試の 2 つで考えていました。

■大学入学はあくまでも 通過点に過ぎません

3 年生になる年の 6 月末に行われるテストの結果によって指定校推薦が取れるのかが分からないので、数学の勉強に力を注ぎました。1 年生の頃は部活もやっていたので、両立する時間が少なくなり、テストでは悪い点数を取っていました。そして高校 2 年生に進級し高校生活にも慣れたところで大学の入試のための勉強に取り組み始めました。平日はその日行った授業の復習を時間ある限り、30 分でもいいから勉強を取り組みました。また、休日の日は部活やクラブチームなどある日は、夜中や朝早く勉強することにも心がけました。その結果、高校 2 年生のテストでは常にクラスのトップ 5 に入り、平均点もテストをしていく毎に上がって行きました。また、数学なら数Ⅰ、数Ⅱ、数 A、数 B などの教科を復習するためにノートやワークをもう一度解き直すほか、練習問題をたくさん解きたかったので、参考書も買いました、数学だけでなく不得意だった英語は、授業前に予習をして内容を深めたり、単語帳を買って、毎日 1 頁でもいいから単語を覚えめました。当時は「もう勉強なんか辞めたい」など諦めそうな気持ちになりましたが、自分を育ててくれた親への感謝を考えると共に勉強に熱意が入りました。今ではよく頑張っていたと思います。そして 3 年生になり、6 月末のテストに合格し、東北工業大学の指定校推薦を取ることができました。あくまでも大学に入学するのは目標であり通過点でもあったので、今でも大学に入学するまでの期間を頑張ろうとするモチベーションは高いです。毎日の授業や予習、復習など勉強をしっかりと継続していけることができれば、必ず大きな結果を掴むことができるはずで。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
中野中出身

資格取得などは書類作成に役立つうえに 多くのことを学ぶことができます

■独自のカリキュラムに 魅力を感じ志望しました

私は将来保健師になりたいと思っているので、受験資格が得られる 4 年制の大学を志望しました。中でも東北文化学園大学を選んだ理由は、福祉を学ぶ学部学科が豊富で連携セミナーがあり、これから重要視されてくるチーム医療を体験できるという他の大学にはない独自の特色に魅力を感じたからです。

私は高校入試出公立高校の前期、後期を受験し、失敗して仙台育英に入学しました。この経験をバネに、高校 1 年生のうちから後悔しないように勉強に取り組んできました。普段の授業は、当たり前のことですが、しっかり聞いて板書をし、疑問に思ったことがあればその日のうちに先生や友人に質問をし、解消しました。どの教科も理解できるまで、暗記するまで何度も繰り返し解くことが大切だと思います。早くから対策を始めると教科が偏ることなくできるし、余裕を持って勉強できるのでおすすめです。

■資格取得は 1 年次から 積み重ねていきましょう

また、私は資格取得にも力を入れました。英検、漢検、N 検、情報処理検定などをさまざまな検定に挑戦しました。3 年生になると受験対策で忙しくなるので、資格取得も 1 年生のうちから積み重ねて行って欲しいです。

さらに私は生徒会に所属し、執行部員として行事運営やボランティア活動に携わってきました。ボランティア活動や資格取得は調査書に書けるので武器になるし、学ぶことを多かったので自分の成長のためにも、やっていてよかったと思っています。

そして私は大学のオープンキャンパスに積極的に参加しました。志望大学を決めるために様々な大学に足を運ぶのももちろん大切ですが、志望大学を決定した後にその大学のオープンキャンパスを全制覇する気持ちで、教授に顔と名前を覚えてもらい、仲の良い先輩をつくっておくと入試の際や、大学に入学してから役立つと思います。何事も早くから対策を取るのが重要です。頑張ってください。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
高崎中出身

進路に悩んだときは学校の進路学習や 周囲のアドバイスが参考になります

■時間を有効に活用し学習と アルバイトを両立しました

私は、アルバイトを通して、経営・経済学を学びたいと思い大学進学を決意しました。様々な入学試験がある中で私は指定校推薦で受験することを決意しました。3 年間、日々の生活態度に気を配り、注意を受けないよう心がけました。勉強面では、アルバイトとの両立ができるように、休み時間や放課後に自主学習に励み、時間の有効活用をして来ました。その結果、受験資格を取得することができました。

私は、もともと自動車整備系への進路を考えていました。しかし、学年が上がるごとに迷いが出てきました。しかし、学校で開催される進路相談会や、進路に関する学習をしたことで新たな進路を導き出すことができました。

進路について迷ったり、悩んだりした時は自分一人で解決しようとするのではなく、親や先生に相談し、夢の実現に向けて頑張ってほしいです。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
塩竈第一中出身

夢がまだ見つからない人は 色々なことを学びながら探しましょう

■高い評定を取っておくほど 進路の選択肢が増えます

私は指定校推薦で受かりました。私は最初、大学は考えておらず、専門学校へ進学しようと考えていました。しかし、オープンスクールで自分が求めていることとの違いを感じて進路変更をしました。就職しようかと思いましたが、先生から評定があるなら大学へ行けるかも知れないと聞き、大学に進路を決めました。

3 年間で大事だと思ったことは、評定をしっかり取ることです。評定を高く取ることによって進路を増やすことが出来るからです。テストも授業もちゃんと聞き、高い点数を取っておくと有利です。私自身もテスト勉強にしっかり取り組んで授業を聞き課題も提出していました。なので評定も良かったです。ということでやれることはしっかりやりましょう。

私はアルバイトもしていました。一足先に社会経験をしていました。そのことにより、敬語やアドリブが上手く出来るようになりました。勉強も大事ですが、アルバイトなどで社会経験を積んでおくのも良いと思います。

■目標を立てることが やる気につながります

指定校推薦だと推薦書を書くのと面接があります。まず、校内推薦を乗り切らなければならないので文章力を身に付けておくと楽です。推薦書に書けることをやっておくと良いです。ボランティア活動やアルバイト、学校生活のことを書けるように色々なことをしておくと推薦書を書きやすいと思います。

面接は、聞かれることが分からないので、たくさん練習をしなければいけません。色々な質問にできるだけすぐ答えられるように先生や友達に練習して万全な状態にしておきましょう。

私にとって大学とは、将来の夢を実現させるために行くところです。夢を持つことで目標を立てられ自身のやる気にもつながります。まずは自分がやりたいことを見つけることが大事です。まだなにもやりたいことが見つからない人は、色々なことを学びながらやりたいことを探しましょう。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
中野中出身

目標を少しずつ高く設定しながら 1 つひとつ着実に達成していききました

■大学に進学して更に深く 勉強したいと思いました

私は高校 1 年のとき初めは公務員の専門学校を考えていました。でも 1 年の後半に、専門学校ではなく大学でもっと長く勉強していきたいと考えるようになって、指定校推薦で大学に入学することを決意して 2 つのことをがんばってきました。

1 つ目は勉強です。勉強では 1 年生の初めのテストで 1 教科赤点を取ってからは、評定 4 以上取るという大きな目標を目指し、かつ、次のテストで 50 点以上取るという小さな目標を少しずつ立てて、学校での授業で分からないところは先生に聞いたりして、それを家で復習して苦手な教科や得意な教科の良い点数を取っていき目標を達成しては、次の少し大きな目標を立てては達成して、こつこつやり続けて大きな目標を目指しました。

2 つ目は生活面です。授業態度や提出物を出して平常点を減らさずにやり、生徒指導を受けないように真面目に過ごして、遅刻や欠席をしないようにしてがんばってきました。

■志望する学科に惹かれた 理由を明確にしましょう

「後輩に向けての言葉」

大学進学に進むならば、早いうちから進路先を決めて準備しておいた方がいいです。大学の資料を集めて自分が何をしたいのかを決め、どの学科に入りたいのか決めておき、学科の経験など、その大学の魅力や自分が惹かれたところを考えましょう。指定校推薦では、この資料、オープンキャンパスで見つけた魅力や惹かれたことが志望動機に繋がるし、1 年生、2 年生で部活か実行委員などをやることにより自分の武器が分かり、自己 PR で生かせるから早めの段階で決めれば、これらを指定校推薦文で生かせます。後輩の皆さん、諦めずやれば合格はできます。がんばってください。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
六郷中出身

無事に指定校推薦で合格できたので 大学で夢に向かって努力します

■キャリアサポートの先生が 親身になって下さいました

私は東北文化学園大学に指定校推薦で合格をもらうことができました。これには沢山の先生方のご指導や支えなどがあったからです。まず私は高校 3 年生の夏休みに進路すら決めることが出来ずとても迷っていました。そんな時にキャリアサポートの先生と話し合いをして夏休み中の課題であるオープンキャンパスに行く学校を決めることにしました。キャリアサポートの先生は、自分のやりたいことや将来の夢などを総合的に考えて東北文化学園大学を勧めてくれました。そして夏休みにオープンキャンパスに行きました。初めはとても不安で心配でした。しかし大学の先生方や先輩がとても優しく接して下さりとても充実した日になりました。その日のオープンキャンパスでの体験授業がとても自分に合っていると思いました。そして私は東北文化学園大学でもっと学びたいと思うようになりました。

■本番では緊張しましたが 練習の成果がありました

私は夏休み明けに担任の先生との面談の時にオープンキャンパスのことや大学などについて話し進路を決定しました。それからの学校生活は学校に欠席しないことはもちろん、評定などにも気を使って生活しました。指定校推薦では大学から定められている評定を上回っていないと受験できないため、しっかりと学校生活を送りました。そして面接練習も積極的に行いました。学校の先生や友人などと何度も練習をして身に付けました。そして指定校の受験の当日になりました。沢山の人が会場に来ていてとてもドキドキしていました。そして自分の受験番号が呼ばれて受験室に入り面接がスタートしました。練習をしっかりとしていたので思った通りに進めることができました。そして合格することができ、とても良かったです。指定校推薦で大学に合格したからには精一杯勉強をして自分の将来の夢に近づけられるように努力しようと思いました。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
松島中出身

同じ大学への進学を目指す友達と 互いに協力しましょう

■ 1 年次から指定校推薦での 進学を考え行動しました

私は大学受験で指定校推薦を選択しました。指定校を選んだ理由は、大学合格を早く決めたかったというのと、一般入試で入るのは難しいと考えたからです。

私は高校入学時から大学に進学したいと考えていました。そのために 1 年生の頃から指定校推薦の枠を狙っていました。指定校をもらうために努力したことは主に定期テストです。テスト前になると友達同士で集まり、お互いに得意教科を教え合いながら勉強し、定期テストでは皆で常に高い点数を取れるように心がけていました。その他に心がけていたことは出席日数です。指定校推薦は評定も大事ですが、出席数も大事です。3 年間を通して決められた日数以上休むと、評定ラインに達していても推薦がもらえなくなってしまいます。なので生活面や健康面にも気を使っていました。校内推薦を通った面接練習にも力を入れていました。LHR や放課後空いている時間を利用して先生方に指摘していただきながら練習していました。他にも友人に手伝ってもらい、聞かれそうな質問を出してもらったり、「そこはこうした方が良い」などお互いに指摘しあいながら練習を繰り返しました。

■ 友人に誘われて 同じ大学を受験しました

最後に、私が大学に合格できた一番の要因は周りの人達のサポートがあったからだと思います。私はどこの大学に行くかずっと迷っていました。やっと決めた大学も父親に反対されてしまい、一度は大学進学をあきらめました。しかし、友人に同じ大学に行こうと声をかけてもらい、学校に提出する書類や自己推薦文の内容など一緒に考えてくれ、最終日の締め切りギリギリに何とか提出することができ、校内審査も通り大学を受験することができました。私一人では大学に行くことはできませんでした。周りの人達のサポートがあり、やっと大学に行くことができました。後輩の皆さんも同じ大学組と互いに協力しあい大学受験をのりきってください。皆さんならきっと合格できると思うのでがんばってください。

東北文化学園大学 科学技術学部 知能情報システム学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
加茂中出身

面接ではどれだけ大学への思いを 伝えることができるかで決まります

■面接試験では話すことで
自分を知ってもらえます

私がまず高校入学時に大学に行く為の目標が無欠席と評定を 4.0 以上にキープすることです。高校無欠席にしようという目標は、大学の推薦の目安があり、そこで中学では休んだこともありましたが、高校では体調管理をしてしっかり来ようと思いました。また、評定 4.0 以上をキープするには定期テストで 80 点以上を取りたいと考え、勉強に励むため部活も 1 年で辞めてその時間を勉強に当てました。その結果 4.0 以上をキープすることができました。

試験は面接でしたが、まず先輩がやったデータを見てまず何を聞かれたのかを見ました。それでも何を聞かれるかわからないので学年で渡された質問表を全て答えられるように対策しました。また、試験は秋でしたが、それでも通用しないと考え毎日居残り、そして先生方に練習や質問をしていただきました、また、私は面接時の手のクセや様々な指摘を受け、そのクセを直すため日々考え、クセが出ないように努力しました。また、面接の上で一番大変だったのが、しっかり面接官に自分の思いを伝えることです。普段私は一対一で思いを伝えるということが苦手だったので、どうやったら自分の熱意、興味を持っていること、また自分を分かってもらえるかということを考えました。また、私はよく緊張しすぎて言葉が詰まることがあるので、どうやったらしっかり言葉が詰まらず言えるかということも考えました。

その結果、しっかり答えることができ、その面接官がオープンキャンパスで説明していただいた教授だったこともあり、緊張せずにできたことが良かったと思います。私が面接をして思ったことは、最初の何秒かでイメージは決まるかも知れないですが、そのイメージではなく、自分の思いを面接官に伝えることが大切だと思いました。その思いをどれだけ伝えるかによって自分の行きたい所に行けると思います。また、自分のクセは簡単に直せないのでもっと本番をイメージして取り組むことが大切だと思いました。面接だと話すことで自分を分かってくれるので、しっかり話すということも大切だと思います。以上のことを踏まえながらがんばってください。

東北文化学園大学 科学技術学部 建築環境学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
松島中出身

1 年次から高評定や資格取得に励み 後々焦ることのないようにしましょう

■第一志望の推薦枠を

二次募集で獲得できました

私は建築やインテリアにとっても興味があり、将来はインテリアコーディネーターや建築士といった建築やインテリア関係の職に就きたいと考えています。そのために建築やインテリアについての知識や技術を身につけることができる東北文化学園大学科学技術学部建築環境学科への進学を志望しました。私は指定校推薦の枠から外れ、AO 入試で受けようとしていたところ二次募集の枠が余っており、指定校推薦の受験資格を得ることができました。推薦入試合格のために心がけたことは面接練習です。私は人見知りで人と話すのが苦手なため、特に面接練習に力を入れました。面接練習では、滑舌良くハキハキと相手が聞き取りやすいペースで話すことや、面接で話すことを文で覚えるのではなくキーワードで覚えることを努力しました。また、複数の先生方と練習することにより幅広い視点からの質問や人見知りも解消することができ、自信を持つことができました。

■評定や資格を意識しておらず

受験で苦労しました

仙台育英で3年間通して、もっとやっておけば良かったなと思ったことがありました。それは、1, 2 年のうちから評定をなるべく 5 に近づけることや資格をたくさん取ることです。特に 1 年生の時は進路について何も考えてなくて、テストでも赤点を取らなければ大丈夫と思って生活していました。そして資格では受ける時間やチャンスがあったにも関わらず、3 年間何も資格を取らずに終わってしまいました。なので、1, 2 年の時から将来についての目標を持って生活することや、1 年生のうちからたくさん資格を取得する方が、大学進学に大きく有利するので、たくさん取った方がいいと思います。また、オープンキャンパスに何度も参加することも大事だと思います。私はたくさんオープンキャンパスに参加し、推薦入試の際の面接官が私のことを覚えていたので、気が楽になり緊張せず話せました。

最後に、高校生活悔いが残らないように早めに目標を持ち、充実した生活を送って下さい。

東北文化学園大学 科学技術学部 建築環境学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
蛇田中出身

教授に顔や名前を覚えてもらうまで 大学に足を運びアピールしましょう

■高校での取り組みを大学側に 伝える機会は限られています

私は指定校推薦で大学に合格することが出来ました。大学に合格するにあたり何が大切かをまとめてみました。

大学に合格できた主な要因は 2 つあります。1 つは学校生活です。特に平常点などを意識していました。テストで点数を取れば良いという考えの人も中にはいると思いますが、テストで点数を取るのはもちろんのこと、普段の授業態度も気にしながら生活出来れば良いと思います。

2 つ目に部活動や資格取得などの活動です。何かしら部活やアルバイトをすることにより目標を持って高校生活を過ごしているということを大学側にアピールすることがポイントだと私は思います。大学側は私たちが高校でどのようなことをしていたのかを知ることが出来るのは、面接用紙や面接でしか知ることが出来ません。その少ない中でどれだけのことを高校でしてきたのかを多く書けるかが大切になると私は思います。

■専門分野に関する勉強も 早くから取り組みました

3 年生になってから大学に向けての準備をするのではなく、1 年生、2 年生の頃から大学に向けての勉強をしたり少しずつ意識していくことが大切です。私は大学に向けての勉強については専門分野の勉強をしてました。高校で勉強する内容を超えた部分を補習するという意味で勉強に取り組むべきです。

大学に受かった経験として、私は多く大学に足を運びました。多くの大学の先生の講義を受け、多くの先生に顔と名前を覚えてもらうまで通いました。大学の先生に顔を名前を覚えてもらうということは、それだけ大学に意識があり、貴学を目指しているんだと、大学側にアピールすることにつながります。積極的に取り組んでいくべきです。

宮城学院女子大学 学芸学部 英文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
沖野中出身

オープンキャンパスでは教授や学生から 色々な話を聞いて参考にしましょう

■英語の質疑応答対策が 足りずに苦戦しました

私は、3 年生の春まで合格大学とは異なった大学を志望していましたが、夏休みのオープンキャンパスで教授の模擬授業体験や先輩の話を聞いたことで関心を持ち、将来、英語を生かした職業に就きたいという夢を叶えるための学習ができると思ったので、指定校推薦で宮城学院女子大学の英文学科を受験することに決めました。

受験当日までは、小論文対策と面接練習を行いました。3 年生になると小論文は授業を受けますが、授業で扱っている内容とは違い、英語で書かれたトピックを呼んで要約と自分の意見を書く形式なので、小論文担当の先生だけでなく、英語担当の先生にも添削してもらうことをおすすめします。面接練習は、様々な先生と練習をこなせばこなすほど、様々な視点からの意見をいただき、少しでも自信をつけることができます。また、当日の面接は、日本語と英語の五分五分位で質疑応答が行われました。私は、情報収集不足で英語での対応を準備しておらず、当日、苦戦してしまいました。後輩の皆さんはそうならないよう、ALT の先生とも面接練習するべきだと思います。さらに、面接では自分のアピールできることがあると有利だと思います。私の場合は、ハワイ語学研修や中国語のスピーチコンテストに出場したこと、実行委員のことについてアピールしました。長すぎても短すぎても良くないので、適当な量でアピールできるよう練習しました。

いくつかの選択肢の中から受験大学を決めるのは難しいと思いますが、オープンキャンパスに参加し、教授や在学生の話を聞いて参考にするなどして、自分に合った大学を見つけ、入学できるよう応援しています。最後まで諦めずに、がんばってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 日本文学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
東仙台中出身

今までやったことが無駄ではなかったと 推薦受験を通して実感しています

■入学後から積極的に
様々なことに挑戦していくべきです

2 年生の夏に初めて志望大学のオープンキャンパスに行き、その年の冬に受験を決意しました。3 年生になった年の 5 月頃に推薦入試を考え始めたことを担任の先生に報告しました。それまでまったく推薦入試に受験することを考えておらず、入試のガイドブックなどの資料を読み直すことになりました。自分には関係無いと思うところも読んでおくべきです。

自己推薦書の作成では、決められた字数になかなか達することができず苦しめられました。自分が取得したい資格、将来就職した職業などを書いて完成させました。書くことはある程度決まっていたのですがそれだけでは足りなかったもので、高校に入学した後に今までにできなかったことに積極的に挑戦しておくべきだと思いました。また、自己推薦書の下書きはパソコンで作成しなければならなかったのがパソコンにも触れておいたほうが良いと思います。

3 年生の夏にまた志望大学のオープンキャンパスに行きました。その時に小論文の過去問を貰い、問題の傾向を把握することができました。

秋に面接と小論文の練習が始まりました。面接で主に質問されることは資料にすでに書いてあり、それを元に質問に答えるかを考え、紙にメモしていました。面接の練習は毎回緊張してしまい、ときには質問にすぐ答えられないこともありましたが努力しました。

■本番の面接は練習よりも
緊張せずにできました

11 月の半ばが試験本番で、かなり早い時間に家を出ました。受付が始まる 30 分前に付きましたが、受付を待つ場所はすでに人でいっぱいでした。小論文は課題文の内容を理解するのが難しく、自分で納得のいく文章を書けませんでした。面接は練習のときより緊張することなく、用意していた答えはすぐ言うことができました。

これまでの学校生活を振り返って思うことは、休むことなく学校に行って授業を受ける、など真面目に生きようとするというのは大事だったということです。今までやってきたことは無駄ではなかったと思えました。

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
玉川中出身

オープンキャンパスは教授に質問したり 顔を覚えてもらえるチャンスです

■授業はその日のうちに復習し
テスト前に再度復習しました

私は宮城学院女子大学の学芸学部心理行動科学科に合格していますが、当初は第二外国語として選択している中国語に関する学科に進みたいと考えていました。

まず、どんな学科を志望するにあたって指定校などの推薦を目指すならば、大切になってくるのは定期テストだと思います。実際に推薦を受けるときに評定平均値何々以上という基準が設けられています。定期テストで高い点数を取っておくことで高い評定を得られるきっかけになるのではないかと思います。そのために私は授業をしっかり聞き、授業内容をその日のうちに復習し、テスト前に再度テスト範囲の授業内容を復習するということを心がけていました。後は、当たり前のことですが、授業態度や提出物もしっかりしておくことが大事だと思います。

■志望学科の学問について
ネット等で熱心に調べました

次に私が中国語関係の学科を目指していた際に心がけていたことです。語学系の学科を目指すのであれば、英検の準 2 級か 2 級は取得しておくべきだと思います。また、私が目指していたのが中国語学科だったのもあり、中国語検定準 4 級も取得しました。その他にも中国語学研修や中国語スピーチコンテストに参加しました。そのような行事に参加したということも面接での会話の際などの強みになるので良い経験になると思います。

最後に、私が心理関係の学科を目指すようになってからの話をします。ただ、目指すとはいっても心理学に関しては知らないことばかりだったので、まずはネットで色々と調べて、それでも分からないことはオープンキャンパスに参加して大学の先生に質問するようにしていました。オープンキャンパスは先生に自分の顔を覚えてもらうきっかけになるので、できるだけ参加した方が良いと思います。私もオープンキャンパスに参加した際にお話を聞いて下さった先生が面接官だったので、とても安心して面接を受けることができました。

勉強がうまくいかなかったり、志望大学がなかなか決まらなかったりと色々悩むことはあると思います。でも、最後まで諦めなければ良い結果が待っていると思います。健闘を祈ります。

宮城学院女子大学 教育学部 教育学科幼児教育専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
長町中出身

先生方の言葉通り 1 年次から頑張れば 第一志望に近づくことができます

■直前になって困らないよう

1 年次から努力しました

私は 1 年生の頃からどこを受験するかは決めていませんでしたが、指定校推薦の枠をいただけるように努力してきました。定期テストで良い点数を取れるように勉強したり、授業を真面目に受けて提出物をきちんと出すようにしていました。3 年生になってから 1, 2 年生の時のだらけのしわよせが来たりしないように、将来の自分のために努力してきました。

指定校推薦の枠を取るためには、ただ勉強をしたり授業を受けたりするだけではなく、ノートは人が書いていない所まで書いたりメモしたりしていました。授業を真面目に受けて聞いていたら必然と点数が付いてきました。そういった努力のおかげで無事に指定校推薦を受けることができました。

部活動も力を入れていたので、勉強と部活を充実させていたことが認められたのだと考えています。定期テストは評定も付くものだからもちろん大事ですが、模試も大事です。校内模試は特に選考の時に重要だと思っていたので、もらった過去問を解いたり、復習したりしていました。もし校内の順位が低かったら他の人に取られてしまうかもしれないから頑張りました。

■進学後も 1 年次から

努力を積み重ねていきます

進路が決定し、指定校推薦の志願を出す時には 1 年からの努力のおかげでスムーズに進めることができました。行きたい大学の条件の評定平均値も超えていたので第一志望で出すことができました。

指定校推薦を受けたいのであれば、1 年生から努力すべきであると先生方がずっとおっしゃっていたのでその通りにしましたが、努力してきて良かったです。進路ガイダンスも開いてもらってはいますが 1 年生からきちんと準備してきて本当に良かったと思います。大学でも 1 年生から努力を怠らずにやっていきたいです。

宮城学院女子大学 教育学科健康教育専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
白石中出身

苦手な面接は色々な先生と 何度も練習しました

■ インターアクト部の活動で 以前より社交的になりました

私は、将来養護教諭を目指しているため宮城学院女子大学教育学科健康教育専攻を志望しました。指定校推薦の指定を受けるために心がけたことは定期考査と校内模試です。定期考査では評定を維持してきました。勉強に力をいれ、3年間選抜クラスに在籍することができました。校内模試では塾に通い対策をしてきました。主に数学と英語に力を入れ勉強しました。校内模試の過去問を元に自分のできる分野を高め、苦手な分野を克服してきました。

部活動でのインターアクト部に所属し、積極的にボランティア活動をしてきました。私がインターアクト部に入部したきっかけは人見知りの性格を変えたいと思ったからです。回数を重ね、少しずつではありますが、人見知りの改善とコミュニケーション能力を高められたと感じています。ボランティア活動を通し、人の役に立ち感謝されることはとても楽しくやりがいのあることだと身を持って感じるすることができました。このような経験を通し学んだことを養護教諭という仕事でも同じことが言えると思って、自分のアピールできる部分だと思いました。

■ 高校生活で身に付けたことを 大学でも生かしていきます

入試試験では面接に力を入れました。私の性格上面接はとても苦手なことでした。最初は自分のことを言葉でうまく伝えることができませんでした。自分の伝えたいことを大まかに考え何度も練習しました。色々な先生方と練習した方が多くの質問の種類があるので自分の力になると思います。小論文は授業で教えてもらっていることを何度も繰り返して練習すると身に付くと思います。

大学でも高校生活で身に付けたことを生かしていきたいと思っています。

宮城学院女子大学 生活科学部 生活文化デザイン学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
東豊中出身

指定校推薦枠の多い仙台育英を 選んで正解でした

■中学生の頃から大学に対して
憧れを抱いていました

中学校の頃から大学の、自分が学びたいものを学べるという中学校までとはかなり違う環境に憧れを持っていました。とはいえ、明確な夢を持っていなかったため、自分が学びたいものが見つかった時に、より実現に近づくことができるだろうという理由で、指定校推薦枠の多い仙台育英に入学しました。夢を見つけることができなかつたり、見つけることができても考えの違いで親に反対され揉めていた時期は、大学を決めることができず不安と焦りでいっぱいでした。最終的に大学を決めたきっかけは、自分がデザインするのが好きなのと、将来住みたい家を想像するのが好きだったという結構単純な理由になりました。しかし、その理由からでも行きたい大学を見つけることができ、卒業後の進路を調べて見たところ、建築士になるという選択肢があることを知り、それが今の夢になっています。

■普段から定期テストは
頑張って取り組みました

私は大学を決めるのが遅く、指定校推薦枠があるのを知り、それで行こうと考えたのが 3 年生になってからだったので、指定校推薦枠を貰うために特別頑張ったと言えるものではありませんが、中間テスト、期末テストをできるだけ頑張って点数を取ってきたのは、とにかく本当に良かったなと思います。指定校推薦枠を貰える可能性がある場合、1,600 字の自己推薦書を書くことになります。私は、部活も、バイトも、課外活動もせず、英検などの資格も取っていなかったため、書くのがすごく大変でしたが、先生などからアドバイスをもらい、しっかり書き終えることができました。

この経験が誰かのためになるといいなと思います。受験生の皆さん頑張ってください。

仙台白百合女子大学 人間学部 人間発達学科子ども発達専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
中野中出身

オープンキャンパスでは模擬授業を受け 大学の雰囲気を目で確認しましょう

■授業を理解できていれば
定期考査はクリアできます

私が大学進学を目指したきっかけは、幼稚園教諭と保育士資格を取りたいと考えたため、時間をかけてその分野の知識や能力を高めたいと思い大学進学をしようと考えました。私は指定校推薦で受けたいと考えました。そのために校内模試で良い結果を残さなければおけません。私は吹奏楽部に所属していて忙しかったので、2 ヶ月ほど前から英語を中心に過去問を解くようにしていました。定期考査では、1 週間前からのテスト休みがあったのでそこでつめて勉強していました。部活に入っていると勉強との両立が難しいですが、毎日の授業を理解できていれば定期考査は問題ないと思います。

■3 年間で人との関わり方と
物の見方が変わりました

受験する大学を決定するにあたって、オープンキャンパスに積極的に参加しました。将来に関わることなので部活があっても休みをもらい参加していました。オープンキャンパスに行くときは必ず、模擬授業を受けていました。模擬授業では、一からわかりやすく教えてくれるか、授業の雰囲気はどうかを体験することができます。オープンキャンパスでは、校風が自分に合っているか、先輩や先生方はどういう人なのかなどを自分の目で見て確認できるので、オープンキャンパスはぜひ参加した方が良いでしょう。

私は高校 3 年間を通して人との関わり方、客観的に物事を見て判断する力を身に付けることができました。また、私は迷った時は難しい方の道を行くという精神で生活してきました。そのおかげで部活動も学業も妥協せず納得いくまで努力し続けることができました。ここまでできたのは良い環境で一緒にサポートしてくれた先生方や友達のおかげでもあります。大学でも、高校で学んだことを生かし、より伸ばせるよう頑張っていきたいです。

仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科管理栄養専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
高崎中出身

複数のオープンキャンパスへの参加は 進路変更しても決して無駄になりません

■ ボランティアへの考え方が 実際に体験して変わりました

私は料理が趣味であり、栄養についてより詳しく学びたいと思ったことがきっかけで、仙台白百合女子大学の健康栄養学科を目指しました。私は指定校推薦で受験するために様々な努力をしてきました。

1 つ目は勉学です。評定を下げないようにし、少なくとも定期考査の 1 ヶ月前からはテストに向けての復習を行っていました。また、様々な資格も取得しました。英検や漢検、パソコンの情報処理検定など 1 年生のうちから挑戦し、視野を広げることに努めました。1 年生のうちから準備をすることで心にゆとりを持つことができ、将来のための選択肢を増やすことができます。

2 つ目は生徒会活動です。この活動に所属したことで、様々なボランティア活動に参加することができます。正直初めは調査書のためという気持ちもありましたが、この活動を通して学べることはたくさんあります、ボランティアに積極的に参加することで、自分の中でのボランティアに対する意識が大きく変わります。それにより、面接などで聞かれる質問に答えられることも多くなります。

■ 志望大には何度も通い 熱意を伝えましょう

3 つ目は大学のオープンキャンパスについてです。私は 1 年生から様々な大学のオープンキャンパスに行っていました。その頃はまだやりたいことや目指したい大学が決まっていたわけではありませんでした。近くの大学やなんとなく興味が湧いた大学へ足を運びお話を聞いたり色々な体験学習をしました。2 年生でやりたいことが決まり、1 年生の時に行った大学とは全く違う学科でしたが、今までのオープンキャンパスは決して無駄になることはありません。様々な大学に足を運ぶことで、その大学にしかない良さが見えてきます。目指す大学が決まってからは、何度も何度もオープンキャンパスや大学説明会へ行き、色々な先生方に名前を覚えていただけるまで何度も足を運ぶことで熱意が伝わり、面接の際も有利になることもあります。

以上のことが、私が大学受験で努力したことです。勉強の成績だけでなく、色々なことに積極的に取り組むことで将来の視野が広がっていきます。何事にも全力で頑張ってください。

仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科管理栄養専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
秀光中等教育学校出身

複数のオープンキャンパスに参加し 早い段階で志望大を決定しました

■オープンキャンパスでは
些細なことも質問しました

1 年間を通して大会や遠征、強化練習など部活のスケジュールが少なくなかった事と、指定校推薦での受験が希望だったので、1 年生の秋から興味のある大学のオープンキャンパスに参加し、早い段階での志望大学決定に努めました。オープンキャンパスやガイダンスに参加し、大学によって学内の様子や雰囲気、学科の特色が異なる事が分かり、自分に合っている雰囲気や学びたい分野に力を入れている大学に出会うことができました。第一志望が決まってからはオープンキャンパスやガイダンスに時間がある限り何度も足を運び、先生や入試担当の方に些細なことでも質問をしたり、模擬授業を受けたり、指定校推薦枠の評定を意識して、苦手な教科も諦めず定期考査に臨むことを心がけました。

仙台白百合女子大学 人間学部 健康栄養学科管理栄養専攻に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
六郷中出身

先生方にしっかり本気度を伝えれば きめ細かく指導して下さいます

■進路変更を先生が親身に サポートして下さいました

私は高校入学時、パティシエになることが夢だったので、製菓系の専門学校に進もうと考えていました。2 年生では選抜授業の中からパティシエ&ベーカリー講座を受講し、少しでも夢に近づけるよう、努力していました。ある時、テレビを見ていて、最近のテレビ番組は健康志向のテレビや生活習慣病系が多いということに気がつきました。そこから私はただ作り、美味しいと言われるだけではなく、その人の身体に合った栄養や調理法を考えて作ることのできる管理栄養士になりたいと強く思うようになりました。しかし、数か月後には 3 年生になる私が大幅な進路変更をしたいと考えていることを先生に言うべきなのかと、とても悩みました。ですが、このまま諦めるのも嫌だと思い、先生に打ち明けることにしました。結果、先生は私の話を親身になって聞いてくれて、大学進学へと無事変更することができました。そこから私は短期留学をして他国の食文化を学んだり、苦手な教科では少しでも自分から取り組むようにするために、基礎に戻って解き直しをしてみたりと、自分のためになるであろうことは出来る限り挑戦しました。その甲斐あってか、指定校推薦の枠を頂き、大学に合格することができました。

自分の考える夢は、いつ、どんなことがきっかけで変わるか分かりません。なぜこれをしなければならないのかと考えたり、ときには面倒と考えてしまうことも、一つ一つしっかり考えるようにして下さい。自分自身の本気度が先生方に伝われば、先生方も本気で指導してくれます。努力することに遅いも早いもありません。今できることに全力で最善を尽くして頑張して下さい。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
玉川中出身

高校受験に失敗したとしても引きずらず 逆に高校生活に生かせば道は拓けます

■中学時代の反省を踏まえ 生活態度を改めました

私が高校生活で気をつけていたことは、日々の生活態度と提出物です。

私は、中学校のとき授業中に黒板に背中を向けて授業を受けていたり、物を投げて遊んでいたりと、授業中に騒いで周りの人に迷惑をかけたりしていました。

その上、授業中に与えられたレポートや課題、ワークなどの課題はやっていなくて提出しなかったり、提出しても全部は終わってなかったり、提出するノートを書いていなかったりなど生活態度がかなり荒れていました。

その結果、放課後下校時刻ぎりぎりまで教室に残って課題をやらなければならず、2 年生の冬に土日しか部活に参加することができなくなってしまいました。

そして高校の前期入試の時は、3 年間の平均評定が足りず受けることができませんでした。

後期入試では、授業を真面目に受けていなかったため、試験問題が思っていたよりも解くことができず、第一志望の公立高校に入ることができませんでした。

なので、私は中学校生活の失敗を繰り返さないように高校生活を送ろうと思いました。

■先生の手伝いや教室の清掃等 小さなことを積み重ねました

まず最初に授業態度を直すことにしました。授業中にノートをしっかり書けば、放課後や家でやる必要もないし、ノートの提出前に焦ったり、終わってなくて提出ができないなどということがかなり少なくなりました。

やって当然のことをやるようになった私は、次に先生の手伝いをやろうと思いました。

頼み事はできるだけ引き受けたり、長期休みの前の教室の清掃に積極的に参加するようにしました。

このように小さいことを積み重ねた結果、大学入試では指定校推薦を頂くことができ、第一志望の大学に合格することができました。

なので、高校で第一志望の学校に合格できなかったからといってやる気をなくすのではなく、中学校の失敗を生かした高校生活をしてほしいと思います。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
塩竈第二中出身

推薦入試は一見合格しやすそうですが 決して油断することはできません

■志望動機さえ明確であれば
面接は上手くいくはずです

最初は指定校推薦が取れるとは思っていなくて AO 入試の準備をしていました。ですが、校内選考を通ることができたので指定校推薦の準備を始めました。基本的に周りの大学は面接だけの所が多いですが、尚絅学院大学は、基礎学力テストがあり、英語は必須で、国語、数学のどちらかを選択します。それに加え、面接もあるので早めの対策が必要だと思います。指定校推薦は受かりやすいと聞きますが、あまり油断していると足もとをすくわれるかも知れません。面接は、あまり緊張しすぎなくても大丈夫です。志望動機さえしっかりしていれば、ある程度の受け答えはできると思います。

尚絅学院大学 心理・教育学群学部 学校教育学類に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
大河原中出身

当たり前のことをきちんとなすことが 推薦入試においては特に大切です

■教諭という夢に近づける 進学先を選びました

私が大学進学を目指した理由は将来の夢を叶えるための資格や能力を身につけたいと考えたからです。

私が、教師、特に小学校の教諭を目指しており、教師としての学習をできるだけでなく、保育や心理学の面からも教育について学べることから、尚絅学院大学の学校教育学類に進学しようと決心しました。また、指定校推薦枠があった事も、進学を決意した大きな理由です。入学の可能性をより広げるためにこの入試方法を選択しました。指定校推薦での合格のために筆記試験の勉強、面接練習をしました。特に面接練習では、先生方や友人家族の協力もあり、回数をこなせたことが合格に繋がったと考えています。毎回アドバイスをもらい、次はその悪かった点を自分なりに見直すことで、返答の幅が広がりました。自分の意見を前に出すことが苦手な私でも乗り越えられたのは、多くの人の助けによるものです。そのような環境があったことにも感謝の気持ちがつきません。

■普段から自己管理を徹底し 無遅刻無欠席を達成しました

また、生活面では無遅刻無欠席を心掛けました。やむを得ない理由で欠席となった日はありましたが、それ以外ではこの目標を達成できました。このことは、推薦の資格を得るために必要な評定にもつながっていたと考えます。欠席した分、平常点から引かれてしまうため、自己管理をしっかりする、提出物は確実に出すなど、あたりまえの事をあたりまえにこなすことが推薦を得るために大きく関わるので、基本的な部分から取り組むことが大切です。他には、学校の業務に積極的に参加しました。特に入試業務の手伝いは、学校全体のことなので貴重な体験でした。煩わしいと思い何も取り組まないよりは、少しでも実績経験を積むことで有利に働くと思います。自分の視野を広げ、色々な事にチャレンジして下さい。後悔のない学校生活を送り、合格を勝ち取りましょう。健闘を祈ります。

石巻専修大学 理工学部 情報電子工学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
多賀城第二中出身

高校生活でたくさんの思い出があれば 辛いときも頑張ることができます

■推薦枠の校内選考通過に向け 1 年次から計画を立てました

私が情報電子工学科に進学を決めたのは、小さい頃から父の影響を受け、パソコンや電子機器に興味を持ち、将来ソフトウェア関連の仕事に就きたいと考えたからです。1 年の時から大学の情報を集め、指定校推薦で進学出来るよう規則正しい生活を心掛けました。オープンキャンパスは 2 年から参加し、自分の気に入った大学の指定校推薦枠にある事を確認し、校内選考を通過出来るよう計画を立てました。評定や資格、志望理由も校内選考をクリアする為に必要と考え、現状を見つめ直しました。

最初に頑張った事は、評定を落とさぬように苦手な教科の評定を上げるようにし、大学の評定基準値より少しでも上げて余裕を持って選考に臨めるようにしました。

次に、自己アピールです。1 年時から無遅刻無欠席で通学していたので、今まで以上に体調管理に注意し、アピールポイントの一つにしたいと考えました。また将来、就職活動の時にも役立つよう資格取得も必要と考え、弓道三段と漢検準 2 級に合格できるよう努力しました。

■弓道部では周囲の人の存在の 大切さを実感できました

最後に、私にとって高校生活の大部分を占めた部活動です。入学してすぐに、自分の感情をコントロールできるように入部したのが弓道部でした。心・技・体を鍛える事を目標に、雰囲気の良い環境内で充実した活動をしました。2 年で部長に任命され、戸惑いながらも部員への指示出し、後輩への指導と今まで経験しなかった事をする事で、顧問の先生、コーチ、部員全ての人達のサポートや協力が必要であると知りました。日々の練習、大会への参加、合宿、国体ボランティア活動を経験しながら楽しかったり、辛かったりと忙しい日々を過ごしましたが、自分なりに努力し、皆の信頼を裏切る事のないよう頑張りました。

無事、指定校推薦で希望した大学への進学も決まり、入学後は文武両道を目指し精進するつもりです。日々、様々な経験を積み、たくさんの思い出があれば辛くても頑張れると思います。皆さんが悔いの残ることのない高校生活を送れるよう祈っています。

石巻専修大学 理工学部 生物科学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
中野中出身

予復習の習慣と自分を深く知ることが この先進むべき道に導いてくれます

■大学講師の祖父のような 生物学者に憧れています

私が大学進学を目指した理由は、生物学者になるという将来の目標があったからです。

私が生物学者を志す傾向に至った理由としては、祖父が要因でした。私の祖父は公務員でありながら、大学の講師も勤めていました。その祖父は私に様々な生物のことを教えてくれました。その結果、祖父のような生物の生態に関して博識で器用な人間になりたいと考えました。

大学受験に推薦入試を利用した根拠は、大学で専攻する学科についていち早く取り組みたいという心構えがあったからです。生物といえども、知識や理解を深める場合には、必要不可欠な予備知識を蓄えることが重要なので時間に余裕を作ることが出来る推薦入試にしました。

高校生活では特に勉学に力を入れ、定期考査でより良い評価になるように励みました。また、私自身が将来使うであろう専攻する学科の学習の基礎も固めて、授業の中で理解しがたいような箇所は調べることにより、理解を深めました。勉強内容としては、最初の 5 分はしっかりと机に向かって取り組み、集中が続かないようならば他の教科に切り替えることにより、その日の気分にあった教材を模索するような勉強方法です。

■語彙力と説明力の向上を 面接練習のテーマにしました

私が受験に合格するまでに至った努力は、面接練習の中で、より相手に専攻する学科への興味や関心を伝える手はずの言葉選びや、将来への未来設計図を明確に相手にイメージさせることの出来る説明力の向上に挑みました。文に書き表すことにより、客観的な視点で並べられた文字でどのようなことが背景として相手の脳裏に描かれるかを想定し、何度も試行錯誤しながら、言葉遣いに徹しました。

最後に後輩への激励の言葉としては、予習復習を習慣づけることと、己をよく知ることです。この二つを身に付けることが出来るのであればこの先、何に出くわそうと、多少の苦勞はあれども、時間が正しい道へと導いてくれます。再来年、来年、受験の方々のご健闘を祈ります。

石巻専修大学 経営学部 経営学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
石巻中出身

アルバイト先での体験や交流を通して 将来の目標を見出すことができました

■将来は店を持ち石巻の
活性化に貢献したいです

私の将来の夢は自分でお店を経営し、尚かつ石巻の震災の復興に携わることです。そのため、経営学を一から学ぶことができる石巻専修大学に進学することに決めました。私は指定校推薦で合格しました。試験内容は調査書と面接で小論文がなかった分、面接ではたくさん質問されました。面接の内容は、経営学部なので経営に関する質問で、大学を卒業した後のことも詳しく聞かれました。面接の対策として 4 人の先生方に試験の 1 週間前から、毎日面接練習をして頂きました。先生によって質問が異なるので、本番の面接でもたくさんの質問に答えられることができました。また、入退室もきちんと練習して本番にそなえました。

私は指定校推薦で受験できると言われる前から、さまざまな努力をしてきました。まず、無遅刻、無欠席、無早退を 3 年間続けてきました。基本的なことですが大切なことです。また、定期テストでは赤点を取るのを避け、できるだけ自分が取れる点数を目指して頑張りました。そして提出物をしっかりと出すことを心がけ、平常点を取れるようにしました。

私は部活動をしていなかったなので、放課後の時間をアルバイトに費やしていました。高校 2 年生の時に始めて今も同じところで働いています。アルバイトをしていなかったら将来の目標が定まらなかったと思います。今までしたことがなかった体験やいろんな方々との交流を通して、アルバイトを始めて良かったなと思います。頑張ってください。

仙台大学 体育学部 健康福祉学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
船岡中出身

登下校や休み時間などの空き時間を どう使うかで一日の充実度は変わります

■当たり前のことを疎かにせず
積み重ねていきましょう

私が仙台大学を目指したきっかけは、介護福祉士になりたいと思ったことです。私は指定校推薦で受験し合格することが出来ました。

志望大学受験資格取得に必要なことは、当たり前のことを疎かにしないことです。無遅刻無欠席はもちろん授業態度はどうか、提出物を出しているかなど当たり前のことの積み重ねが受験資格取得につながると思います。

後輩達へのアドバイスとして、将来の目標を明確にした上で大学を選び、それを自分の言葉で説明出来るようにすることです。公務員のようなざっくりとした目標ではなく、教師や警察官といった明確な目標を掲げた方がより相手に熱意が伝わると思います。また、自分が目指す大学の特徴は何か、他の大学の同学部学科と何が違うのかをオープンキャンパスへ行き、それをしっかり確かめ、自分の目標と合致する大学を選べるようにしっかり準備することも大切です。更に、大学に提出する書類は曖昧な表現はなくすよう努めた方が良いです。面接官は大学に送られた書類を元に説明をするので、出来るだけなくすことで面接本番で質問される内容を絞ることが出来るのではないかと思います。

電車での登下校中や休み時間など僅かな空き時間をどう使うかで一日の充実度は変わってきます。受験までの限られた時間の中で、最後に悔しい思いをしないために今自分に出来る精一杯を努力して下さい。

仙台大学 体育学部 運動栄養学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
南小泉中出身

人生の大きな選択に備え目標を明確にし 実現に向け一歩ずつ進んでいきましょう

■早いうちに自主学習の習慣を 身に付けておくといいです

私が大学進学を目指した理由は、将来やりたい仕事があるからです。目標に向けて必要な資格や知識を得るために進学することを決めました。私は指定校推薦で受験をしました。推薦で受験するにはいくつかの条件があります。その中でも気を付けなければならないのは評定平均です。大学によって様々ですが、私は 3.0 以上という条件でした。年に 4 回の定期考査があり、1 年生、2 年生の間に日々学習面に力を入れ習慣づけるようにすれば、テスト勉強、受験勉強でも計画を立てながら効率良く進めることができると思います。他にも部活動に所属していたので、大会に向けて日々実力をつけるために練習に取り組んでいました。学習面に余裕があれば部活動に専念することができるので、文武両道することが必要だと思います。

■面接は予想外の質問を 意識して練習しましょう

3 年生になり大学受験が近付いてくると、自分の進路に向けて 1 人ひとりやるが多くなってきます。日々の学習もそうですが、推薦書に必要な 1,600 字の志望理由や面接といった受験までの準備があり、時間が足りないと思うほど忙しいです。推薦入試は基本的に小論文と面接という内容です。小論文は 60 分で面接は 15 分でした。小論文は 1 年生から 3 年生まで授業でもあるので心配することはないと思います。過去問など練習した方が確実だと実感しました。面接で聞かれることは事前に考えていた方がいいのは勿論ですが、予想してないような意外なことを聞いてくることがあるので、臨機応変に対処できるように暗記するといったことは、なるべくしないことが大切だと思います。高校生活はあっという間に終わってしまうので、自分が後悔しないようにやることを明確にして、日々努力していくことが成功する要因になってくると思います。3 年間という限られた時間で、人生の大きな選択をしなければならないので、無駄にしないように目標に向けて一歩ずつ進めるように頑張ってください。応援しています。

仙台大学 体育学部 現代武道学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
南光台中出身

高校での一日一日を大切に過ごすことが 将来の財産になり自分を育ててくれます

■本当に学びたい分野を 選ぶことが大切です

私は初めは AO 入試で受験しようと思っていました。しかし、先生に相談をしたところ勉強をがんばってきた生徒に合う受験方法があると言われました。それが、指定校推薦でした。

まず、大学を決めることが一番に考えることだと思います。自分が将来何になりたいのか社会に出て貢献するためにどんなことを学べるのかなど、大学を決めるためには自分が将来何になりたいかを考え、将来を見据えることが大事なことだと思います。私生活においても自分がやりたくないことは長続きはしないです。しかし、やりたいことは長続きしてやり続けられる。結局は好きなものはするが嫌いなものはしない人間だから仕方のないことなのですが、大学でもそれと同様であるので、やはり自分の学びたい学部か学科を考えることが大学を決めるためのきっかけになると思います。

■長所や強みを活かせるような 受験方法を決めましょう

大学受験には様々な受験方法があります。例えば、AO 入試かスポーツ AO 入試、一般入試、センター利用入試、指定校推薦、一般公募、同窓生教員特別など大学によって色々な受験方法があります。AO 入試は自分の人間性で勝負できる受験方法、指定校推薦は勉強をがんばってきた生徒に合う受験方法、これらのように、それぞれ自分の強みを利用できる受験方法があります。大学を受験するにあたり、自分の長所、強みは何なのかと自問自答してどの方法で受験するかこのことが大学には入れるか入れないかを左右します。

高校生活の中で大事な最後の 1 年間、全てのものに最後という言葉がつきます。高校最後の大会、育英祭など勉強だけでなく行事を楽しむこともそれはそれで大切なことです。3 年生としての 1 年間はまたたく間に時間が過ぎていきます。一日一日を大切にしていけることが、将来の自分の財産となり自分を育てていきます。大学に入るために一日一日を大切にしていけるように心掛けるようにしましょう。

仙台大学 体育学部 子ども運動教育学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
みどり台中出身

高校生活で学んだことを大いに役立て 社会に少しでも貢献していきます

■子供達を笑顔にできる 保育士になりたい

推薦入試を目指したきっかけは、将来子どもたちにスポーツの魅力を伝え、子どもたちを明るく笑顔にさせる保育士になりたいと思っています。この目標を実現できる県内での大学を探していたところ仙台大学の事を知りました。また、高校に指定校推薦の枠があったため推薦入試を決めました。

私の試験内容は、小論文と個人面接でした。小論文は元々得意ではなかったため、非常に苦勞し、1年生の頃からきちんと学習しておけば良かったと後悔しました。そのため、指定校推薦の枠を頂いてから毎日真剣に過去問題に取り組み、小論文の本を買い、書き方や構成などの基礎からの学習を中心に、身に付けることから始めました。また、解いた過去問題は小論文の先生をはじめ、たくさんの先生方に添削やアドバイスをもらい、何度も書き直す努力をしました。試験では、緊張して周りの人のペンの音で焦りもしましたが、落ち着いてやることが何よりも大事だと感じました。

■面接練習では目線や仕草を 自分なりに工夫しました

個人面接の対策は、志望する大学のパンフレットをしっかりと読み、きちんと説明できるようにしておくといいと思いました。また、小論文の対策と同様に、一人の先生に限らず、たくさんの先生方や友達に面接練習をお願いすることも重要だと思いました。面接官に好印象を与えるためには、笑顔やうなずくなどの小さな仕草も必要不可欠であり、視線は相手の目を直接見るのは緊張してしまうので、相手の口元を見るなど、自分なりに工夫をしてやってみると少しは緊張しなくなると思います。実際に私は、本番の試験のときに緊張で頭が真っ白になってしまい、言いたかったことと全然違うことも言ってしまったのですが、どんな状況でも言い切ることが大切だと思いました。

私は大学で頑張りたいことは、志望していた大学へ合格した以上、将来の目標を少しでも早く実現できるように、精一杯努力していきたいと思っています。また、サークル活動やボランティア活動にも積極的に取り組み、社会に少しでも貢献できる人になりたいです。高校生活で学んだことは、大学で絶対に役立つと思っているので、今までの経験を生かして常識のある大人になれるように頑張りたいと思っています。

城西短期大学 ビジネス総合学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
白石中出身

頑張る自分と弱い自分の両方を認める 勇気があれば受験に立ち向かえます！

■先生方のおかげで諦めずに
合格まで頑張れました

私が大学に合格するために意識したことは 2 つあります。

1 つ目は、指定校推薦入試を受けるために高校 1 年生から評定 5 を取ることを意識しました。中でも、定期考査前に勉強するだけではなく、学校から家に帰ったら、2 時間くらい予習や復習することを心掛けました。その結果は、しっかりと出すことが出来たので努力して正解でした。時々、成績が下がることもありましたが、諦めずに挽回することができた嬉しさは今でも覚えています。

2 つ目は、先生方の支えです。進路がなかなか決まらなかったのですが、それを心配してくださる先生方がたくさんいらっしゃったので心強く思いました。なおかつ、忙しい中、時間を割いて面接練習をしてくれる先生には全力で挑みました。時諦めずに取り組んだことが合格に繋がりました。

■友達の言葉をきっかけに
自分の本心に気づきました

そして、3 年間を振り返って仙台育英で良かったと思います。なぜなら、見切りをつけて逃げる自分と、臆病だけど勇気を出して物事に挑むもう一人の自分。私の心の中にあった 2 人の自分を認めることができたからです。そのきっかけは、私が壁にぶつかってしまった時に友達に「思い出せよ、本当の自分を」と言われたからです。

最後に、大学などを受験する後輩の皆さんへ。自分のことが分からなくて、ぶつかることなどがあると思います。それでも、先生方の話をしっかりと聞くことが大切です。後は、自分の周囲の人達に感謝する気持ちと本来の自分と弱い自分を認めることができれば、大学に合格できると思います。頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 ビジネスキャリア学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
多賀城中出身

楽しい高校生活を送りながら 進路に向き合う時間も作りましょう

■大学説明会がきっかけで 志望大学を決めました

私が仙台青葉学院短期大学を目指したきっかけは、仙台育英で行われた大学説明会でした。この大学は、短大の中でも多くの学科があることが特徴で、説明会やオープンキャンパスなどで非常に興味を持ちました。私は、実際にオープンキャンパスに行き、学校の雰囲気や模擬授業を体験したことで、この大学に入りたいと強く思いました。まだ、進路や何をしたいかがはっきりしていない人は、積極的にオープンキャンパスに行ってみるのもいいかと思います。私は、志望大学をそこにしか決めていなかったため、受験方法を指定校推薦にしました。指定校推薦は、色々と条件は厳しいですが、ほぼ確実に受かります。しかし、指定校枠を取るにも、校内審査を通過しなければ、推薦をもらえないのが指定校推薦です。校内審査の中でも、大切になってくるのは、中間、期末といった定期考査の成績や出席日数です。大学進学を考えている人は、定期考査で 2 を取る成績だと、大学進学は厳しいかもしれません。常に 4 や 5 を取れていれば、校内審査で有利だと思います。また、欠席日数が多いと大学側の条件に引っかかる場合があるため、出席日数には気をつけるとよりいいと思います。更に、部活動やボランティア活動などに入っている人は大学受験で大きな自己アピールに繋がるので、所属していて損はないです。

■先生方のおっしゃる通り 1 年から勉強に励みましょう

高校生活の中で充実した楽しい学校生活を過ごすのはいいと思いますが、3 年間という短い時間で、自身の進路について向き合う時間も大切だと思います。つまり、高校生活にメリハリをつけて生活すると、受験生になった時、焦ることもないと思います。高校 1 年生の頃、先生達に勉強しなさいと言われていた意味を 3 年生になってやっと実感しました。なので、日頃の生活でたまに息抜きしつつも、定期考査には必死になって勉強し、自分の第一志望の大学に入るために頑張ってください。

仙台青葉学院短期大学 現代英語学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
南小泉中出身

校内外で得られるものは無数にあるので 一步社会に出てみて視野を広げましょう

■客を丁重にもてなす姿を見て 客室乗務員に憧れました

私は、仙台育英に在学中、仙台育英獅子太鼓部に所属していました。ジャパンフェスティバルというイベントに招待され、2018 年の 2 月にミクロネシアへ行きました。移動の際に何度か飛行機に乗る機会があり、その中でお客様に対して丁寧に対応し、様々な国籍の人が乗る機内で流暢な英語を話す客室乗務員の姿に強い憧れを抱きました。その後、客室乗務員について調べていくうちに自分に合った職業ではないかと思うようになりました。また部活動が続けながら社会経験を積む中で、お客様に大切な空間をお届けするやりがいや、正しい敬語の使い方やマナーも身に付けることができました。

■ボランティア活動を通し 多くの方々と接しました

さらに、インターアクト部にも所属し、地域のボランティアに積極的に参加しました。羽生結弦選手のオリンピック 2 連覇記念パレードや楽天、ベガルタをはじめとするスポーツイベントのスタッフなど活動範囲は様々で、たくさんの方々と接することでコミュニケーション能力を培うことができました。

学校内での成績維持はもちろんですが、学校外で高校生である私たちが得ることのできるものは無数であることを忘れてはいけません。一步社会に出て、今しかできない貴重な体験を積むことで、将来の夢や能力、そして自分自身の個性は生まれると思います。今、自分に夢がない人や進学したものの何をすべきかわからない人は、視野を広げるべきです。そうすれば必ず何か志が見つかるはずです。

2019 栄光への軌跡

2019 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



公募制推薦

山形大学、宮城大学、上智大学、東京女子医科大学、
岩手医科大学、東北学院大学、東北福祉大学、
東北医科薬科大学…

山形大学 人文社会科学部 人文社会科学科総合法律コースに
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
東華中出身

書類作成や面接練習でお世話になった 先生方のおかげで合格できました

■熱心に勉強する友達の姿に
大いに刺激を受けました

高校に入学して初めの頃は自主学習の習慣があまり身に付いておらず、定期考査前しか学習スペースを利用していませんでした。そのため、もちろん成績は上がらず、教科によっては授業についていくのもやっとの状態でした。高校 2 年生になり、周りの友達がいつも自習室に行って熱心に勉強する姿に刺激を受けました。それからは放課後、学校に残ってほぼ毎日自主学習をするようになり、高校 3 年生からは朝の 1 時間半、オークルームでの学習も習慣になりました。私は家で勉強は集中力が続かなかったため、学校のあらゆる学習スペースを最大限に利用して自主学習の習慣を身に付けました。さらに、学校であれば先生や友達のところへすぐに質問に行けるため、疑問に思う所や不安な箇所をそのままにすることなくスムーズに学習を進めることができました。周りの意識の高さと学習環境の整った学校のおかげで私は成長することができました。また、私は塾や家庭教師を利用していませんでした。その分、放課後講習に参加して勉強方法が分からない教科や苦手科目をカバーしていました。

■ボランティア活動の経験が
推薦入試で強みになりました

高校生活では、勉強以外に色々な活動、経験をすることをお勧めします。それは、高校生活をより充実させ有意義なものにするだけでなく、いざ大学受験について考える時、選択肢が広がり、一番行きたい大学への合格に繋がります。実際に私は生徒会執行部に入ったことで、学校行事の運営などに深く関わることができました。それに加えて多くのボランティア活動の機会に恵まれ、様々なボランティア活動に意欲的に参加できました。そして、公募推薦で大学受験をしようと決めた時、これらの活動や経験が自分の強みになりました。

また、大学に合格することができたのは、先生方の協力が一番大きかったです。志望理由書や読書感想文の添削では、私の意見を尊重しつつ毎回丁寧なアドバイスをくださいました。さらに、私がしつこく面接練習をお願いしても少しの空き時間を面接指導に充ててくださいました。忙しい合間を縫って志望理由書や読書感想文の添削、面接指導をいただいた先生方、それから陰で支えてくれた家族がいたからこそ合格をつかみ取れたと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

山形大学 人文社会科学部人文社会科学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
登米 中田中出身

校外模試は本番の緊張感を 体験できるのでお勧めです

■入学時の実力テストで 危機感を抱きました

私は高校に入学した際に受けた実力テストの結果に衝撃を受けました。自分より成績が良い人がたくさんいて危機感を抱き、周りの人たちに負けないように勉強に取り組みました。1, 2 年生の頃は授業の内容をしっかり身につけ、基礎力の向上に努めました。毎日、授業の予習、復習を徹底して行い授業の進度についていけるようにしました。また、私はこの頃から模試を積極的に受けました。模試を受けることで自分の弱点や得意分野を知ることができ、次の勉強の方針を決めるのに役立ちます。また、試験の緊張感を体験できるので慣れするのに役立つので 1, 2 年生の頃から模試を受けておきましょう。ここで大事なことは模試の復習は絶対に行ってください。模試で間違えた問題は自分の弱点なので二度と間違えないように復習してください。次に 3 年生の頃は、夏休み前までは国数英の勉強に力を入れ、夏休み前半は理社を中心に勉強し、後半は国数英を中心に勉強しました。勉強すればすぐに得点に結びつく理社を夏休み前半に勉強することでモチベーションを高く保ったまま夏休みを過ごせました。このようにして秋までに基礎力をつけ、9 月頃から大学の過去問に取り組みました。11 月頃には防衛大の入試がありました。筆記試験、面接試験の予行演習になるので受けることをお勧めします。12 月からはセンター試験の過去問を始めました。センター試験は形式慣れが重要なので 2 次試験対策をしっかりやっていたら、大量に解く必要はないと思います。しかし、センター試験では高得点を取るべきだと思います。高得点を取っていただければ国公立 2 次試験へ有利に進むことができ、私立大のセンター利用試験で滑り止めを確保できるのでセンター試験では高得点を目指してください。

■山形大学の公募推薦では センター試験が重要です

次に推薦入試についてお話しします。私が受験した大学では、センター試験の配点が大きいのので、まずはセンター試験で高得点を目指してください。面接では志望理由について詳しく聞かれたので、大学で何を学びたいか、大学卒業後にどういう仕事に就きたいか、大学についての基本的な知識などについて特に良く考えておいてください。また、自己 PR できるように自分の長所、短所も考えておいてください。

最後に、仙台育英の皆さんの努力が報われ、第一志望の大学に合格できることを祈っています。

宮城大学 看護学群 看護学類に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
宮城教育大学附属中出身

自習室で一緒に勉強した仲間の存在が 受験勉強の辛さを和らげてくれました

■色々な活動に参加したことが
推薦合格に有利になりました

まず、3年間指導して下さった先生方、温かく見守ってくれた両親、そして楽しい時も苦しい時も一緒にいてくれた友達、私が合格に至ったのは皆さんの支えがあったからです。本当にありがとうございました。

さて、私は高校入学当初から看護学を学べる大学を目指していました。この頃はまだ公募制推薦を受けるつもりはありませんでしたが、生徒会執行部に所属していたことや、ふれあい看護体験に毎年参加していたことが、結果的に内申書の内容や面接に役立ったので、勉強以外の活動にも積極的に取り組んでおいて良かったと感じています。1年次は模試の成績も良く安定していましたが、2年生になって成績はすぐに下がり、以前よりやる気も無くなって、そのまま3年生の夏まで長きにわたる伸び悩みを経験しました。しかし私はどうしても県内の国公立大学に行きたかったので、3年生夏の面談で志望大学を宮城大学に決定し、その時先生からセンター試験と面接で受けられる公募制推薦という試験があることを知ったので、推薦で受験することを決めました。受験勉強はそれなりにつらかったのですが、自習室に残って一緒に勉強する仲間の存在があったので、それほど苦ではありませんでした。また、志望大学が決まってからは勉強量に比例して模試の成績も上がったので、それもモチベーションの維持に繋がったのだと思います。

■模試は弱点発見と克服に
活用するのがお勧めです

私が受験勉強で意識したことは以下の2つです。

- ・模試をしっかり活用すること

模試は結果よりも自分の弱点を知って復習する手段として利用することを勧めます。

- ・過去の事例にこだわらないこと

予想外のことは絶対に起こり得る！

私は面接の試験があったので、聞かれなさそうな質問をされた場合の対策を勉強の合間にしていました。実際本番で想定外のことも聞かれましたが、焦らずに応えることができたので、練習して良かったと思いました。過去問にこだわり過ぎると痛い目を見る可能性もあるので、幅広く対策すると安心です。

自分が積み重ねた努力を信じてポジティブな思考で受験勉強することが一番大切です。ぜひ参考にしてみてください。健闘を祈っています。

宮城大学 看護学群 看護学類に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
大沢中出身

仙台育英の恵まれた環境を生かして 第一志望合格を目指しましょう

■先生方に背中を押して頂き 理系転向に挑戦しました

私は高校入学時から国公立大学への進学を目指していました。高校 1 年生の時は志望大学が決まっていなかったのですが、古文に興味があり学びたいと思っていたので、2 年生の文理選択で文系を選択しました。しかし、3 年生になり、進路を真剣に考えた時に、看護に興味を持ち始めました。そして看護体験に参加し、看護師の方から話を伺ったり、仕事を体験したりしたことで、看護師になりたいと思うようになりました。ですが、私は文系を選択してしまったので、理系の学部に進むのは無理だと思い、諦めようと思っていました。しかし、先生方からたくさんのアドバイスをいただき、挑戦することができました。

■オークルームは周りから 刺激を受け集中できます

学習面では、勉強する習慣を身につけることが大切だと思い、1 年生の時から朝は早めに学校へ行き、放課後はできるだけ最後まで学校に残り、オークルームで勉強しました。オークルームでは、多くの人が真剣に勉強しているので、自分にとって良い刺激となり、集中して勉強することができました。また、定期テストに向けて手を抜かずに勉強することで学校の授業で学んだことをしっかり復習できるので、定期テスト前は普段より多くの時間を復習することに費やしました。受験に向けて本格的に勉強を始めたのは 3 年生の 9 月頃で少し焦りもありましたが、普段から毎日勉強していたので、前向きに勉強に取り組むことが出来ました。また、推薦入試の対策と同時に一般受験の対策も行うことで落ちてしまった場合に備えました。面接練習も先生方が熱心してくださったので、本番は緊張することもなく、落ち着いて受け答えができました。

仙台育英は勉強する環境が整っていて、先生方もとても親切です。この恵まれた環境の中で第一志望合格を目指し、目標達成のために最後の最後まで諦めずに頑張ってください。

上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
七ヶ浜中出身

留学中は家庭学習を増やし 検定対策も怠りませんでした

■留学を決意した時から入試に
生かすことを考えていました

私は、自らの留学経験を生かして大学に進学しようと高校交換留学を決意した時から考えていました。国際関係を学びたかったのですが、宮城県内にはそういった学部のある大学が少なかったので、自然と選択肢が首都圏の大学に絞られていきました。2 年次夏から 10 カ月の留学だったので、留学前にはすでに進学したい大学を 2 校ほどに決め、第一志望の大学のオープンキャンパスにも訪れました。

留学中はアメリカの高校で現地の高校生と同じように勉強しました。最初はついていくのが大変でしたが、日本にいたときよりも家庭学習の時間を増やし授業を理解できるよう頑張りました。帰国する 4 カ月前あたりから TOEIC と TOEFL の勉強も始めました。私の第一志望の大学には「海外就学経験者入試」というものがあり、TOEIC や TOEFL などの外国語検定で高いスコアを取得していなければ、留学経験があっても出願できなかったのも、その基準を超えるように勉強しました。TOEIC に関しては、英単語と基本的な文法に重点を置きました。留学を通してリスニング力を鍛えられたので、あまり対策はしていませんでしたが、結果、大学の基準となるスコアを超えることができたので良かったです。

入試の面接などで話せるように、留学中にはクラブ活動やボランティア活動にも取り組みました。

■上智大学の課題レポートは
早めに準備しましょう

帰国後は入試の準備に迫られました。第一志望の大学は小論文がとても難しく、過去問も過去 1 年分しか取得できなかったのも、あまり対策ができませんでした。面接では落ち着いた回答ができましたが、小論文をうまく書くことができませんでした。そのため、第一志望の大学は不合格でした。

この経験から、第二志望である上智大学の入試対策では小論文に力を入れました。大学から過去 3 年分の過去問を取得できたので、それに取り組み、国語の先生に何度も添削していただきました。出願時には課題レポートを提出しなくてはならなかったのも、そちらに取り組むのは大変でした。この学科ができてから、課題レポートのテーマは毎年同じなため、志願しようと思っている人は本などを使いながら早めに準備を始めると良いと思います。

他の受験生もたくさんの準備を重ねて対策していますが、自分の苦手なことをしっかり対策すれば合格できると思います。がんばってください。

東京女子医科大学 看護学部 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
富谷第二中出身

自分の夢を後押ししてくれる先生方や 大切な仲間と出会えました

■どんな看護師になりたいかを
常にイメージしていました

幼い頃から、将来は人の為になりたいという思いがありました。しかし、具体的な事は何も考えないまま、気がつけば 3 年生の夏を迎えていました。真剣に将来の事を考えなければと焦り出したのもこの時期で、他の人よりもスタートを切るのが圧倒的に遅かったと思います。こんな私が、第一志望の大学に合格できたのは、心強い先生方や家族の支えがあったからだと思っています。

自分が推薦入試を受けると決めて、一番最初に行ったのは情報収集でした。例えば、現在の医療現場が抱えている問題点やその背景にある問題の解決策についてなどです。私はそのような情報を自分の強みなどに照らし合わせ、自分が具体的にどんな看護師になりたいか常にイメージすることを心がけました。また、小論文は担当の先生に出してもらったテーマや志望大学のテーマで何度も練習しました。休憩時間や登下校中などの時間も有効に使い、面接の練習などもしました。

■受験のプレッシャーに打ち勝つために
絶対譲れない目標を持ちましょう

大学受験を経て、皆さんに是非お伝えしたいと思ったことが一つあります。それは自分の「目標」をしっかりと持つてほしいということです。時間も無く、準備も不十分という中で、私が最後まで諦めずに頑張れたのも、「看護師になる」という目標があったからです。「受験は団体戦」だと言いますが、最後は自分が頑張らなくてははいけません。プレッシャーを抱えながら勉強し続けるのは大変です。途中で投げ出したいと思うことも多々あります。だからこそ、これだけは絶対に譲れないと思える「目標」を持って下さい。

仙台育英は自分の夢を後押ししてくれる先生方や大切な仲間と出会える素敵な学校だと思います。ここでの経験は、自分を大きく成長させてくれます。ですから、沢山失敗して精一杯悩んで、自分の糧にしていってほしいなと思います。皆さんが自分の夢を掴み取れることを願っています。

日本女子体育大学 体育学部 スポーツ健康学科健康スポーツ学専攻に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
郡山中出身

生徒会役員や学校行事の運営などへの 効果的な自己アピールになります

■様々な角度からスポーツを 学びたいと進学を決めました

私は、幼い頃から運動することが好きで、小学生の時からダンスを習っていたため、将来はスポーツ関係の仕事に就きたいと考えていました。専門学校と大学でとても迷いましたが、4 年間で様々な方向からスポーツについて学びたいと思い、大学を選びました。

私は、高校 3 年間で様々なことに積極的に取り組みました。生徒会執行部に所属して、書記として学校をまとめました。色々な会の司会や育英祭の計画、運営、ボランティア活動をしました。また、クラスの副室長としてクラスをまとめてきました。これらの活動は受験の際に自己 PR として、役に立ちました。

私は公募制推薦で受験したため、評定平均値が重要でした。そのため、受験を意識し始めた高校 2 年生から定期テストに力を入れました。高校 1 年生のときは、習い事のチアダンスとの両立が上手くいかず、あまり良い点を取れませんでした。時間を計画的に使うように気をつけた結果、テストで自分自身の平均点を 10 点上げることができました。そのため、評定も高くすることができ、受験の時に役に立ちました。

■小論文と面接は朝と放課後に 先生方に特訓して頂きました

私が受験に成功した一番の理由は、受験対策を多くしたからだと思います。私が受験した大学は、小論文と面接がありました。どちらも私は苦手だったため、朝や放課後の時間を使って、色々な先生に特訓してもらいました。小論文は、朝に書いて授業の間に小論文の先生に渡し、放課後に解説してもらい、過去問で対策をしていました。また、面接は一人の先生だけではなく、様々な先生にお願いして、どんな質問にも答えられるようにしました。受験期間は、私以外の友達も残って一緒に対策したため頑張れました。

このように定期テストや部活動に積極的に取り組み、受験の 2 ヶ月前から受験対策をすると良い結果が得られると思います。

十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
八戸 白銀南中出身

推薦入試において勉強や部活動などは 頑張った分だけ自分の強みになります

■小論文対策として専門知識を 増やすことが求められました

私は将来、管理栄養士になりたいと考えており、その資格を取得するために大学進学を目指しました。推薦入試を選んだ理由は、できるだけ早く合格して大学入学に向けての勉強をしたいと考えたからです。

推薦入試を受けるにあたって私は特に学校生活に気をつけ、部活動と勉強の両立に励みました。私は公募制推薦で校長先生からの推薦が必要だったので、まずは推薦されるにふさわしい人になろうと思いました。制服の着こなしや、日常生活のあいさつなどを心がけて学校生活を送りました。また、推薦入試は自分をアピールすることが重要なので部活動と勉強の両立に取り組み、それを一番の強みにできるようにしました。

受験は小論文と面接の 2 つでした。小論文はとにかく大学の過去問を解いて対策しました。しかし、管理栄養士になったとしての考えを述べるものがほとんどで、栄養学の知識を必要とするので小論文の練習だけではなく、それに関する本を読んだり、調べものをしたりもしました。面接は書いた文章を一語一句覚えるのではなく、話したい内容だけを覚えて練習の時に自分の言葉で表現できるように心がけました。そうすることで頭の中で文を組み立てられるようになり、それを本番でも生かすことができました。

■やりたいことを学べるので 今から入学が楽しみです！

大学受験を通して、学校での生活がとても大事だと思いました。勉強や部活動などは、頑張った分だけ自分の強みになります。私自身が大学に合格できたのは、学校生活での努力を積み重ねてきたことにあると思うので、後輩の皆さんも頑張ってほしいと思っています。

私にとって大学は、将来の夢を叶えるための場所であると思います。自分のやりたいことを学べると考えると、とてもわくわくします。大学では今まで以上に勉学に励み、管理栄養士になるという夢を叶えたいです。高校では多くの後輩たちが大学に合格してほしいと思います。応援しています。

神田外語大学 外国語学部 英米語学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
高崎中出身

大学は将来を決める大切な場所なので 興味を広げて慎重に選びましょう

■日頃から自発的に英語に 触れるよう努めました

将来スポーツ通訳者になりたいという夢を叶えるため、この大学の受験を決意しました。大学選びについては、第一に自分が将来やりたいことを考えました。そしてその目標に合いそうな大学のオープンキャンパスに行きました。オープンキャンパスでは、過去問をもらったり、入試対策方法を積極的に聞いたりしました。また加えて、就職率や就職先などの就職状況も確認しました。

入試対策としては、試験内容が英語の文法テストと英語のリスニング、日本語と英語の口頭試問だったため、英語の勉強や英語での面接練習、新聞を読んだの口頭要約の練習をしました。

私の場合、語学系の大学だったため、日頃から英語に触れ合うことが重要だと改めて感じました。外国語コースで学んだ英語を生かし、そして英語の先生や外国人の先生方とも積極的にコミュニケーションをとるよう心がけました。同時に、本を読んでおくことも大切なことだと思いました。

■スポーツ通訳者を目指し 努力を重ねていきます

ここまで入試の対策について書きましたが、そんな私も最初から将来の夢が決まっていたわけではありません。ただ英語が好きで、将来、英語を使った仕事がしたいという気持ちから大学を探し始めました。ある大学のオープンキャンパスに行った時、英語ができるだけでは就職できないという現実を知りました。その日から、色々考えるようになりました。テレビを見ていて、大谷翔平選手と田中将大選手の通訳者についての番組を目にしました。私は心を打たれました。元々メジャーリーグなどの海外のスポーツを観ることが好きだったので、スポーツ通訳者こそ私が将来就きたい職業だと気付きました。これからスポーツ通訳者になるために、語学力はもちろん、スポーツ選手をサポートするための技術や知識、経験を磨いて行きたいです。

最後に、大学は自分の将来を決める大切な場所です。日頃から自分が興味あるものを研究したりして、慎重に選ぶことが大切だと思います。

岩手医科大学 看護学部 に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
多賀城中出身

大学進学は周りで支えてくれる人の 力も大きいことを実感しました

■早く合格して苦手教科の 克服に充てたいと思いました

私は誰からも必要とされる助産婦になりたいと思い、チーム医療について学ぶカリキュラムや 4 年間で看護師と助産婦の国家試験受験資格を取得することができ、夢実現のために自分の知識を深めたいと考え岩手医科大学を目指しました。

私は人数制限公募を利用して受験しました。人数制限公募は早く合格が決まるので、合格発表から大学入学までの期間を苦手科目の勉強に使いたいと考え利用しました。人数制限公募は校内選考の後に本試験で英語の筆記と小論文と面接がありました。対策として、英語の問題集を何度も解いたり、小論文の書き方を見直したり、良い書き方が書いてある本を読んだりしていました。また、面接練習では、多くの先生に練習をお願いしていました。本番にならないと、どのような質問が来るか分からないので、自分の興味のある分野について少し知識を知っておいたり、それに関連したニュースを知っておいて良かったなと思いました。

■ボランティア活動で交流の 必要性を再確認しました

私が高校生活で頑張ったことは勉強とボランティア活動です。大学進学で評定が重要になってくるので、得意教科は高い評定を維持できるようにして、苦手教科は少しでも得意教科に評定が近づけるように友達に教えてもらいながら勉強していました。得意教科は資格取得に挑戦して少しでも大学に頑張りをアピールしたいなと思い頑張り、2 種類の資格を取得しました。ボランティア活動では、地域貢献することだけではなく幅広い年齢層の方々と関わりを持つことで、地域における若い人が必要となっていることや学校だけでは学ぶことのできないボランティアに参加することの大切さを学ぶことができました。コミュニケーション能力は大学に入ってからその先でも必要となってくるので、改めて必要性に気づけたので一つでもボランティアに参加した方がいいと思います。

大学選びで悩んでいた時に親から「学ぶのは親ではなく、あなたなのだから自分が学びたいと思う大学を選びなさい。親はサポートするだけだから」と言われました。大学進学は自分だけの力だけでは出来ないことなので周りでサポートしてくれる方々のおかげで合格できたなと思いました。興味を持った大学があるならオープンキャンパスに参加して、自分の目で確かめた方がいいと思います。

自分が行きたい大学に進学できるようにメリハリを付けて頑張ってください。

東北学院大学 経済学部 共生社会経済学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
東華中出身

推薦を目指すのであれば 3 年次の大会成績を特に意識しましょう

■先輩が進学した大学に 関心を持ちました

私の 1 つ上の先輩が推薦で入学し、その大学について多くの情報を教えてもらうことができました。そして私はオープンキャンパスにも行き東北学院大学はどういう所なのか、その後の進路はどうしていくのかなど詳しく知ることができ東北学院大学へ行きたいと思いました。大学へ入る方法は指定校、AO 入試、スポーツ、一般などさまざまな方法がありましたが、私は 1 つ上の先輩と同じスポーツでの推薦で行くことに決めました。

推薦といっても、簡単ではなく高校の部活動その他のクラブ活動などでスポーツの実績を残さなければなりません。私はサッカー部に所属していました。その中では、宮城県内の大会を優勝、そして東北大会、全国大会の出場など条件を満たしていたため公募制推薦で受けることができました。

■卒業後の進路の充実度に 魅力を感じました

主にスポーツの成績を活用して推薦で大学に行きたいと思っている人がいるならば、今までの試合や大会などに出ていることが大切ですが、3 年生の高校総合体育大会は、推薦での大学の視野を広げられる重要な大会です。そこで東北大会や全国大会に出ることができれば多くの大学のスカウトの人に注目されることになります。なので 3 年生の中での試合や大会はとても重要なので、推薦で大学に入学したい人はこだわって欲しいです。

そして私が多くの大学の中から東北学院大学を選んだのは県内の大学の中でもその後の進路についてたくさんの情報や話を聞くことができる環境があり、就職の内容も濃く自分自身の将来像をしっかりと決めることができるものを感じたためです。

大学に入学したい人は、高校の評定は大切だと思います。定期考査などのテストでは、点数をできるだけ高くとることも大切です。日頃の授業はしっかり受けて平常点もしっかりとりましょう。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
角田中出身

家族や友人、先生方のサポートを支えに 自分で色々工夫して受験対策をしました

■小論文は過去のテーマを元に
先生にご指導いただきました

私は東北福祉大学に公募制推薦で合格することができました。特に面接での自己アピールに力を入れていました。私は、小学校から現在まで、遅刻や欠席、早退をしたことはありません。ですから、体力があることや精神力があることをアピールしました。また、私は演劇部に所属しており、地区大会で優秀賞 1 席を受賞することができ、県大会にも出場することができました。部活動での私の役職は音響のチーフだったので、強い責任感を生かし、チーフとしての役割を果たすことができたこともアピールしました。面接対策は、上記のことも含めた面接対策ノートを作っていました。面接対策ノートは事前に想定される質問を書き出し回答を書いたノートです。ですが、本番の面接では、ノートに書いていないことの方が多く聞かれ非常に混乱しましたが、ノートの内容を抜粋して、一部を変えるなどして対応できる質問が多数だったので、ノートを作った方が自分のためになると思います。

また、私は小論文の試験もありました。小論文はあまり得意ではなかったので焦りました。東北福祉大学では小論文のテーマが「挑戦についてや行動力について、君の考えを述べなさい」、という抽象的なテーマについて問われる学科もあり、私はその学科でした。そのため、今まで書いたことがないテーマに戸惑いました。ですから、小論文の先生に過去に出題されたテーマで採点をお願いしました。採点をして下さったおかげで自信ができました。

私が東北福祉大学に合格できたのは、家族や友人、先生方のサポートがあったからだと思います。大学合格への道は決して生易しいものではありませんが、一人でストレスを抱え込まず、周りの手を借りつつ頑張ってください。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
蒲町中出身

面接と小論文は長い時間をかけて練習し 数をこなすほど上達します

■福祉を本格的に学ぶために
何度も受験に挑戦しました

幼い頃から祖父が車椅子生活を送っていたこともあり、福祉に興味を持つようになりました。県内で福祉について本格的に学ぶことができるのは東北福祉大学しかないと思い志望しました。しかし、合格するまでの道のりは苦労の連続で、私は計 3 回の受験を経験しました。1 度目は当時第一志望だった福祉行政学部を受験しましたが、試験前日まで熱を出してしまった影響もあり、実力を発揮できないまま不合格になってしまいました。これを機に第一志望を社会福祉学科に変更し、推薦入試に備え始めました。東北福祉大学の推薦入試は書類選考と小論文 600 字、個人面接でした。勉強と部活動の両立に加え、室長やボランティア活動を経験した私は書類選考には自信がありました。しかし、小論文と面接はどちらも苦手で練習には長い時間を費やしました。小論文の練習には特に力を入れ、約 30 枚ほどの小論文を書きました。初めの方は壊滅的な文章力でしたが、回数を重ねるにつれて良い小論文にすることができました。

■小論文での失敗は
面接で挽回できました

そして迎えた 2 度目の入試は専門課程入試で限られた人しか受けることができないため、自分は受けられないと思っていましたが、先生から「情報専門の単位を取っているから受けられる」と聞きました。しかし第一志望の学科は条件的に受験できないと知り悩みましたが、東北福祉大学に行きたいという気持ちが強かったため、受験することを決めました。本番では自分でも驚くほどにリラックスして臨むことができ、練習通りの力を発揮できました。合格できたものの、第一志望の学科を目指して引き続き練習しました。その勢いのまま本命の 3 度目の入試。小論文であまり納得のいかない内容になってしまい少し焦りましたが、切り替えて面接を受けようと思いました。その面接では想像していたよりリラックスした雰囲気、勝手に緊張が解けていました。緊張しなかったため、聞かれたことに正確に伝えることができ、小論文の失敗を挽回し合格を勝ち取ることができました。

学校生活のアドバイス

- ・勉強で力を抜かない（特にテストで）
- ・ボランティア活動に参加する（参加して終わりではなく、何を得たが大切）
- ・部活をやっている人は勉強にも手を抜かない

受験のアドバイス

- ・体調管理を整える（手洗い、うがいやマスク）
- ・小論文は本当に数です!! しっかりと先生に提出! 数をこなせば文章力も培われます。書いて終わりではなく、担任の先生や国語の先生に提出することが大切です。
- ・書類などをしっかり提出する
- ・面接も練習!! 一つの事に対して深く理解!! 練習なしで行くと後悔します。一つのことに對してすごく深く聞かれることもあるため準備しておく。
- ・面接は順番通りとは限らない、心の準備を! 3 回目のときはバラバラに呼ばれました。心の準備とリラックスが大切です。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
高森中出身

様々な角度から物を考えられることが 面接や小論文においては大切です

■読書は自分の考え方を
広げてくれるのでお勧めです

私は中学 3 年の頃から社会福祉士として、児童養護施設で働きたいと思っていました。そのため、現代社会においての問題や貧困問題の解決のためには何をすべきなのかを考えるようになりました。また、私は人との関わりを大切にしたいと考えており、社会福祉士として働く際にも変わらず人との関わりを大切にし、相手が何に対して悩んでいるのか、何が不安なのかという本音を聞きたいので、相手と正面から向き合って生活の手助けをしたいと思うようになりました。

受験の際にはこうした普段から思っている私の考えが、面接や小論文で役立ちました。そのため、自分の考えを持つことや、物事を考える際に様々な角度から視点を変えて考えられることが大切なのかなと思います。また、本を読むことも受験では役に立つと思います。本を読むということは書いた人の考えを知ることができるうえに、自分自身でも考えが生まれ、大きな経験となるからです。なので私は本を読むことをおすすめします。

■面接では和やかな雰囲気を
作ることを心がけました

私は面接は練習をしてあまり時間を使わずにある程度聞かれたことに対しても考えて答えられるようになりましたが、小論文は文章の組み立てがうまくできなかったり、考えをなかなか文章にできないことや、誤字脱字が多く、自分の伝えたいことがなかなか伝えられませんでした。そこで先生方に放課後に指導していただき、なんとか受験日まで形になりました。そのため、小論文の練習は余裕を持って始める必要があります。

受験当日は小論文は、書き終えた後見直しを何回も繰り返しました。面接では 2 対 1 の個人面接だったので自分が話の中心となるため、会話の流れをつかむことを意識しました。そのため面接官 2 人を笑わせることを一つの目標にしました。おかげで自分の伝えたいことを相手に伝えることができました。

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉行政学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
玉川中出身

部活動のスタッフの方々の 温かい支えで合格できました！

■部活動のスタッフの方々が 引退後も支えて下さいました

私は東北福祉大学に入学することになりました。そんな私がこの経験から得た中で一番大きいことは、感謝の気持ちです。私の悩みを聞いてくれたのは、バレーボール部の監督をはじめとする多くのスタッフでした。バレーボール部に所属しているときは、選手としての目線でしかスタッフを見ていたため、バレーボールを教えてもらったことに対する感謝が大きかったです。しかし、部活動を引退してから監督をはじめとするスタッフ、また、仙台育英の偉大さを知ることになりました。バレーボール部を引退したのに、私の高校の出口までを考えてもらい、多くの支援をいただきました。

■将来は母校の職員として 貢献していきたいです

多くの支援もあり、東北福祉大学に入学することができ、これらの経験で将来したいことが明確に決まりました。それは仙台育英の学校職員としてバレーボール部に関わっていききたいということです。そのためにも大学 4 年間すべきことが 2 つあります。1 つ目は、多くの人との繋がりを大切にすることです。高校では良い環境に恵まれて、自分自身も人として成長した 3 年間でした。この 3 年間で経験したことを糧にして、自分を理解していきながら、人との繋がりの幅を広げていきたいと考えています。2 つ目は、大学 4 年間で仙台育英のバレーボール部に関わっていくことです。バレーボール部のスタッフからお誘いを受けて、バレーボールに関わる機会をいただきました。今の自分に何ができるかをしっかり考え、バレーボール部を強くしていきたいと考えています。この 2 つは必ず将来に結びつき、大きな力になると信じています。周りに流されず、自分の目標を貫いて、日々努力をしていきたいです。

東北福祉大学 総合マネジメント学部 情報福祉マネジメント学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

仙台育英での充実した 3 年間に 勝る経験はないと確信しています

■大学では県内有数の野球部で 成長していきたいです

私は、大学合格までにしていたことは、大学の特徴や情報などを細かく知り私に本当に合っている大学なのかを分かっておく必要があると思っています。私は、なぜ大学進学したのかというレベルの高い先輩方のもとで中学の時から 3 年学び、高校に入学したときは中学から数えて 4 年目で、主将を務めて大学日本一に貢献したいと思い大学進学を決めました。宮城県で一番レベルの高い大学でどれだけ自分の力が通用するのかがもっと知りたいし、私より経験のある先輩方からより多くのことを身に付け自己成長と共に後輩にも還元できるようにしっかりと知識を身に付けていきたいと思っています。

私は、硬式野球部に所属していたので入試も特別入試で受験することに決めました。それは、野球で結果を残して判断してもらい基準を超えたら受験できるシステムになっています。そのために私は、甲子園出場を最低条件にして毎日の練習に取り組んできました。

プラスして定期考査対策もしっかり取り組み単位を落とすことがないように必死に勉強をしました。学習評価は、これからすごく大切な評価でもあるので大切にしていっていった方がこれから先の未来も明るくなってくると思います。資格取得も積極的に取り組み 1 つでも多い資格取得をおすすめします。

■3 年間で自分を磨き 社会に羽ばたいて下さい

私が苦労したことは小論文です。テーマ型小論文になると意外できるのですが、テーマ型ではない自由小論文になると厳しくなってくると思います。知識がないとできません。しっかりとどういった小論文なのか分かっておく必要があるのです。

私にとって高校生活はかけがえのない財産だと感じています。これから先、生きて行くのに必要な能力を高校で身に付けておかないとこの先大変ですが、この 3 年間に勝る人生生活はないと確信しています。高校 3 年間で己を磨き社会に出て行く後輩たちを予想してとても期待しています。がんばってください。

東北福祉大学 教育学部 教育学科初等教育専攻に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
富沢中出身

努力の成果がどんな形で表れると 信じて一日一日を過ごしましょう

■教育者志望向けの実践活動が 多い点に惹かれ志望しました

私は将来教師になると、高校に入ってから本格的に決断をし、大学進学を決めました。東北福祉大学は教育者になるための実践活動が多く、その点が私の志望する決め手となりました。様々な入試制度があることが調べる内に分かり、私は公募推薦入試に挑戦することにしました。推薦入試を目指したきっかけとして、多くある受験にチャンスを最大限利用し大学合格に一步でも近づけるようになるためです。本当に入りたい大学であれば、何事にもチャレンジ精神で臨むことが大切だと思いました。

高校生活では、勉強には熱心に取り組みました。評定も入試では欠かせない部分になるため、その評価に直接繋がる定期考査は常に万全な対策をして望みました。私は部活動をしていなかった分、勉強での評価を得ようと勉強も怠らずに 3 年間努力しました。他にも自分のスキルを上げるために英検を取得するということもしました。

■小論文は納得のいく文章を 早く書く練習をしましょう

私が受験した推薦入試は小論文と面接でした。どちらも十分な対策をすることが大事だと感じました。小論文対策は勉強にも励みつつ、入試が近づくにつれて小論文の問題の数をこなしました。具体的には、大学の HP から過去問を学部学科という縛りを無くし、可能な限りひたすら書きました。東北福祉大学の小論文の問題は抽象的なテーマで出る傾向にあり、私は自分や周りの人が瞬時に思いついたものを題にして書き、他の人に見てもらおうという対策をとっていました。そうすることにより、自分の文のスタイルが見つかり、本番でどんなテーマが出てでも書けるという自信が付きます。試験の 60 分は体感よりも短いため、日頃から早い時間で納得のいくものが書けるように練習を積むことが大切です。

面接は学校での練習を何度もすべきです。面接指導の先生方の指摘を聞き、面接の空気に慣れるよう意識しました。本番の際、予想していなかった質問が来た時、私は堂々と自分が良いと思った答えを言いました。仮に文が組み立っていなかったとしても、大学に入りたいという思いが面接官に伝わるのが最も重要だと思いました。

対策は余裕を持って始めるべきだと感じました。評定が推薦入試へ繋がった今回のように、勉強を日々精進していれば自分の役に立ちます。どんな形であろうと勉強の成果は表れてくると思うので、日々の努力には見返りがあると信じて一日一日を過ごしてほしいです。入試に合格できたのは先生方や家族の支えがあったからです。ありがとうございました。

東北文化学園大学 医療福祉学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
鳴瀬未来中出身

コツコツと努力を続けていれば いつか必ず成果を得られます

■勉強も弓道も努力を怠らず
力を伸ばすことができました

私が東北文化学園大学を志望した理由は、幅広い専門的知識や技術を身につけることができ、また、人間性を豊かに育てることができるからです。

学校で行われた大学説明会で東北文化学園大学の説明を聞き、学科を卒業し就職できる仕事内容に興味を湧きました。オープンキャンパスに行き授業内容を聞いたとき、ぜひこの大学に入りたいと思い、勉強をたくさんしました。そのおかげで点数が上がり成績が入学の基準値に入ることができました。また、部活では弓道部に入部しました。周りの部員はとてもうまく、このままだと周りの部員に迷惑をかけてしまうのではないかと思います、私は家で自主練習を行ったり、動画で上手い人の動きをまねしたりなどの練習をしていきました。おかげで的に当たる確率が上がり、大会で 2 位の成績を得ました。このような経験を得て、努力は裏切らないということが分かりました。大学を受けようとしている人や部活をしている人に努力をすれば必ず良い成果を得られるということを知ってほしいです。

小論文対策については何回も練習をして小論文に詳しい先生に渡してどこが悪いのか教えてもらい、それを次の課題文などに生かして良い評価を得られることができるはずです。最初は難しいかもしれませんが、コツをつかめば上手にできるので、諦めないようにしてください。

これから 3 年生になる方は今はつらいかも知れませんが、今頑張れば後は楽になるので頑張ってください。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
蛇田中出身

ハワイ研修など仙台育英ならではの 経験もできた充実した 3 年間でした

■勉強と部活動の両立を続け
大きな達成感を得ました

私が大学進学を目指した理由は、大学だと専門学校と違って、4 年間で基礎知識から専門技術までしっかりと学ぶことができると思ったからです。

推薦入試合格のため私は、小論文が苦手だったため、志望大学の過去問を 3 年分やり、小論文の先生に指導してもらいました。面接練習は複数の先生と何度も行い、慣れることで自信をつけることに繋がりました。先輩方が前に聞かれたことを質問されることが多いと思うので、先生に質問内容を確認すると良いと思います。

資格取得は将来にも役立ってくるので、今のうちから英検 3 級等の取得を目指すことをお勧めします。

私は仙台育英で 3 年間、勉強と部活動の両立を頑張って来ました。県内では 2 校しかないチアリーディング部に入学し、甲子園など貴重な体験や仲間とも楽しい思い出がたくさんできました。2 年生の時には、2 週間のハワイ研修にも参加し、仙台育英に入学したからこそできたことが多くあり、充実した 3 年間を送ることができました。勉強と部活動の両立はとても大変ですが、3 年間続けることによって達成感や充実感を得ることができます。

大学進学先を決まっていらない人もいますが、気になる大学のオープンキャンパスや興味のある学科、学部のある大学に行き、自分に合う大学に入学できるよう応援しています。頑張ってください！

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
台原中出身

問題練習のルーズリーフを綴じた 分厚いファイルは私の努力の証です

■病棟薬剤師を目指すには 最適な大学だと考えました

私が東北医科薬科大学薬学部薬学科を第一志望に決めたのは高校 3 年生の夏でした。それまでの私は、将来自分は何かしたいのか、目標が見つけれず、ただ淡々と定期考査のためだけの勉強をしていました。そのまま月日だけ経って、そろそろ進路を決めなければいけないとなったとき、最初に思い浮かんだ仕事が薬剤師でした。私は両親が医療関係者で、小さい頃から医療の世界を身近に感じてきました。医療従事者には大きな責任が伴い、辛いことも多いけれど、患者さんが笑顔になってくれたときのやりがいは溢れるものだという話を聞き、私も薬剤師として医療の世界に入りたいと思いました。

そこで私は東北医科薬科大学の公募推薦を受けることに決めました。この大学は私が目指す、薬の専門家としてチーム医療に参加出来る病棟薬剤師になるための一番の近道だと思ったからです。入試内容は化学と英語のマーク試験と面接で、特に化学は 200 点満点だったため重点的に勉強しました。セミナーや過去問を何周も解き、わからないところは先生に何度も教えていただき、一つ一つ苦手をつぶしていきました。そして自分の化学だけのファイルを作り、そのファイルにルーズリーフが挟めなくなるまで何度も解きなおしをしました。そのファイルは私が頑張った証であり、入試が近づいて不安になったときの自信にもなりました。その努力が実り、晴れて合格をつかんだ瞬間はとても幸せな瞬間でした。

■早くから進路と向き合い 目標を見つけましょう

高校生活はとても充実し、あっという間だったなと思います。周りの仲間みんなが大学合格という一つの大きな目標を目指し、切磋琢磨しながら勉強ができる恵まれた環境でした。私は目標を見つけるのが人より遅く、受験勉強に本腰を入れるのも遅くなってしまったので、後輩のみなさんには自分の将来と早めに真剣に向き合い、できるだけ早く自分自身の目標をみつけてほしいです。そして、後悔のない自分の人生を見つけ、合格をつかんでほしいです。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
郡山中出身

本気でやればできないことはない 受験勉強を通して実感しました

■担任の先生の勧めが薬剤師を
目指すきっかけになりました

私は仙台育英には高校受験に失敗して、入学しました。入学した当初は特に将来の明確な夢や志望大学などはなく、ただ 3 年間の内に自分のやりたいことが見つかりたいやなどと思っていました。

高校 1 年は自分にとって新しいことのオンパレードでした。45 分の授業が 7 コマあること、放課後に学校で講習があること、また私はバドミントン部に所属しており、放課後に多賀城校舎に行くことも当初は新鮮に感じました。そして、高校 1 年の時に担任の先生と面談した際に、何か人の役に立てる仕事に就きたいと話したところ、薬剤師はどうかと勧められました。その後、本やネットで薬剤師について調べ、人の健康に対して真摯に働く薬剤師がかっこいいと思い私の将来の夢になりました。

高校 2 年は部活と勉強の両立がハードになった 1 年でした。それでも赤点は取りたくないし、部活もやめたくないと思い、気合いで頑張りました。また高校 2 年の頃に TTT チャレンジという授業がありました。そこで薬剤師について深く調べる機会があり、より薬剤師になりたいという気持ちが強くなりました。

■受験勉強の大半を
化学克服に充てました

そして 3 年生になりました。高総体の最後まで部活を頑張り終え、真剣に進路を考える時期がやってきました。私はその時に東北医科薬科大学のオープンキャンパスに参加しました。そして充実した施設や高い合格率に魅力を感じ、この学校を志望大にしました。東北医科薬科大学の公募推薦の入試科目は化学と英語で、自分の苦手な数学がなかったため、公募推薦を受けようと思いました。そこから私の怒濤の受験勉強が始まりました。

当時の私は全くと言っていいほど化学ができませんでした。定期テストなどで赤点は取らなかったものの、模試などでは、ほぼ学年ビリの成績でした。私はまず部活を引退した夏休みが始まるまでに、ひらすら学校でもらった化学の教材を解きました。今思えば、あの教材を何回も解いたおかげで基礎が確実に定着したと思います。そして夏休みに入って私は本屋で、化学の単語帳と、学校の教材より少し難しい参考書を買って、一心不乱に解きました。休みのほとんどの時間は化学の勉強に充てていたとおもいます。化学を勉強し始めてすぐには成績が上がらなかったが、公募推薦の直前の模試では学年で 1 桁の順位を取れるほどにまで化学の成績を上げることができました。そしてその勢いのまま志望大に合格することができました。この経験から、本気でやればできないことはないというのを実感できました。今、これを読んでいる人の中には自分の学力に悩んでいる人もいますが、本気でやれば結果は必ず付いて来るので、諦めずに頑張ってください。

東北医科薬科大学 薬学部 薬学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
東豊中出身

早く進路を決めるとゆとりをもって 対策できるので自信がつきます

■曖昧な所を授業で確実に 理解するようにしました

私が志望大学を決めたのは 2 年生の初め頃でした。1 年生の時には将来にやりたいことが薬剤師の他にも何個かあったため、何が一番自分にあっているのか、どんな特徴の大学が良いのか、どんなところに就職できるのか、などを様々な大学の資料を読み、受験できる入試形式もよく考えながら 1 個に絞っていきました。東北医科薬科大学の公募制推薦の試験内容は化学と英語と面接でした。面接は配点が低く、英語はあまり難しい問題は出題されないようだったので、化学を中心に勉強することにしました。化学はオープンキャンパスで貰った過去数年分の問題を見て出題傾向の高いものを重点的に、全体を理解できるように問題集と過去問題を何回も繰り返し解きました。どうしても理解できない箇所があった時には先生に質問しました。分かりやすく丁寧に解説していただき、とても感謝しています。

また、普段の授業にも集中して取り組みました。公募制推薦で受験するにあたってある程度の評定平均値が必要になりますし、授業で得た知識が受験勉強で役に立つことや自分が曖昧に覚えてしまっているところを授業で確実にものにできることもあるからです。

■進学後は薬剤師になるため 一生懸命努力していきます

大学受験をして重要だと思ったことは早く志望大学を決めることです。私が志望大学を決めるまでは明確な目標がないため積極的に動こうとしませんでした。目標を定めれば計画を立てることができ、モチベーションを高め、維持することにつながります。早く入試に向けて動き出すことができれば自分の夢に向けて様々な経験を積むことができますし、勉強できる時間が多いため自分の学力に自信を持てるようになると思います。

高校 3 年間はあっという間で 3 年生になってから入試当日までは特に短く感じました。大学を合格してからも私も薬剤師になるために勉強することが沢山あります。皆さんも夢に向かって頑張ってください。

東北生活文化大学 家政学部 家政学科健康栄養専攻に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
渡波中出身

「この大学で学びたい」という 強い意志を持って対策しましょう

■受験機会を増やすため 公募制推薦を受けました

私が大学進学を目指した理由は、将来、管理栄養士になり、病気の人達の健康をサポートしたいという目標があったからです。私の栄養学専攻では、一般入試と公募制推薦入試の二つしかありません。

フレックスコースから一般入試で合格するには、人一倍努力しなければ受かりません。なので、私は受験チャンスは複数ある方が良いという考えもあり、公募制推薦を受けようと決めました。しかし、誰もが受験できる訳ではありません。大学側が出した条件があり、それを満たしていなければ受験資格はありません。規定の評定をみたしていなければ受けられない大学もあります。だからこそ、ふだんの勉強をしっかりと取り組み、ある程度の評定は取っておくと良いと思います。私自身、勉強時間を増やしたり、休日や長期休暇期間を利用し、夏期講習や冬期講習に通い、評定を上げてきました。

■受験対策の積み重ねで 自信をつけていきましょう

そして、大学進学を志望するにあたって日々の練習の積み重ねで自信をつけることが重要になると私は感じました。それは私が、受験合格に成功した一番の要因でもあります。

私が推薦入試合格のために、面接練習や小論文対策などを受験前まで努力してきました。小論文は受験の 2 ヶ月前位から大学の過去問をやったり、書いた小論文を先生に出し、たくさん修正され、どこがだめかを探り、前もって準備が必要です。面接練習にしても、事前の練習をしなければ、本番ではうまく話すことは困難です。なので、友達と面接の練習をしたり、先生にお願いし、面接練習をし、改善点を見つけ、何度も練習すると良いと思います。また、面接をするにあたり、大学のことを知っていた方がいいので、オープンキャンパスに行くなど、大学のことを知っておいて損はないと思います。

次に受験を迎える皆さん、受験方法は様々ありますが、自分がその大学で学びたいんだという強い意志を持ち、事前に努力することが受験合格につながるのだと思います。

聖和学園短期大学 保育学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
利府中出身

部活動を引退したらすぐ受験に切り替え 普段の生活にも一層気を付けましょう

■ 同じ大学を受験した先輩に 経験談をお伺いしました

私は短期大学に進学します。私は、中学 2 年生の時に将来の目標を決めました。高校 2 年生の時に大学進学を意識し始めました。大学進学を目指したきっかけは、実習と勉強をどちらも大事にしたいと思ったからです。

部活で大学と練習試合をしたことがきっかけで短期大学に興味を持ち、夏のオープンキャンパスに参加しました。将来やりたいことと短期大学の学習内容、実習の時間、技術の獲得など色々な話を聞き、私に足りない所を補ってくれる所だと思い短期大学に決めました。

高校 3 年生の夏に AO 入試に向けて、高校 2 年生で夏と春のオープンキャンパスに参加し、パンフレットを何度も読み返しました。1 つ上の先輩が同じ大学を受験していたので面接で聞かれたことなどを教えてもらいました。

■ 3 年間体調管理に気を配り 無遅刻無欠席を達成しました

私が高校生活で一番気をつけていたことは、体調管理で無遅刻無欠席にすることです。出席日数は、進学にも大きく関わってくると思います。私には部活もあったので部活のためにも休まないという思いもありました。さらに、推薦入試のことも考え 30 日以上は休まないように気をつけていました。

3 年生の 6 月までは、部活があったので高総体が終わったらすぐに受験に切り替え、授業中は寝ないなど細かいこと、小さなことに目を向けていった方が良いと思います。

私は、3 年間部活を中心に過ごしてきました。勉強も基本を身に付けられるよう復習を大事にしています。面接や小論文の練習も時間がギリギリになってからではなく、前もって練習するべきです。練習するとしけないでは、とても違ったことを私は経験したので、小論文も面接も 2 週間くらい前からやり、先生や友達にも手伝ってもらいたいと思います。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
七ヶ浜中出身

受験で使うかどうか決まっていなくても 小論文の授業に真剣に取り組みましょう

■一度不合格となり悩み抜いて
再チャレンジを決意しました

私は、看護師になるという夢を叶えるために、自分の第一志望校である仙台青葉学院短期大学看護学科を受験しました。それは一度ではなく二度受験を経験しています。一度目は AO 入試、二度目は公募制推薦で合格できました。受験方法は小論文と面接でした。

一度目の AO 入試は 9 月に行われました。私は吹奏楽部に所属しており、8 月まで部活動を中心の生活が続き、受験対策が全くといっていいほどしていませんでした。恥ずかしい話ですが、受験日の 1 週間前まで、小論文の練習、面接練習に全く触れず、ラストの 7 日間で詰め込みました。小論文の添削をお願いした先生、急に先生に面接練習をお願いしたりと、たくさんの先生方に迷惑をお掛けしてしまいました。十分に受験対策のできる環境を整えられないまま臨んだ受験は、当然ボロボロでした。小論文は時間内に書き終わらず、面接時には、自分が何を言っているのか分からない状態です。仙台青葉学院短期大学の小論文問題は少し特殊で、小論文の他に漢字の読み書き、計算問題やグラフの読み取り、少しの英文読解も含まれていて、十分な対策なしにしては決して解ける問題ではありませんでした。受験が終了し、もっと対策をしていけばと深く後悔しました。今考えると、大学受験をなめていたんだと思います。もちろん結果は不合格。ここから 2 度目の受験を決めるまでには、たくさん悩みました。受験校を変えようか、指定校推薦を利用しようか、専門学校にしようか。正直、早く学校を決めて楽になりたいと思っている自分がいました。ですが、もう一度チャレンジしてみると決めました。

■小論文は時間をかけて一本を
しっかり書く練習をしました

二度目の公募制推薦での受験対策は 2 ヶ月前から始めました。受験方法は AO 入試と同じく小論文と面接です。小論文は看護学科の過去問題だけではなく、他学科の小論文問題の全てを 2 周するまで解きました。ですが、小論文の練習を始めた頃は一日にいくつもの問題を解いていましたが、それでは書けるようにならないことに気がつきました。小論文は数をこなすしかないと言いますが、一日に一つ、時間がかかっても今の自分に書ける最高的小論文を書くことが大切です。一日にいくつもの問題を解くことは、書けない、下手な小論文をいつまでも書いていることと同じだと担任の先生が教えてくれました。小論文はたくさんの先生方に添削して頂くのも良いと思いますが、私はそれで失敗を経験しています。その理由は、さまざまな小論文の書き方に混乱してしまうからです。1～2 人の先生に添削をお願いすることをオススメします。逆に面接練習はいろいろな先生に練習に付き合ってもらいました。主に私が行った面接対策は、看護師のドキュメンタリーの本を読んだり、たくさんの医療ニュースに注目したりと、看護職について、自分なりの考えをしっかりと持つように心がけました。二度目の受験は無事合格できました。

こ小論文の対策は速めにこしたことはありません。私は小論文の授業を、自分は受験に小論文は必要ないと考えていて、積極的に取り組んでいなかったせいもあり、書けるようになるには、時間がかかり、また、とても苦労しました。ですので、小論文の授業を甘く見ず真剣に取り組むことで、大学合格に一步近づけるのではないかなと思います。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
向洋中出身

「絶対この大学に入りたい」という 強い気持ちが一番大切です

■受験日が遅く焦りましたが
周りに流されませんでした

私は公募制推薦で大学受験をしました。受験内容は面接 10 分、小論文 60 分でした。私は運動部に所属していたため入試の準備に 5 ヶ月程しかありませんでした。受験をするのにも大学に提出する書類が多くあったので少し大変でもありました。本格的に対策をし始めたのは 1 ヶ月前です。小論文を毎日先生に見てもらっていました。それにプラスして基本的な漢字の練習も行っていました。面接は 5 人か 6 人の先生に練習をして頂きました。1 人ひとり、質問の内容は異なるので 1 人に限らず少し多めにすると思います。受験をするにあたり一番大切なことは強い意志だと思います。絶対になりたい、必ず入りたいという気持ちを全面に出すべきです。受験日が少し遅く焦りましたが、周りに流されない強い気持ちで受験に臨んでほしいです。

仙台赤門短期大学 看護学科に
公募制推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
津谷中出身

大学卒業後は看護師として 地域社会に貢献しようと思います

■患者に寄り添う看護師という 理想に近づいていきたい

私が小学 3 年生の頃に交通事故で曾祖母が亡くなりました。病院に搬送された曾祖母の対応にあたる看護師の姿が今でも記憶に残っています。何もできずに立ち尽くすしかなかった私達家族の無力さを痛感するとともに、自分が看護師であったなら少しでも力になれたのではないかと思います。そんな思いから、市民病院の看護実習に参加しましたが、単純に人を助けたいという思いだけでは務まらない仕事だと感じました。そして、豊富な知識や技術に加え、命と向き合うことの重みや責任が求められるのは勿論のこと、医療チーム内のコミュニケーションや協調性、患者とその家族とのコミュニケーションの大切さであると痛感しました。患者の心に寄り添い、意志を通い合わせる努力が看護師には必要であり、治療に専念できる環境を整えることが使命だと感じました。

仙台赤門短期大学では、「看護学概論」や「看護技術論」といった看護を基礎から学ぶことができるほか、2 年次からの臨地実習においては患者が抱えている問題について正面から向き合い、コミュニケーション能力の向上と実践力を身に付けることで、目標としている看護師像に少しでも近付いていけるような取り組みをして行きたいです。また、東日本大震災を経て看護師不足が指摘されているなか、仮設住宅生活者と関わる機会があることは、これから地域社会に貢献していくという意識付けと看護師としての心構えを実践的に学べる場であり、健康水準の維持、増進に貢献したいという目標のある私にとって絶好の機会だと感じています。

■人を思いやる気持ちを 行動に変えることが大切です

私は、高校 3 年間ラクロス部に所属しました。マネージャーがいなかったので、常にみんなでグラウンド整備や道具の準備など協力して行っていました。そんな中で、チームワークの大切さを実感した場面がありました。強化合宿中に、チームメイトの身体の異変にいち早く気付けたことです。私はすぐにコーチに伝え、応急処置をしてもらうようお願いしました。常に協力して活動してきたからこそ、異変に気づきフォローし合える関係を築くことができたのだと思います。人を思いやる気持ちは行動に変えて行くからこそ大切だと感じることができました。この経験を私は自分の長所として捉えています。看護師として患者の変化にいち早く気付くことは大切なことであり、看護実習においても、その大切さは実感できました。だからこそ私は自分自身の長所を看護師という立場で生かし、地域社会に貢献していきたいと考えています。

2019 栄光への軌跡

2019 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



スポーツ推薦

早稲田大学、関東学院大学、城西大学、東京国際大学、
作新学院大学、上武大学、石巻専修大学

早稲田大学 スポーツ科学部に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
北海道 柏陽中出身

やっと出場できた甲子園での経験を糧に 大学日本一の投手を目指します！

■充実した設備の中で甲子園を
目指した日々は忘れません

私は北海道出身なので、冬になると雪で野球が出来なくなるのが普通でした。ですが、運とタイミングが重なり、ずっと入りたいと憧れを抱いていた仙台育英に特待生として入学することが出来ました。北海道と比べて温暖な気候であり、充実した施設で野球を行える恵まれた環境だと私は思っています。毎日長時間のミーティングと走り込みをしました。私は投手だったので、毎日投げ続け時々嫌になることもありましたが、46 人の仲間で支え合い、半年間を過ごした日々は一生忘れません。

高校最後の大会の決勝ではスタンドからの声援で涙が出そうになりました。メンバーに入れなくても甲子園に行きたいという気持ちと、私達メンバーと一緒に戦いたいという気持ちがストレートにベンチに伝わってきました。宮城県大会を制覇し、甲子園出場を決めることができ、仲間と抱き合った日は一生の宝物になりました。甲子園では悔しい結果で終わりましたが、私が進学する早稲田大学では、この悔しさを糧に必ず日本一の投手になりたいです。

関東学院大学 国際文化学部 比較文化学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
郡山中出身

毎日遅くまで面接練習を積み重ねたので 本番でもしっかり受け答えできました

■甲子園に出場できたことが 推薦合格に繋がりました

私は関東学院大学国際文化学部比較文化学科にスポーツ推薦で入学することができました。

スポーツ推薦で入学できたのには、3年間の部活動をがんばったということが一番大きいと思います。私は3年生の夏に甲子園に出場することができました。出場をするために、日頃から練習を継続的にやってきた結果が合格につながったと嬉しく思います。

合格するためにがんばったことは面接練習です。入試の内容は面接のみでしたが、その面接のために私は、毎日残って練習を重ねました。その積み重ねのおかげで私は当日の面接でしっかりと受け答えをすることができました。なので私は、面接練習をがんばってきて良かったと感じました。

■今から準備をして大学でも 野球部で活躍したいです

合格通知を頂いた後は、大学に向けての勉強、野球の練習をがんばりました。勉強面では大学の難しい内容について行けるように残り少ない授業を大事にするとともに帰ってからの自主学習も大事にするということをしてきました。そうすることによって、大学に入学して、勉強にもついていくことができると思います。

部活動では上のレベルで野球をやることになるので、今のうちからしっかりと体を作っていくということが大切になってくると思います。大学に入った時に苦労しないように今から練習をして、1年生から活躍できるようにやりたいと思います。

合格した後も充実した生活を過ごしていけるようにしたいと思います。

城西大学 経営学部 マネジメント総合学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
宮床中出身

文武両道というモットーを 3 年間貫き テストでは毎回 80 点以上を取りました

■自分を成長させてくれる 大学だと確信しました

私が大学進学を目指した理由は、将来の夢に向けて学問を学びたいと考えたことと、硬式野球を高いレベルで続けていきたいと考えたので大学進学を目指しました。きっかけは、夏の大会が終わってから野球部の監督から特待が来ているというお話があり、城西大学の練習会に参加したのがきっかけでした。参加してみると凄く良い雰囲気練習をしていて、自分もここで野球をしたいと感じスタッフの方々が熱心で凄く自分を成長させてくれると感じました。この大学について調べていくと自分の夢を果たせるような環境にあり集中して学問を学べると思ったので城西大学にしました。

入試合格のために頑張ったことは、面接練習です。入試方法が面接だけだったのでそれで全てが決まると思ったので、どんな質問が来ても答えられるように練習しました。そのおかげで本番での対応力が付き落ち着いて話す事が出来たので合格に繋がったんだと思います。

また、漢字検定の 3 級を取得し、色々な資格を取得することに挑戦しました。文武両道をモットーに 3 年間生活してきたのでテストでは毎回 80 点以上を取り評定オール 5 を取りました。

合格できたのは自分の力だけではなく多くの先生方に支えられて合格できたと実感しました。

城西大学 経営学部 マネジメント総合学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

高い目標を真剣に成し遂げようと 努力すれば力が付いていきます

■もう少し早くから勉強に 真剣に取り組むべきでした

中学生の時から大学進学を目指しやってきていました。それなりに調べたり、言われたことをやっていましたが、今考えるともっと早くから真剣に取り組んでいたらなと後悔している部分があります。

私は幼い時から野球をやっていました。中学時では、野球を通して進学したいと考え生活していました。声をかけてもらえるよう日々練習に取り組んでいました。ですが、中学 3 年生の頃しっかり将来のことを考えたり、今の私と成長予想を判断した場合、野球だけでは難しいと感じたので、勉強はどの方面で行こうと思い、成績を意識してやっていました。普通より上の評定を中学から今まで続けてきていましたが、それではいけなかったことに気づいたのが高校 3 年生でした。なので、これからの人にはいくつかアドバイスがあります。

■オープンキャンパスなどの 予定を早くから調べましょう

1 つ目は、少しでも早い日からやりたい事や行きたい学校についてしっかりと考え調べた方がいいということです。そうすることによって道が見え、やらなくてはいけないことやすべきことが分かり目標達成に近づきます。

2 つ目は、決めた事は一番を目指すことです。部活動なら全国 1 位を目標に、成績なら評定ではなく、校内模試で 1 位、全国模試で 1 位を真剣に全力で成し遂げようとする事で力が付き、良い事が起こると思います。

最後は早く行動することです。セレクションやオープンキャンパスなどは期限があり、行く予定なのに日にちを忘れてはいけないことや、セレクションにも行けたのに知らなくて悔しい思いをした人がいました。なので早く調べ早く行動することが大切ですし、一番伝えたいことです。ですが能力や力がないと限られてしまうので時間があると思った人は自分の可能性を広げる練習や勉強が必要だと思います。

東京国際大学 人間社会学部 人間スポーツ学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
塩竈第一中出身

感謝を言葉だけでなく行動で示すことが 大事だと部活動を通して気づきました

■専門知識以外のスキルも 備えた教師を目指します

私は、今年の 4 月から東京国際大学に進学し新たなスタート地点へと立つことになります。

私は将来体育教師になる夢があります。なぜ、東京国際大学を選んだのかというと、私が受けた人間社会学部でその資格を取得することができ、勉強をしっかりとできた上で野球にも集中して取り組めるからです。体育教師になるには体育学部の大学の方が有利かもしれませんが、東京国際大学人間社会学部人間スポーツ学科では、体育学部にはないカリキュラムが組まれており体育教師以外の知識や能力を得た体育教師になれると思いました。また、国際関係の大学なので外国人との交流が増え、英語力を身に付けることができると思いました。

私はスポーツ推薦で受験したのですが、スポーツ推薦で受験できたのも合格することができたのも先生方や両親、今まで支えて下さった方のおかげだと思っています。

■面接では思い残すことなく 話すことができました

私は高校 3 年間文武両道に励んできました。学生は学業が大事なので、日々の授業を怠らず集中して授業を受けました。部活動では、毎日の朝練習に力を入れてきました。先生や仲間から教わったことをそのままやるのではなく、自分なりに工夫してどうすれば効率良くできるのかを常に考えながら練習してきました。また、硬式野球部では自主性を重んじてやっており選手主体で活動してきました。なので、野球の技術だけでなく人間としても成長することができました。その結果、最後の夏の大会を選手として甲子園に出場することができました。そして、先生や仲間、保護者、今まで支えて下さった方に感謝しています。何事にも感謝の心がなければ意味がありません。感謝の気持ちを口だけではなく行動で示していこうと心がけています。これは野球より大事なことと思っています。

大学は、将来に関わって来るものだと考えています。何となく選ぶのではなく、将来のことも考えた上で大学を選んでいくことが大事になってきます。

試験当日も、周りが気になって緊張すると思います。緊張することは悪いことではありません。緊張していても、自分の思いを言えるかどうか大事になってきます。面接官は、受験者がどういう人間性で、どういう思いで受験しているのかなどの事を面接を通して知りたいだけなのです。私自身も緊張していましたが、しっかりと自分の思いを言い残すことなく言えたので悔いはないです。

後輩の皆さんもこれから進路のことで悩む日々が続くと思いますが、将来の夢に一步でも近づけられるように、しっかり進路を決めて試験では、自分の思いを言い残すことなく言えるように頑張ってください。

作新学院大学 経営学部 スポーツマネジメント学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
岩切中出身

テストの点数が伸び悩んだ教科は 授業態度など平常点でカバーしました

■推薦枠を得る対策として
特に評定を重視していました

私が進学しようと思っていたのは高校 1 年生の頃からでした。小学校から始めているサッカーを大学でも続けられたらいいなと思い進学をしようと決めていました。入試はスポーツ推薦で受けることができました。推薦枠をいただくためにはいくつかの条件などもあります。その中には出席日数や評定などがあり、私はその中で評定を気にしていて、高校 1 年生の頃からなるべく 5 や 4 だけを取ろうと頑張りました。勉強は中学の頃から得意な方ではありませんでしたが、あまりしなかったテスト勉強を 1 週間前から頑張ってみたりして、少しずつ点数も上がり頑張ったなと思います。それでも点数の伸び悩んだ教科などは課題をやったり、授業中の態度などを気をつけ平常点でカバーしました。大学に入ってから困らないように事前にやっておく課題をやって、周りに置いて行かれないよう今は頑張っています。大学では 4 年間学びたい分野を学び、正しい知識を身に付け、4 年後にいい社会人になれるよう頑張りたいと思います。

上武大学 ビジネス情報学部 スポーツ健康マネジメント学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
志波姫中出身

スポーツ推薦を受けるには大学の監督に 強い印象を残す選手になりましょう！

■大学の柔道部の監督の誘いで 進学を決意しました

私は、群馬県上武大学に、スポーツ・文化入試いわゆる、スポーツ推薦にて、合格しました。このスポーツ・文化入試の合格選考方法として、セレクション実技、面接、書類選考等の 3 つでした。

上武大学に進学することを決めたのは、高校 3 年生、最後の高校総体が終わった後でした。上武大学の柔道部の監督の先生に、スポーツ推薦という形で声を掛けてもらい、またその際の柔道部の監督の言葉に私は心を動かされ、進学することを決めました。

私がスポーツ・文化入試を受験できたのも、高校 3 年間、日々柔道の練習に励み、大会で結果を残してきたからだと思います。

スポーツ推薦の受験を考えているのであれば、日々の練習を頑張るのはもちろん、結果を残し、大学の先生に強い印象を残すような魅力のある選手になることが必要だと私は思います。

後輩たちの志望大学合格の実現を本校卒業生として心からお祈り申し上げます。

石巻専修大学 経営学部 経営学科に
スポーツ推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
郡山中出身

入試までの時間は思った以上に短いので 早くから志望大を絞っておきましょう

■兄と一緒に野球をするために この大学を志望しました

私はスポーツ推薦で石巻専修大学を合格しました。私は最初県外に出て野球を頑張るか県内に残って野球を頑張るかすごく悩みました。親ともすごく話しました。話し合って兄と一緒に野球がしたいという気持ちが強くなり、石巻専修大学を志望しました。後輩の皆さんもまずは、自分が行きたい大学を選び、そこから親などと話し合って決めていくのが良いと思います。「まだ 2 年生だし」「後 1 年もあるし」と、ずっと言っているとあつという間に夏の大会や高総体が終わって受験のシーズンがやってきます。これは、2 年生にだけ言えることではなく、1 年生にも言えることです。なので、あらかじめ自分が気になっている大学や、ここ行きたいなというところを今の時期から絞っていた方が良いでしょう。

毎日の部活動を大事に行うことが一番だと思います。仙台育英の硬式野球部は、あまり長い時間練習をしていません。だからこそ、短い時間を集中してやらなければなりません。私は、ベンチ入りしたことは一度もありません。しかし、一度も諦めたりはしませんでした。高校の分、大学で頑張ろうと思いました。現役を引退して大学に入学するまでが勝負だと私は考えています。いざ、入学して大学で「やるぞ」と言って身体が怠っていたりしたら、大学にも失礼だし、後輩たちにも影響することもあるので、大学入学までが第一の勝負だと思います。

■小論文対策は大学進学後も 役に立つはずですよ

大学の勉強は高校よりレベルが上がります。小論文はレポートを高校の時期からやっていた方が私は良いと思います。今のうちからそういうことを頑張っていたら、大学に入ったら少しは大丈夫になると思うので、「まだ大丈夫」などと言わずに余裕を持って準備をしていた方が良いでしょう。考査テストも良い点数を取ってください。

大学は自分の人生です。なので、まずは自分で決めて親や先生としっかり話し合って長い時間をかけて決めるのが大事です。

2019 栄光への軌跡

2019 年春、志望大学に現役で進学した仙台育英学園高等学校卒業生による
大学合格までの軌跡



AO 入試

上智大学、津田塾大学、東洋大学、昭和女子大学、
東北芸術工科大学、東北学院大学、東北福祉大学、
東北工業大学、尚絅学院大学、仙台大学…

上智大学 総合人間科学部社会学科に
特別推薦で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
中国出身

人生に一度きりのつもりで勉強に励めば 意外と楽しいものだと分かります

■英語の資格は多くの大学で 必要なのでお勧めします

入学時からある程度目指したい大学を決めて勉強してきました。特に、定期考査を頑張りました。例え推薦（校内）を狙ってなくても、定期考査をしっかり努力した方がいいと思います。実際、他の方式でも考査を大切にしている時もあります。

そして、検定は 1 年生の時からやっていないと、3 年生になった時大変なことになりますので、是非挑戦してみてください。特に、英語の検定を受けた方がいいでしょう。また、英検だけではなく、TOEIC なども視野に入れてみてください。大学によりますが、今の大学ではほとんど英語が共通になっていますので、早いうちにやった方が後になると楽ですし、自分のためにもなります。

また、私は一夜漬けタイプなので、勉強法においていい方法ではないですが、人にはそれぞれ合う合わないがありますので、自分で探してみてください。

■自分に負けないことが 大切だと感じました

私が今の大学を選んだ理由は好きな教授がいるからです。また、何度も行き、雰囲気も合うと思いました。そこから、学部を決めるのに結構悩みました。色々な学部の説明会を聞いて、先生と話し合い、教授の方とも話しましたが、大学で一番やりたい、もしくは欲しいのは「多様な視野」と考えたとき、社会学が一番ピンとききました。そこから動画サイトで社会学に関する授業なども見つけて、それをみたら自分にすごく合うと思い、社会学部に決めました。

受験の前にはひたすら小論文を書いて、新聞を読んで、面接の練習を重ねてきました。その時、周りへの感謝や自分に負けないことが大切だと感じました。そして結果発表の前に、おみくじで「大吉」が出たので、きっと運もあったと思います。

大学は人生の一部でしかありませんが、一生懸命勉強するというのを、人生一度だけやってみれば楽しいです。頑張ってください！ 皆さんの夢が叶いますように。

津田塾大学 学芸学部 国際関係学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
沖野中出身

何をすれば自分のためになるのかを考え 将来悔いを残さない選択をしましょう

■模擬講義に感銘を受け 思い切って挑戦しました

私は幼い頃から外国の文化や歴史を知ることが好きで、仙台育英の外国語コースなら英語を学びながらグローバルな能力を養えるだろうと考え進学を決めました。入学当初から指定校推薦で大学に進学したいと考えていたので、どんなに苦手な教科でも成績を落とさないようにコツコツ勉強したり提出物を期日までに出了たり、基本的なことを怠らないように努めました。ただ、英語をツールとして使う職業に就きたいと漠然と考えていたものの、具体的にどの大学に進学したいのか、何学部に進学したいかが中々決まらず、進路決定に苦労しました。

津田塾大学には昔から憧れを持っていましたが、指定校推薦枠がなく、AO 入試の試験内容もかなり厳しいものだったため、リスクが高いと考えていました。しかし、3 年生の夏にオープンキャンパスに参加し、実際に模擬講義を受けて、「この大学より行きたい大学はない」と強く考えるようになりました。校風が今まで見たどの大学よりも自分に合っていると感じましたし、模擬講義に感銘を受けたのが一番の理由です。それから受験方法を AO 入試に切り替え、夏休みでも毎日学校に通って一次審査の小論文の添削をしていただき、一次試験に無事合格してからも、試験まで毎日面接練習をしました。その結果、見事合格することができました。

■国際ニュースをチェックし 留学生とも意見交換しました

AO 入試では、指定校推薦をとるために努めていたことはもちろん、普段意識して行っていた些細なことも非常に役に立ちました、例えば、国際問題についてのニュースを毎日チェックしたり、新聞や本を読み、留学生の友人とその内容について意見交換したりすることです。入試では、一次試験でも二次試験でも世界の問題についての小論文が課されていましたが、面接ではその問題についての知識や自分の意見を深く問われたからです。普段から積み重ねてきたことが合格に大きく貢献したと思います。

AO 入試に切り替えようと決めた時は、落ちた後のことを考えると不安でいっぱいでした。しかし、あの時、3 年間努力した自分を信じて勇気を出して本当に良かったです。3 年間はあっという間に過ぎて行くので、日々の努力の積み重ねが功を奏します。後輩の皆さんも、何をすれば自分のためになるのかしっかり考えて、悔いのない選択をしてください。

東洋大学 法学部 法律学科に
自己推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
船岡中出身

大学では自分を認めて下さった方々の 心遣いに感謝し応えていこうと思います

■推薦を諦めかけた私に先輩が
手を差し伸べて下さいました

私は、東洋大学法学部イブニングコース法律学科に自己推薦で合格しました。この体験記は、高校生活を射撃に捧げた人間について書こうと思います。

私は入学当初から部活に所属することを決めていました。入学式で配られたチラシを見て、その珍しさから興味をそそられ、体験入部を経て射撃の楽しさに魅了された私は入部を決意しました。

初めは楽しいだけの軽い気持ちだったのですが、ライフルに触れている時間が増えるにつれてどんどのめり込んでいきました。2 年生に上がる頃には全国大会で入賞できるほどに。1 年生最後の全国選抜大会で入賞し、2 年生最初の大会で私が感じたのは極度のプレッシャーでした。この時私が感じたのは、失敗できないプレッシャーと、自分の思い通りにプレーできない焦りからくる「全国入賞した私が、下手なプレーをしていて恥ずかしい」という思いでした。結果は 39 位。前回同じ決勝戦の舞台で戦った仲間がとても遠くに感じられました。次の大会までに取り組んだのはベスト更新するのではなく、最低レベルの底上げ。試合でどれだけメンタルが崩れても最低限できるパフォーマンスレベルを上げました。

次に挑んだ全国大会で、決勝に残った私にまた失敗できないという思いがこみあげてきました。今大会男子優勝者も私を応援してくれています。誰が言ったのかは忘れましたが、挫けかけた私を支えたのは「チャンピオンにならない限り俺たちはいつまでも挑戦者だ。威厳なんて関係ない。自分の出せる限りを尽くせ」という言葉でした。

最後の推薦が決まる 3 年生の全国高校ライフル射撃選手権大会で、3 年間の意地を見せ個人準優勝を勝ち取りました。顧問から東洋大学のセクションが呼んでいると言われました。私に推薦の話を下さったのは、ずっと私を心配し、応援してくれていた先輩でした。嬉しかったです。こんな私を歓迎してくれる大学で、もっと自分を高めようと決意した瞬間でした。あの時私に声をかけてよかったと言われるように、他の誰よりも努力しなければならない、そう感じました。

そうして臨んだ東洋大学法学部イブニングコース法律学科の自己推薦受験。私は持てる力の全てを掛けて試験に臨みました。合格発表を見るまでは気が気でありませんでしたが、無事合格。まずは親に報告。担当してくれたセクションに報告。そして、先輩に報告。

合格を勝ち取るまで、多くの人に迷惑をかけ、支えてもらいました。本人を目の前にすると恥ずかしくて上手く伝えられないのですが、言葉にしきれないほどの感謝の気持ちで溢れています。少々この場をお借りして、簡単に御礼を述べさせていただきます。本当にありがとうございました。たくさんのご迷惑をお掛けしましたが、それでも私と向き合って下さり、感謝してもしきれません。これからもっと成長する予定ですので、どうか温かい目で見守っていただけると幸いです。

後輩の皆さん。これからの高校生活悔いのないように過ごして下さい。仙台育英を卒業した先輩全員があなたの味方です。

武蔵大学 経済学部 経済学科に
特別推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
福島 古殿中出身

周りに迷惑を掛けてしまわないためにも 早くから受験の準備を始めましょう

■大学では野球以外のことも 学びたいと思いました

大学へ行こうと思った理由は自分の将来の道が開けると思ったからです。小中高と野球を続けてきました。これからできるだけ長く野球を続けて行きたいと考えています。しかし、必ずしも続けられるとは限りません。技術が伸びなかったり、怪我などをしてしまったりして諦めるしかなくなってしまう。そんな時、大学で他のことも学んでいれば違う形で携われることができたり、全く別の職に就き、その後の人生を歩んで行くことができると思いました。自分の可能性を広げたいと思っている人は是非大学へ進学することをお勧めします。

私が入学する武蔵大学は、他の大学や卒業生からとても高い評価を頂いています。「ゼミの武蔵」とも呼ばれているように「ゼミ」に力を入れています。私は特別選抜入試という形の入試で受験しました。特別選抜入試は面接と 80 分間の筆記テストの 2 つで審査されました。この 2 つで良い評価を受けるために取り組んだことがそれぞれあります。まず面接の対策としてニュースや本を読みました。受けた学科が経済だったので、最近の事柄を話すことができるように準備しました。また、自分自身のことについては 1 つ理由なども述べながら説明できるようにしました。具体的な例なども付け合わせると説得力が増すのでとても効果的だと思います。

■過去問に類似した問題を 見つけて取り組みました

次に筆記の対策です。大学側から過去問題の請求が来たので過去問題を頂き、その問題を何度も繰り返し勉強しました。過去問題を頂くことができるなら是非頂いてそれを活用して下さい。また問題と類似した問題を自分で見つけて取り組んでいくのがベストだと思います。

私はこれだけ言っておきたいことがあります。それは進路について早くから準備をしていくことがとても大事だということです。私は 8 月に進路を決め、何もかもで急がなくてはいけないという状況でした。そんな中、様々な人に支え助けて頂いたおかげさまで受験を受けることができ合格しました。もっと早くから準備しとけばこんなことにはなりません。様々な人々に迷惑をかけないように出来るだけ早くから準備し始めて下さい。そして、自分の希望の大学に行けるよう頑張ってください。

二松学舎大学 文学部 国文学科に
特別推薦で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
成田中出身

部活動は勉強との両立は大変ですが 受験に生かせることを沢山得られます

■小論文と面接はしっかり 練習し成果を出せました

私は二松学舎大学文学部国文学科を推薦試験の卒業生教員推薦で受けました。この大学を選んだ理由は、将来の夢である国語の教師になるための勉強と自分の好きな書道も学べるからです。

大学受験でまず大切なのは成績だと思います。定期考査は模試とは違い範囲も狭く、授業で習ったことだけが出題されるのでしっかり復習することで点数が取れます。さらに、普段の授業をきちんと受けることで平常点も貰えます。私は 3 年間、できるだけ高い成績を維持することを心がけていました。推薦を頂けたのも成績があったからだと思います。志望大学が決まっていなくても、大学選びの際に受けられる大学が多い方が自分に合った大学を見つけられるはずです。

受験前は、小論文も面接も練習あるのみです。私は部活を引退してから受験日まで 2 週間しかなかったので、引退してからほぼ毎日いろんな先生方に面接練習をしていただいたり、二松学舎大学出身の先生に過去の小論文の問題を書いて見ていただいたりしました。入試当日は緊張はしましたが慣れるまで練習したおかげで、小論文では時間内に書き終えることができ、面接では練習と同じ質問をされたので、落ち着いて話すことができました。

■書道部を通して頂いた情報も 進路選択に役立ちました

また、部活動やボランティア活動を通して人と接したり、いろんな体験をすることも大切だと思います。私は書道部に所属していたことで書道に関する大学の情報を得ることができ、自分の目標にあった大学を見つけられたり、顧問の先生から志望大学出身の先生を紹介して頂けたりしました。勉強と部活動を両立させるのは大変ですが、受験や将来に生かせることを身につけられると思います。

最後に、受験生や大学生になってから後悔しないように、自分の将来についてよく考えて、自分に合った大学を選んで下さい。

順天堂大学 スポーツ健康科学部 スポーツ科学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
青葉中出身

高校生活における最低限のことは 1 年次からしっかり行いましょう

■当たり前のことをきちんとなした結果
合格できました

私は AO 入試で第一志望の大学に合格することができました。受験の時に心から感じたことは、3 年間最低限のやるべきことをしっかりやってきて良かったということです。

高校に入学してから 2 年生が終わるまでは卒業後の進路なんてあまり考えたことはなく、ただ漠然とこの大学で勉強できたらいいのに、と考えていただけでした。3 年生に進級して大学進学を真剣に考えた時に、その大学は倍率が高く、私にとっては偏差値も高い大学だと知り、志望大学を変えるという選択肢も浮かびましたが、ダメ元で AO 入試を利用しようと思い出願しました。受験内容は、私は調査書などが大きく影響したのではないかとと思っています。

部活動で 3 年生の時にキャプテンを務めました。個人として輝かしい成績を持っていた訳でもなく、他の面でも特別頭が良かったり、得意教科があるわけでもなく、目立つようなことはしませんでした。授業を普通に受け、定期考査では毎回平均して同じ位の成績を取り、提出物があれば期限までに提出し、欠席や遅刻をあまりしないようにしました。友達と騒いだりすることもありましたが、場や状況を考えたりメリハリをつけることで指導されたりすることはありませんでした。

このように最低限のことを普通にやると最後に自分自身を助けてくれます。バイトや遊ぶのが楽しいから、そんなことは 3 年生になってからやればいいと思っている人も少なくはないと思います。ですが、最低限のことだけでもやっておかないと一番大変なときに困るのは自分です。卒業後のビジョンがまだ見えていないとしても、必ず役に立つことがあるので、是非最低限のことをしっかりこなしていってほしいと思います。

昭和女子大学 グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
七郷中出身

大学で教授や学生からお話を伺うと 進路選択に大いに参考になります

■力をいれてきた評定や資格を アピールしたいと思いました

私は、高校生活では定期テストに向け日々勉強に励んできました。評定 5 を取ることを目標にし、3 年間努力し続けることができたと思っています。私の場合受験は 1 年次から目指していた大学の指定校推薦枠がなく、進路にとっても悩みました。改めて自分が将来何をしたいかを考え、志望大学を決めました。多くの大学に足を運び、多くの話を聞くことで自身が行きたいと思える学校を決められました。学生の方に直接話を聞き良いところを教えてもらったりできた点も決めるにあたって大きな点になったと思います。

高校 3 年間では勉強と資格取得に力を入れてきたので、その評定だったり資格を自分の力としてアピールできる AO 入試を利用しました。そして AO 入試後の時間を英検などの資格に向けた勉強や今までの復習か時間にしようと思い推薦入試を受けました。推薦入試合格に向けては、小論文と面接練習は先生方に頼り何度も練習をしていただきました。過去問題が難しい小論文だったため AO 入試や推薦入試に特化した授業を行える塾にも通い、疑似問題を解いたり社会情勢について学んだり、ニュースにも強くなれました。受験の時期は毎日「日本経済新聞」を読み経済の知識を頭に入れていました。様々な先生方にアドバイスを頂きながら一生懸命頑張りました。

■悔いのないように何事にも 全力で取り組みましょう

推薦入試は入試日が様々なので周りの友達が全員合格したなか、自分だけまだ決まらないなど焦りもたくさん出てくると思いますが、だからといって気を落したり、ネガティブになってしまったりは、せっかくの今までの努力が水の泡になってしまうので、最後まで自信を持って、諦めずに頑張ってください。ただ、受験の日が違うだけで、早く合格したら良いという訳ではありません。自分の志望大学合格という目標を叶えるために悔いの残さないようにやることは全てに力を入れて取り組むことをオススメします。

受験の時期は本当に大変です。面接も緊張しますが、きちんと日々の積み重ねがあれば大丈夫ですので、しっかり自信を持つことが本番では大切だと思います。最後まで頑張ってください。

創価大学 教育学部 児童教育学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
塩竈第一中出身

面接練習で先生方からいただいた アドバイスが大いに参考になりました

■姉の姿を見て同じ大学に
入りたいと思いました

私は中学生の頃から創価大学を目指していました。2 人の姉が創価大学に進学し、何度も大学祭やオープンキャンパスに参加していくうちに、私もこの大学に入りたいと思うようになりました。姉達は電話や帰省した時に大学での充実した日々を語っていて、目標に向かって充実した日々を送っている姿を見て更に創価大学への憧れが強まりました。高校 1 年生の時からオープンキャンパスには積極的に参加し、学部学科の理解に努めました。また、入試方法についても詳しく調べ、それぞれの入試方法に必要な資格や評定平均なども把握しました。3 年生に上がる頃には AO 入試での受験を決意し、オープンキャンパスでは AO 入試で合格した先輩方に様々な話を聞き、たくさんアドバイスをして頂きました。昨年入試で実際に使用した資料や、面接での質問内容、小論文のテーマなどとても参考になりました。受験の流れをしっかりと把握できたことで私は少しずつ自身をつけていきました。オープンキャンパスでは AO 入試の試験内容の一つである“グループディスカッション”の模擬体験も行われており、私は 2 年生と 3 年生で合わせて計 4 回参加しました。この体験は本番の試験と全く同じ流れで行われるため何度も参加して練習することで自信が付き、本番でも緊張することなくディスカッションができました。そのためオープンキャンパスに参加する際は、AO 入試を考えている人は必ずこの模擬体験に参加するべきだと思います。また、面接の練習もたくさんすべきだと思います。AO 入試の面接は、面接官が 3 人に対し、受験者が 1 人という形になっています。創価大学の面接で圧迫面接をされることは絶対にありませんし、受験者になるべく緊張しないような雰囲気作りをしてくれると思います。私は試験の前日まで何度も何度も先生方に面接練習をしていただきました。本番では練習の時に聞かれた質問は 1 つもされませんでした。しかし、練習の時に様々な質問に臨機応変に対応する力を身につけたため、本番ではしっかりと自分の考えを述べる事が出来ました。先生方は面接での様々な質問に対応できるように、ためになるアドバイスを下さると思うので、色々な先生と面接練習をすると良いと思います。

私は高校生活 3 年間で大学進学のために過ごしました。1 年生の時から大学のことを意識し、評定や資格の取得に努めました。志望大学をなるべく早めに定めて、早くから準備をしていくことが大切だと思いました。

日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
長町中出身

部活動の先輩や後輩から多くを学び 同級生と一緒に成長できました

■手術を機に看護師という 将来の夢が生まれました

私が大学進学を目指したきっかけは、子どもと関わる仕事に就きたいという目標があったからです。私自身が怪我をしてしまい、手術への不安が多くあったのですが、看護師の方々の優しさや明るい声掛けで不安が少しずつなくなり、手術を受けることができました。このことから、不安を抱える子どもやその家族の心のサポートができる看護師になるという夢ができました。

私がこの大学を選んだ理由は 2 つあります。1 つ目は AO 入試制度があることです。大学によって異なりますが、面接と小論文の二つの試験を行いました。面接では、成績や部活動、クラスのことを聞かれました。小論文は、表を読み取る形の問題が出ました。当たり前のことかもしれませんが、当日まで何が聞かれるか分からないし、お題も分かりません。なので、何回も練習することが大切です。私は面接の質問に対する文章を考えても口に出そうとすると出来ませんでした。私と似たようなことが起きそうだと思う人は、文章に書き出したものを単語にして覚えることをおすすめします。小論文は受験する大学だけでなく、他の大学の過去問も解くことをおすすめします。

2 つ目は、魅力を感じる講義があったからです。また、設備が整っていると感じたからです。どちらも、オープンキャンパスに行かないと分からなかったので、パンフレットを見るだけではなく直接大学に行き、自分の目で確かめることが大切です。

■部活動は入試でも大いに 役立てることができます

最後にアドバイスになるか分かりませんが、勉強することは大事ですし、部活動に取り組むことも大事です。しかし、友達とたくさん遊ぶことも大切なことだと考えています。なぜなら、高校生での楽しみ方があるし、信用・信頼でこれからも仲良くしていくことができるからです。そして、思い出ができることによって、自己推薦書に経験したことや、そこから学んだことが書くことができる一つの内容にもなるからです。

仙台育英での 3 年間は、部活がメインの生活でした。先輩や後輩からは同学年の人達から得られないものを学ぶことができます。同学年からは同学年でしか得られないことを多く感じ、一緒に成長することができました。部活動をしている人は、部活動のことがたくさん書けるし言えるので、たくさん主張してってください。緊張するかも知れませんが落ち着いて頑張ってください。

城西国際大学 観光学部 観光学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
岩切中出身

自分のことを一番分かってくれている 家族と一緒に受験に臨みましょう

■高校進学時の後悔を踏まえ しっかり準備しました

私が、城西国際大学観光学部観光学科を目指し志望したきっかけは、私の夢である「グランドスタッフ」という航空関係の職業に将来就きたいと幼い時から思っていたからです。

私がなぜグランドスタッフになりたいかという、きっかけは幼稚園の時でした。家族で北海道に旅行に行ったときにはじめて飛行機に乗りました。その時から飛行機に興味を持ち始め、最初はパイロットになりたいと思っていましたが、学力や視力の問題でなることが出来ないと思い、その夢を諦めてしまいました。ですが、なにかしらの形で航空業界で働きたいと思っていたときに出会ったのがグランドスタッフでした。一度は諦めかけていた夢でしたが、その気持ちが強く、グランドスタッフになるために観光学を学びたいと考えた理由が一つと、もう一つは、宮城県も東北地方も出て 1 人暮らしをしたい二つの気持ちがあり、現在合格した城西国際大学観光学部観光学科を志望しました。

私は、合格した大学を含め、札幌、東京都内そして千葉県鴨川にある 3 つの大学のオープンキャンパスに 5 月から行きました。なぜ 3 校のオープンキャンパスに行ったかという、高校受験で後悔をして、もう二度と同じ経験をしたくないと思ったからです。私は、宮城県内の公立高校を受験しましたが残念な結果になってしまい、仙台育英に進学してきました。高校のオープンスクールは当時面倒だと思い、周りの人が行っているのに 1 校も行きませんでした。なのでもちろん、仙台育英の多賀城校舎に足を踏み入れたのも受験当日が初めてでした。「大学のオープンキャンパスには必ず行く。もう二度と同じ後悔はしない」と思い、大学進学に向け高校生活を歩み始めました。私は、その時の後悔がなければ今の自分がいなかったと思うし、成長出来ていなかったと思っています。

■進路について悩むのは全く 恥ずかしい事ではありません

私が、来年度以降大学を受験するまたは大学にするのか専門学校にするのか就職にするのか悩んでいる後輩たちに言いたいことが 2 つあります。1 つ目は、自分の将来のことでたくさん悩んで、イライラして泣いて、それでいいと思います。全然恥ずかしくないのです。たくさん悩んでください。

2 つ目は、家族の協力です。自分のことは自分で、という考えの人もいますが、必ず家族は応援してくれます。たくさん親に甘えてください。みんなのことを一番分かっているのは自分の親だと思います。だから家族一丸となって、受験をがんばって欲しいと思います。

国際武道大学 体育学部 体育学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
河南東中出身

自己管理能力は評価されるので 学校を休まずに通いましょう

■オール 5 を目指して学習し
無欠席を貫きました

私は、学校の単位を落とさず目標オール 5 を目指し 1 年生の頃から学校を休まずにがんばりました。部活動も辛いことがあっても、最後までやりとげることを目標にして 3 年間勉強と部活動を行ってきました。どんな形での入試内容でも、学校での成績や学校にしっかりと休まず自己管理ができているかというところを見ると思うので、成績を良くするために学校の授業を真面目に取り組みしっかりと学校に来ることを大切にすれば大丈夫だと思います。また、入試での面接で自分の良い部分をアピールできるように、部活動でも良い成績を持っていると本番でたくさんアピールできると思います。

帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科に
指定校推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
鹿島台中出身

挨拶や整理整頓、時間厳守など 当たり前のことをきちんと行いましょう

■できるだけ早い時期から
大学について調べましょう

私は高校生活で、いくつかのことを重要視して生活してきました。

1 つ目は、挨拶をしっかりすることです。これをするによって面接の時に自然と挨拶ができるようになり、社会に出てからも目上の人に限らず、同級生などにも挨拶ができるようになると思います。

2 つ目は、整理整頓をいつでもどこでもすることです。自分の心もきれいになり、日々充実した生活が送れると思います。

3 つ目は、時間を守るということです。必ず決められた時間の 10 分前には準備し、行動することで自分自身に余裕ができ物事に対して丁寧に取り組むことができたと思います。

4 つ目は、周りの人と積極的にコミュニケーションを取ることです。面接ではどのようなことが聞かれるか分からないので、日々のコミュニケーションから言葉の引き出しを多くしていくことで、面接の時にどんなことを聞かれても対応できると思います。

5 つ目は、ボランティア活動に積極的に参加することです。地域のゴミ拾いや献血活動など身近で自分でできることを探して、参加することによって、これからの地域のためや困っている人のためになると思うので、小さなことでも参加することが大切だと思います。

6 つ目は、なにか一つでもいいので特技を作ることです。自分自身が小さいときから続けてきたことや得意なことなどアピールができるようにしておくことで、面接の時に役に立つと思います。

最後に大学のことなど調べるのはできるだけ早い方がいいと思います。そこで、自分に合う合わないがあるということを見つけて将来何をしたいのかも同時に考えていければいいと思います。面接は、たくさんの先生方とやって経験を積んでいくことが一番成長できると思います。

新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
多賀城中出身

部活動や IB クラスでの経験で 面接での回答の幅が広がります

■本番の面接では練習の成果を
存分に発揮できました

私は新潟医療福祉大学の臨床技術学科に AO 入試で合格で合格しました。私は 2 年生の秋に進路を決めました。入試の筆記試験は、国数英の 3 教科でした。私は国語と数学が苦手だったのでその二つの教科を中心に勉強をしました。全ての範囲を振り返り、勉強することはできないので、大学の過去問の傾向を見つけ、そこを重点的に勉強しました。また、私は面接もあったので、先生方の協力をいただき練習を何度も行いました。練習に協力してくださった全ての先生は、一つ一つ丁寧に教えてくださり、多くのアドバイスをしてくれました。本番ではその成果を出すことができ、練習をしていたので緊張をせずに楽しくできました。

■国際バカロレア受講で
積極性が身に付きました

面接では部活動やボランティア活動、学校生活など様々なことについて聞かれるため、部活動に所属したり、積極的にボランティア活動に参加したりすることで、面接での受け答えの幅が広がりました。私は 2 年生から国際バカロレア (IB) DP を受講していたため、ボランティア活動はプログラムの一環として行っていました。IB クラスでは、私たちが抱えている身近な問題や国際問題を少しでも解決するために私たちができることは何かを考え、それらを実行してきました。IB を受講する前までは、私は積極的に行動することができませんでした。しかし、このクラスでは、積極性が非常に重要であったため、自然に以前より自分から積極的に行動することができるようになりました。また、授業では自分の考えを共有したりプレゼンテーションなど自分の考えを持ち、共有する機会が多くありました。それらを通して、常に自分の考えを持ち、それを他人に共有する力を身に付けることができました。IB クラスでは、以前の自分にはなかった力を身に付けることができ、受験本番ではそれらの力を十分に生かすことができたと思います。みなさんにも、積極的に様々なことに挑戦して欲しいです。

新潟医療福祉大学 看護学部 看護学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
八戸 市川中出身

推薦受験では先を見て行動し 余裕を持って臨むことが大切です

■将来は語学力を活かし

医療現場で人を助けたいです

大学進学を目指した理由とこの学部を選んだ理由としては、より多くのことを学びたいと考えたためと高校生活で得た英語力とコミュニケーション能力を生かすとともに英語＋医療の専門的な知識を得ることで国内外問わず多くの人を助ける仕事に就きたいと考えたからです。

■留学生との交流を通して

視野が広がりました

AO 入試合格のため心がけたこと、努力したことは自分のアピールポイントを作ることです。AO 入試では自分がこの大学に必要な人材だと積極的にアピールしなければなりません。そのため、ボランティア活動や資格取得など積極的に取り組みました。ボランティア活動では、団体が募集しているボランティア活動に参加するだけでなく、自分たちで活動を計画して行うこともありました。活動を通して、積極性を身に付けることができると共に様々な人と関わることでコミュニケーション能力や他人を尊重することの大切さ、どんな状況にも臨機応変に対応する力も身に付けることができました。また、外国語コースでは留学する機会や留学生と一緒に学校生活を過ごすこともあり、コミュニケーション能力だけではなく、広い視点で物事を見ることの大切さも学びました。

様々なことに挑戦し、積極的に取り組むことで得られることも多く、面接では自分をアピールできる大きな武器になると思います。

そして、大学受験に向けて一番大切なことは先を見て行動することだと思います。私自身、受験する大学を決める時期が遅く、受験に向けての準備も遅れてしまいました。1年生の時からオープンキャンパスやボランティア活動に参加したり資格を取得したりすることで余裕を持って受験に挑むことができると思います。高校生活の3年間は長いようであつという間です。悔いのないようにたくさんの事に挑戦してみてください！

花園大学 文学部 仏教学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
塩竈第三中出身

志望大や入試方法を変えても良いように アピールできることを見つけましょう

■打ち込める何かを探すため 受験を決意しました

私は志望した花園大学に、AO 入試を利用し合格しました。花園大学の AO 入試では、主にエントリーするときに書くエントリーシートさえしっかり書けていれば 1 次面接は通過できると思います。面接官の教授の方が、エントリーシートに沿った質問をしてくださるので、しっかり応答できれば大丈夫でしょう。1 次面接の合格通知が来た後、2 次試験に向け課題が出されます。課題内容は私の場合、仏教学科志望のため、これからの日本の仏教はどうするべきか、という課題が出ました。漠然とした広い課題内容だったので、かなりてこずりましたが、まず課題を出すことを優先して課題を進めていきました。最終面接も 1 次面接と同じような形です。面接時間も 5 分から 10 分程度で大学生活で不安なこと、心配なことはあるかなど簡単な質問ばかりでした。きちんと応答できればここも切り抜けられると思います。

話は変わっていきますが、自分が大学を目指したのは、高校生活での不満や若さゆえの怖いもの知らず的な感情がゆえの挑戦だったと思います。私は部活などに所属していなかったため、高校生活中に何か一つだけでも頑張りたいという前向きな焦りも感じていたと思います。たくさん後悔が自分の頭の中をばんばんにして眠れなくなることもありました。無理して何か残す必要はなかったのかなと思います。だからこそ何か残そうとすべきだと受験を通して学ぶことができました。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
南中山中出身

忍耐力を筆頭に 3 年間の部活動を通して 得たものを大学で活かしていきたいです

■先輩方の背中を追いかけた サッカー漬けの毎日でした

私は、秋頃に青森県の八戸学院大学へ合格しました。入試形態は AO 入試でした。八戸学院大学に決めたのはサッカーがきっかけです。

私は、小・中・高とサッカーをし、中学ではクラブチームで全国大会へ出場するなど、サッカー一筋で生きてきました。そんな私が数ある強豪校の中でここでプレーしたいと選んだのが仙台育英の女子サッカー部でした。

部活動では、礼儀正しく、明るく元気な先輩方ばかりでサッカーのプレーでも人間性の面でも憧れを抱き、高校生活 3 年間で先輩方のような素敵な人間へ成長したいと自分自身の中でひそかな目標ができました。この自身のひそかな目標である先輩方には大切にしている 3 つのモットーがありました。それは「謙虚、感謝、努力」という 3 つのモットーです。あたりまえのことですが、私はこの 3 つを素直に実行することはとても難しいことだと思います。先輩方はこの 3 つのモットーを大切にし、日々体現して下さっていました。そんな先輩方の背中を追いかけて 1 年、2 年と時間が過ぎ、いつのまにか自身の代が一番上となり、先輩となりました。

サッカー漬けの 3 年間はとても濃く、意識や考え方がガラリと変わり、様々な経験をさせていただきました。得たものはたくさんありましたが、特に忍耐力が身についたと思います。これから先、忍耐力はとても必要な事だと思うので、大学でも活かしていきたいと思います。

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
東華中出身

卒業して気づくことも多いので 今から悔いのない毎日を過ごしましょう

■高校体育の教諭という夢を 入学時から抱いていました

私は、中学 3 年生から体育の教師を目指してきました。サッカーを小学 2 年生からやってきて身体を動かす大切さや楽しさを知ることができ周りの人にも伝えたいと思ったのがきっかけです。大学に行ってもサッカーを続けようと思っていたし、将来体育の教師になって部活動の顧問をするのも夢だからです。

部活動では、3 年間レギュラーを目指し頑張ってきました。ですが、私はレギュラーになれず 3 年間終わってしまいました。ただその 3 年で得たものはたくさんありました。礼儀の部分や行動の部分、一番大切だと思ったのはあいさつでした。

私は、高校に入って明確に将来の夢が決まっていきました。高校の体育の教師になり、身体を動かすことが苦手な子でも少しは好きになってもらい一緒に身体を動かせる教師になりたいと思っています。また、保健分野では、身体を動かす大切さや知っておかないといけないことを教えられるような教師を目指したいと思いました。

大学を受けるにあたって、私は資格を持っていなかったのも、一つは持っていた方が良いと思い、後悔しています。私は、面接のみだったので小論文はありませんでしたが、面接では大学のことや学科のことをたくさん聞かれ部活動のことも聞かれたので、事前に大学についてはたくさん知っておくべきです。また、部活に入る人は部活の環境や雰囲気、成績、目標、どのような行事に携わっているのかを自分なりに把握してまとめることが大切だと思いました。

■自分で勉強時間を見つけて 部活動と両立してきました

私は、仙台育英で過ごしてきて 3 年間で得たことは、部活動と勉強の両立です。テスト期間も部活動があったため勉強する時間を自分で見つけ部活動も勉強も両立してきました。学年が上がるとともに内容が深くなるのですごく大変な時期もありましたが、最後まで終わることができました。

3 年間を振り返ると、部活動ではもっと自主的に練習していれば、課題をみがければ、また学校生活では、多くの人と関われば…もっと友達と遊んでいればと、今思えばこうすれば良かったと考えることも多いです。なので今からでも後悔のないよう生活してほしいです。そして、最後に笑って過ごし卒業してほしいです。

八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科に
特別推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
渡波中出身

大学では今後の人生に必要な 多くのことを学んでいきたいです

■将来は市職員として 復興に尽力したい

私はこの春から八戸学院大学に進学し、新しい生活をスタートさせます。私は大学進学にあたって進学を目指したきっかけは将来の目標があったからです。私の将来の目標は、地元の市職員になり地元の復興と市の発展に力を尽くして行きたいと考えています。なぜ、私がこのような目標を持ったかという私の地元の石巻市は東日本大震災で大きな被害を受けました。当時小学 4 年生だった私には大きなショックでした。小・中学校は仮設校舎で勉強してきました。他の学校は新しい校舎で生活しているのに私達だけ仮設校舎で勉強しているのはとても大変でした。なので、私は将来また大きな災害が来てもいち早く復興させ、子供達が安心して生活できるようにしたいと思いました。

■人生に役立つことを 3 年間で 得ることができました

そして私は大学進学するために推薦入試での入学を目指しました。私は硬式野球部に所属していたのでスポーツ推薦での入学を目指しました。スポーツ推薦で入学するにあたって部活動での行動や実績がとても大切になってきます。なので、私は特に部活動に力を入れて取り組んできました。私は野球が上手ではありませんでした。同じポジションに 5 人いた中で 5 番目の選手でした。なので試合に出ることもできず、ひたすら練習していました。その努力が認められ、最後の夏はメンバー入りし、甲子園にも出場しました。その成果もあり八戸学院大学からお話があり進学することになりました。

私が過ごした高校 3 年間はとても良いものだったと思っています。この 3 年間で得たものは、これからの人生でも役に立っていくと思います。私はこれから大学生になります。大学では高校よりも大人な世界での生活となります。より社会に近い環境の中で、より多くのことを学び、社会に出るためには大事な時期です。この時期をどう過ごすかで今後の人生に関わって来ると思うので大切に過ごして行きたいと思っています。これからも仙台育英のために頑張っていきたいと思っています。

富士大学 経済学部 経営法学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
山形 鶴岡第二中出身

支えて下さった先生方や仲間に対して 感謝の気持ちを忘れずに頑張ります！

■一度つまづいてしまったことも
今では良い経験です

私は、富士大学経済学部経営法学科に合格しました。志望した理由は、私と同じ高校の先輩が富士大学に入学し話をよく聞いてました。話の内容を受け将来的にも部活動の面でも文武両道で頑張れると思ったからです。

私が富士大学の前に別の大学を志望していました。指定校推薦枠で入学しようと思い、自己推薦文をいろんな先生に手伝っていただきながら頑張りました。しかし、枠が 1 つということもあり、学校内で落ちてしまいました。また一から大学調べを行い、先生方とも相談して声をかけて頂いていた富士大学の入学に決めました。一度落ちるということを経験し、少し怖い部分もありましたが、これも一つの経験として今の自分には良いものとなりました。私は硬式野球をずっとやっていて、富士大学でも続けようと思い練習会にも参加しました。そこで先輩や指導者の方々と多く話し、雰囲気良くとても楽しく野球ができると思い、この大学で本気で部活動に打ち込もうと思いました。

■大学でも硬式野球に打ちこみ
将来に繋げていきたいです

もちろん部活動だけでは大学では生活していきません。自分の将来の夢に通じた学科、学部を選択したので、そこでの提出物だったり将来のために適正な勉強を通して、頑張っていきたいです。部活を通して将来へ繋がるのが一番望んでいることです。大学に入ってからが勝負だと思っているので、そこへ向けて大学が決まった今、最高の準備をしたいです。

大学は、約 1 年前位から調べておき、早め早めに準備することが大切だと分かりました。自己推薦文は進学希望者は必ず書きます。だから、文章を書ける力だったり、ある程度の構成を作れるようにすることが大切だと思います。私は、全く文章を書く力がありませんでした。しかし、先生方や仲間の力に支えられて合格できたので感謝の気持ちを忘れず、大学で活躍できるように頑張りたいと思っています。

富士大学 経済学部 経営法学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
秀光中等教育学校出身

価値のある日々を積み重ねた結果 とても充実した高校生活になりました

■先輩や学生に話を聞いて 志望大を決めました

私が、富士大学を目指し進学を決めた理由は、この大学に進学して学業と部活動で両立していきたいと考えたからです。そして身近な先輩がこの大学について話などを多く聞かせてくれていたことも自分にとって大きなことでした。やはり身近な先輩から大学についての様子、良さなどを聞くことが出来たことは良い経験でした。なので後輩の人たちも先輩の意見やその大学に実際に通っている人たちの話を聞くのは大きな経験になると思うので、そういった所はやって行ってほしいと思います。そして高校生活では学業はもちろんのこと部活動にも力を入れて頑張ってきました。硬式野球部に所属していて3年間で大きく成長することが出来ました。3年間、目標に向かってやり続けることで継続力や向上心といったことも成長することが出来ました。このように成長したことが大学に進んでも大きく生きてくると思います。そして硬式野球部での活動で野球の技術以外の所も大きく成長することが出来ました。

■高校時代は頑張り次第で いくらでも成長できます

野球以外の活動でもボランティア活動などといったことに積極的に参加することも出来ました。以前まではこのようなボランティア活動などには参加していなかったのですが、参加するようになってから、ボランティアなどといったことに対する考え方も変わっていききました。人のために自分でもできることはやりたいという気持ちが大きくなりました。このことにより大学を選ぶにあたっての考え方も変わってきました。なのでこのように様々な活動に参加していくことは大切だと思います。

高校生活は長いようで短い3年間でした。1日1日価値のある日々を積み重ねてくることができたから、これほど充実したと思える高校生活になったのだと思います。今を大切に今やるべきことは何か、何をすべきなのかといったことなどを考えながら頑張してほしいです。自分の頑張り次第でいくらでも成長していけます。

東北芸術工科大学 芸術学部 文化財保存修復学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
矢本第一中出身

一つのことを継続できたということは どんなことでも自己アピールになります

■ノート作りを続け文化財の 修復に興味を持ちました

私が東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科への受験を決めたのは、高校 3 年生になってからでした。そして AO 入試での受験を決めたのは 7 月になってからです。それまでは自己推薦やセンター利用の入試方法で受験しようと思っていましたが、AO 入試で合格の幅を広げようと準備し始めました。

私が AO 入試で受験するにあたって苦労したことは、自己アピールです。AO 入試の面接では、自己アピールファイルを作成してそれを使ってアピールする時間がありました。それをいざ作ろうと思った時に私は自己アピールすることがないことに気がつきました。部活にも入っておらずボランティアをやっていた訳でもないのに、私は高校 3 年間で継続してやったことをアピールしようと考えました。それは「ノート作り」です。それでは少し弱いのではないかと言われたりもしましたが、これは自分の持つ能力をアピールするには十分でした。図などを綺麗に描くことで身に付いた丁寧に作業する力、それをずっと続ける継続する力はどれもオープンキャンパスで先輩が言っていた文化財の修復において必要な力でした。それによって私はその力を生かして修復の技術を学びたいということをアピールできました。ここで私が言いたいのは、何か一つ自分が出来ることを継続してやっていくことが大切だということです。それはどんな些細なことでも自己アピールにつながると思います。

■一般受験を考えている人も 色々経験しておくといいです

私がやっていて良かったことは、オープンキャンパスに参加し、教授や先輩の話を聞いて大学のことを理解しておくことです。私はオープンキャンパスに 3 回参加しました。実際に行って話を聞くことでパンフレットに書いていないような詳しい内容を聞くことができ、大学のことについて理解が深まると思います。それにより志望理由を書く時などに役に立ちました。

最後に私が総合して言いたいことは、高校生活で部活動やその他の活動に参加することが大事だということです。私は入試方法を決定するのが遅かったこともあり、あれをしておけば良かったと後悔することが多くありました。だから今のうちに色々なことを経験し、一般入試を考える人もいつ入試方法が変わっても大丈夫なように自分のアピールできるところが一つでも多くなるような高校生活を過ごしてほしいと思います。

東北芸術工科大学 芸術学部歴史遺産学科に
自己推薦で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
山形大附属中出身

得意な教科が一つでもあることが 進路選択の可能性を広げます

■モチベーションを保つ方法を
自分で工夫してみましょう

私は、得意な教科で受験できる自己推薦入試を選択しました。なぜかという、私自身得意な教科が多くなかった
ので、得意な教科で受験できる大学がないか模索していたら、2つの方法のどれか一つを選択して受験することが
できる東北芸術工科大学を見つけました。

1つは、書類審査、小論文、面接の自己推薦入試 A、もう1つは書類審査、好きな教科を1つ選んで受験する自己
推薦入試 B の2通りです。この受験方法なら得意な教科が少ない私にとっては、いい受験方法だと思いました。

私が受験した科目は日本史です。定期テストでも日本史だけは、高得点を取るために何回も自分が理解出来るまで
繰り返して問題を解いたり、教科書と大事な所にきちんと目を通したりする事により自然に答えが出てくるようにな
りましたが、何の問題もなく充実した学校生活でした。私がすすめたい勉強方法は得意な教科について自分の決めご
と、目標を作ることです。そうすればやる気もアップします。目標が達成できたら、自分にご褒美なんかも考えてみ
るといいです。そういうことをする事によって単調な受験勉強でもやる気がでてくるのではないかと思います。

私が行った日本史の勉強方法は、インターネットで過去3年間の入試問題で自分が理解するまで何回も解き続けま
した。テスト形式の問題集を購入して、過去問と並行して解きました。その努力の結果が合格に繋がったと思います。
私にとって高校生活は先生や仲間にも恵まれた高校生活でした。

後輩達への激励の言葉。

得意な教科を1つでもいいから見つけましょう。

東北芸術工科大学 芸術学部 文芸学科に
自己推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
成田中出身

今のうちから自分を見つめ直し 高校生活では常に最善を尽くしましょう

■推薦入試は大学側の意図を 考えて準備しましょう

私は東北芸術工科大学の文芸学科に自己推薦で合格しました。その経験を踏まえて、私から公募制推薦、AO 入試を受験する後輩達へのアドバイスを記します。

まず、自己アピールするのだから、自分の行動に責任を持ちましょう。早寝早起き、無遅刻無欠席。逆に、これらをこなし、胸の張れる生活習慣が身に付いていれば高校生としては及第点です。

以上の、いわゆる常識的な事柄を理解していることを前提に、第二に心掛けるべきなのは、むしろこちらが重要なのですが、合格後の高校生活をいかにして過ごすか、ということです。

公募制推薦、AO 入試は、純粋な学力だけでは突破できません。学科によって様々な入試形態が存在し、その対策も一筋縄ではいかないでしょう。しかしここでこの課題の到着地点を大学への合格に設定してはいけません。考えるべきは、「何のためにこの入試形態が存在するのか」ということです。

■受験で提示された課題は 入学後に必ず役に立ちます

例えば私が受験したのは「ショートストーリー創作」。与えられた題名を元に 800 ～ 1200 字で物語を書くという内容です。この場だと、どうして創作体験をさせるのか、ということです。文芸学科は、志望人数の大部分を作家を目指す学生が占め、入学後は多くの執筆経験を積むことになります。つまり、「ショートストーリー創作」本番はもちろん、その対策として過去問題に取り組むことが、少なからず将来を生きる糧となるのです。

私は合格後も毎日何かしら執筆する生活を続けています。合格のその先に思考を巡らすとはこういったことです。

最後に募集人数から自分より優秀な受験者を引き算した値が正の数なら合格できますが、周りの人間の力量は測りようがありませんし、本番で普段通りの実力を発揮することはとても難しいですから、最終的には自分との戦いです。各々で自分を見つめ直し、残りの高校生活で常に最善策を尽くして下さい。

東日本国際大学 経済経営学部 経済経営学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
古川中出身

目標に向かって真剣に毎日を過ごせば 必ず良い結果が待っています

■「立派な人間になる」という 目標を掲げて過ごしました

私は AO 入試で東日本国際大学経済経営学部合格しました。合格するために私がどんな 3 年間で過ごしてきたか、話したいと思います。

まず私は硬式野球部に所属していて、3 年間部活動に励んできました。しかし、ただやっているだけではいけません。何かしら明確な目標を持って励み、それを継続させることが重要です。そうすることによって同じ日数でも中身が全然違います。私はもちろんレギュラーになることが目標でしたが、次第にチームが勝つためにどう自分は尽くせばいいかを考えるようになり、最終的には野球のことではなく人間的な部分を成長させ、立派な人間になるということが目標になっていました。その目標に向かって日々過ごしてきたため、自分でも非常に中身の濃い 3 年間だったと思います。そして引退し、進学先を決める時に大学の練習会に参加し、ありがたいことに入試方法は AO 入試だが実質のスポーツ推薦をいただくことが出来ました。このように 3 年間目標に向かって真剣に毎日を過ごせば進路に繋がります。何か一つでもいいので頑張ってみてください。必ずいい結果が待っています。

■きちんと勉強していれば 成績はついてきます

そして当たり前ですが勉強はしっかりするべきです。フレックスコースはやればちゃんと成績は取れます。毎日やれとは言わないのでせめてテスト期間は勉強し、点数を取っていた方が絶対にいいです。評定を取っておかないと、せっかくスポーツ推薦をもらったのに評定が足りなくて受けられないということもあるので、最低 4 以上は取っておきましょう。

以上のことをまとめると、部活動などしっかり明確な目標をもって 3 年間励み、評定を取ることが大切です。

東日本国際大学 経済経営学部 経済経営学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
福島 磐崎中出身

色々な視点からじっくり進路を考えて 先生や家族等多くの人に相談しましょう

■野球と学問を両立できる

大学を選びました

私は地元が福島県です。高校では寮生活をしました。大学はとてもお金がかかります。「ここに行きたい!!」と自分で思っても一人では決められません。大学は、勉強をする場所です。勉強が嫌いでもやらなくてはいけないし、やらなければ卒業できません。大学は、自分が頑張れる環境の方がいいです。私は、野球が好きです。大学を選ぶ際には、野球を続けるか迷いました。ですが、せっかく大学に行くのだから野球を続けようと思い続けることにしました。これらを全て考えた上で大学を選びました。私は、ただ単に、関東へ出て 1 人暮らしをしたいと思いました。小さな夢です。関東に心の底から行きたいと思う大学もなかったわけではないのですが、決め手がありませんでした。親も「行きたい所に行けばいい」と言ってくれました。本当に色々な視点から考えて、先生や親と相談をして考えることをおすすめします。

悩んだ末に、好きな野球をやりつつ将来の夢のための勉強ができる大学が地元にあったのでそこを選びました。

■自己推薦文作成では

書き方から自分で調べました

大学を決めてからは、自己推薦の文を考えるため、放課後に図書室へ通ったり、土日に、先生に協力していただき文を書いて行きました。文を書き始めてから自分で「文章力がないな」と思うことが多々ありました。校内に出すものを悩んでいるうちは大学で通用しないと思い、本を読んで根本的な書き方を調べながら、自分の力で書くように考えました。大学の受験対策は面接だけだったので、面接だけに集中することができました。普段、話すことを苦手としていると面接も苦手になると思います、私は話すことが好きなので苦には感じませんでした。普段から話す習慣をつけることをおすすめします。

大学を決める時は、前もって長い時間をかけて考えましょう。たくさんの人と相談をして、頑張れる所を選びましょう。

東日本国際大学 健康福祉学部 社会福祉学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
酒田 東部中出身

常に今すべきことは何かを考えて 高校生活を送りましょう

■消防士という夢に近づける 進路を探しました

私は、東日本国際大学へ進学を志望しました。その理由として言えることが 2 つあります。1 つ目は、将来私は消防士になりたいと思っています。そこで、東日本国際大学で消防士になるために必要な知識と能力を身につけたいと思ったので志望しました。2 つ目の理由は、小さいときから続けてきた野球で技術向上や大会での上位進出を目指していきたいと思ったからです。将来、消防士になるために、東日本国際大学のどの学部、学科が一番良いのかを事前に調べて、少しでも消防士に近づけるように選びました。また、野球でも大学の練習会に参加したり、監督とも面談をしたりなどをしてきました。

学習面では、1 つひとつの授業に意欲的に取り組み、提出物などもしっかり提出し、平常点に繋げて行きました。また、定期考査対策では、授業だけでなく、家庭学習でも習った事を繰り返し復習していきました。分からないところがあったりしたら、積極的に先生や友達に聞くなどしていきました。1 日に約 2 時間半以上は勉強し、毎日 2 教科ずつ勉強していきました。少しでも点数を取るために小さなことでも理解するまで考え続けることが大事だと思います。

■色々な角度からの質問に 対応できるよう練習しました

私が志望大学を絞り込むにあたって配慮した点は 2 つあり、1 つは野球で、2 つ目は消防士になるために必要な資格を取れるということです。その 2 つを考えながら大学を決定しました。私自身受験に成功した一番の要因は面接の対策で、いろいろな先生と行った事だと思います。AO 入試なので、面接に集中できた事もありますが。多くの先生と面接練習をして、違った角度からの質問も対応できるようにした方が良いと思います。1, 2 年生は昔のことを考えても何も変わらないので、今をしっかりと考えて生活して行ってもらいたいです。

東北学院大学 文学部 教育学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
湊中出身

将来の糧になる物事に積極的に挑戦し 責任を持って継続してきました

■教師になりたいという

夢を実現させたい

私が東北学院大学文学部教育学科を志望したのは、幼い頃から教師になりたいという夢を持ち続けていたからです。この夢を実現させるため、担任の先生や両親と相談しながら進路を決定し、AO 試験の面接、小論文に向けて 1 カ月以上前から対策に取り組みました。そして受験を終えた今、私が志望大学に合格することができたのは、試験に向けてたくさんの先生方が支援してくださったことはもちろん、この 3 年間で貴重な体験を積むことができたからだと考えます。

■地域との関わりを続け

人間的に成長できました

高校 3 年間では、学習、課外活動ともに自分の将来のために必要だと考えることに積極的に「挑戦」し、自分で決めた活動は責任を持って「継続」することに重点を置いて生活してきました。まず、「挑戦」という面では、1 年次の 3 カ月間のカナダ留学、資格取得の 2 つが大きかったです。留学については、語学力向上と視野を広げるために良い経験になると考え挑戦しました。その結果、学習に対する自身の考え方が変わり、国際バカロレアの授業受講という新たな挑戦にもつながりました。資格については、分野を問わず取り組みました。一度で合格できなくても、より入念に準備し、合格するまで何度も挑戦し続けました。次に「継続」という面ではボランティア活動が挙げられます。様々な活動に取り組んだ中で、一番自信を持って言えるのは 2 年間継続している、地域のお年寄りと関わる活動です。自己満足な活動にならないよう試行錯誤を重ねることで、新しい視点や考え方に気づくことができました。

どの活動においても、取り組んでいる途中は思うようにいかず、悩むことも多くありました。しかし、面接、小論文試験の本番で頼りになったのは、失敗を含めた全ての経験でした。高校卒業後にどのような進路を選択しても、3 年間の振り返った際に自信を持ってやり切ったと言えることが一つでもあれば、それは大きな強みになると思います。幅広い分野で様々なことに挑戦することができる仙台育英の魅力を活かし、後悔することがないように一日一日を大切に過ごしてください。

東北学院大学 工学部 環境建設工学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
東華中出身

3 年次までに資格検定を取得しておけば 面接などの受験対策に集中できます

■ 検定受験の努力などを 面接でアピールしました

私は AO 入試で合格しました。AO 入試の内容は、面接と小論文と願書内容でしたが、どれも特に得意というものもなく不安でいっぱいでした。合格目標に向けて私はまず願書を書くことにしました。願書は内容を濃く書くのが難しく提出日 4 日前まで書き直しや確認をしていました。小論文と面接は高校の先生以外に塾の先生と親にも協力をお願いしました。夏休みと夏休み後にかけて、私は塾で小論文は文の構成や過去問題を徹底的にやり込みました。面接では、夜遅くまで先生に付き添ってもらい、前日まで練習と確認をしました。当日は緊張しましたが、面接が始まると話している間に緊張がなくなってスムーズに話すことができました。私は情報検定等の自分自身が高校で努力したことで、話の内容を考えることができました。そのため、検定を 1 つは 2 年生までに持っておくと、3 年生になった時に焦ることもなく、面接等の練習時間を設けさせることができます。

東北学院大学 経営学部 経営学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
蒲町中出身

逆転するぞという強い気持ちで 最後まで諦めず対策していききました

■ 1 年次から高評定の維持と 資格取得に励んでいました

私は東北学院大学経営学部経営学科に B 日程の AO 入試で合格しました。

私は 3 年間の評定を高くすること、資格を多く取得することを目指して過ごし、部活は陸上競技部に所属していました。1 年生の頃は大学も何も決めていなかったのも、とりあえず評定を高く維持し今後に困らないようにしようと心がけていました。資格は 3 年間で情報処理検定 1 級や MOS の Excel、Word、PowerPoint、ワープロ検定準 2 級を取得することができました。この取り組みのおかげで受験のときに評定にも困らず資格で有利にすることができたと思います。

■ 小論文の内容を深めるため 試行錯誤を繰り返しました

東北学院大学の AO 入試は一次試験に面接 30 分、二次試験は小論文と 5 分程度の面接がありました。面接は大学に関する知識、自分がやりたいことを広く深く調べておくことが重要だと思います。面接官の先生は受験生を見てきたプロなので面接が 30 分もあれば厳しい質問も必ずあります。そのときに黙り込んでしまうのが一番よくないと思うので、柔軟に対応できるようにすることが必要です。一次試験の結果は C 判定で厳しくなりましたが、二次試験で逆転すると決めて小論文の練習をしてきました。小論文の対策は「小論文を何回も書くこと」これしかありません。私も試験が近くなってきたときは過去問を毎日一つ書いてきました。小論文で困ることといえば、「内容が薄いので、もっと深く掘り下げて書くように」と言われることだと思います。これには一番苦労しました。その方法を知らなかったからです。私は内容を深めようと様々な例をあげて書いていました。しかしそれは間違いです。様々な例をあげると規模が大きくなり内容が薄くなってしまいます。深めるには 1 つの例で書きましょう。それを深めていく方法は「なぜを 3 回続けること」です。ある本から学びました。自分の考えになぜこうなるのかと問いかけ、答えを出し、またその答えになぜこうなるのかと問いかける。これを繰り返し、その過程を文章にしていけば自然と内容は深まっていきます。私はこうして C 判定からの逆転で合格をつかみ取りました。AO 入試は自分の経験や何をしていきたいのかを伝えるものです。たくさんの経験をしてください。あとは最後まで諦めないことが大切です。

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
船岡中出身

AO 入試対策として自分の意志を アピールする練習を沢山しましょう

■社会福祉士になるという夢を 叶えるために進学しました

私が東北福祉大学の AO 入試を受けようと思ったのは「絶対にこの大学に入って夢を叶えたい」という強い意志を持っていたからです。私は将来、社会福祉士になりたいという夢がありました。ですが、学力面にはあまり自信がなく、迷っていた時に、自分のことを目一杯アピールできる AO 入試を受けることを決断しました。

AO 入試では「なぜこの大学でなければならないのか」、「もし合格できたら、何を学びたいか」など具体的な志望理由、目標、将来を確実に伝えなければなりません。

AO 入試の一次試験は学力テストと面接でした。学力テストは国語と英語の 2 教科で、面接は約 20 分です。国語は長文問題を中心に、英語は 3 択問題で特に助動詞系が多かったです。面接では、主に志望理由、高校生活のこと、将来のことについて聞かれました。二次試験は一泊二日の現場実習と面接でした。一泊二日の現場実習は関連施設で利用者とコミュニケーションを取ったり、一緒に遊んだりしました。最終面接では主に何を学びたいか、サークルに入りたいかなどを聞かれました。これも約 20 分です。

東北福祉大学の AO 入試はとても厳しいと聞いていたので、自分が何を一番に伝えたいかをまとめ、面接の時に確実に言えるように準備しました。学力テストでも何度も過去問を解いたり復習したりして、苦手部分をなくす努力をしました。

■面接は自分で納得できるまで 何度も練習しました

私は特に面接に力を入れました。質問されそうなところを予想し、本番では言葉に詰まらないよう努力しました。また、第一印象を良くするために身だしなみや言葉遣いなどにも気を付け、予想外の質問にも、笑顔で正直ではっきり答えるように心がけました。友達や先生方にも何度もお願いし自分が納得するまで練習しました。

AO 入試は、面接でどれだけ自分のことをアピールできるかが合否の決め手だと思います。いかに面接官に自分の良いところをアピールできるか、自分の意志や考えをどれだけ伝えることができるかが重要です。AO 入試を考えている方は、自分に自信を持ち、自分の意志をどんどんアピールしていく練習をたくさんして、自分の行きたい大学に向かって諦めずに頑張ってください。

東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
広瀬中出身

無理だと思っても失敗を恐れずに 挑戦すること自体に意義があります

■英検受験を機に苦手だった 英語が好きになりました

私が高校生活で常に目標としてきたことは、部活動と勉強の両立です。私は在学中、吹奏楽部に所属していました。吹奏楽部での活動では技術の向上と組織運営に力を入れながらも、定期考査期間中は勉強に集中し、メリハリをつけて両立に励みました。定期考査に向けての勉強は、その日どの教科の何を勉強するかという計画を立てて取り組みました。定期考査当日から逆算して計画を立てることでまんべんなく勉強することができました。また、毎日の学習を正確に記録できるアプリがあり、それを利用して学習の振り返りも同時にしていました。そのアプリは何の教科を何時間勉強したかをストップウォッチ付きで正確に記録でき、後で見返した時に「この日は勉強時間が少なかった」「勉強した教科に偏りがあった」という反省ができます。反省することによって学習を改善することができました。

大学の入試に有利になるということと、英語の苦手克服のために英検の資格取得にも励みました。まず最初に準 2 級を受け合格し、最終的に 2 級を合格することができました。中学生の頃から英語が大の苦手で、試験にも受かるはずがないと思っており、初めはダメ元で受けようと思っていたのが正直なところです。しかし、大学の入試の際に資格を取得していた時としていなかった時の違いを想像したこと、受験料を無駄にはしたくないという気持ちから勉強意欲が掻き立てられ、充実した試験対策の期間を過ごすことができました。これを機会に英語が好きになり、また実際に英検 2 級の資格を入試に活かすことができたので、挑戦して本当に良かったと思っています。

■大学の雰囲気や学生の笑顔に 惹かれ志望大を決めました

東北福祉大学への進学を目指したきっかけは、オープンキャンパスに参加したことです。そこで親切にしてくださった先生や学校の雰囲気、先輩方の明るく楽しそうな笑顔に魅力を感じました。その後大学、学部について調べ、志望大学決定に至りました。入試方法は入試期間が早く、その大学への熱意を伝え、活かすことができると考え、AO 入試に決めました。受験にあたり、志望理由書やレポートの添削から面接練習まで、先生にはたくさんのご指導をいただきました。こうして入学できたのは熱心にご指導してくださった先生方のお力あってのことだと感じているので、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、私が高校生活 3 年間を通して感じたことは、挑戦することの大切さです。私が初めは絶対に無理だと思っていた英検に合格できたことのように、挑戦してみたら成功することがあります。反対に、失敗することもあります。私も部活動などで数えきれない程の失敗を経験しましたが、そこから学ぶことも多いことを身をもって知りました。このことから、これから高校生活を送る人には失敗を恐れず何事にも挑戦し、有意義な時間にしてほしいと強く願います。

東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
茂庭台中出身

自分に最適な入試方法を選び 強い意志を持って努力しましょう

■筆記試験で優遇される資格や 検定があるか確認しましょう

私は、大学の入試要項を診て AO 入試の存在を知りました。1 年生、2 年生と時は「AO 入試って CM でよく聞くやつだ」としか思っていなかった私が、なぜ AO 入試での受験を選択したか、それは、AO 入試で重要とされる面接において、私の長所でもある明るさを最大限に生かせると思ったからです。東北福祉大学リハビリテーション学科の AO 入試 1 次試験では、志望理由書、生物基礎の筆記試験、英語の筆記試験、面接、2 次試験では課題レポートの提出、グループディスカッション、面接が行われます。そこで、私がより合格へ近づくために利用したのは、英語の資格です。私は、3 年生になるまで、英語の資格を取ったことがありませんでした。しかし、AO 入試での英語の筆記試験は、いくつか決められた英語の資格を取っている人は免除（100 点加算）になるのです。つまり、英語の資格を使うことで、生物基礎の学習へ力を入れることが出来るため、文系選択で生物が苦手だった私にとって必ず取得すべきものだと考えました。そこから私は GTEC CBT に向けて英語の勉強を始めました。私は気付くのが遅かったため、受験までのチャンスが 2 回程と限られてしまい。正直大変でした。後輩のみなさんには、1 年生、2 年生の頃からコツコツと英語の資格を取得することをおすすめします。また、生物基礎の筆記試験では、オープンキャンパスで展示されている過去問を解き、セミナーやワークで復習したあと、頻繁に過去問に出題されている単元を、より深く学習し直しました。分からないところは徹底的に先生に聞くことで、不安を取り除くことが出来ました。面接については、先生から面接の過去問をいただいて、自分なりの面接ノートを作り、通学途中や面接の直前でも見直すよう対策しました。先生にお願いし、放課後やお昼休みに何度も何度も練習を重ねました。これらの対策から本番に落ち着いて自分のペースで挑むことが出来ました。

■自ら問い合わせる現場の 見学や体験をしました

その他の対策として、私が受験した理学療法学専攻は、AO 入試での定員が 4 名とかなり少なかったため、いかに他の受験者と違ったアピール出来るかということを考え、学校で募集があった看護体験に参加し、病院の方におねがいして、理学療法の現場を見せていただいたり、自分でいくつかの施設や病院に問い合わせをし、ボランティアや見学をさせていただきました。これらの経験を活動報告書へ記載するとともに、面接時にはどだけ理学療法士になりたいかという熱意のアピールにもつながりました。さらに、手話検定も取得しました。2 次試験の課題レポートも、何度も先生に添削していただき、前日までねばって書き上げました。AO 入試はただ「楽そう」や「早く大学に合格してしまいたい」といった考えで合格するのは難しいと思います。一番大切なのは、絶対にこの大学に合格したいという強い意志を持ち、努力することです。まずは、自分にはどの入試方法が一番合っているのかを考え、合格に向けて頑張ってください。

東北福祉大学 教育学部 教育学科初等教育専攻に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
山形 山形大附属中出身

小論文練習では指導が厳しいので 逆にやる気が出て力が付きました

■剣道部では仲間に感謝する
気持ちが芽生えました

高校でも剣道に集中したくてフレックスコースを選びました。毎日充実していたし、楽しかったです。フレックスコースは授業に集中していれば大丈夫です。授業の内容もしっかり入ってきますし、テストの 1 週間前は部活が早めに終わるので、夜遅くまで勉強を頑張りました。

剣道部に入部したばかりの頃は、人数も指導してくださる先生が求めるレベルの高さも中学の頃と比べものにならないことに焦り、自主的に走り込みをしたりして必死にスタミナをつけました。また、礼儀の厳しさや上下関係の大切さを痛感しました。目上の方への敬語や挨拶など、当たり前のことですが改めて意識することができました。お互い支えられながら、支えてくれる仲間がいることに感謝することも学ぶこともできました。

入試の小論文対策として先生に添削をお願いしました。最初は先生から 1 つひとつ厳しく添削されて、心が折れそうになったこともありました。けれど、それでもやってやる！と、やる気に火が付いて回数を重ねるうちにすらすら書けるようになりました。先生にも「良くなったね！」と言われた時は本当に嬉しくて達成感を感じました。

東北福祉大学 教育学部 教育学科初等教育専攻に
特別推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
柳生中出身

「推薦入試だから」と気を抜くことなく 一日一日を大事に努力を続けましょう

■高校入学前から志望大が 決まっていました

私は小学校の頃、幼稚園教諭になることが目標でした。しかし、中学校に入ると勉強に興味を持ち、友人に勉強を教える機会が多くなりました。運動や楽器を弾くことも得意で、もともと小さい子どもと関わることが好きな私は、小学生に自分が今まで経験してきたことを教えてあげたいという思いがあり、小学校教諭にも目を向けるようになりました。

大学では、教育について勉強しながら、部活動とボランティア活動に参加することを決めています。ボランティア活動では、地域貢献はもちろん、教育に必要な知識と経験も学んでいきたいと考えています。

私は、高校に入学する前から大学の志望大学をある程度決めていました。大学進学を決めることが 3 年間の目標であったため、勉強面では、「成績は一つも落とせない」と強い意思を持って勉強に取り組んでいました。また、自学自習も毎日行い、今後の学力向上のためにもしっかりと努めました。また、勉強だけではなく、部活動では引退するまで、多くの遠征や合宿、日々の練習を積み重ね、厳しい環境の中でも技術や精神力の向上、インターハイ出場のため日々、鍛錬してきました。勉強と部活動をしっかり両立できたこともあり、大学で十分通用する成績を収めることが出来ました。

3 年生になると、今までとは違い、進路に向けて準備することが多く非常に忙しい時期が続きました。私は、少しでも受験に有利に立てるよう、英検と漢検を受けました。そして、試験科目が小論文と面接であったため、夏休みに学校で受験対策講座を取ったり、面接練習を何度も行いました。特に、小論文に力を入れ、1 日 1 枚は必ず書き、新聞や本を読んで情報や言葉の意味を調べ対策を取っていました。

■面接対策は専門的な質問や ひねった質問を想定しました

3 年間、一日一日を大切に努力してきたからこそ、第一志望大学に合格することができたのだと思っています。

推薦となるとどうしても「推薦だから」「これだけやっていれば大丈夫」と自然と気を抜いてしまいます。そう思うと失敗することもあります。面接では、より専門的なことを具体的に質問されます。私は教育について聞かれそうなことを自分で予想し紙にまとめました。また、本番でひねった質問でも答えられるよう、先生や友人と面接練習をしました。面接で大切なことは「笑顔」ということを学びました。受験対策はできるだけ早く行うことが大切だと思います。

高校 3 年間は、非常に充実し、努力することができた日々でした。私にとって 3 年間は、まさに、仙台育英の特色でもある「逆転の仙台育英」だったと思います。

東北福祉大学 教育学部 教育学科中等教育専攻に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
利府中出身

家族や友人、先生方など多くの支えを あらゆる場面で実感した 3 年間でした

■自宅から通えて教員免許を 取得できる大学を選びました

私が高校に入学したとき、まさか自分が教師を目指して大学へ進むとは考えていませんでした。1 年生の頃はとりあえず進学して大学卒業資格を得たら就職も自然と決まると思っていました。ですが、小学校・中学校を卒業し、高校生活を送る中で、先生の実在の大きさに気付きました。よく成人式や結婚式で、今まで育ててくれた両親への感謝の気持ちを伝えたいと思います。でも私たちは両親だけではなく先生方にも育てて頂いていると思うようになったのが、この高校 3 年間での収穫の一つだと思います。私もそんな職業に就きたいと思い、大学探しを始めました。初めは国立大を志しましたが、母のすすめもあって東北福祉大学にしようと決めました。それを先生に伝えたのは夏休みが終わり、AO 入試の出願開始まであと 1 週間という日でした。先生は驚かれましたが、その 1 週間の計画と一緒に立てて頂き、なんとか出願できました。面接対策だけではなく、合格後の課題でも先生にお世話になりました。どの先生も相談に親身になってくださり、心の底から仙台育英で良かったという気持ちでいっぱいです。

この 3 年間は、周りの友人や先生方、家族などたくさんの人に支えられていることを実感した時間でした。こんなに周りの人に支えられていることは大学ではないと思うので、高校卒業までに感謝を伝えていきたいです。

東北工業大学 工学部 建築学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
中山中出身

興味を持ったことを積極的に調べ 将来の目標を見つけましょう

■ AO 入試では大学への思いを 直接アピールできます

私が大学進学を目指したきっかけは、建築士になるのは大学か、専門学校でした。色々インターネットや担任の先生などに相談して、大学を目指すことにしました。

そして AO 入試で受験することになりました。年内には進路を決められることなどから AO 入試で受験しました。AO 入試では、学力や今までの高校生活を評価されるのではなく、その大学を志望する理由や入った後に何をしたいのかなどを直接アピールすることで合格する確率が高くなります。私は大学の特徴や就職実績などを調べることで、その大学に行きたいということをアピールすることができました。私は面接練習などはあまりしていませんでした。けれど、しっかりと自分が調べて覚えて自分の言葉で話すと言面接官もしっかりと理解してくれると思います。高校生活で頑張ったことや何をして学んだかなども聞かれるので、1, 2 年生の頃から意識して生活をしていた方が面接の時に困らないと思いました。

■ 興味のある分野に 進むのが一番です

大学は高校と違って専門的なことを研究するので、自分の好きなことや興味を持ったことなどを学べる学部か学科を受験した方が良く、私は工学部に進学することを決めました。

高校 3 年間で色々な出来事や経験を通して自分が興味を持ったりすることは積極的に調べて、自分が将来なりたい職業を調べることで、大学に行くのか、専門学校に行くのか、就職するのかどうやったら自分が一番良い進路選択を行うことが重要になって行くのかと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
七ヶ浜中出身

誰かの為に行動することの大切さを ボランティア活動で学びました

■私自身を見てほしいと思い
AO 入試で受験しました

私は東北工業大学ライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科を合格することが出来ました。今回 AO 入試という形で試験を受けさせていただき、様々な試験のうち、あえて自分のやってきたことだけでなく、自分の態度、人間性を直接見てほしいと思い、AO 入試という形で受けました。普段の生活では、野球部だったこともあり、部活動だけでなく勉強もしっかりするという心を心がけていました。その結果、テストで常に高い点数を取ることが出来ました。評定もしっかり取ることが出来たのも受かった要因の一つだと思います。

■部活動を通して成長でき
長所も増えたと思います

部活では、自主性がチームのテーマにある中で、自分が何をすべきかや自分の弱い部分、足りない部分をしっかり判断することが出来ました。その判断をしたことを自主練習などで補い、成長すると同時に、判断力や継続力といった力を身につけることが出来て、自分の長所にすることが出来ました。大変なことがすごく多く、12 月には不祥事もありましたが、チームメイトと協力しながら新しい野球部としてスタートしました。スタートする上で自分のために野球をするのではなく、支えてくれる人のためにすると決め、始まったのが、献血活動や募金活動などのボランティア活動をすることで、人のために行動することの大切さを知ることが出来ました。献血活動では地域の方だけでなく、血液を必要としている人達にしっかり全員するなど、人のために何かをすることの力や大切さを身につけました。また、このことを自分のアピールする一つにも加えられることが出来たのでボランティア活動は、すごく大きかったと思います。

今回の AO 入試では、小論文と面接があり、2 つのことを練習しました。小論文は 1 ヶ月前から対策をし、河北新報の記事を利用し、1 週間前から過去問題をやったりと余裕を持ちながら出来ました。また小論文も面接も、国語の先生やいろいろな先生に見てもらうことによって、良い方向に進んで行き試験の時にはやってきた成果が出たと思います。

東北工業大学 ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 技能開発コース卒
仙台第二中出身

できるだけ早く受験の準備を始め チャンスを確実につかみましょう

■先生の丁寧なご指導のおかげで
文章を書く自信ができました

私は AO 入試で大学を受験しました。進路を何回も変更して、受験する 1 ヶ月前に進路が決まったので、準備の時間が短く、とても急ぎました。進路を決めた後、私は AO 入試を受験するために、特に文章を書く練習と面接練習を頑張りました。

私が受験した内容は、書類審査、小論文と面接です。最初のうちは自己推薦書を何回も書いて、先生に添削してもらいました。自己推薦書を書き終わった後、すぐ小論文と面接の練習が始まりました。私は文章を書くのがとても苦手なので、AO 入試の書類審査と小論文には自信がありませんでした。そのため、何度も自己 PR、志願理由書や小論文を書きました。先生から丁寧な作文の添削や指導をたくさんいただいたことで、私の文章力は少し高まりました。入試で小論文を書く時も、自分の頭の中に、書く流れと使うべき言葉はしっかりありました。面接の練習は小論文と並行して行いました。面接ではよく緊張して、自分が言いたいことを忘れてしまい、何を言っているのかわからなくなることがあります。加えて、緊張すると出てしまう癖もあったので、先生はそれも含めて、私の直すべきところを教えてくださいました。

私は高校に入る時から大学を目指していてインテリアを勉強できる大学に入りたいと思っていました。そのために、私は高校時代に休むこともあまりせず、頑張って勉強しました。

今まで多くのチャンスがあったにも関わらず、準備がちゃんとできていないためにそれらの多くを逃してきました。しかしながら、今の私は、悔いなく志望していた大学に合格できましたし、自分が望んでいた道に進めています。後輩の皆さんも、是非早く準備してチャンスを逃さないでください。

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
東向陽台中出身

本番の面接で臨機応変に対応できるよう 複数の先生方に練習をお願いします

■システムエンジニアに必要な スキルを習得したいです

私は将来仕事としてシステムエンジニアになりたいと思い東北工業大学ライフデザイン学部経営コミュニケーション学科を志望しました。システムエンジニアに必要なコミュニケーション能力を学ぶことができ、経営学やコミュニケーション学も学ぶことができるほか、さまざまな資格を取得することに魅力を感じました。

私は 3 年間サッカー部に所属していました。今思い返せばすごくいい体験をしたと思います。今後もしもどんなことが起きても耐えられると思います。

私は AO 入試で受験しました。AO 入試では、調査書、小論文、面接で評価されます。調査書は 3 年間の評価なので定期テストを頑張ると思います。小論文は自分で過去問を見つけて解いて、先生を見つけ採点をしてもらいたいと思います。面接は 1 人の先生だけでなく、最低 3 人ぐらい、いろいろな先生にお願いすると思います。なぜなら、面接官は人によってタイプが違うからです。本番に備えていた方がいいでしょう。指定校推薦を考えている人は、校内模試のために今のうちに勉強しておくと思います。

私は仙台育英で周りとの関係を保ちながら、部活、学業を両立して生活してきました。何度も部活を辞めようと思いましたが、周りの声もあり 3 年間続けることができました。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
岩手 雫石中出身

オープンキャンパスなどの 機会を最大限に活用しましょう

■ 1 年次から大学に足を運び 教授に色々相談していました

私は将来、看護師になりたいと考えています。大学で特に医療の最先端であるチーム医療を学びたかったこと、そのための学科が豊富であり設備も整っているということを説明会で聞いたことが東北文化学園大学を目指すきっかけとなりました。

私は数ある受験方法の中で AO 入試を選択しました。選考方法は、“グループディスカッション”というものでした。

AO 入試を受ける前に、1 年生の後半あたりから私は、高大連携、オープンキャンパス、説明会に毎回行き、顔を覚えてもらったり大学の先生と仲良くなる努力をしました。グループディスカッションの時の先生も見たことのある先生や話したことのある先生がいらっしゃったので自分の行きたい学科の先生の特にお話を聞いてみるのがいいと思います。わからないことを質問したり、世間話をしたりとフレンドリーな先生が多く、親身に相談にのってくださりました。私は、受かるか不安だと嘆いていました。

AO 入試のテーマは、脳死についてどう思うか、延命治療についてどう思うかなど医療に関するワードが多いようです。ですが、入試前に質問した時には医療系ワードと決まっていなかったと言われたのでテーマとしてあがりそうな単語の意味は知っておいた方がいいかもしれません。グループディスカッションはグループでやるものなので、発言の苦手な人がいても置いていかずに、フォローする事も大事です。

東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
東豊中出身

1 年次から毎日コツコツと勉強し 安定した成績をキープしていました

■副部長の経験を入試本番で 生かすことができました

私は高校 2 年生の頃、祖母が入院したことをきっかけに、看護師になりたいと思い大学進学を目指すようになりました。

私はバスケットボール部に所属していました。高校 3 年生の時には副部長を務め、部長をサポートしながらチームをまとめることを心がけました。積極的に声を出したり、チーム全員の動きを見てアドバイスをするなど、コミュニケーションを大切にしながら部活動に取り組みました。私は、AO 入試で受験し、グループディスカッションを行いました。4 人 1 グループで出された題材について討議するため、部活動で培ったコミュニケーション能力は入試に役立ち生かすことができました。高校 3 年間では、部活動だけでなく勉強にも力を入れ、両立することを目標にしてきました。そのため、その日のうちに授業範囲をワークで復習したり、英語の授業の前日には、教科書を読んで日本語訳をしたりなど、自分なりに勉強方法を工夫して取り組みました。そのおかげでテスト前に焦ってワークをやることもなく、授業中もしっかり理解した上で頭に入れることができました。また、私は評定を気にしていたので、得意・不得意教科を作らず、全教科平等に勉強することを心がけました。テスト前の平日は、授業中の自習時間を大切に、休日は殆ど机に向かっていました。その結果、テストの点数も安定し、全教科で 7 割以上を取ることができました。3 年生になってから大学進学を意識するのではなく、高校 1 年生の時から大学進学を意識して高校生活を送り、毎日コツコツと勉強することが大切だと感じました。

■独自の講義に魅力を感じ 志望大を決めました

私が東北文化学園大学を志望したのは、大学概要に魅力を感じたからです。専門職連携セミナーという医療福祉学部 3 学科で行う学習は、チーム医療と言われている現在、とても貴重で大切な授業だと思います。これは他の学校では経験できないことなので、将来を見据えて真剣に取り組み、3 学科で意見交換をしながら、より多くの知識を身につけたいと考えています。高校生活で続けてきた予習や復習を継続し、日々の勉強を疎かにせずに大学生活を送ってみたいです。

以上のことを実行し、看護師になるという自覚を持って東北文化学園大学で勉強に励みたいと思っています。

東北文化学園大学 総合政策学部 総合政策学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
岩切中出身

AO 入試では高校生活で得たことを 存分に伝えることが大切です

■熱意を自分の言葉で伝える為
AO 入試を受験しました

私が大学進学を目指したきっかけは、幅広い分野を学び、資格や知識を 4 年間でしっかり身につけたいと思ったからです。そのために必要な学びができること、さらに目標や夢を実現させるために最も適した大学はどこなのかをしっかりと調べることが大切だと感じました。特に、オープンキャンパスに実際に参加することで、どのようなことを学ぶことができるのか、また、先輩の姿などを見て、よりその大学に詳しくなることができます。他にも模擬授業などに参加し、実際に授業を受けてみることもとても大切だと感じました。

私が、AO 入試を目指した理由は、大学へ行き、そこで学びたいことをしっかりアピールすることができること、さらに高校生活で得たことなどを含め、自分の言葉で、その大学で学びたいという強い思いをアピールすることができるからです。

また AO 入試で心がけたことは、自分がなぜその大学で学びたいのかという理由をはっきり自分の言葉で伝えられるようにすることです。面接では、なぜその大学の学部、学科で学びたいのかを詳しく聞かれるので、それにしっかりと対応できるよう、自分が志望した理由はしっかりまとめておくの良いと感じました。また、AO 入試は自己アピールがとても大切だと思います。なので自分をアピールできるよう資格取得などのアピールできる点を増やすことも良いと思います。さらに高校生活での様子についても聞かれます。その際に、どのような高校生活を過ごしたのかを具体的に答えられるように自分のコースの特徴などに触れて話すのも良いと思います。他の人には言えないような、自分が過ごして得た高校生活をしっかり自分の言葉で伝えられることが大切だと感じます。また、ニュースや本などの情報にもしっかり目を配ることもたいせつなので、日々のニュースや新聞に目を通すのも良いと思います。

私にとって高校生活は有意義な時間でした。皆さんも後悔のないよう、目標に向けて頑張ってください。

宮城学院女子大学 学芸学部 日本文学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
鹿島台中出身

礼儀作法や敬語を正しく習得しておく 面接はもちろん将来に役に立ちます

■自分の目標を一から整理し 志望動機を明確にしました

入学当初から大学に進学することは決めていたのですが、志望大学を決定したのは 3 年生の初めでした。私は自分の好きな日本の文学について更に追究したいという気持ちと、国語の教師になるという目標から、大学を選びました。

AO 入試で重視されることは学力や生活態度よりも先に、「なぜこの大学で学びたいのか」という学習意欲です。そのため、自分の目標を一から整理し、「私はこのような学習をしたい。そのためにはこの大学の〇〇が適している」と志望動機を明確にし、入試に向けての心構えをしました。自分が大学で何を学び、将来どうなりたいかをはっきりさせておくことは、自信につながると感じました。

高校で私は書道部に所属していたことから、部活動と関連付けて志望動機を明確にしていくことができました。部活動では、1 作品仕上がるごとに先生や他の部員などと一緒に 1 行ずつ見直し、良い点や悪かった点を探しました。そして次の作品では改善点に気を付けながらより良い作品作りに努めました。その結果、様々な賞を受賞することが出来ました。AO 入試では部活動での体験や成績が自己アピールの大きな武器になると思いました。

■集団での自己表現の仕方を 3 年間で学びました

また、今回私がすごく大切だなと感じたことは、礼儀作法と敬語です。普段生活していて使う場面が多々あるとは思いますが、少しでも間違った使い方をすると失礼にあたるため、入試などの時だけではなく普段から見直しておく癖がついて使い分けできると思います。私は部活動などで身に付いていたため、入試の際にあまり気かけず臨むことができました。

私にとっての高校生活は、社会人になるための学びの場であると 3 年間を通して感じました。勉学はもちろんですが、集団行動での生活は大学や社会ではもう無いので、この集団での生活の中でどう自分を表現すべきかを学ぶことができたと思います。この能力を大学生活でも役立てていきたいです。

大学では、3 年間の高校生活で学んだことを更に深めていき、自分の将来の目標に向かっていきたいと思っています。

尚絅学院大学 人文社会学群 人文社会学類に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 外国語コース卒
白石東中出身

語学力を磨くという目標を達成！ 仙台育英は私の誇りです

■英語での授業や留学生との 交流がとても役立ちました

私には小さい頃から「中学、高校の英語の教師になる!!」という夢があります。中3の時、進学を決めるにあたり、英語の他に韓国語にも興味があった私にとって、この2つの言語の力を伸ばすことができる高校はどこかを考えていました。そのときに、当時英語を教えていた担任の先生が、この仙台育英の外国語コースを勧めてくれました。また、オープンスクールに参加し、広々とした校舎で、自習室などといった勉強をするのに最適な環境が整っているうえ、先生や先輩方から話を伺ったことにより、「ここで3年間学びたい!!」という思いが一段と強くなり、仙台育英の外国語コースに入学しました。

外国語コースは、他コースに比べて英語の授業が多く、第二外国語や日本伝統文化の授業もあります。英会話、人間科学の授業は全て英語で行い、課題についても英語でプレゼンテーションするので、英語を書く・話す・聞き取る力が身に付きました。また、毎週単語テストがあったり、週3日程度7時間授業を設けて、その時間を課外講習として、より深い英語の文法を学びました。単語テストでは80点以上取らなければ居残りで再テストなので、満点をとるために1時間半の通学時間を利用して単語をひたすら覚えました。そして、第二外国語では韓国語を学び、日常会話ができるようになりました。日本伝統文化では茶道と華道の作法を学び、免許を取得しました。クラスには多くの留学生がいて、お互いの母国語を教え合ったりと文化の違いを認めながら仲良く生活してきました。ネイティブの先生の授業も多くあるので、言語の壁を越えて、より高いコミュニケーション力を身につけることができました。

■努力は必ず報われると 受験で改めて感じました

なぜ、尚絅学院大学 人文社会学群学部 人文社会学類学科のAO入試を受けようと思ったのか。それは以下の理由です。①中学・高校の英語の教諭免許が取れる②海外語学研修や留学生制度があり、留学生やネイティブの先生も多く、国際交流に力を入れている③4年間先生方がアドバイザーとして生徒1人ひとりの夢実現に向けて最適な勉強方法や履修科目について常にサポートしてくれる④AO入試は一般入試とは違って学力だけでなく取得した資格など自分をアピールすることができる。試験の内容はエントリーシートを書いて、それについて深く質問されます。志望動機はもちろん大学が求める理想像やAO入試の主旨、大学ではどんなことを学びたいかなど30分の面接がありました。それに備え、毎日残ってエントリーシートを先生に添削してもらい、何度も何度も書き直し、いろいろな先生からいろんな角度から面接練習をしてもらったおかげで合格することができました。夏休みも駆使したのでとても辛かったけれど『努力は必ず報われる』ということを改めて感じました。

大学でも夢実現に向けて日々努力し続けたいと思います。仙台育英は私の誇りです!!

仙台大学 体育学部 体育学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
村田第二中出身

大学生活を有意義なものにするために 夢や目標を持つことが重要です

■社会人野球など可能な限り 長く野球を続けたい

大学進学を目指した理由は、自分の将来の夢、就きたい職などの希望を成すために進学は不可欠であると考えたからです。また、スポーツが好きで幼い頃から様々なスポーツを行ってきました。その中でも特に野球に魅力を感じ、小学校、中学校と続けてきた野球を高校でも 3 年間続けました。高校では、甲子園出場という目標を掲げ、高校 3 年最後の夏、第 100 回という節目の年に目標を達成することができました。その後、私は長く野球をしたいと考えるようになりました。大学もは 4 年間しっかりと野球を続け、社会人野球など、更に上のレベルで活躍したいと思います。何事にも取り組む際は「目標をもつことがとても重要になってくる」と思います。目標を自分の中でしっかりと確立しなければ活動する上で自身のしていることに価値を見出せなくなってくると思います。高校卒業後、目標も持たずになんとかで大学進学するとなれば、大学での 4 年間は棒に振ることになると思います。まずは、自分の中で目標を持つ、こうなっていきたいと夢に見るといった事がとても重要です。私の進学する仙台大学は東北随一の体育大学で、トレーニング設備が充実し、体育において幅広い分野のことを学ぶことができます。また、部活動においても力を入れており、硬式野球部は、近年、プロ野球選手や社会人野球に進出する人材を多く輩出していて部活動においては私の求めている環境だと思っています。

■できることは全てやったと 言えるまで準備しました

第一に、私は将来体育の教師になりたいと思っています。仙台大学では体育教師の教員免許を取得することができます。私はこのことを知ったときに、勉強と野球の両立を強い意志を持って図ろうと決意しました。志望大学が決まっからは、まず大学の事についてより詳しく知ろうと尽力しました。そして入試は面接と小論文があったため、小論文の演題になりそうな時事問題を集め実際に書いてみたりして、今できることは全てやったと言い切れるほど、入試に向けて準備しました。

仙台大学 体育学部 体育学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
会津若松第四中出身

たくさん勉強し準備をしておけば それまでの不安が自信に変わります

■中学生の頃から 体育教諭が夢でした

私は、小さい頃からスポーツが大好きで特に野球は小学校 1 年生からやっていました。その中で、中学校の体育の授業中にケガをしてしまいました。その足のケガで見学をしていた時に、体育の先生が私の所に来て下さり「大丈夫か」と、その一言に私は嬉しく思い、こんなにも親身に面倒を見て下さる人柄に惹かれ私もこういう人になりたいと思い体育の先生になろうと中学校から思っていました。そして、高校に進学をし、野球を小中とやってきたということで、高校は甲子園に行きたいという目標を持ってスポーツと勉強を両立させて頑張りました。部活動では、第 100 回全国高等学校野球選手権大会に出場させていただき、甲子園という大きな目標を叶えることが出来ました。

■十分練習したので本番には 自信を持って臨みました

そして野球が終わり 9 月進路に向けて勉強を開始しました。私は、中学校から心境は変わらず、少しでも自分の夢に近づけるように仙台大学に進学したいと思いました。仙台大学のスポーツ AO I 期で受けたいたいと思い、なぜなら、私が一番仙台大学にアピールできるのはスポーツ AO I 期だと思ったのでこれにしました。スポーツ AO I 期の内容は、面接と 800 字程度の小論文でした。面接での内容は、具体的に自己 PR、高校生活で頑張ったこと、大学では何を学びたいかというこの 3 つを聞かれました。私は、高校でいろいろな先生方をお願いして練習をしたので、本番そんなに不安ではありませんでした。小論文は「海外で活躍されているスポーツ選手になるためにあなたはどのようにして未来の子ども達に指導していくのか」という問題を出され、最初はどのようにして書くのか迷いましたが、練習でたくさん字を書いていたので実際に書いてみたらスラスラと書くことが出来ました。なので、たくさん勉強をして、そしてたくさん練習をすれば不安が自信へと変わるはずです。心配しないで自信を持ってやってください。

仙台大学 体育学部 現代武道学科に
特別推薦で合格

平成 31 年 3 月 フレックスコース卒
住吉中出身

受験勉強は努力がそのまま結果になる 誰にでも平等なものです

■小中高と陸上競技に打ち込み 多くを学ぶことができました

3 年間を振り返ると、「あっという間」という言葉が頭をよぎります。まさに陸上漬けの毎日。私は石巻から通学しており、通学には 1 時間半ほどかかったのですが、遅刻をしたことは一度もありません。初めは不安ばかりでしたが、小学 2 年生から始めた陸上競技を高校でもやりたいという一心で、入学をしました。やはりそんなに甘くはなく、同級生や先輩のレベルが高く、付いていくのに必死でした。陸上競技は個人戦が多く、自分の身体一つで戦うスポーツです。楽しいこともたくさんありましたが、慣れない環境での毎日の練習がハードで部活動をやめたいと何度も思ったことがあります。けれどそんな時は、いつも仲間と声を掛け合い励まし合って乗り越えてきました。小中高と陸上競技に取り組んできて、チームメイトや先生にとっても恵まれて、今の自分がいるんだと改めて思いました。部活動を通して、判断力の向上、諦めない心、そして感謝の気持ちなど、これから生きて行く上でも大事なことをたくさん学ぶことができました。

■常に「私は行ける！」と ポジティブに考えましょう

仙台大学には、同窓生推薦という枠があります。顧問の先生が仙台大学の卒業生だったので、推薦受験の機会をいただくことができました。私は昔から飛び抜けて勉強ができたわけではないし、特別勉強が好きということもありませんでした。自分でも進学という目標ができ、自分なりに努力をしました。夏休み中に行われた夏期講習に積極的に参加し、苦手な小論文の書き方の勉強や自己 PR、志望動機の作成などに力を注ぎました。また、放課後にはパソコンに向かい大学の情報をできるだけ多く集め、担任の先生に声を掛けて、面接練習を細かい所まで指導していただきました。その結果、本試験では、あまり緊張せずに、自分が練習してきた言葉通り完璧に答えることができました。

目標に向かって地道に努力すれば、私みたいな普通の人間でもその目標を叶えることができます。受験勉強は、高校 3 年間で一番辛いと思いますが、努力した分だけ結果になって返ってくる誰にでも平等なものだと思います。ネガティブに考えるのではなく、「私はいける！」とポジティブに考えてください。受かる確率はグンと上がると信じています。後輩のみなさんが第一志望大学に合格することを願っています。

聖和学園短期大学 キャリア開発総合学科に
自己推薦で合格

平成 31 年 3 月 特別進学コース卒
新月中出身

志望大学を決定するために 将来について早めに考えましょう

■ 2 年次の模試の結果を見て 自分の甘さに気がきました

私が聖和学園短期大学に進学することを決めることは簡単なことではありませんでした。

高校 2 年の冬、センター試験が約 1 年後となり、ついに私も自分の将来と本格的に向き合わなければなりません。それまでの私は大学に入学さえできればいい、大学ですることは大学に入学してから決めればいいと問題を先延ばしにし、自分の将来をしっかりと考えてはいませんでした。しかし、そんな風になんとか過ごしていた私もある日返って来た模試の結果を見て自分の甘さに気づきました。そこから私は具体的に将来どのように生きたいか、そのためになにを学ぶべきか、するべきかを考えて志望大学を選びました。志望大学を選ぶ過程で何度も親と衝突もしました。その時は「何故理解してくれないんだ」という憤りを感じましたが今では自分のことを心配してのことだと分かります。

■ 様々な学問を横断的に学べる 所が自分に合うと思いました

私が聖和学園短期大学キャリア開発総合学科を進学先に決めたのは、自由に学ぶことができるからです。普通の大学ではある学問については深く学ぶことになります。しかし、私は様々な学問を関連づけて学びたいと思いました。その点で様々な系統、異なる分野を基本的に自由に組み合わせて学ぶことのできる自分のスタイルに合っていると思いました。

私が使用した入試方法は「自己アピール入試」というものでした。面接だけという試験内容だったので対策はし易かったのですが、逆にいかに自分の個性を出すかを苦労しました。毎日担任の先生に熱心なご指導をしていただきました。

最後に適度な目標を持つことが高校生活を充実させることにつながると思います。

仙台青葉学院短期大学 看護学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 英進進学コース卒
多賀城中出身

高校での生活や部活動、受験を通して 努力の積み重ねの大切さを学びました

■看護師を目指すのであれば 自分の健康管理が必須です

私が仙台青葉学院短期大学の看護学科を志望した理由は、チューター制度に魅力を感じたことと、オープンキャンパスを通して先生や学生の方々の温かい対応に触れ、豊かな人間性を身につけられると感じたからです。また、看護師としてより早く現場に立ち、知識や技能を身につけたいと考え、短期大学を志望しました。

普段の学校生活では、3 年間特別選抜クラスに居続けるために、日々時間を決めて勉学に励みました。部活動にも所属していたため、授業時間や休み時間なども有効活用していました。また、看護師になるためには自分自身の健康管理が不可欠であると考え、常に無遅刻無欠席を念頭に置いて学校生活を送っていました。

■小論文の過去問分析や 面接練習の復習に励みました

試験内容は、小論文と面接でした。小論文は 800 字の 60 分でした。過去問を解く中で小論文だけではなく、漢字や要約、英訳や計算など様々な問題も組み合わせられていることに気づきました。そのため、小論文は 30 分で終わらせることを決め、試験の 1 ヶ月前から毎日 1 つ小論文を書いて担任の先生に添削してもらっていました。医療に携わるものだけではなく、環境問題や人間関係など幅広いテーマに目を通して良かったと思います。面接では、面接練習をする前に基本的なことは暗記するくらい何度も練習していました。また、面接練習で答えられなかったこと、突っ込まれて止まってしまったことなどは、その度に先生方に解答例を教わり、ノートなどにまとめていました。

私は、この 3 年間で、学校生活、部活動、また受験勉強などを通して、積み重ねの大切さを学びました。これからの大学生活でも、看護師を目指す上でも、この学校で学んだ努力を積み重ねていくことを忘れずに頑張りたいと思っています。

仙台青葉学院短期 観光ビジネス学科に
AO 入試で合格

平成 31 年 3 月 情報科学コース卒
南中山中出身

部活動や資格など一つでも多く 強みを持つと合格に近づきます

■空港のグランドスタッフを 目指せる大学を探しました

私は仙台青葉学院短期観光ビジネス学科に AO 入試で合格しました。幼い頃から旅行が好きで空港を利用した際に、お客様に笑顔で丁寧な応対をしているグランドスタッフの方々の姿を見て憧れを持っていました。

1 年生の頃から観光について学べる大学を探していたところ仙台青葉学院短期大学に辿り着きました。短期大学は 4 年制のように幅広く学ぶことと専門学校のように資格の取得に力を入れていると聞き、短期大学への進学を決めました。それから何回もオープンキャンパスに参加し、大学や学科の雰囲気を見て、学科の特徴や講義内容などのパンフレットだけでは分からない詳しいことも聞き仙台青葉学院短期大学に行きたいと強く思ったため第一志望に決めました。

■志望大を決めたらすぐに 書類作成を始めましょう

AO 入試はエントリーシートなどの書類審査と個人面接でした。エントリーシートは書き上げるまでに時間がかかりました。先生に何度も添削をしてもらい、何回も書き直しました。難しい題もありすぐに書き終わるものではないため、志望を決めた段階で書き始めると、よりまとまった内容で書けると思います。そして受験をするにあたって大切だと感じたことは、一つでも多く資格や部活動、ボランティア活動など自分の武器を作ることです。AO 入試は他の受験生よりいかに多くの強みを持っているかだと思うので、他の人には負けないというものを作ることで大きく合格に近づくと 생각합니다。それをしっかりとエントリーシートに盛り込み、面接で話せるようにしておくことも大切です。面接練習では何度も先生に練習をお願いし、入室や退室の仕方や言葉の使い方や言い回し、自分の癖などを教えてもらい、練習を重ね徐々に自信を付けていきました。こうして自分に自信を付けることによって、本番ではあまり緊張せずに、どのような質問に対しても自分の意見を落ち着いて伝えることができました。

最後に努力を惜しまず自分の武器を身につけ、何事にも時間に余裕を持ち、早め早めの行動をすることが良い結果に繋がると 생각합니다。夢や目標に向かって頑張ってください。